

Deloitte.

デロイト トーマツ



令和4年度厚生労働省委託事業

病院薬剤師の勤務実態調査 業務報告書

有限責任監査法人トーマツ



目次

1. 病院薬剤師の勤務実態調査の概要	4
(1) 調査の目的	5
(2) 調査の実施概要	6
2. 調査結果及び分析	7
(1) 自計式調査	8
①回答者・回答施設の属性	9
②回答施設の加算算定に係る分析	16
・薬剤師に係る各種加算の算定状況	
・病棟薬剤業務実施加算の算定率	
③薬剤師人数に係る分析	38
・病棟薬剤業務実施加算算定有無における薬剤師人数比較	
・100床あたり薬剤師数比較	
・1病棟あたり薬剤師数比較	
・薬剤師欠員状況_100床あたり薬剤師数・1病棟あたり薬剤師数	
④勤務実態・勤務形態	119
・1週間の勤務実態	
・回答施設における勤務形態	
⑤調査期間1週間の業務従事内容	135
・病棟薬剤業務実施加算算定有無・100床あたり薬剤師数	
・病棟薬剤業務実施加算算定有無・院外処方箋発行率区分	
・病棟薬剤業務実施加算算定有無・各種調剤機器導入有無による差異	

⑥	<u>タスク・シフト/シェア等の取組状況分析</u>	170
	・薬剤師免許を有さない職員が従事する業務	
	・薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアに係る取組や薬剤師業務の効率化に係る取組状況	
	・薬剤師へのタスク・シフト/シェアの取組	
(2)	<u>他計式調査</u>	208
①	<u>調査概要</u>	
②	<u>勤務実態・業務従事内容</u>	
	・1日の業務従事内容__業務項目内訳/大項目・中項目・小項目別	

1. 病院薬剤師の勤務実態調査の概要

(1) 調査の目的

調査の目的

背景

- 平成31年3月に取りまとめられた「医師の働き方改革に関する検討会 報告書」において、医師の労働時間短縮を強力に進めていくための具体的方向性の一つとしてタスク・シフト/シェアが掲げられており、医師の時間外労働の上限規制が適応される令和6年4月に向けて、医師の労働時間の短縮を進めるため、医師から他の医療関係職種へのタスク・シフト/シェアを早急に進める必要がある。
- このような背景から、「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」における議論を踏まえ、「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」（令和3年9月30日医政局長通知）が発出された。
- 病院薬剤師が薬剤の専門家として薬物療法のプロトコル策定、医師への処方提案等のタスク・シフト/シェアの取組は、薬物療法の有効性・安全性の向上、医師の業務負担軽減に寄与している。
- これらの取組を普及・推進するためには、医療機関における意識改革・啓発や体制の整備が課題とされている。厚生労働省において、令和2年度より、病院薬剤師のタスク・シフト/シェアにかかる取組を収集し、研修等を通じて全国に共有することにより、医師の働き方改革の推進を図る事業を実施している。
- 薬剤師の勤務先は多岐にわたることや地域偏在があり、病院を中心として薬剤師が充足しておらず、病院薬剤師の確保は喫緊の課題であると指摘されている。

目的

- 患者に対してより質の高い薬物療法を提供するためには、病院薬剤師が専門性を最大限に発揮し『薬剤療法のマネジメント』の役割によりフォーカスすることが必要と考えられ、その環境を整えるためには、病院薬剤師業務について調剤機器やICT活用等による効率化・標準化や、他職種へのタスク・シェアを適切に進める必要がある。
- 本調査は、①病院薬剤師の業務実態を可視化・定量化し、現状課題の抽出・論点整理等を行う（基礎データ）、②薬剤師の偏在解消に向けた基礎データとして病院薬剤師確保推進策に活用する、③病院薬剤師の評価に活用する、④調剤機器・ICT活用・タスク・シェアも含め業務の効率化・標準化を示すことより、更なる医療安全の確保や質の高い薬物療法の提供を図ることを目的とする。

(2) 調査の実施概要

調査の概要

- 本調査は、回答結果の網羅性及び回答内容の詳細性を踏まえて、以下2通りの方法にて実施した。

自計式調査

- 記録方法
 - 薬剤師本人が15分単位で業務区分に応じて記録
- 調査対象
 - 全国の病院（約8,194施設※1）
 - 全国の病院薬剤師（約55,948人※2）
- 業務区分
 - 厚生労働科学研究費補助金「病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究」その他の文献等を参考に分類
- 調査時間
 - 7日間×24時間

他計式調査

- 記録方法
 - 調査員が1分単位で薬剤師の業務内容を記録
- 調査対象
 - 自計式調査の回答状況を踏まえて、300床以下の中小病院を主な対象とし、対象施設は日本病院薬剤師会・各病院団体から推薦頂いた上で決定する。
- 業務区分
 - 自計式調査の業務項目を基とし、より詳細に業務内容を分類
- 調査時間
 - 1日間×24時間

*1：厚生労働省「令和2年（2020年）医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」における病院に従事する薬剤師数

*2：厚生局の保険医療機関の指定一覧より病院を対象

2. 調査結果及び分析

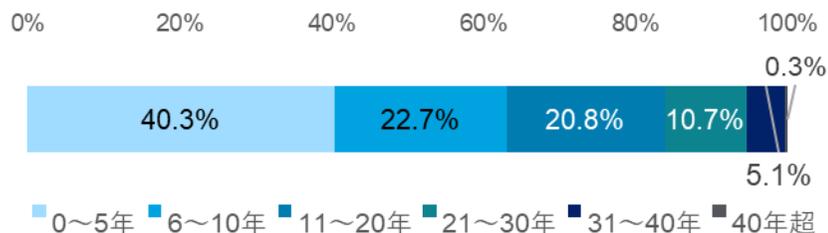
①回答者・回答施設の属性

①回答者・回答施設の属性

回答者の勤続年数別内訳

- 「0～5年」の回答者数が最も多く全体の40%である。

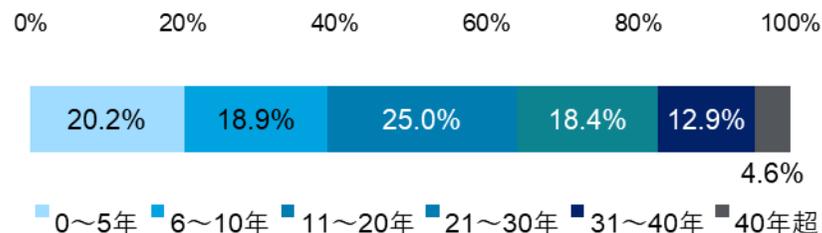
勤続年数区分	回答数(人)
0～5年	8,716
6～10年	4,910
11～20年	4,499
21～30年	2,321
31～40年	1,097
40年超	68
計	21,611



(ご参考) 三師統計における内訳

- 厚生労働省「令和2年（2020年）医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」における病院に従事する薬剤師数の年齢を基に算出
- 最少年齢の24歳を入職0年として以降1年ずつ加算し、下記区分に整理している。

勤続年数区分	回答数(人)
0～5年	11,320
6～10年	10,588
11～20年	13,987
21～30年	10,270
31～40年	7,210
40年超	2,573
計	55,948



①回答者・回答施設の属性

病床規模別内訳

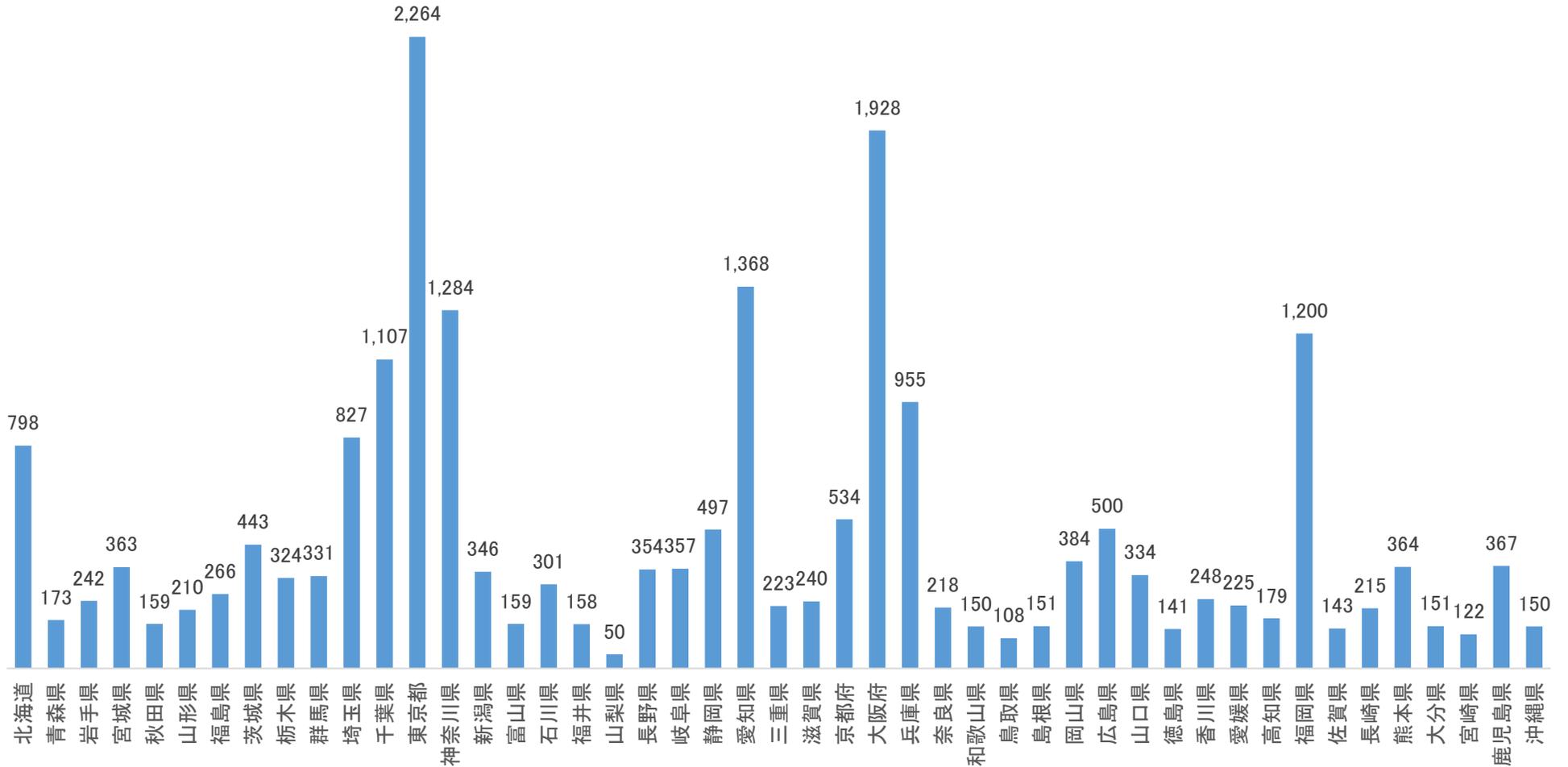
- 回答医療機関の病床規模別内訳では、100床～200床未満の回答が最も多い。
- 回答者の病床規模別内訳では、400床以上の回答者数が最も多い。

病床規模別	回答医療機関数	回答者数(人)	1医療機関あたり 回答者数 (人)
100床未満	617	1,099	1.8
100床～200床未満	886	3,008	3.4
200床～300床未満	415	2,353	5.7
300床～400床未満	378	3,538	9.4
400床以上	533	11,613	21.8
計	2,829	21,611	7.6

①回答者・回答施設の属性

都道府県別の回答者数 (n=21,611)

- 東京都、大阪府、愛知県、神奈川県、福岡県、千葉県では1,000人を超える回答があった。



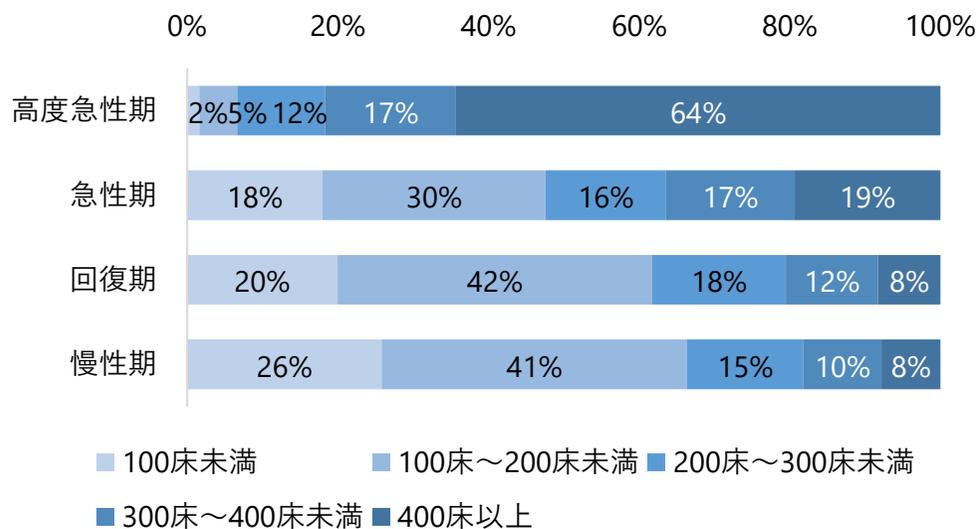
①回答者・回答施設の属性

回答施設_病床機能別（複数回答）

- 病床機能別では急性期の回答が最も多かった。

病床機能(複数回答)	医療機関数
高度急性期	437
急性期	1,748
回復期	1,004
慢性期	1,142

- 高度急性期では400床以上、急性期、回復期、慢性期では100床～200床未満の回答が最も多かった。



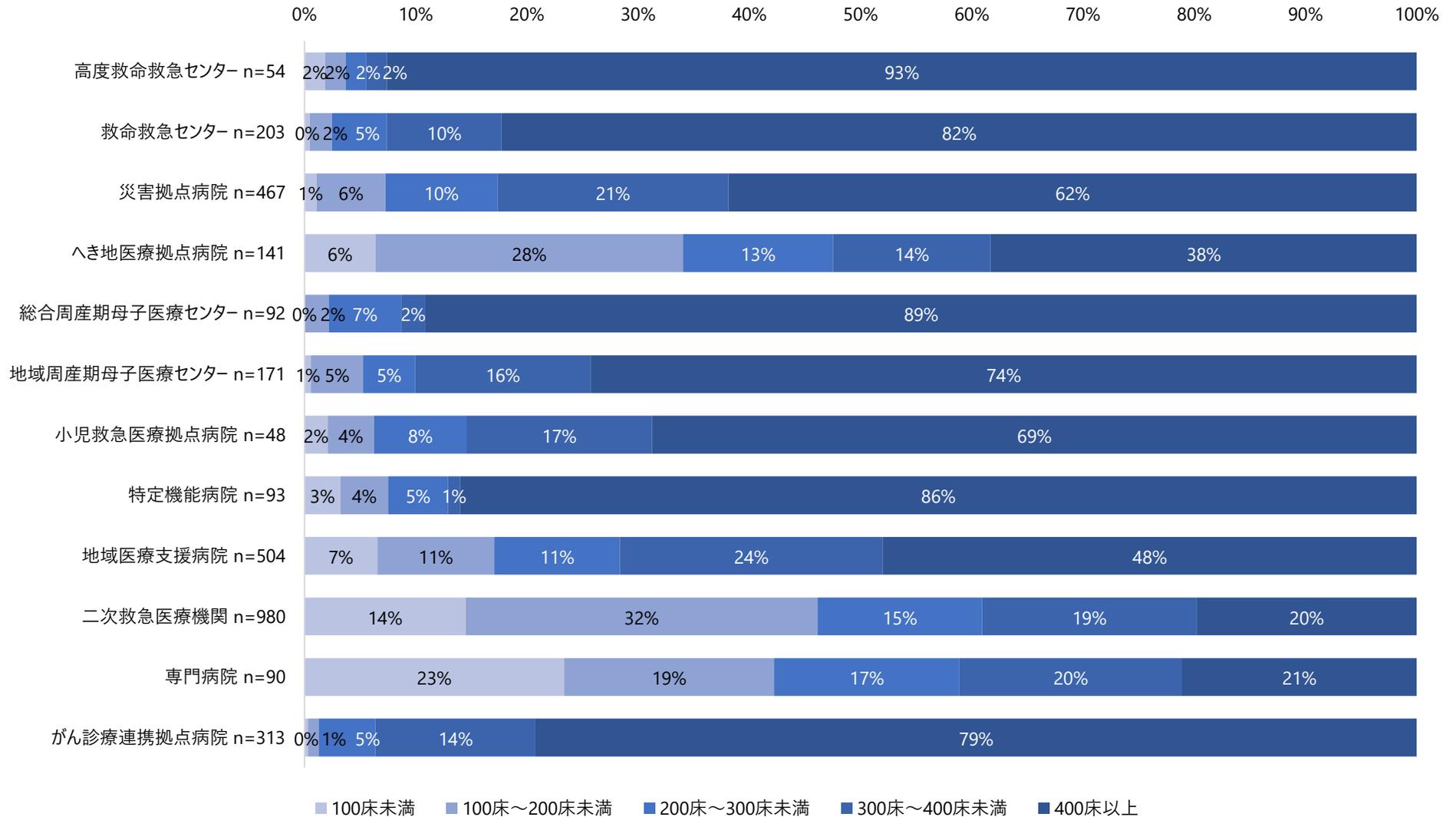
回答施設_DPC対象有無

- DPC対象有無では、DPC対象病院・準備病院以外の回答が最も多かった。

DPC対象有無	医療機関数
DPC対象病院	1185
DPC準備病院	112
DPC対象病院・準備病院以外	1412
不明	120
計	2,829

①回答者・回答施設の属性

回答医療機関の内訳__承認等の状況（複数回答）



①回答者・回答施設の属性

回答医療機関の開設主体別内訳

- 開設主体別の内訳では、医療法人（社会医療法人等は含まない）が最も多く、次いで市町村であった。

開設主体別	回答医療機関数
国	10
独立行政法人国立病院機構	105
国立大学法人	44
独立行政法人労働者健康安全機構	28
国立高度専門医療研究センター (国立研究開発法人)	7
独立行政法人地域医療機能推進機構	56
都道府県	120
市町村	297
地方独立行政法人	91
日赤	63
済生会	59
北海道社会事業協会	4
厚生連	67
国民健康保険団体連合会	1
健康保険組合及びその連合会	8

開設主体別	回答医療機関数
共済組合及びその連合会	30
国民健康保険組合	2
医療法人（社会医療法人は含まない）	1,286
公益法人	136
学校法人	78
社会福祉法人	72
医療生協	24
会社	18
社会医療法人	187
その他	36
計	2,829

②回答施設の加算算定に係る分析

回答施設の加算算定状況サマリ（1/2）

薬剤師に係る 各種加算の 算定状況

- **病棟薬剤業務実施加算**は、300床以上の規模が大きい施設で約5割、200～300床の施設では30%台である。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、200床以上の施設では100床あたり薬剤師数が3名以上の施設で算定が4割以上となっている。100床～200床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が5名以上7名未満の施設で、算定が6割以上となっている。
- **薬剤管理指導料**は、200床以上の施設では6割以上の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、300床以上の施設ではいずれの100床あたり薬剤師数の区分においても5割を超える施設が算定している。100床～300床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が3名以上の施設で約8割以上が算定している。100床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が3名以上の施設で6割以上が算定している。
- **感染対策向上加算**は、200床以上の施設では6割以上の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、100床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設で算定が約7割を超えている。100床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が5名以上の施設で5割以上が算定している。
- **医療安全対策加算**は、200床以上の施設では6割以上の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、100床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設5名未満の施設で算定が約7割を超えている。100床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が7名以上の施設で6割が算定している。
- **薬剤総合評価調整加算**は、100床以上の施設では20%～30%台の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、100床～200床未満の施設で100床あたり薬剤師数7名以上の施設において約6割が算定している。100床～200床未満の施設で100床あたり薬剤師数5名以上7名未満の施設と、200床～300床未満の施設で100床あたり薬剤師数7名以上の施設、300床～400床未満施設で100床あたり薬剤師数5名以上の施設では、約5割の算定となっている。
- **入院時支援加算**は、300床以上の規模が大きい施設では4割以上の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、400床以上の規模が大きい施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設において約7割以上が算定している。また、100床～200床未満の施設で100床あたり薬剤師数7名以上の施設と、300床～400床未満施設で100床あたり薬剤師数3名以上7名未満の施設では、約5割以上の算定となっている。
- **がん患者指導管理料**は、400床以上の施設では7割の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、300床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設で5割以上が算定している。また、200床以上300床未満の施設では100床あたり薬剤師数5名以上の施設で約4割が算定している。

回答施設の加算算定状況サマリ (2/2)

薬剤師に係る各種 加算の算定状況

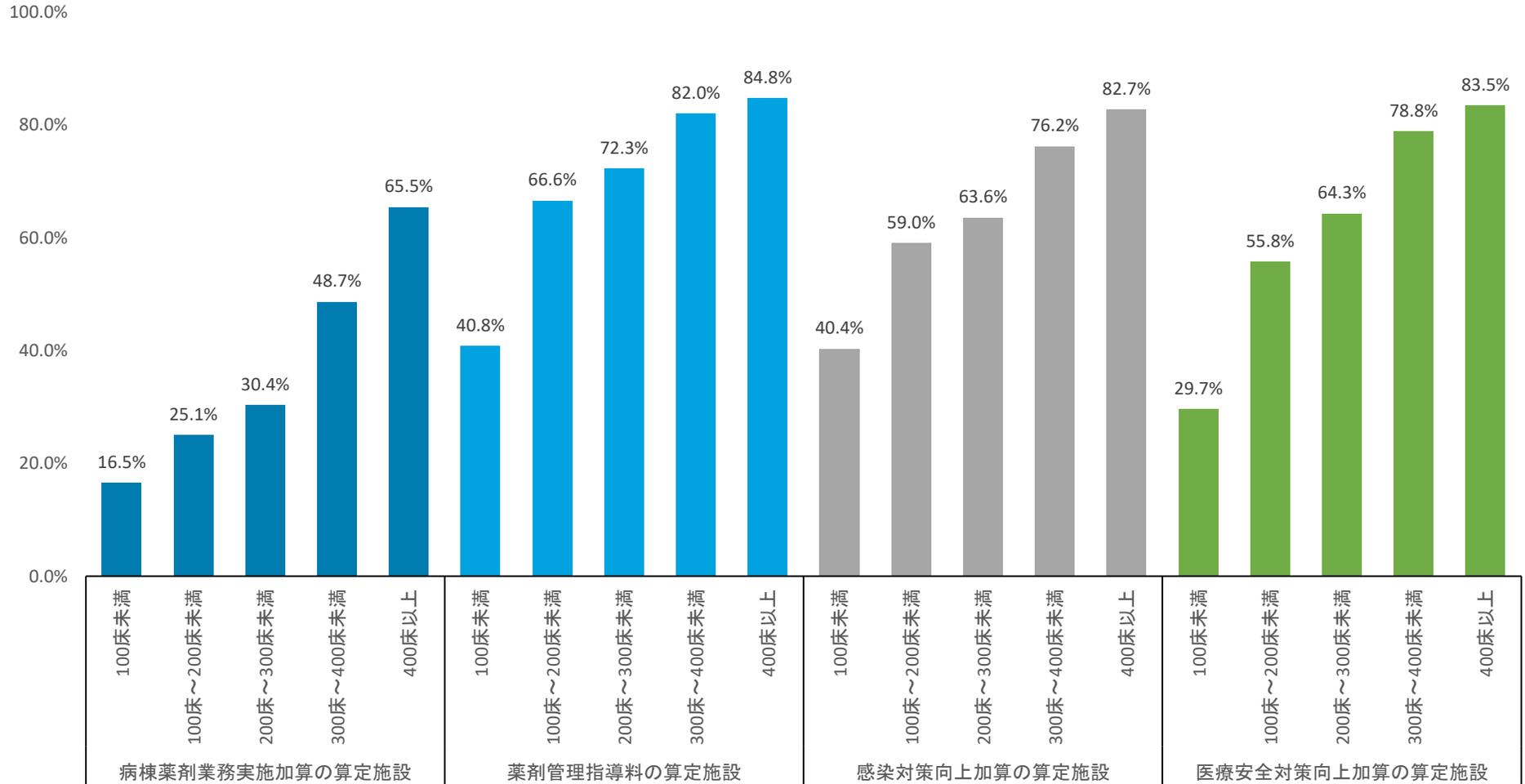
- **外来腫瘍化学療法診療料 1**は、300床以上の規模が大きい施設で約7割以上、200～300床の施設では40%台である。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、200床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上施設で6割以上が算定している。また、100～200床未満の施設では100床あたり薬剤師数5名以上の施設で5割が算定している。
- **外来腫瘍化学療法診療料 2**は、いずれの病床規模においても10%未満の算定状況である。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、100床～200床未満の施設で、100床あたり薬剤師数7名以上の施設では約2割が算定しているが、その他は1割未満となっている。
- **外来腫瘍化学療法診療料・連携充実加算**は、300床以上の規模が大きい施設では4割以上の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、300床以上の規模が大きい施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設において5割以上が算定している。また、200床～300床未満施設では100床あたり薬剤師数5名以上の施設で、4割台の算定となっている。
- **周術期薬剤管理加算**は、400床以上の施設では2割の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、300床以上の施設では100床あたり薬剤師数7名以上の施設で4割の施設が算定している。また、100床～300床未満の施設では100床あたり薬剤師数7名以上の施設において、400床以上の施設では100床あたり薬剤師数5名以上7名未満の施設で約2割が算定している。
- **術後疼痛管理チーム加算**は、400床以上の施設では1割の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、400床以上の規模が大きい施設では100床あたり薬剤師数5名以上の施設で約2割が算定している。しかし、それ以外は算定割合が1割を下回っている。
- **栄養サポートチーム加算**は、300床以上の施設では6割以上の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、200床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設で約6割以上が算定している。また、100床～200床未満の施設では100床あたり薬剤師数7名以上の施設で63.4%が算定している。
- **緩和ケア診療加算**は、400床以上の規模が大きい施設では6割の施設が算定している。また、病床規模別・100床あたり薬剤数別にみると、00床以上の規模が大きい施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設で約6割以上が算定している。また、300床～400床未満の施設で100床あたり薬剤師数5名以上の施設では、2割台の算定となっている。
- 回答施設のデータに基づくと全国における病棟薬剤業務実施加算の算定施設は35%だった。

病棟薬剤業務実施 加算の算定率

【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 薬剤管理指導料、感染対策向上加算、医療安全対策向上加算は、200床以上の施設では6割以上の施設が算定している。
- 病棟薬剤業務実施加算は、300床以上の規模が大きい施設で約5割、200～300床の施設では30%台である。

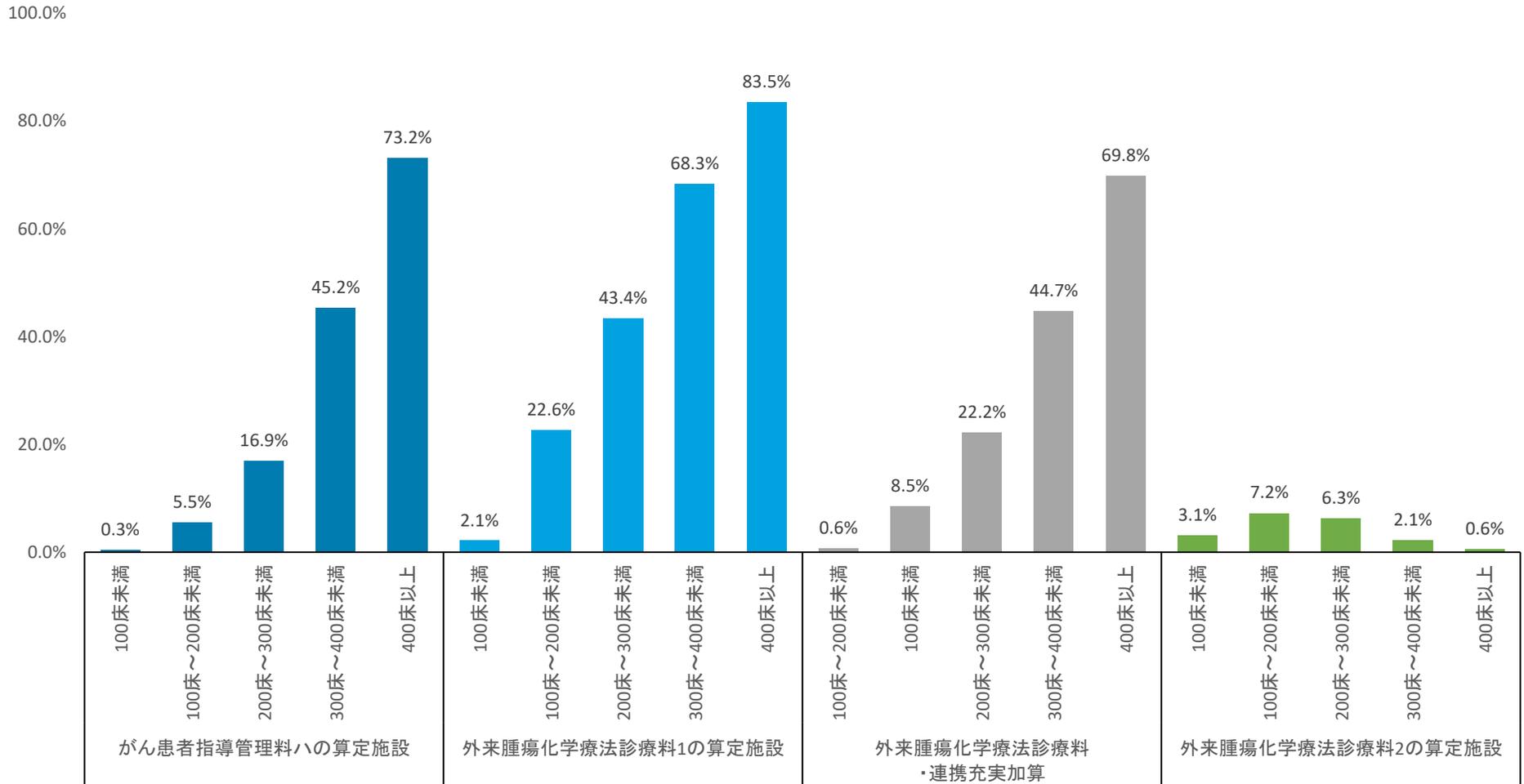
薬剤師に係る各種加算の算定状況_病床規模別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- がん患者指導料管理料ハは、400床以上の施設では73.2%の施設が算定している。
- 外来腫瘍化学療法診療料1は、300床以上の規模が大きい施設で約7割以上、200～300床の施設では40%台である。
- 外来腫瘍化学療法診療料・連携充実加算は、300床以上の規模が大きい施設では4割以上の施設が算定している。

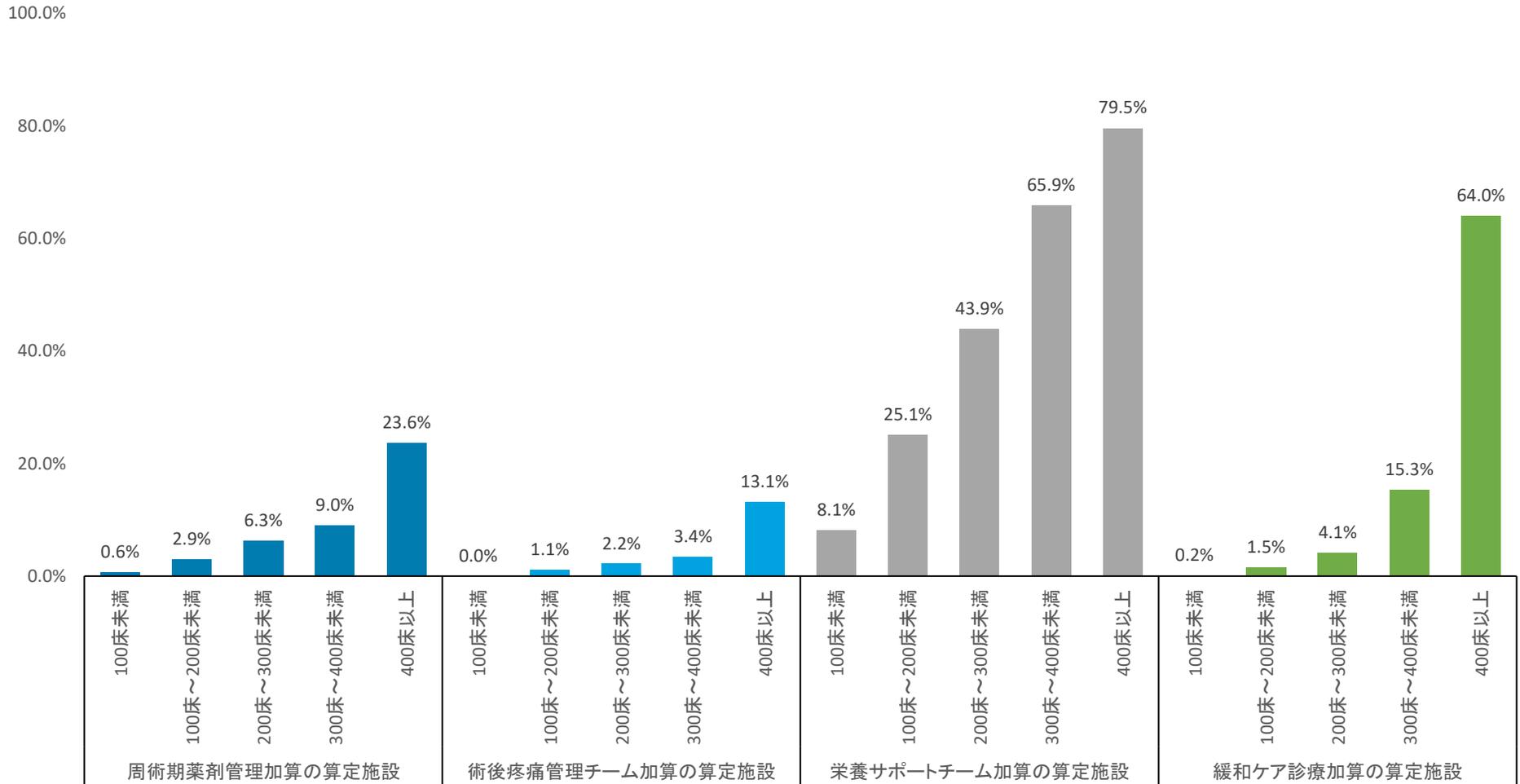
薬剤師に係る各種加算の算定状況_病床規模別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 栄養サポートチーム加算は、300床以上の施設では6割以上の施設が算定している。
- 緩和ケア診療加算は、400床以上の規模が大きい施設では64.0%である。

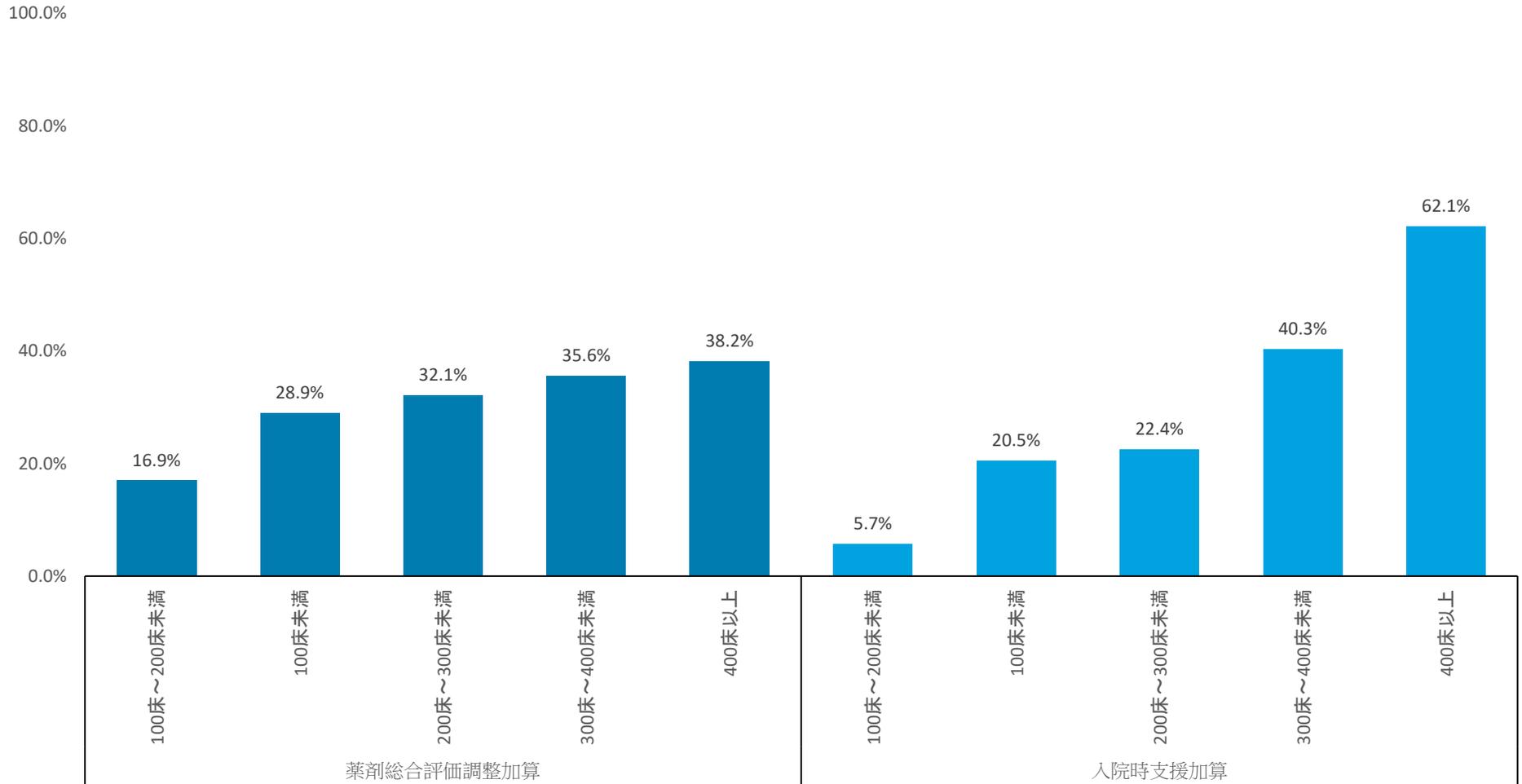
薬剤師に係る各種加算の算定状況_病床規模別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 薬剤総合評価調整加算は100床以上の施設では20%～30%台の施設が算定している。
- 入院時支援加算は、300床以上の規模が大きい施設では4割以上の施設が算定している。

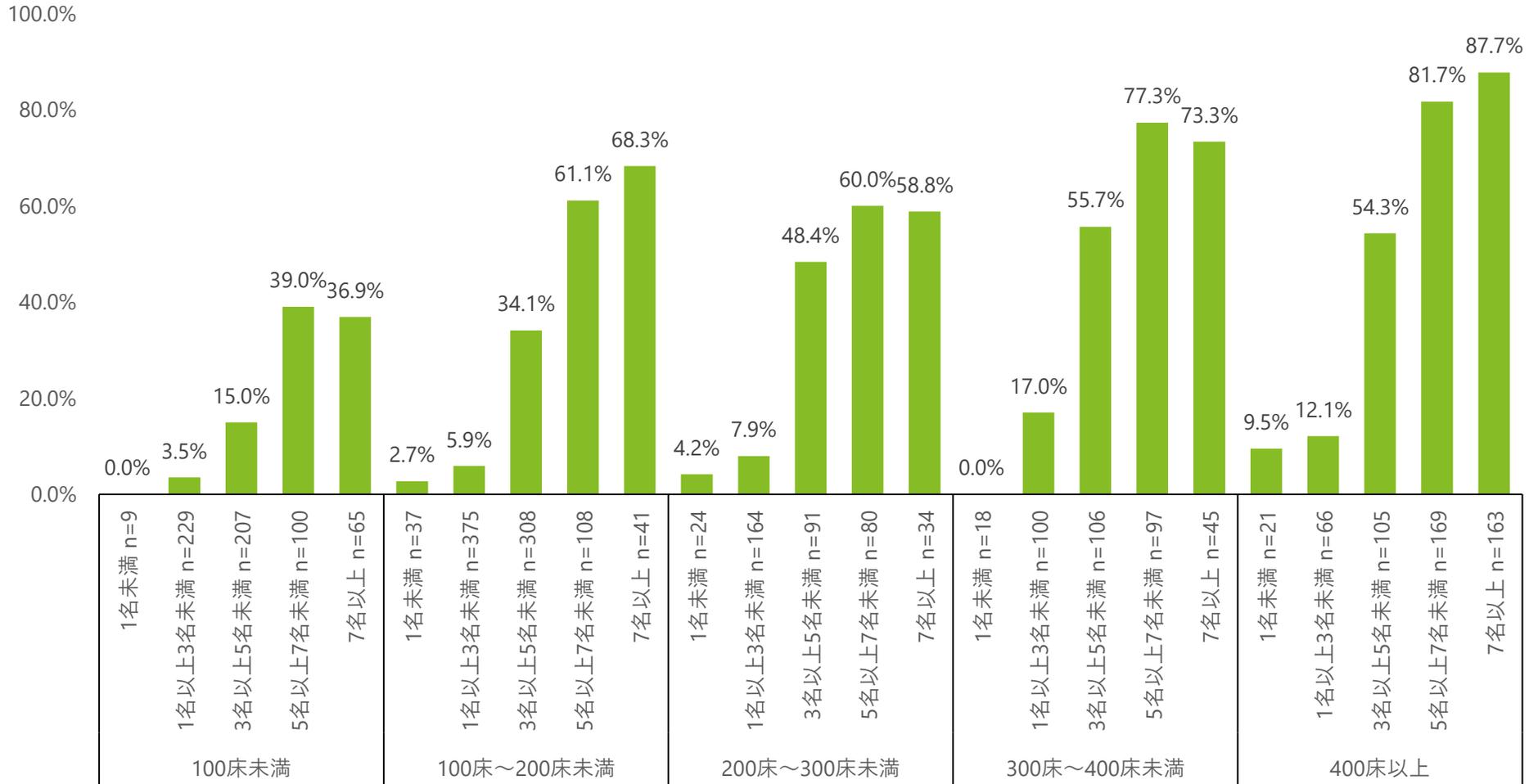
薬剤師に係る各種加算の算定状況_病床規模別 (n=2,179)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 病棟薬剤業務実施加算は、200床以上の施設では100床あたり薬剤師数が3名以上の施設で算定が4割以上となっている。100床～200床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が5名以上7名未満の施設で、算定が6割以上となっている。

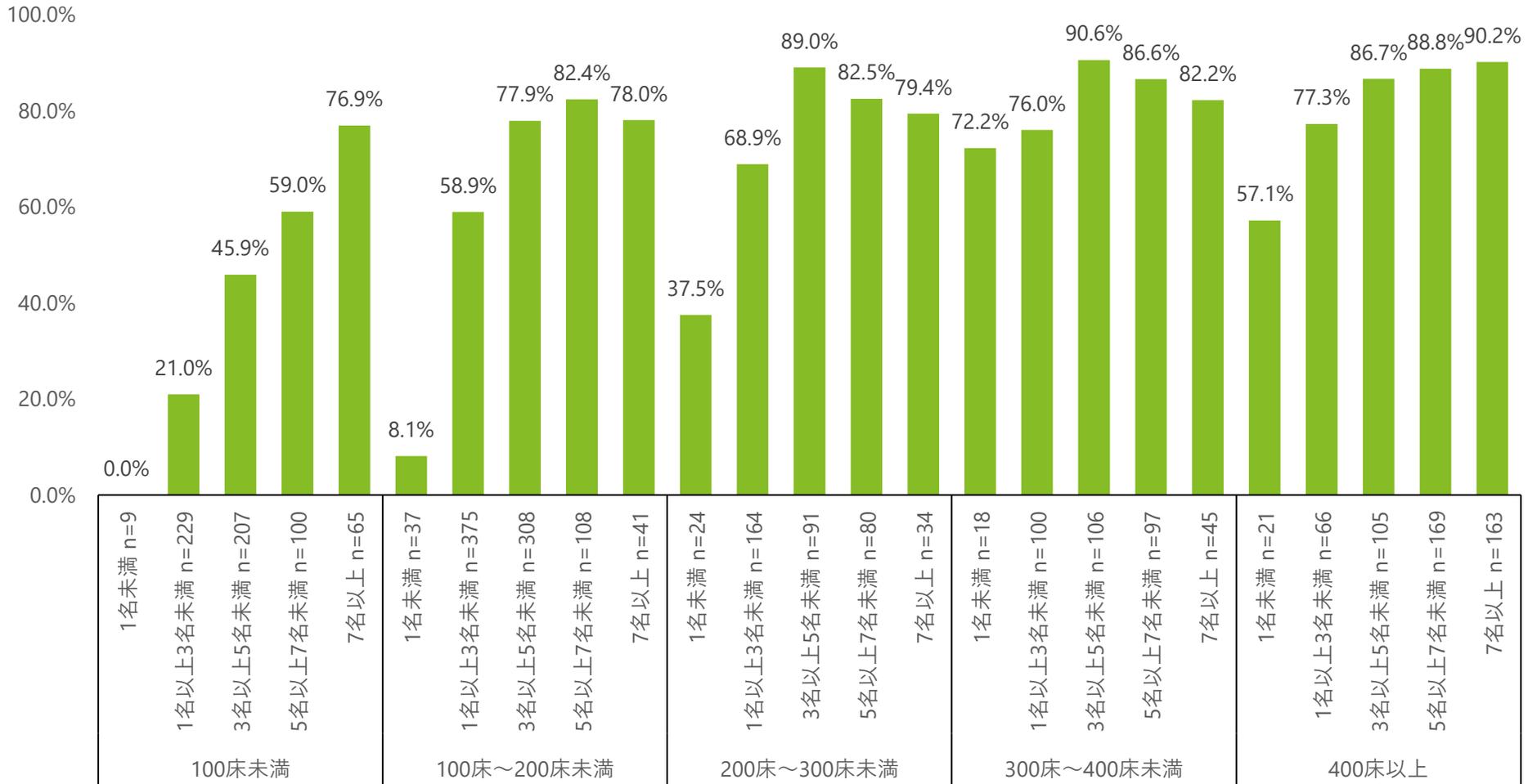
病棟薬剤業務実施加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 薬剤管理指導料は、300床以上の施設ではいずれの100床あたり薬剤師数の区分においても5割を超える施設が算定している。100床～300床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が3名以上の施設で約8割以上が算定している。100床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が3名以上の施設で6割以上が算定している。

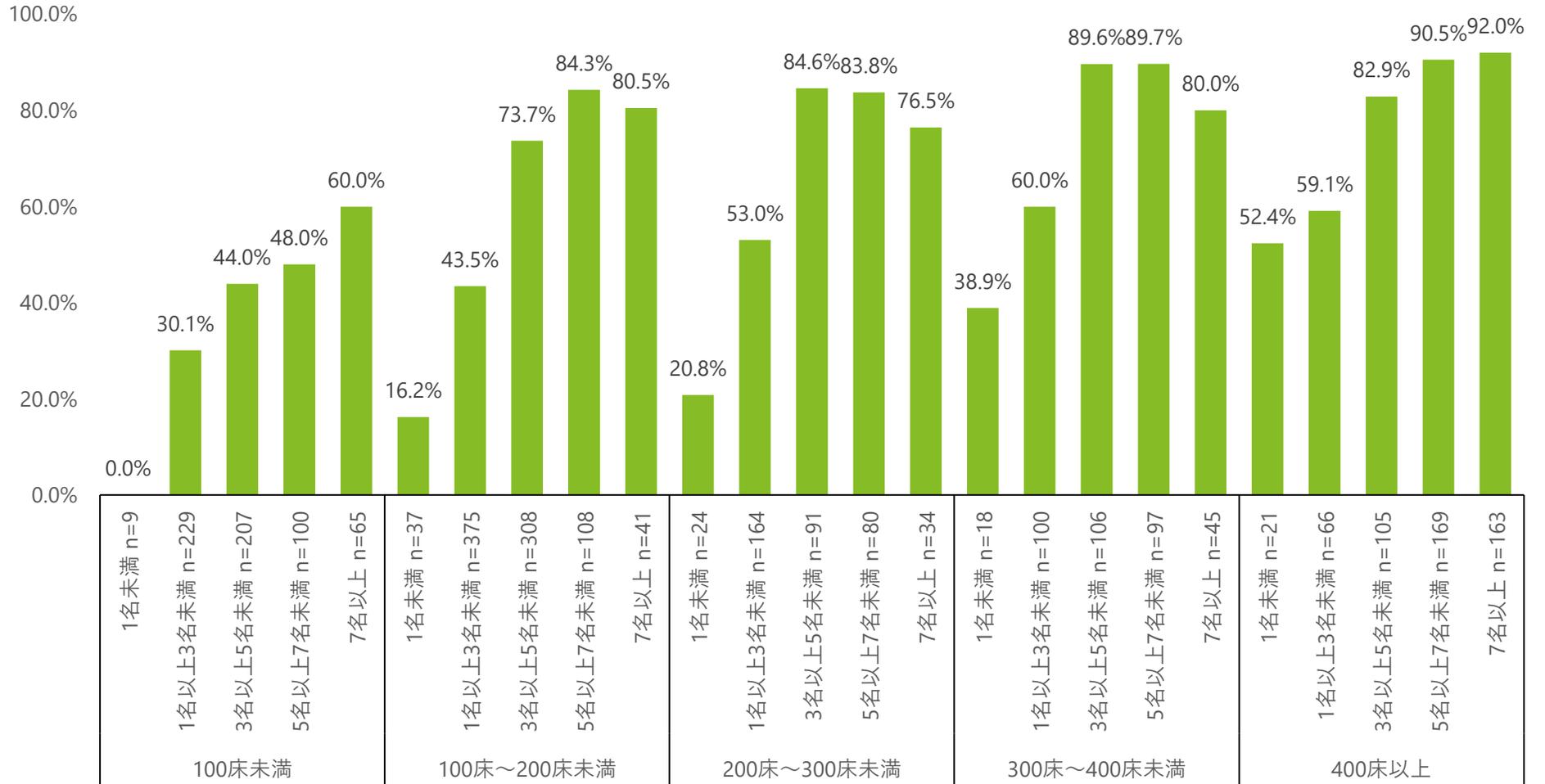
薬剤管理指導料_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 感染対策向上加算は、100床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設で算定が約7割を超えている。100床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が5名以上の施設で5割以上が算定している。

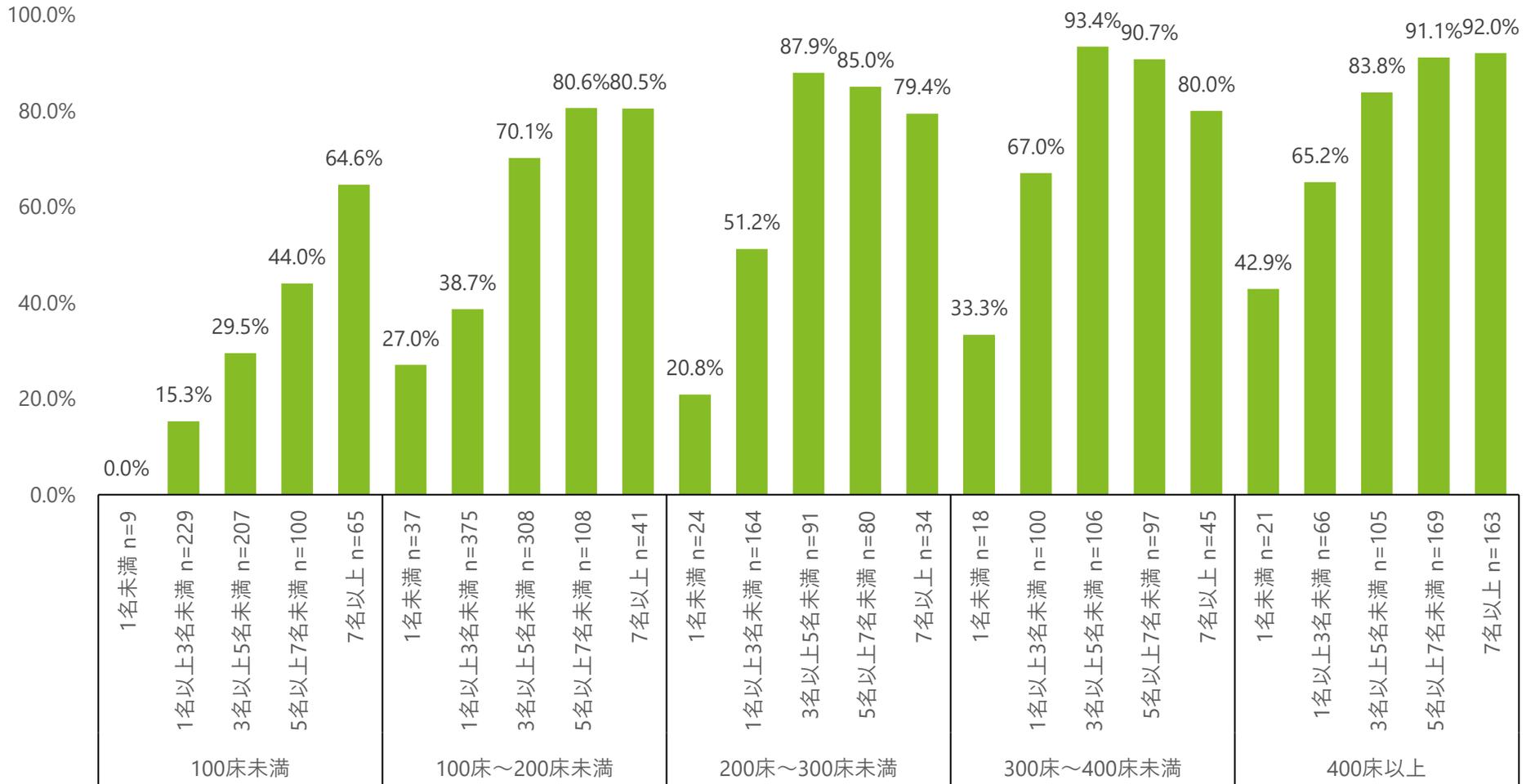
感染対策向上加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 医療安全対策加算は、100床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設5名未満の施設で算定が約7割を超えている。100床未満の施設では、100床あたり薬剤師数が7名以上の施設で6割が算定している。

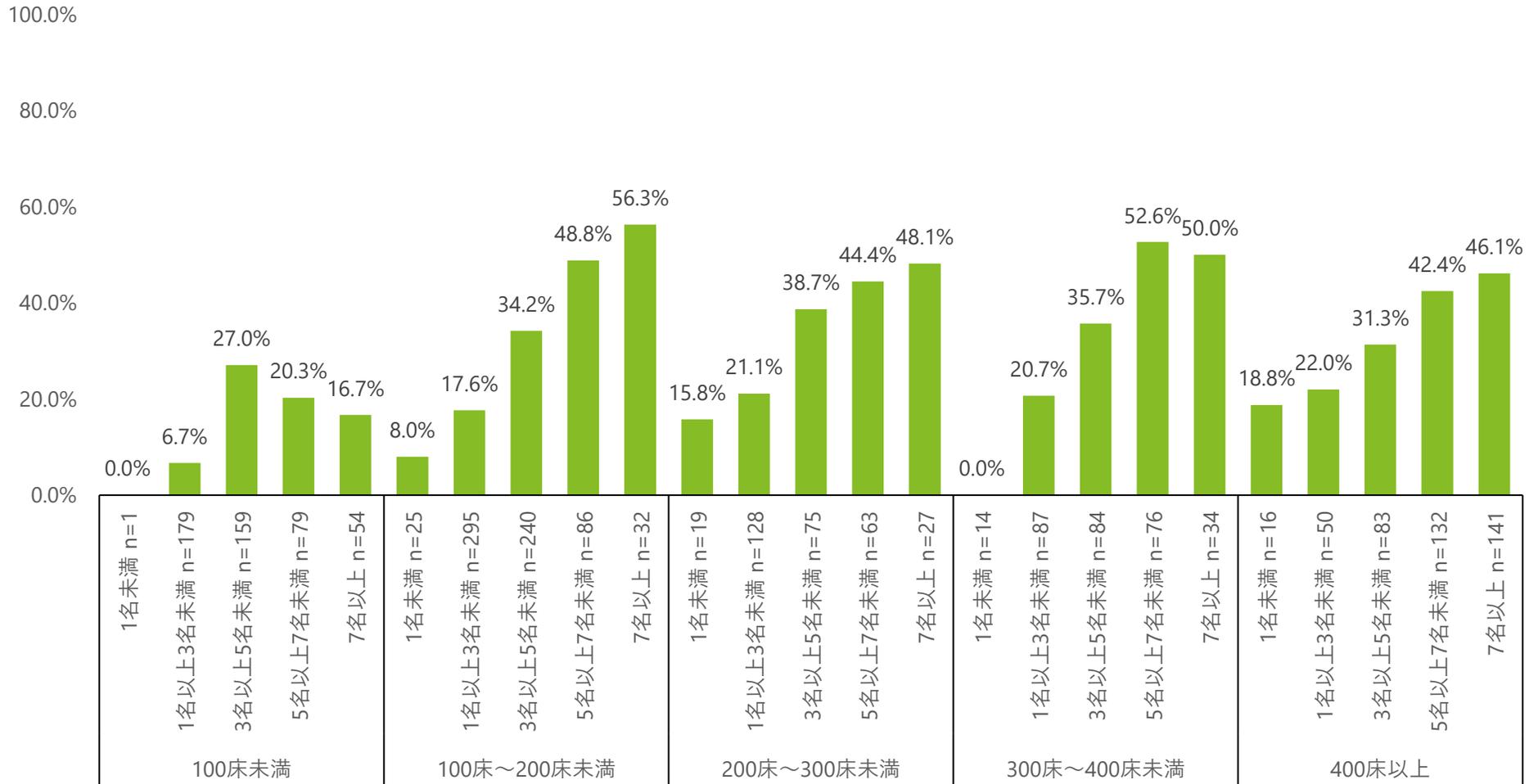
医療安全対策加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 薬剤総合評価調整加算は、100床～200床未満の施設で100床あたり薬剤師数7名以上の施設において約6が算定している。また、100床～200床未満の施設で100床あたり薬剤師数5名以上7名未満の施設と、200床～300床未満の施設で100床あたり薬剤師数7名以上の施設、300床～400床未満施設で100床あたり薬剤師数5名以上の施設では、約5割の算定となっている。

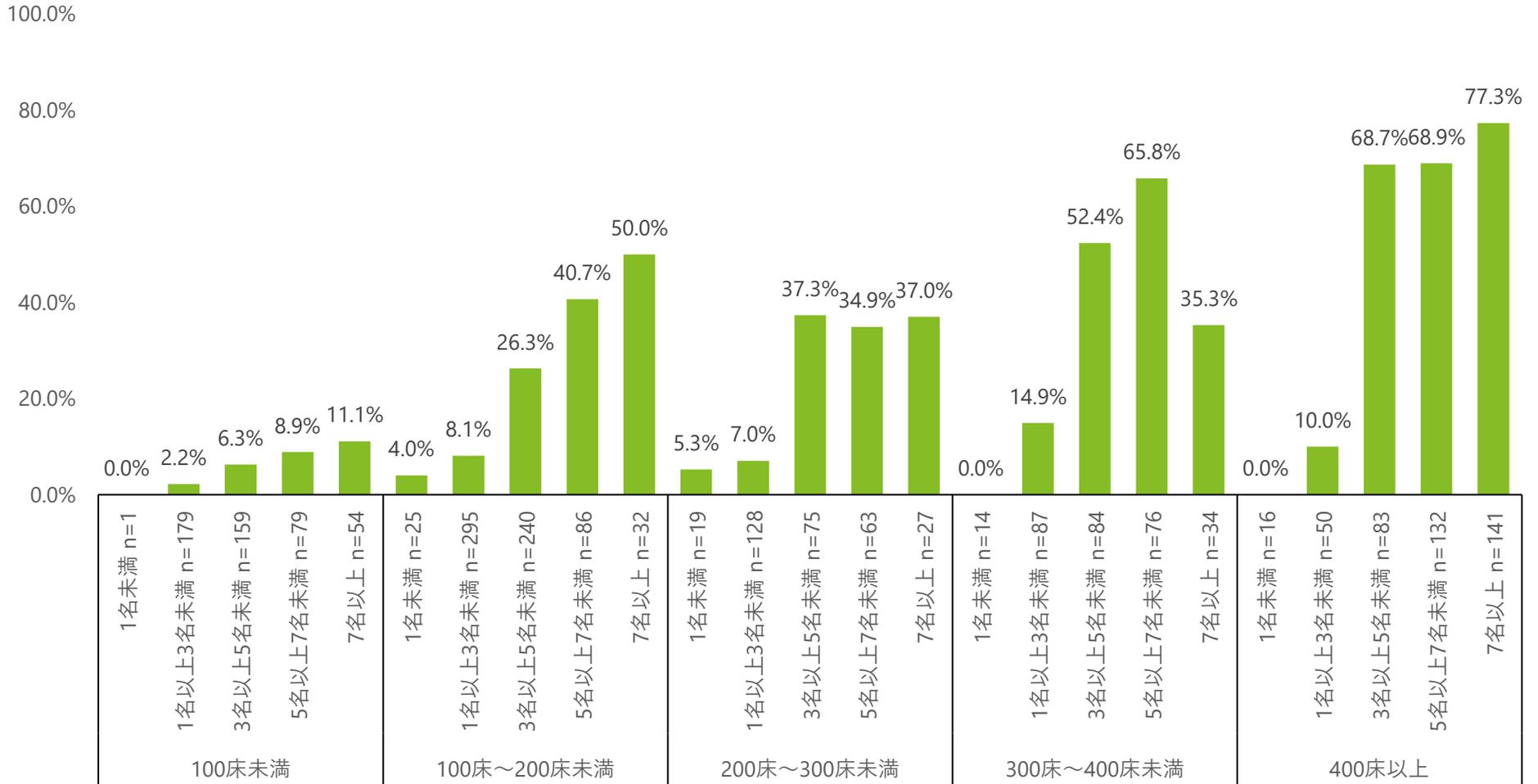
薬剤総合評価調整加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,179)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 入院時支援加算は、400床以上の規模が大きい施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設において約7割以上が算定している。また、100床～200床未満の施設で100床あたり薬剤師数7名以上の施設と、300床～400床未満施設で100床あたり薬剤師数3名以上7名未満の施設では、約5割以上の算定となっている。

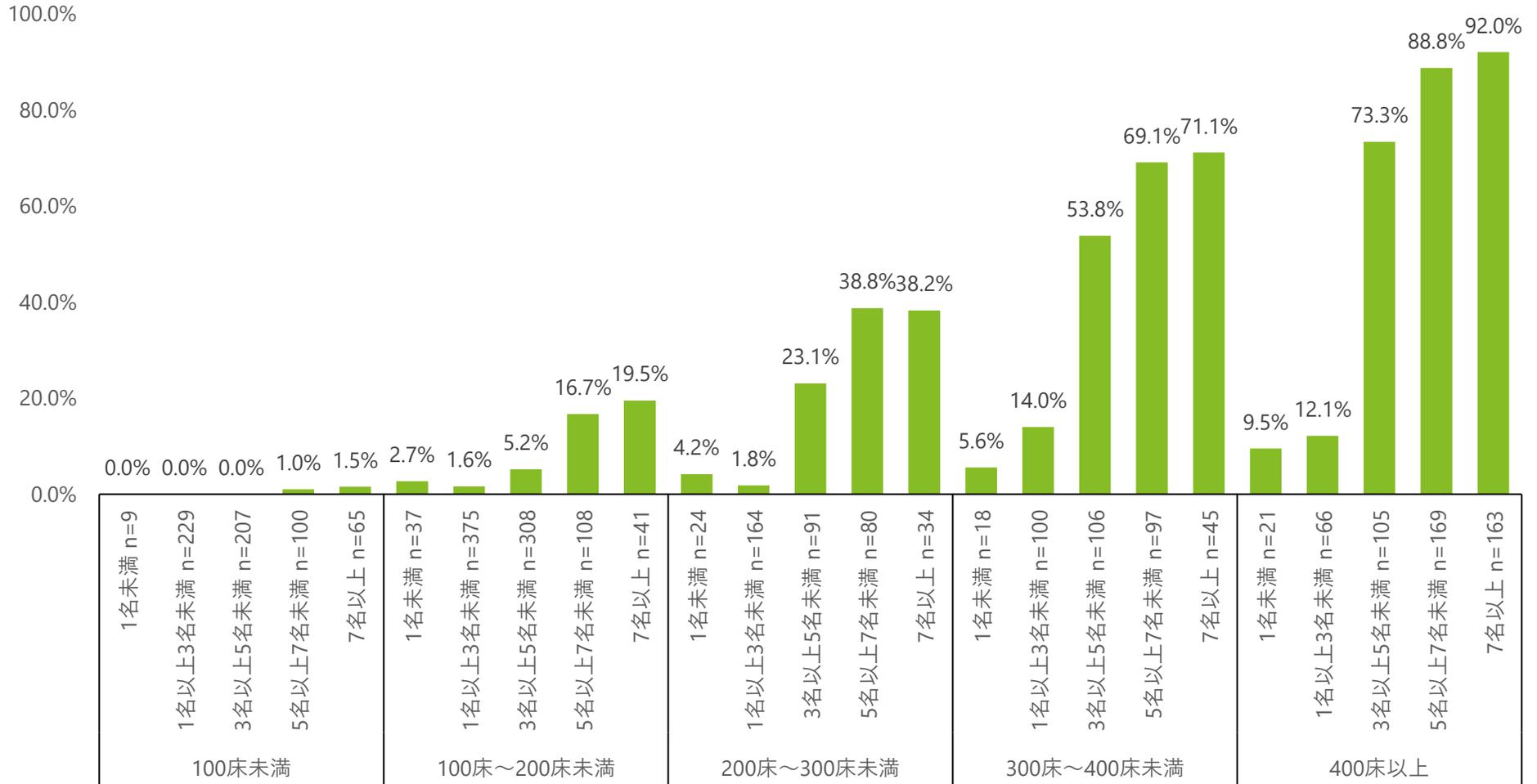
入院時支援加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,179)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- がん患者指導管理料Ⅷは、300床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設で5割以上が算定している。また、200床以上300床未満の施設では100床あたり薬剤師数5名以上の施設で約4割が算定している。

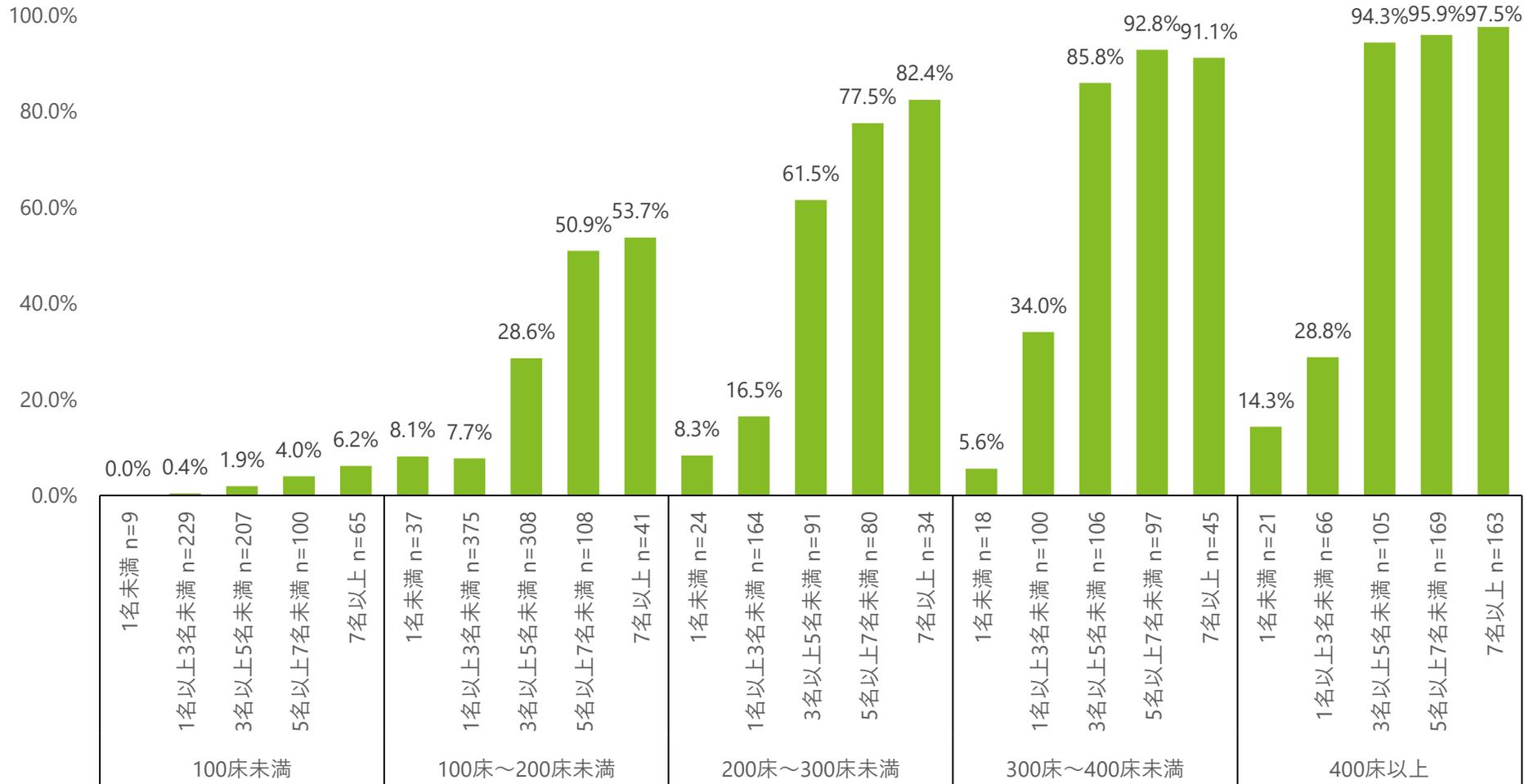
がん患者指導管理料Ⅷ算定_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 外来腫瘍化学療法診療料 1 は、200床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上施設で6割以上が算定している。また、100～200床未満の施設では100床あたり薬剤師数5名以上の施設で5割が算定している。

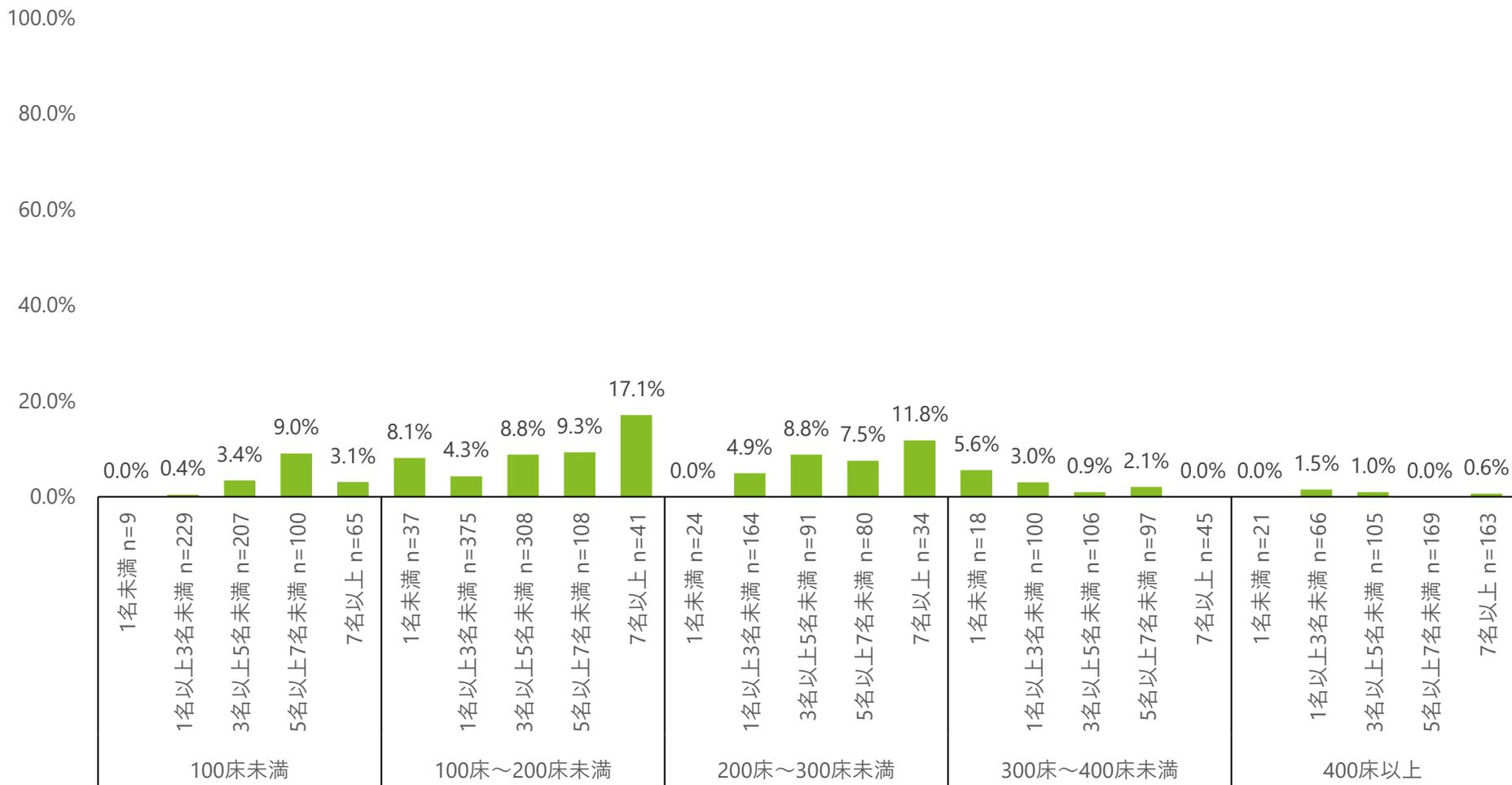
外来腫瘍化学療法診療料 1 算定_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 外来腫瘍化学療法診療料 2 は、100床～200床未満の施設で、100床あたり薬剤師数7名以上の施設では約2割が算定しているが、その他は1割未満となっている。

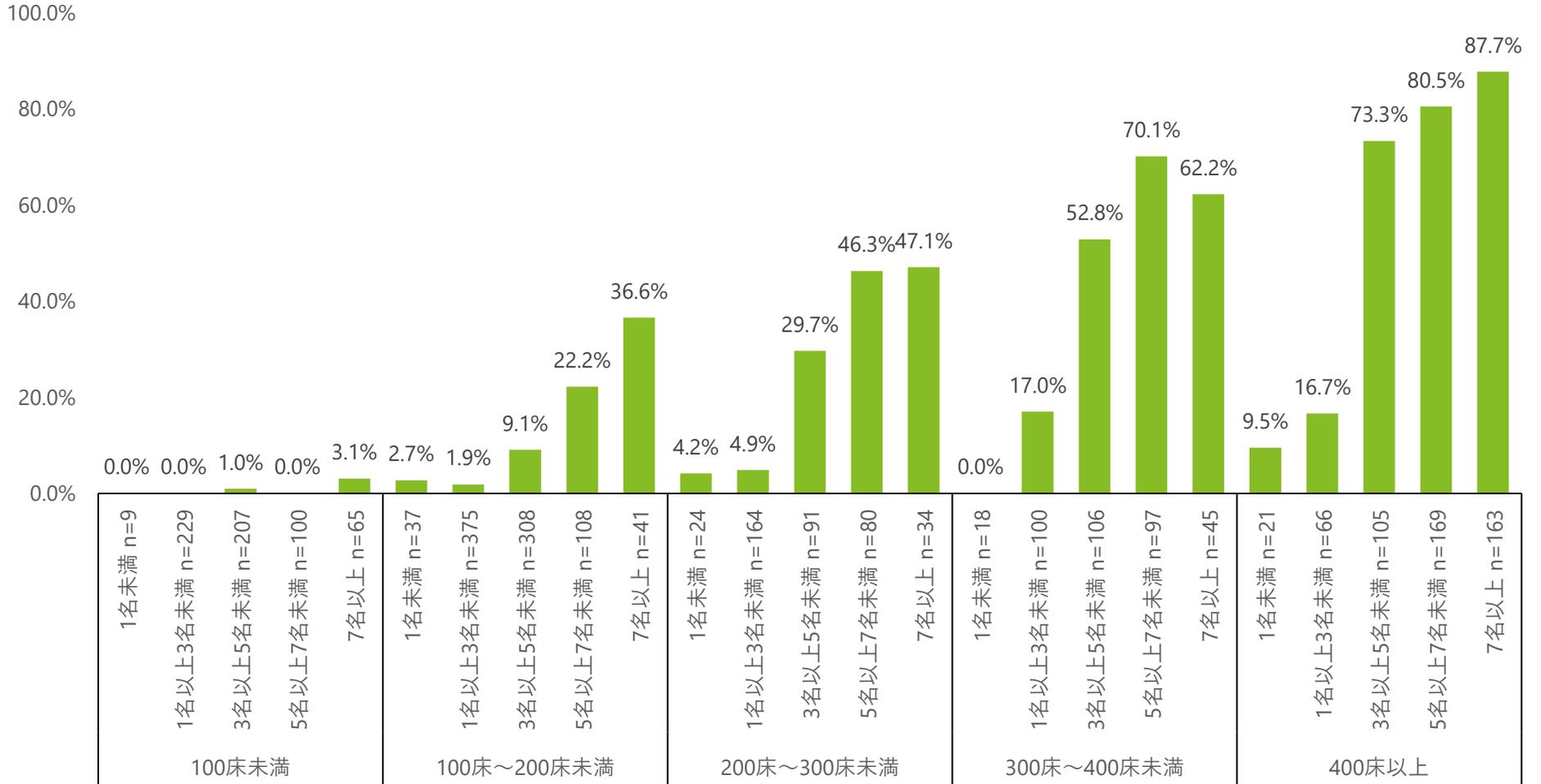
外来腫瘍化学療法診療料 2 _病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 外来腫瘍化学療法診療料・連携充実加算は、300床以上の規模が大きい施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設において5割以上が算定している。また、200床～300床未満施設では100床あたり薬剤師数5名以上の施設で、4割台の算定となっている。

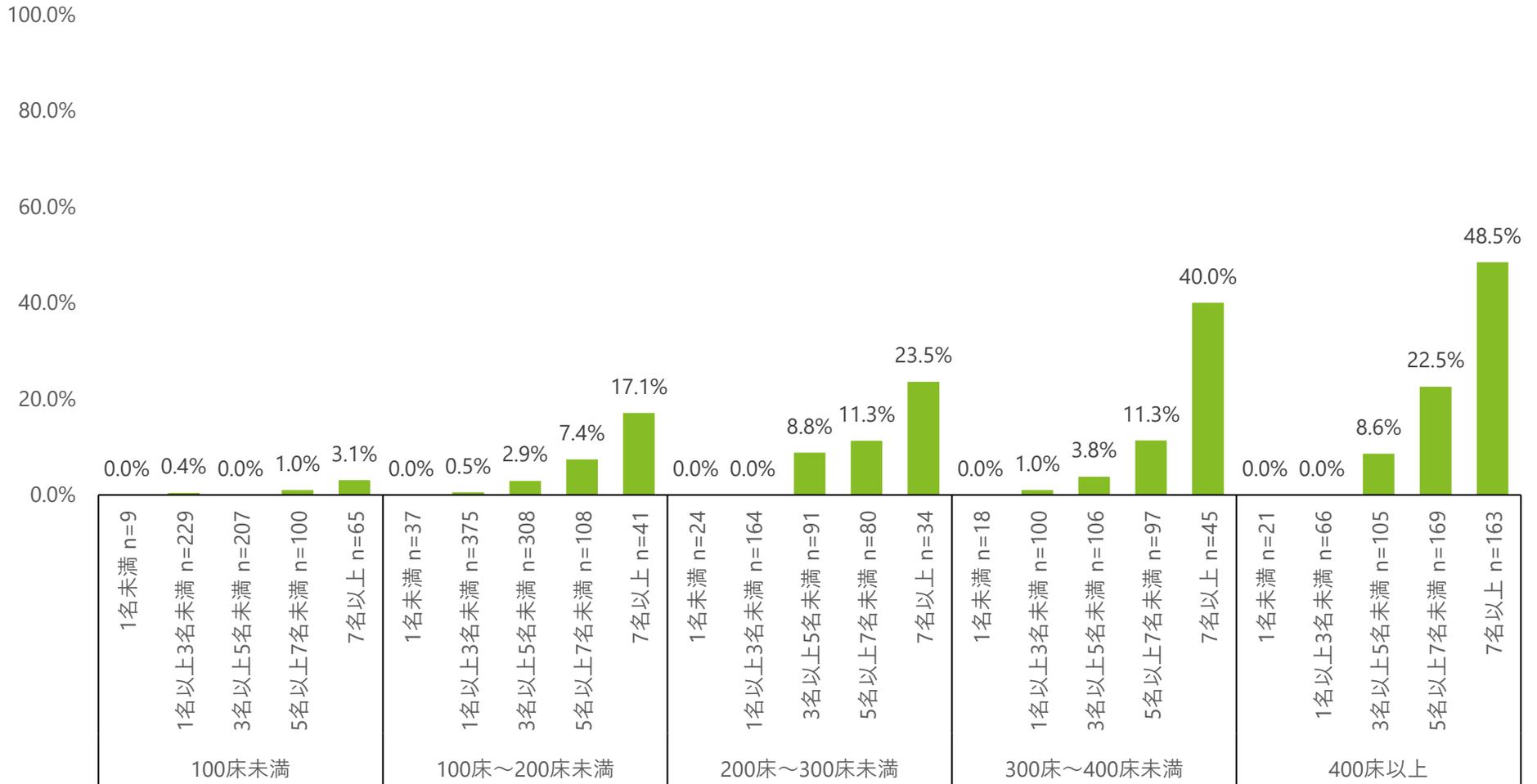
外来腫瘍化学療法診療料・連携充実加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 周術期薬剤管理加算は、300床以上の施設では100床あたり薬剤師数7名以上の施設で4割の施設が算定している。また、100床～300床未満の施設では100床あたり薬剤師数7名以上の施設において、400床以上の施設では100床あたり薬剤師数5名以上7名未満の施設で約2割が算定している。

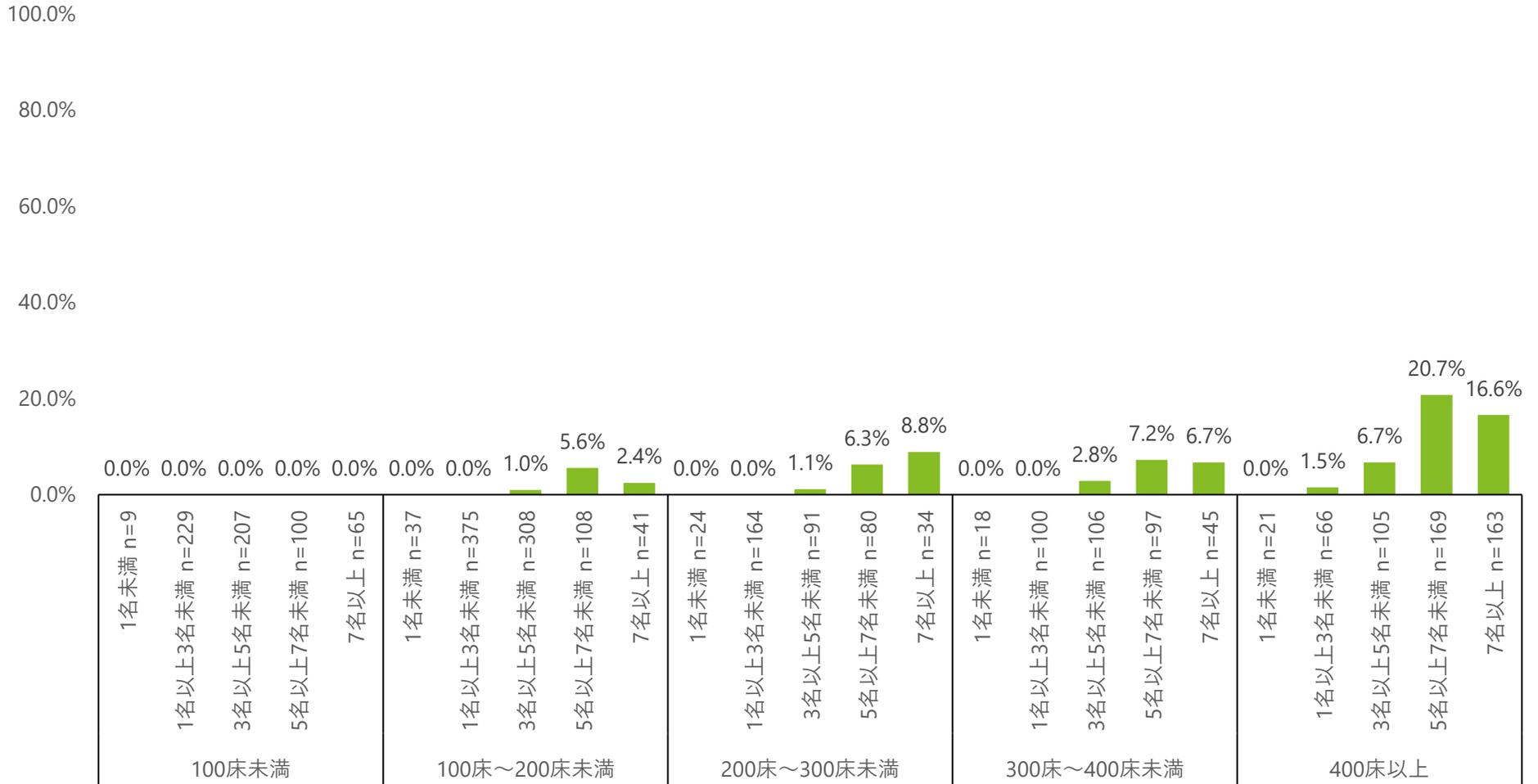
周術期薬剤管理加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 術後疼痛管理チーム加算は、400床以上の規模が大きい施設では100床あたり薬剤師数5名以上の施設で約2割が算定している。しかし、それ以外は算定割合が1割を下回っている。

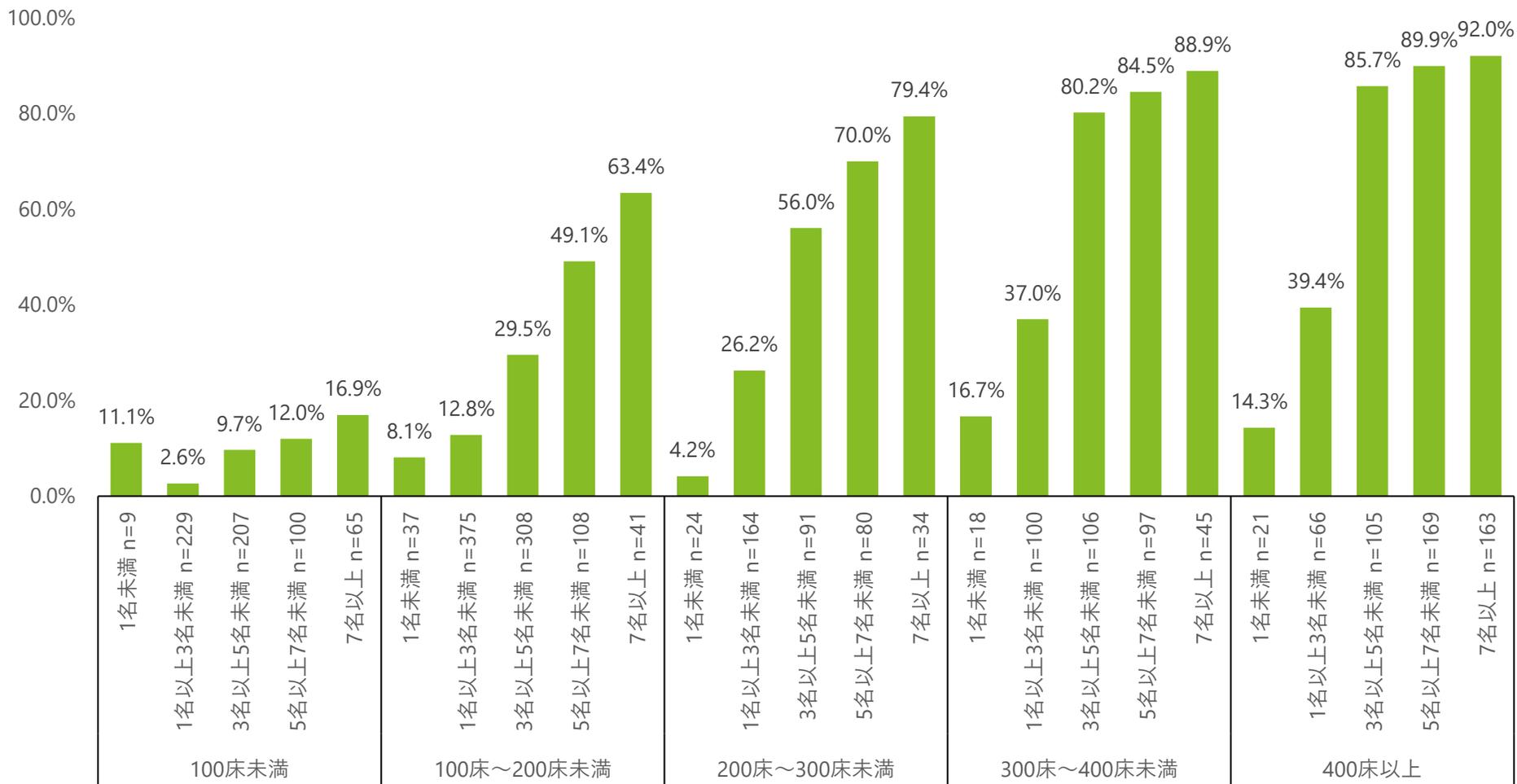
術後疼痛管理チーム加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 栄養サポートチーム加算は、200床以上の施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設で約6割以上が算定している。また、100床～200床未満の施設では100床あたり薬剤師数7名以上の施設で63.4%が算定している。

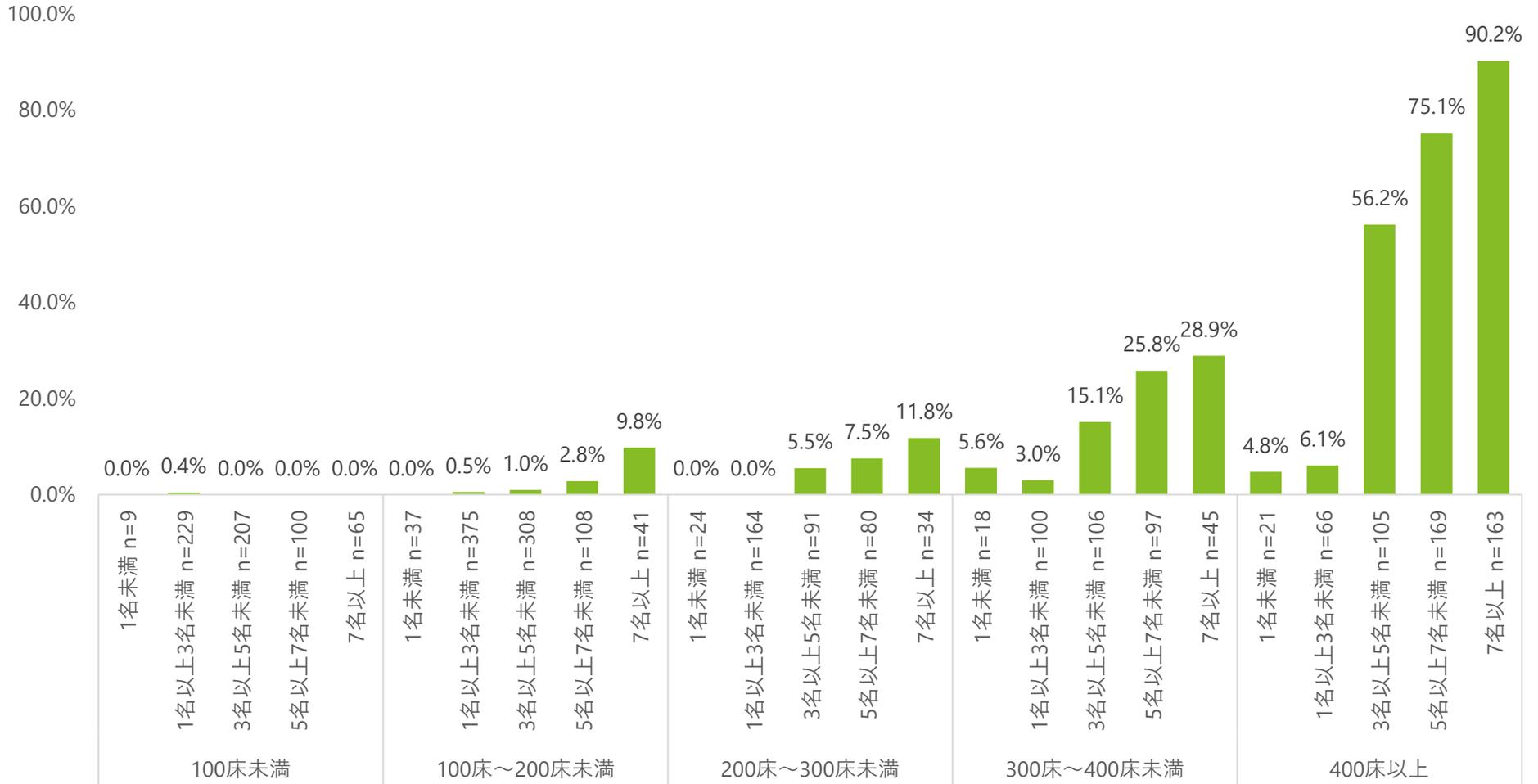
栄養サポートチーム加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【薬剤師に係る各種加算の算定状況】

- 緩和ケア診療加算は、400床以上の規模が大きい施設では100床あたり薬剤師数3名以上の施設で約6割以上が算定している。また、300床～400床未満の施設で100床あたり薬剤師数5名以上の施設では、2割台の算定となっている。

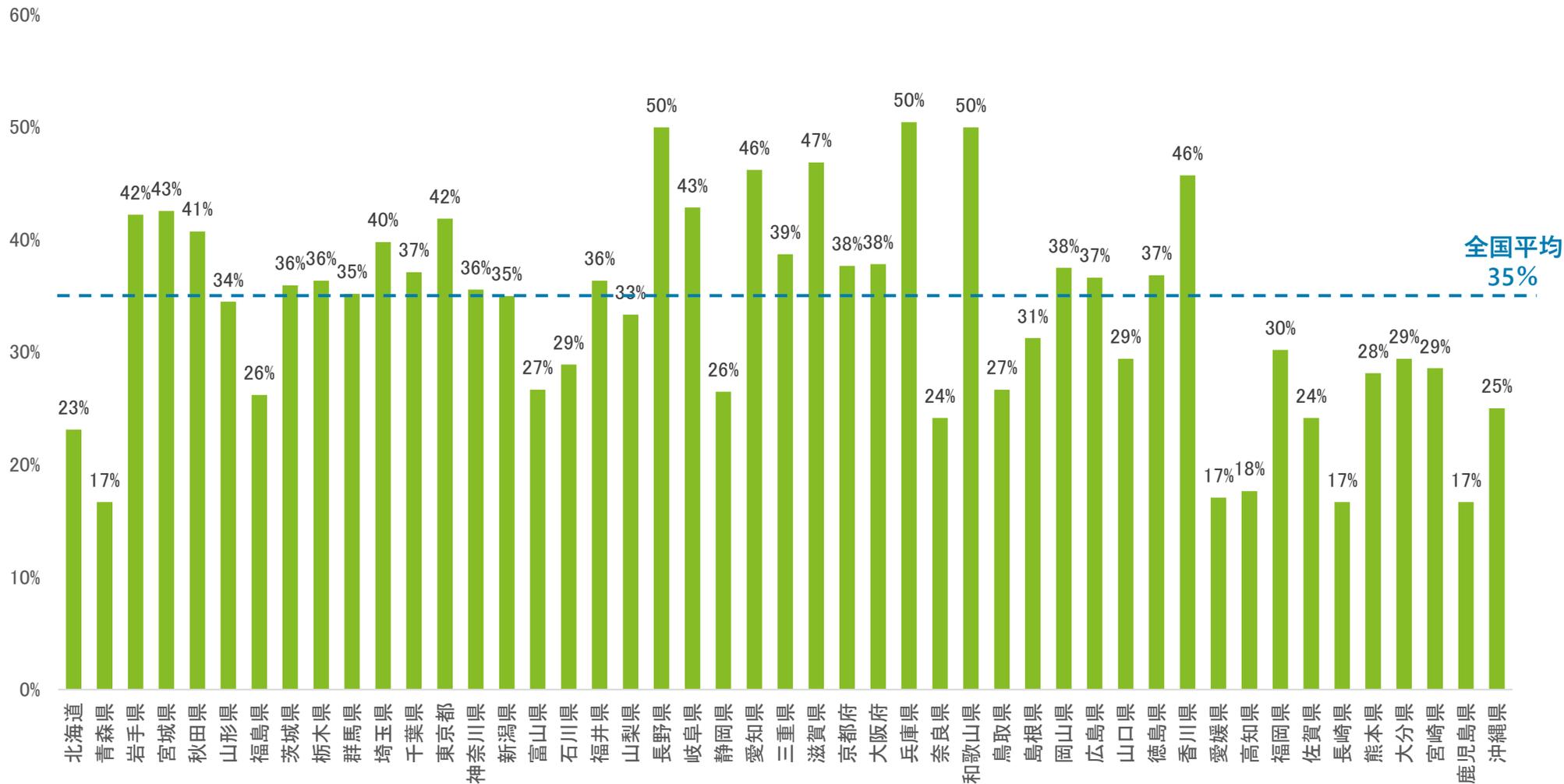
緩和ケア診療加算_病床規模別、100床あたり薬剤師数別 (n=2,829)



【参考 病棟薬剤業務実施加算の算定状況】

- 回答施設のデータに基づくと全国における病棟薬剤業務実施加算の算定施設は35%だった。

病棟薬剤業務実施加算の算定率（算定施設／回答施設）_都道府県別



③薬剤師人数に係る分析

薬剤師人数サマリ

病棟薬剤業務実施加算算定有無における薬剤師人数比較

- 病棟薬剤業務実施加算算定有りの施設では、病棟業務に専任の薬剤師が必要であるため、加算算定無しの施設に比べて100床あたり2～3人程度多くなっている。また、1病棟あたり薬剤師数も1病棟あたり1人程度多くなっている。

100床あたり薬剤師数比較

- 100床あたり薬剤師人数について、病棟薬剤業務実施加算算定有りの施設では5名以上7名未満が、病棟薬剤業務実施加算算定無しの施設では1名以上3名未満がボリュームゾーンとなっている。さらに、都市部では比較的100床あたり薬剤師数が多い傾向にあり、神戸市、横浜市、京都市では100床あたり薬剤師数（平均）が5.3名以上となっている。

1病棟あたり薬剤師数比較

- 1病棟あたり薬剤師人数について、病棟薬剤業務実施加算算定有りの施設では2名以上3名未満が、病棟薬剤業務実施加算算定無しの施設では1名以上2名未満がボリュームゾーンとなっている。さらに、都市部では比較的1病棟あたり薬剤師数が多い傾向にあり、神戸市、名古屋市では1病棟あたり薬剤師数（平均）が2.4名以上となっている。

薬剤師欠員状況
100床あたり薬剤師数・
1病棟あたり薬剤師数

- 100床あたり薬剤師数が少ない都道府県では比較的欠員率が高い傾向にある（回答施設の欠員数に基づく算出）。
- 1病棟あたり薬剤師数が少ない都道府県では比較的欠員率が高い傾向にある（回答施設の欠員数に基づく算出）。

【病棟薬剤業務実施加算_算定有無における薬剤師人数】

- 病棟薬剤業務実施加算算定有りの施設では、病棟業務に専任の薬剤師が必要であるため、加算算定無しの施設に比べて100床あたり2～3人程度多くなっている。また、1病棟あたり薬剤師数も1病棟あたり1人程度多くなっている。

病棟薬剤業務実施加算_算定有り

病床規模 区分	100床あたり 薬剤師数		薬剤師1人あたり 病床数		1病棟あたり 薬剤師数	
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
400床以上 (n=349)	6.53	6.51	17.10	15.75	2.34	2.26
300床～ 400床未満 (n=184)	5.69	5.42	20.81	18.49	2.25	2.20
200床～ 300床未満 (n=126)	5.25	5.13	22.00	19.51	2.14	2.00
100床～ 200床未満 (n=222)	4.97	4.64	24.33	21.80	2.15	2.00
100床未満 (n=102)	5.76	5.45	20.69	18.27	2.41	2.15
全体	5.78	5.60	20.44	18.00	2.25	2.17

病棟薬剤業務実施加算_算定無し

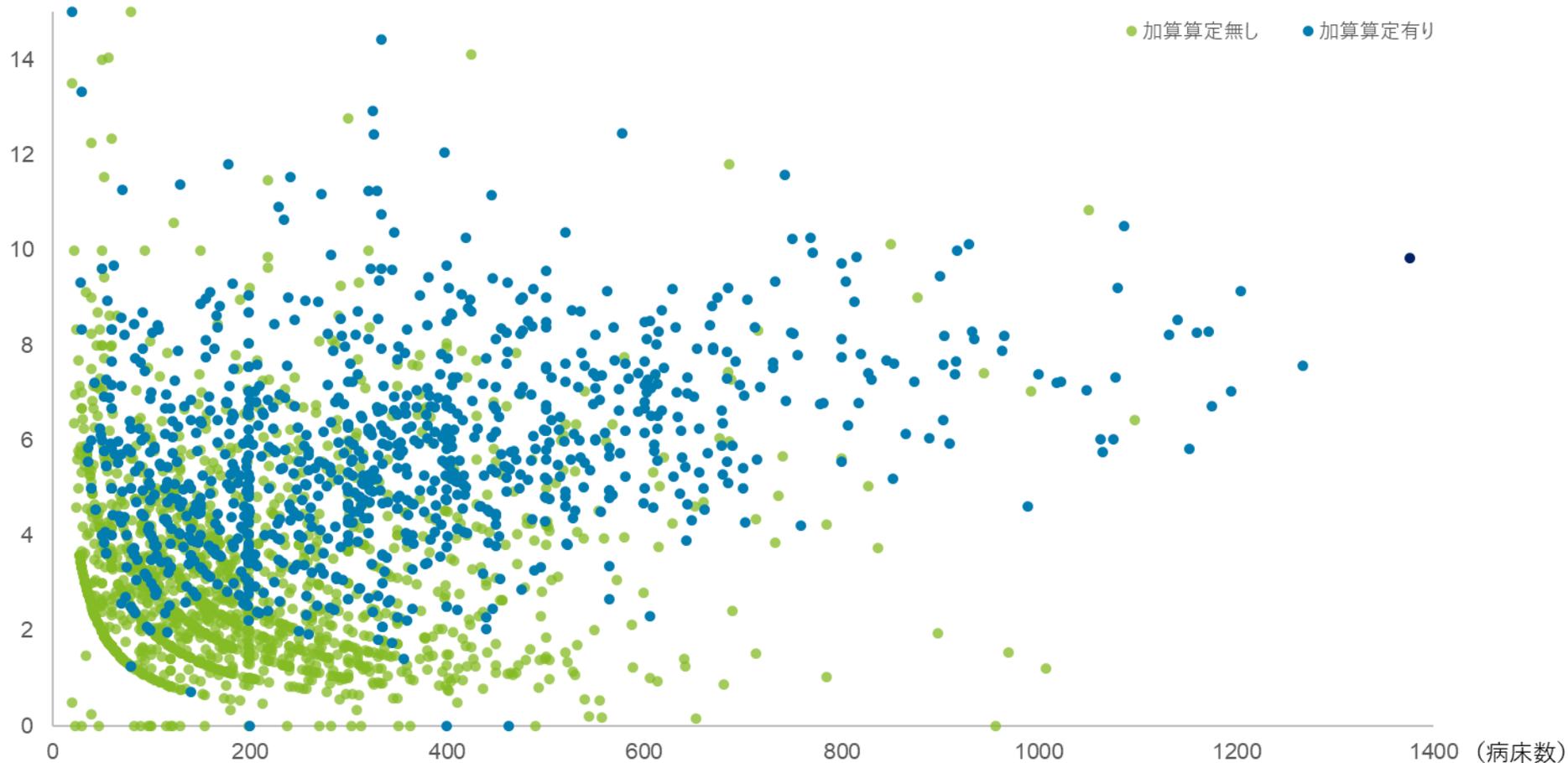
病床規模 区分	100床あたり 薬剤師数		薬剤師1人あたり 病床数		1病棟あたり 薬剤師数	
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
400床以上 (n=184)	3.72	3.75	56.04	28.09	1.75	1.68
300床～ 400床未満 (n=194)	3.15	2.46	49.86	39.39	1.62	1.60
200床～ 300床未満 (n=289)	2.93	2.18	51.19	45.92	1.50	1.25
100床～ 200床未満 (n=664)	2.84	2.54	46.42	39.57	1.39	1.25
100床未満 (n=515)	3.68	3.14	37.37	32.00	1.54	1.15
全体	3.21	2.75	45.86	36.58	1.50	1.29

【病棟薬剤業務実施加算_算定有無における薬剤師人数】

- 病棟薬剤業務実施加算算定有りの施設では、病棟業務に専任の薬剤師が必要であるため、加算算定無しの施設に比べて100床あたり2～3人程度多くなっている。

病棟薬剤業務実施加算_算定有無別の100床あたり薬剤師数のプロット図

(100床あたり薬剤師数)



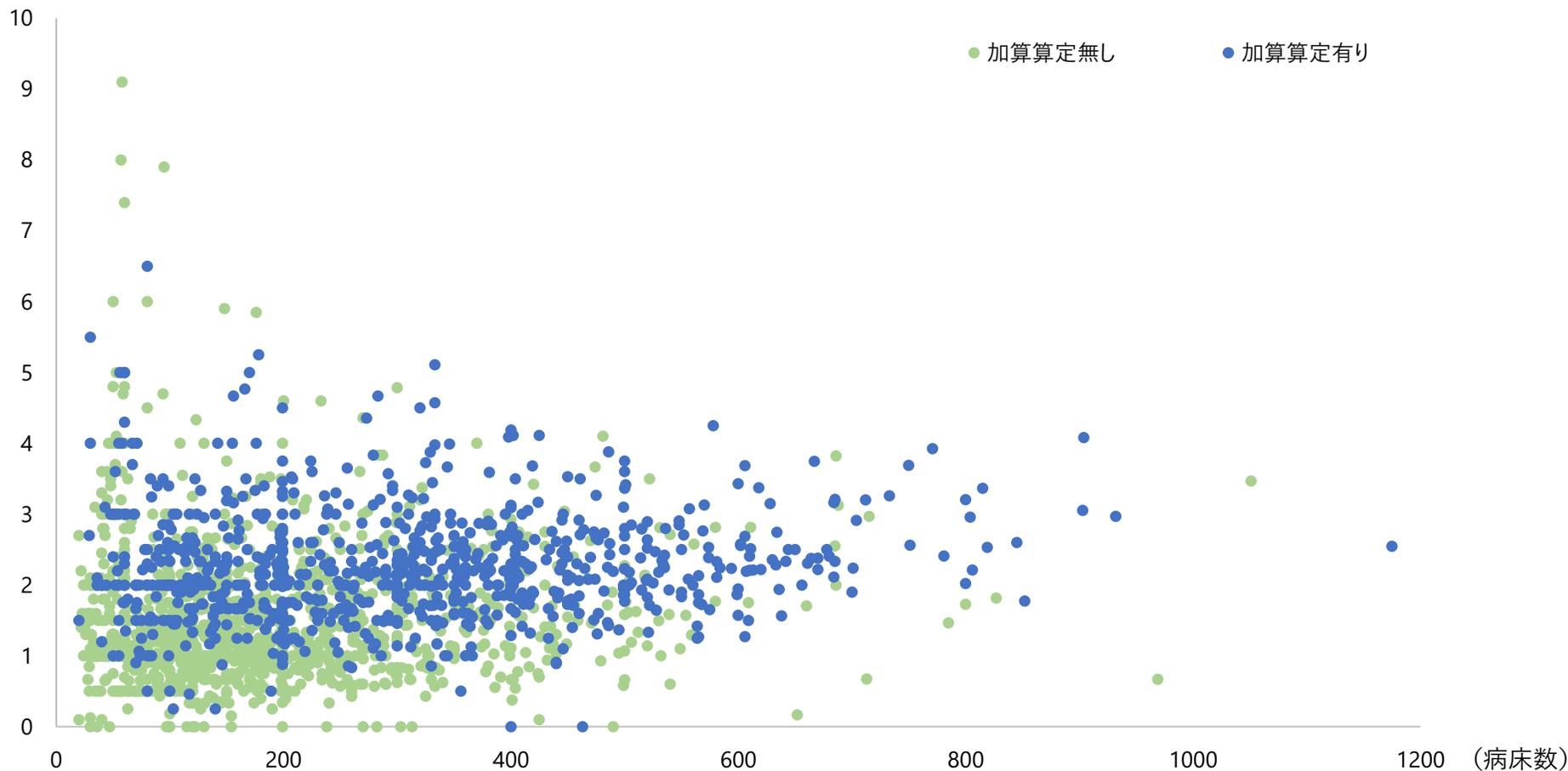
【病棟薬剤業務実施加算_算定有無における薬剤師人数】

- 病棟薬剤業務実施加算算定有りの施設では、病棟業務に専任の薬剤師が必要であるため、加算算定無しの施設に比べて1病棟あたり1人程度多くなっている。

病棟薬剤業務実施加算_算定有無別の1病棟あたり薬剤師数のプロット図

※病床機能報告の病棟票より、病床機能報告義務のない精神科病棟を有する病院は、病棟数に差異が生じるため、除外している。

(1病棟当たり薬剤師数)



【病棟薬剤業務実施加算算定有無における薬剤師人数区分】

- 病棟薬剤業務実施加算算定有りの施設では5名以上7名未満、病棟薬剤業務実施加算算定無し施設では1名以上3名未満、がボリュームゾーンとなっている。

病棟薬剤業務実施加算_算定有無別の100床あたり薬剤師数区分の施設数 (n=2,829)

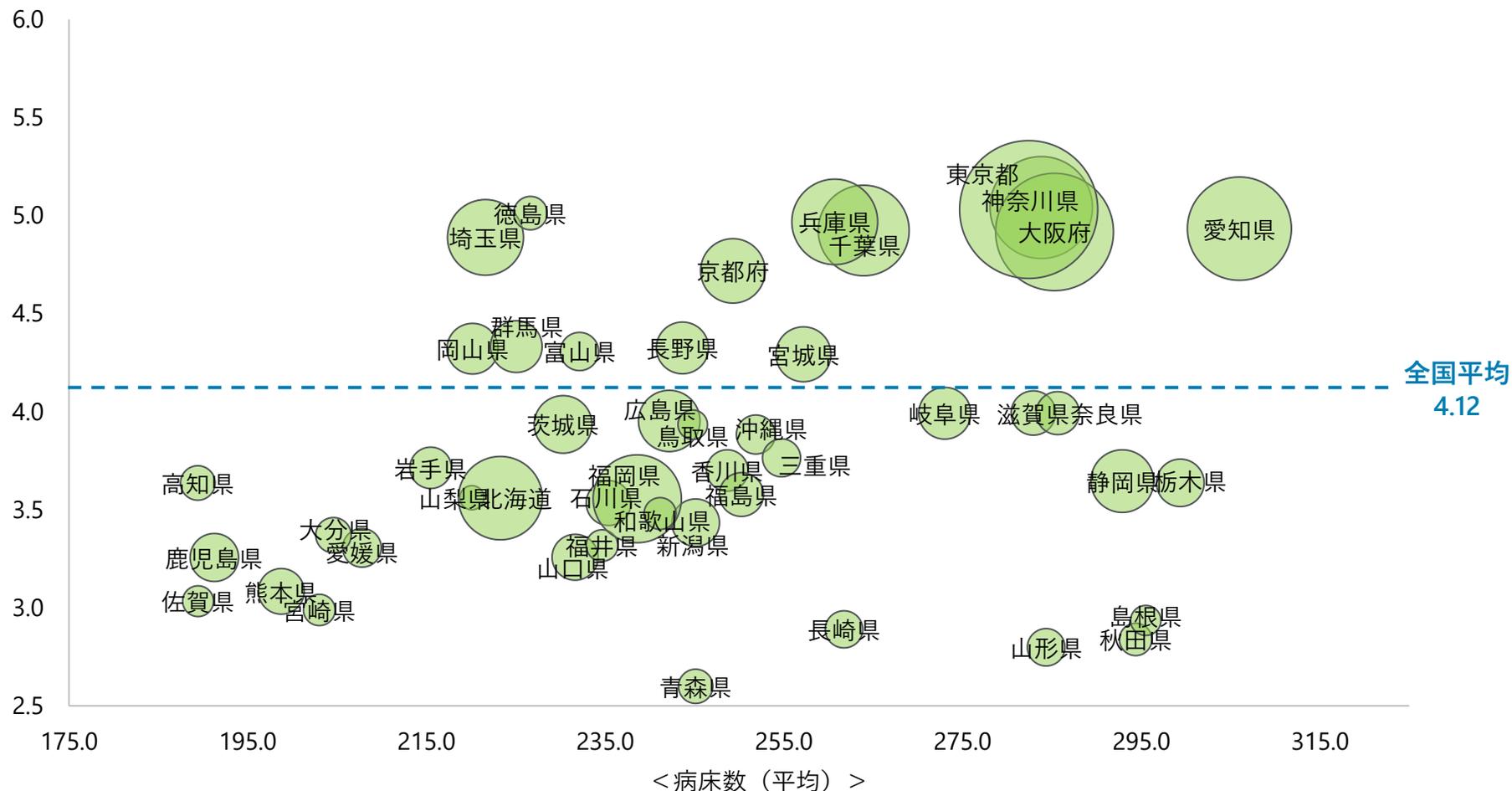
100床あたり薬剤師数	病棟薬剤業務実施加算算定有り (n=983)		病棟薬剤業務実施加算算定無し (n=1,846)	
	施設数	構成比	施設数	構成比
1名未満	4	0.4%	105	5.7%
1名以上3名未満	68	6.9%	866	46.9%
3名以上5名未満	296	30.1%	521	28.2%
5名以上7名未満	366	37.2%	188	10.2%
7名以上	248	25.2%	100	5.4%
不明	1	0.1%	66	3.6%

【参考 100床あたり薬剤師数】

- 都市部では比較的に100床あたり薬剤師数が多い。

100床あたり薬剤師数_都道府県別

< 100床あたり薬剤師数（平均） >



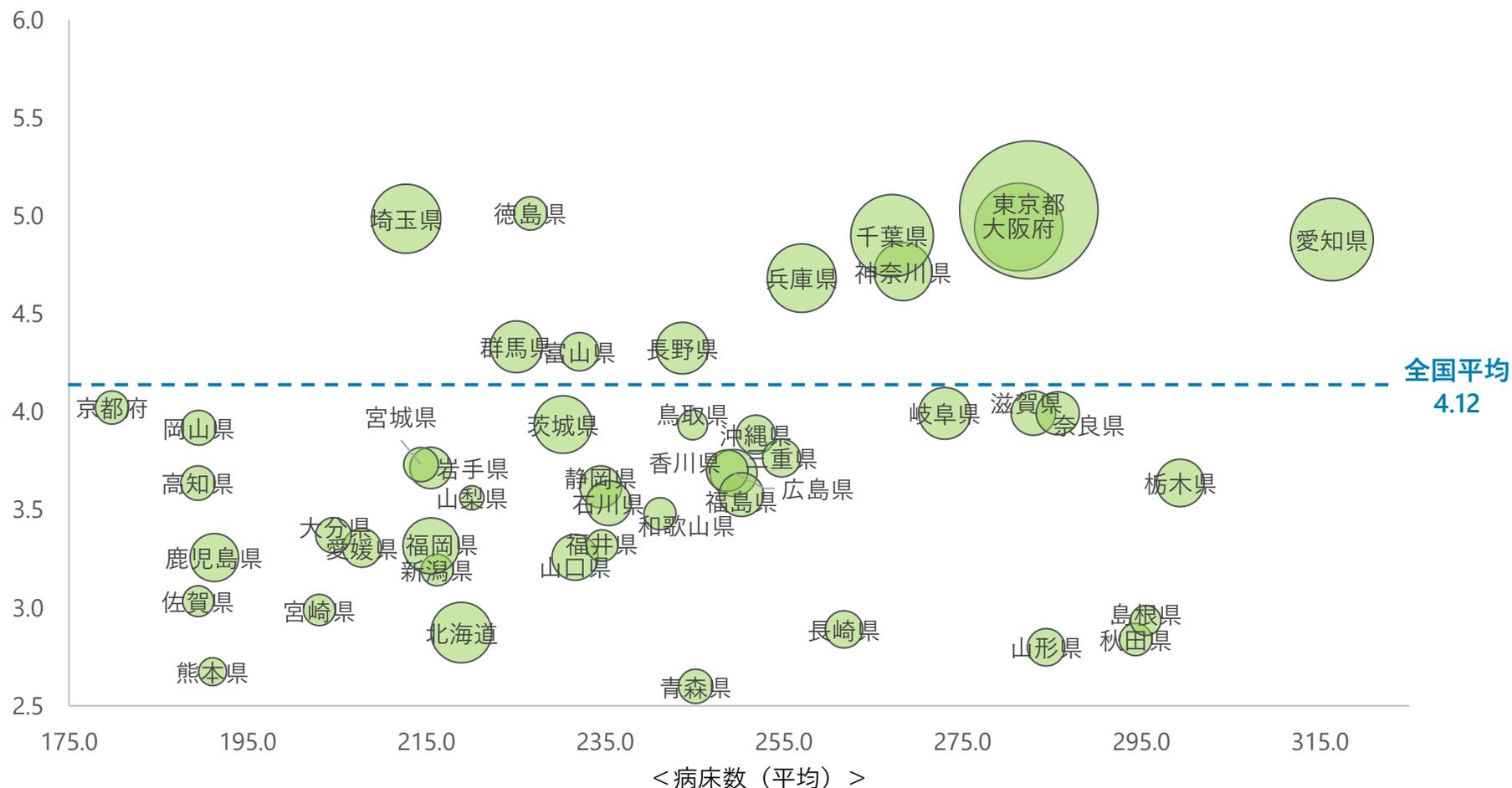
- ●は各都道府県で施設票に回答した医療機関の薬剤部薬剤師数の合計数を基にサイズを設定している。
- 100床あたりの薬剤師数、病床数は各都道府県で施設票に回答した医療機関の平均値を用いている。

【参考 100床あたり薬剤師数（政令指定都市以外）】

- 都市部では比較的に100床あたり薬剤師数が多い。

100床あたり薬剤師数_都道府県別（政令指定都市以外）

< 100床あたり薬剤師数（平均） >



- ●は各都道府県で施設票に回答した医療機関の薬剤部薬剤師数の合計数を基にサイズを設定している。
- 100床あたりの薬剤師数、病床数は各都道府県で施設票に回答した医療機関の平均値を用いている。

【参考 100床あたり薬剤師数（数値）】

都道府県	病床数 /平均	100床あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計	都道府県	病床数 /平均	100床あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計	都道府県	病床数 /平均	100床あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計
北海道	223.3	3.6	1,372	石川県	235.4	3.5	405	岡山県	220.1	4.3	517
青森県	245.1	2.6	239	福井県	234.6	3.3	205	広島県	242.2	4.0	744
岩手県	215.5	3.7	344	山梨県	220.1	3.6	121	山口県	231.6	3.3	425
宮城県	257.2	4.3	600	長野県	243.7	4.3	540	徳島県	226.6	5.0	228
秋田県	294.4	2.8	214	岐阜県	273.0	4.0	537	香川県	248.7	3.7	345
山形県	284.3	2.8	284	静岡県	292.9	3.6	778	愛媛県	207.8	3.3	301
福島県	250.2	3.6	390	愛知県	306.0	4.9	2,094	高知県	189.4	3.6	241
茨城県	230.3	3.9	660	三重県	254.7	3.8	291	福岡県	238.6	3.6	1,520
栃木県	299.4	3.6	454	滋賀県	282.9	4.0	396	佐賀県	189.4	3.0	195
群馬県	225.1	4.3	533	京都府	249.3	4.7	820	長崎県	261.7	2.9	281
埼玉県	221.6	4.9	1,136	大阪府	285.3	4.9	2,695	熊本県	198.8	3.1	421
千葉県	263.9	4.9	1,609	兵庫県	260.7	5.0	1,436	大分県	204.6	3.4	255
東京都	282.4	5.0	3,696	奈良県	285.7	4.0	374	宮崎県	203.0	3.0	202
神奈川県	283.8	5.0	2,037	和歌山県	241.1	3.5	210	鹿児島県	191.3	3.3	466
新潟県	245.1	3.4	453	鳥取県	244.8	3.9	181	沖縄県	251.9	3.9	307
富山県	232.1	4.3	297	島根県	295.5	2.9	187				

【参考 100床あたり薬剤師数（数値）（政令指定都市別出し）】

※ 政令指定都市がある都道府県は政令指定都市を除いた値

都道府県	病床数 /平均	100床あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計	都道府県	病床数 /平均	100床あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計	都道府県	病床数 /平均	100床あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計
北海道	218.9	2.9	733	三重県	254.7	3.8	291	沖縄県	251.9	3.9	307
青森県	245.1	2.6	239	滋賀県	282.9	4.0	396	札幌市	232.6	5.0	639
岩手県	215.5	3.7	344	京都府	179.8	4.0	223	仙台市	310.2	5.0	358
宮城県	214.4	3.7	242	大阪府	281.3	4.9	1,516	さいたま市	279.6	4.3	192
秋田県	294.4	2.8	214	兵庫県	257.0	4.7	929	千葉市	248.5	5.0	277
山形県	284.3	2.8	284	奈良県	285.7	4.0	374	横浜市	280.5	5.5	850
福島県	250.2	3.6	390	和歌山県	241.1	3.5	210	川崎市	324.5	5.0	409
茨城県	230.3	3.9	660	鳥取県	244.8	3.9	181	相模原市	278.9	4.2	111
栃木県	299.4	3.6	454	島根県	295.5	2.9	187	新潟市	295.1	3.9	247
群馬県	225.1	4.3	533	岡山県	189.5	3.9	246	静岡市	355.5	3.5	221
埼玉県	212.7	5.0	944	広島県	249.4	3.7	442	浜松市	404.0	3.9	203
千葉県	267.1	4.9	1,333	山口県	231.6	3.3	425	名古屋市	290.7	5.0	751
東京都	282.4	5.0	3,696	徳島県	226.6	5.0	228	京都市	313.0	5.3	597
神奈川県	268.3	4.7	667	香川県	248.7	3.7	345	大阪市	283.5	4.9	956
新潟県	216.2	3.2	206	愛媛県	207.8	3.3	301	堺市	322.1	4.8	223
富山県	232.1	4.3	297	高知県	189.4	3.6	241	神戸市	268.8	5.6	507
石川県	235.4	3.5	405	福岡県	215.5	3.3	628	岡山市	259.5	4.8	272
福井県	234.6	3.3	205	佐賀県	189.4	3.0	195	広島市	229.7	4.4	301
山梨県	220.1	3.6	121	長崎県	261.7	2.9	281	北九州市	273.4	3.4	346
長野県	243.7	4.3	540	熊本県	191.1	2.7	162	福岡市	255.0	4.1	547
岐阜県	273.0	4.0	537	大分県	204.6	3.4	255	熊本市	206.4	3.5	259
静岡県	234.5	3.6	354	宮崎県	203.0	3.0	202				
愛知県	316.3	4.9	1,343	鹿児島県	191.3	3.3	466				

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

※回答のあった二次医療圏のみ記載

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
-	全国	-	251.2	4.12	-	2,829	983	34.7%
0101	北海道	南渡島	263.5	2.1	-2.1	12	2	16.7%
0102	北海道	南檜山	65.5	1.5	-2.6	2	0	0.0%
0103	北海道	北渡島檜山	187.0	2.1	-2.0	3	0	0.0%
0104	北海道	札幌	230.8	5.0	0.9	53	21	39.6%
0105	北海道	後志	202.9	2.4	-1.7	14	3	21.4%
0106	北海道	南空知	132.8	3.4	-0.7	4	1	25.0%
0107	北海道	中空知	260.8	3.6	-0.5	5	2	40.0%
0108	北海道	北空知	270.0	1.1	-3.0	1	0	0.0%
0109	北海道	西胆振	371.8	3.2	-1.0	5	1	20.0%
0110	北海道	東胆振	160.2	3.7	-0.4	5	1	20.0%
0111	北海道	日高	116.5	4.3	0.2	2	0	0.0%
0112	北海道	上川中部	282.6	3.2	-0.9	12	3	25.0%
0113	北海道	上川北部	149.3	2.5	-1.6	4	0	0.0%
0114	北海道	富良野	145.0	3.8	-0.4	2	0	0.0%
0115	北海道	留萌	138.5	2.2	-1.9	4	0	0.0%
0116	北海道	宗谷	157.0	2.6	-1.6	3	0	0.0%
0117	北海道	北網	214.0	2.4	-1.7	6	0	0.0%
0118	北海道	遠紋	337.0	1.7	-2.5	1	0	0.0%
0119	北海道	十勝	204.0	3.4	-0.7	14	3	21.4%
0120	北海道	釧路	288.8	2.8	-1.3	6	0	0.0%
0121	北海道	根室	141.5	3.3	-0.8	2	0	0.0%
0201	青森県	津軽地域	261.3	2.9	-1.3	8	2	25.0%
0202	青森県	八戸地域	235.5	2.5	-1.6	12	2	16.7%
0203	青森県	青森地域	300.5	3.6	-0.5	6	2	33.3%
0204	青森県	西北五地域	95.0	1.8	-2.3	2	0	0.0%
0205	青森県	上十三地域	223.5	1.8	-2.3	6	0	0.0%
0206	青森県	下北地域	287.0	1.7	-2.4	2	0	0.0%
0301	岩手県	盛岡	255.5	4.4	0.2	16	4	25.0%
0302	岩手県	岩手中部	201.0	3.9	-0.2	7	3	42.9%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
0303	岩手県	胆江	153.7	2.7	-1.5	3	1	33.3%
0304	岩手県	両磐	163.7	3.6	-0.5	9	5	55.6%
0305	岩手県	気仙	274.5	3.3	-0.8	2	1	50.0%
0306	岩手県	釜石	272.0	3.3	-0.8	1	1	100.0%
0307	岩手県	宮古	260.5	2.6	-1.5	2	1	50.0%
0308	岩手県	久慈	187.5	2.7	-1.4	2	1	50.0%
0309	岩手県	二戸	183.3	3.3	-0.8	3	2	66.7%
0401	宮城県	仙南	129.1	3.2	-0.9	8	1	12.5%
0403	宮城県	仙台	300.3	4.8	0.7	28	16	57.1%
0406	宮城県	大崎・栗原	304.5	3.3	-0.9	2	1	50.0%
0409	宮城県	石巻・登米・気仙沼	226.4	4.0	-0.2	9	2	22.2%
0501	秋田県	大館・鹿角	247.0	3.2	-0.9	3	1	33.3%
0502	秋田県	北秋田	320.0	2.7	-1.4	1	1	100.0%
0503	秋田県	能代・山本	236.0	2.2	-1.9	3	1	33.3%
0504	秋田県	秋田周辺	271.8	3.3	-0.8	10	3	30.0%
0505	秋田県	由利本荘・にかほ	365.3	2.0	-2.1	3	1	33.3%
0506	秋田県	大仙・仙北	314.3	2.8	-1.4	3	1	33.3%
0507	秋田県	横手	352.0	2.4	-1.8	3	2	66.7%
0508	秋田県	湯沢・雄勝	366.0	3.8	-0.3	1	1	100.0%
0601	山形県	村山	308.6	3.1	-1.0	13	6	46.2%
0602	山形県	最上	362.0	1.5	-2.6	2	1	50.0%
0603	山形県	置賜	217.6	2.6	-1.5	8	1	12.5%
0604	山形県	庄内	294.8	2.8	-1.3	6	2	33.3%
0701	福島県	県北	260.2	3.8	-0.3	10	7	70.0%
0702	福島県	県中	224.1	4.0	-0.1	12	3	25.0%
0703	福島県	県南	194.5	2.3	-1.8	2	0	0.0%
0706	福島県	相双	80.0	2.5	-1.6	1	0	0.0%
0707	福島県	いわき	244.3	3.8	-0.3	7	1	14.3%
0708	福島県	会津・南会津	304.0	3.1	-1.1	10	0	0.0%
0801	茨城県	水戸	214.1	3.8	-0.3	15	8	53.3%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
0802	茨城県	日立	232.8	2.7	-1.4	10	1	10.0%
0803	茨城県	常陸太田・ひたちなか	106.0	4.5	0.4	6	2	33.3%
0804	茨城県	鹿行	117.0	3.8	-0.4	2	0	0.0%
0805	茨城県	土浦	275.0	3.5	-0.7	8	2	25.0%
0806	茨城県	つくば	362.7	5.3	1.1	7	4	57.1%
0807	茨城県	取手・竜ヶ崎	275.1	5.8	1.7	7	2	28.6%
0808	茨城県	筑西・下妻	168.0	3.3	-0.8	3	1	33.3%
0809	茨城県	古河・坂東	193.3	2.6	-1.5	6	3	50.0%
0901	栃木県	県北	306.8	3.9	-0.2	5	1	20.0%
0902	栃木県	県西	149.4	3.3	-0.9	5	1	20.0%
0903	栃木県	宇都宮	248.6	3.4	-0.8	12	5	41.7%
0904	栃木県	県東	219.0	3.2	-0.9	2	1	50.0%
0905	栃木県	県南	523.2	4.8	0.7	6	3	50.0%
0906	栃木県	両毛	346.0	2.9	-1.3	3	1	33.3%
1001	群馬県	前橋	244.4	5.1	1.0	10	4	40.0%
1002	群馬県	渋川	302.8	3.7	-0.4	5	2	40.0%
1003	群馬県	伊勢崎	206.5	3.3	-0.8	6	2	33.3%
1004	群馬県	高崎・安中	160.3	4.8	0.7	15	2	13.3%
1005	群馬県	藤岡	399.0	5.3	1.1	1	1	100.0%
1006	群馬県	富岡	250.5	4.3	0.1	2	1	50.0%
1007	群馬県	吾妻	152.7	2.7	-1.4	3	0	0.0%
1008	群馬県	沼田	145.3	4.2	0.0	3	2	66.7%
1009	群馬県	桐生	321.5	3.2	-0.9	4	2	50.0%
1010	群馬県	太田・館林	294.2	4.6	0.5	5	3	60.0%
1101	埼玉県	南部	250.5	5.5	1.4	8	4	50.0%
1102	埼玉県	南西部	287.8	5.4	1.2	10	6	60.0%
1103	埼玉県	東部	198.9	6.5	2.4	13	6	46.2%
1104	埼玉県	さいたま	279.6	4.3	0.1	13	4	30.8%
1105	埼玉県	県央	308.3	5.7	1.6	7	2	28.6%
1106	埼玉県	川越比企	152.2	4.0	-0.1	11	4	36.4%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏コード	都道府県	二次医療圏名	平均病床数	100床当たり薬剤師人数(平均)	100床当たり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
1107	埼玉県	西部	128.1	3.7	-0.4	10	1	10.0%
1108	埼玉県	利根	253.8	6.4	2.3	10	4	40.0%
1109	埼玉県	北部	205.5	3.3	-0.8	13	7	53.8%
1110	埼玉県	秩父	97.3	4.5	0.3	3	1	33.3%
1201	千葉県	千葉	248.5	5.0	0.9	21	4	19.0%
1202	千葉県	東葛南部	295.6	5.7	1.6	23	13	56.5%
1203	千葉県	東葛北部	249.4	5.7	1.5	29	12	41.4%
1204	千葉県	印旛	288.9	4.5	0.4	16	5	31.3%
1205	千葉県	香取海匝	238.3	3.7	-0.4	8	3	37.5%
1206	千葉県	山武長生夷隅	211.4	3.1	-1.1	11	2	18.2%
1207	千葉県	安房	472.3	4.5	0.4	3	2	66.7%
1208	千葉県	君津	228.9	4.5	0.4	7	2	28.6%
1209	千葉県	市原	267.8	4.6	0.4	6	3	50.0%
1301	東京都	区中央部	423.0	7.7	3.6	25	15	60.0%
1302	東京都	区南部	343.3	5.5	1.4	15	9	60.0%
1303	東京都	区西南部	280.2	5.3	1.2	21	9	42.9%
1304	東京都	区西部	328.8	5.4	1.3	14	7	50.0%
1305	東京都	区西北部	248.1	4.7	0.6	39	14	35.9%
1306	東京都	区東北部	157.2	4.5	0.4	26	9	34.6%
1307	東京都	区東部	250.2	5.4	1.2	17	5	29.4%
1308	東京都	西多摩	264.5	3.3	-0.8	8	2	25.0%
1309	東京都	南多摩	296.8	4.2	0.1	25	10	40.0%
1310	東京都	北多摩西部	239.4	4.7	0.6	11	6	54.5%
1311	東京都	北多摩南部	406.0	5.0	0.9	12	6	50.0%
1312	東京都	北多摩北部	229.2	3.8	-0.4	21	6	28.6%
1404	神奈川県	川崎北部	325.8	4.0	-0.1	13	2	15.4%
1405	神奈川県	川崎南部	322.9	6.0	1.9	11	4	36.4%
1406	神奈川県	横須賀・三浦	354.5	5.8	1.7	8	5	62.5%
1407	神奈川県	湘南東部	249.7	4.8	0.7	10	4	40.0%
1408	神奈川県	湘南西部	347.3	4.5	0.3	10	6	60.0%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
1409	神奈川県	県央	243.6	5.0	0.9	12	4	33.3%
1410	神奈川県	相模原	278.9	4.2	0.1	10	3	30.0%
1411	神奈川県	県西	157.8	3.6	-0.6	9	2	22.2%
1412	神奈川県	横浜	280.5	5.5	1.4	52	18	34.6%
1501	新潟県	下越	152.9	3.0	-1.1	8	1	12.5%
1502	新潟県	新潟	281.5	3.9	-0.2	24	10	41.7%
1503	新潟県	県央	196.2	2.9	-1.2	6	4	66.7%
1504	新潟県	中越	320.5	3.0	-1.2	6	0	0.0%
1505	新潟県	魚沼	192.0	4.0	-0.1	6	3	50.0%
1506	新潟県	上越	257.7	3.2	-1.0	9	3	33.3%
1507	新潟県	佐渡	158.0	1.3	-2.9	1	0	0.0%
1601	富山県	新川	225.5	4.3	0.1	4	0	0.0%
1602	富山県	富山	239.8	4.5	0.4	16	5	31.3%
1603	富山県	高岡	203.6	4.4	0.3	7	2	28.6%
1604	富山県	砺波	266.7	3.0	-1.1	3	1	33.3%
1701	石川県	南加賀	173.2	4.1	-0.0	10	4	40.0%
1702	石川県	石川中央	280.4	3.5	-0.6	27	7	25.9%
1703	石川県	能登中部	177.8	2.6	-1.6	5	1	20.0%
1704	石川県	能登北部	133.0	3.3	-0.8	3	1	33.3%
1801	福井県	福井・坂井	249.5	3.6	-0.5	14	7	50.0%
1802	福井県	奥越	199.0	4.5	0.4	1	1	100.0%
1803	福井県	丹南	175.3	1.9	-2.2	4	0	0.0%
1804	福井県	嶺南	256.3	3.1	-1.0	3	0	0.0%
1901	山梨県	中北	254.6	4.0	-0.1	8	4	50.0%
1902	山梨県	峡東	160.0	3.8	-0.4	1	0	0.0%
1903	山梨県	峡南	123.5	2.2	-2.0	2	0	0.0%
1904	山梨県	富士・東部	197.0	2.4	-1.7	1	0	0.0%
2001	長野県	佐久	286.0	3.6	-0.5	3	2	66.7%
2002	長野県	上小	185.8	3.9	-0.3	8	2	25.0%
2003	長野県	諏訪	266.0	4.8	0.7	2	1	50.0%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
2004	長野県	上伊那	219.8	4.4	0.3	4	2	50.0%
2005	長野県	飯伊	253.5	5.1	1.0	4	2	50.0%
2006	長野県	木曾	197.0	5.6	1.5	1	1	100.0%
2007	長野県	松本	209.1	5.2	1.1	11	5	45.5%
2008	長野県	大北	324.0	3.4	-0.7	1	1	100.0%
2009	長野県	長野	302.7	3.6	-0.5	11	6	54.5%
2010	長野県	北信	288.0	3.1	-1.0	1	1	100.0%
2101	岐阜県	岐阜	307.6	4.6	0.5	16	10	62.5%
2102	岐阜県	西濃	321.8	3.4	-0.7	6	2	33.3%
2103	岐阜県	中濃	234.0	3.4	-0.7	9	3	33.3%
2104	岐阜県	東濃	218.0	4.1	-0.0	7	2	28.6%
2105	岐阜県	飛騨	245.3	3.4	-0.7	4	1	25.0%
2201	静岡県	賀茂	100.0	2.0	-2.1	1	0	0.0%
2202	静岡県	熱海伊東	181.0	3.4	-0.7	2	0	0.0%
2203	静岡県	駿東田方	175.1	4.4	0.3	14	5	35.7%
2204	静岡県	富士	259.3	3.3	-0.8	8	1	12.5%
2205	静岡県	静岡	355.5	3.5	-0.6	16	5	31.3%
2206	静岡県	志太榛原	362.8	3.0	-1.1	6	1	16.7%
2207	静岡県	中東遠	252.5	3.4	-0.8	8	2	25.0%
2208	静岡県	西部	388.0	3.8	-0.3	13	4	30.8%
2302	愛知県	海部	265.8	4.9	0.8	4	1	25.0%
2304	愛知県	尾張東部	441.4	5.6	1.5	8	4	50.0%
2305	愛知県	尾張西部	252.4	4.5	0.4	8	3	37.5%
2306	愛知県	尾張北部	289.6	4.1	-0.0	13	7	53.8%
2307	愛知県	知多半島	300.9	4.1	0.0	8	4	50.0%
2308	愛知県	西三河北部	295.8	7.2	3.1	5	4	80.0%
2309	愛知県	西三河南部西	445.3	6.8	2.7	6	5	83.3%
2310	愛知県	西三河南部東	233.5	3.9	-0.2	8	3	37.5%
2312	愛知県	東三河南部	333.8	4.8	0.7	10	3	30.0%
2313	愛知県	名古屋・尾張中部	291.2	5.0	0.8	49	21	42.9%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏コード	都道府県	二次医療圏名	平均病床数	100床当たり薬剤師人数 (平均)	100床当たり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
2405	三重県	桑員	292.5	4.1	0.0	2	0	0.0%
2406	三重県	三泗	293.4	3.5	-0.6	8	4	50.0%
2407	三重県	鈴亀	282.8	4.7	0.6	6	3	50.0%
2408	三重県	津	194.4	4.0	-0.1	7	3	42.9%
2409	三重県	伊賀	265.7	3.3	-0.8	3	1	33.3%
2410	三重県	松阪	212.0	2.4	-1.7	2	0	0.0%
2411	三重県	伊勢志摩	228.7	3.2	-0.9	3	1	33.3%
2501	滋賀県	大津	298.5	4.2	0.0	10	3	30.0%
2502	滋賀県	湖南	264.8	4.1	-0.0	6	2	33.3%
2503	滋賀県	甲賀	208.0	4.4	0.3	4	2	50.0%
2504	滋賀県	東近江	237.4	3.5	-0.6	7	4	57.1%
2505	滋賀県	湖東	388.0	3.8	-0.3	2	1	50.0%
2506	滋賀県	湖北	403.0	3.9	-0.2	3	3	100.0%
2601	京都府	丹後	184.5	3.3	-0.9	2	1	50.0%
2602	京都府	中丹	152.4	3.4	-0.7	8	2	25.0%
2603	京都府	南丹	167.8	3.9	-0.2	4	1	25.0%
2604	京都府	京都・乙訓	301.2	5.3	1.1	41	16	39.0%
2605	京都府	山城北	174.6	4.3	0.2	13	5	38.5%
2606	京都府	山城南	321.0	4.7	0.6	1	1	100.0%
2701	大阪府	豊能	341.9	6.2	2.1	17	9	52.9%
2702	大阪府	三島	308.9	3.8	-0.3	15	4	26.7%
2703	大阪府	北河内	284.3	5.3	1.2	22	11	50.0%
2704	大阪府	中河内	229.9	5.5	1.4	17	6	35.3%
2705	大阪府	南河内	287.0	4.5	0.3	14	4	28.6%
2706	大阪府	堺市	322.1	4.8	0.6	15	6	40.0%
2707	大阪府	泉州	252.4	4.3	0.2	25	7	28.0%
2708	大阪府	大阪市	283.5	4.9	0.8	60	23	38.3%
2801	兵庫県	神戸	268.8	5.6	1.5	34	19	55.9%
2804	兵庫県	東播磨	265.1	5.9	1.8	8	6	75.0%
2805	兵庫県	北播磨	218.2	4.1	-0.1	9	3	33.3%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
2808	兵庫県	但馬	380.0	3.4	-0.7	1	1	100.0%
2809	兵庫県	丹波	152.3	4.2	0.1	3	2	66.7%
2810	兵庫県	淡路	260.3	2.8	-1.4	4	1	25.0%
2811	兵庫県	阪神	269.1	4.7	0.6	34	16	47.1%
2812	兵庫県	播磨姫路	260.1	5.0	0.9	16	7	43.8%
2901	奈良県	奈良	242.6	3.6	-0.5	9	3	33.3%
2902	奈良県	東和	304.7	4.5	0.3	6	1	16.7%
2903	奈良県	西和	288.8	4.1	0.0	6	2	33.3%
2904	奈良県	中和	369.7	3.8	-0.3	6	0	0.0%
2905	奈良県	南和	161.0	4.4	0.2	2	1	50.0%
3001	和歌山県	和歌山	306.7	4.5	0.4	9	6	66.7%
3002	和歌山県	那賀	261.0	4.3	0.2	2	1	50.0%
3003	和歌山県	橋本	94.0	3.1	-1.1	2	1	50.0%
3004	和歌山県	有田	228.5	2.1	-2.0	2	1	50.0%
3005	和歌山県	御坊	182.0	6.4	2.3	1	1	100.0%
3006	和歌山県	田辺	207.3	2.0	-2.1	4	1	25.0%
3007	和歌山県	新宮	183.5	1.8	-2.3	2	0	0.0%
3101	鳥取県	東部	283.6	4.4	0.3	5	1	20.0%
3102	鳥取県	中部	164.0	3.7	-0.4	3	1	33.3%
3103	鳥取県	西部	251.7	3.7	-0.4	7	2	28.6%
3201	島根県	松江	293.1	2.5	-1.6	8	3	37.5%
3202	島根県	雲南	281.0	2.5	-1.6	1	1	100.0%
3203	島根県	出雲	303.7	3.8	-0.3	6	1	16.7%
3205	島根県	浜田	280.0	1.4	-2.7	1	0	0.0%
3301	岡山県	県南東部	234.6	4.6	0.4	25	6	24.0%
3302	岡山県	県南西部	237.2	5.1	1.0	13	9	69.2%
3303	岡山県	高梁・新見	105.5	2.0	-2.1	2	1	50.0%
3304	岡山県	真庭	55.0	2.7	-1.4	1	0	0.0%
3305	岡山県	津山・英田	193.3	2.9	-1.2	7	2	28.6%
3401	広島県	広島	234.0	4.3	0.2	30	13	43.3%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
3402	広島県	広島西	302.8	3.7	-0.5	4	0	0.0%
3403	広島県	呉	286.6	3.4	-0.7	7	2	28.6%
3404	広島県	広島中央	238.8	2.8	-1.4	4	0	0.0%
3405	広島県	尾三	211.1	3.6	-0.5	12	4	33.3%
3406	広島県	福山・府中	229.9	4.4	0.3	11	7	63.6%
3407	広島県	備北	313.3	3.2	-0.9	3	0	0.0%
3501	山口県	岩国	271.8	2.4	-1.8	4	1	25.0%
3502	山口県	柳井	263.3	2.0	-2.1	3	0	0.0%
3503	山口県	周南	212.6	2.5	-1.6	7	2	28.6%
3504	山口県	山口・防府	187.5	4.5	0.4	12	4	33.3%
3505	山口県	宇部・小野田	244.3	3.6	-0.5	13	6	46.2%
3506	山口県	下関	282.7	3.0	-1.1	9	2	22.2%
3508	山口県	萩	159.3	2.4	-1.7	3	0	0.0%
3601	徳島県	東部	216.5	5.0	0.9	17	6	35.3%
3603	徳島県	南部	405.0	5.9	1.8	1	1	100.0%
3605	徳島県	西部	220.0	3.6	-0.5	1	0	0.0%
3702	香川県	小豆	140.5	1.7	-2.4	2	1	50.0%
3706	香川県	東部	246.6	4.3	0.1	19	10	52.6%
3707	香川県	西部	266.9	3.2	-0.9	14	5	35.7%
3801	愛媛県	宇摩	187.5	2.3	-1.9	4	1	25.0%
3802	愛媛県	新居浜・西条	263.2	4.6	0.5	5	3	60.0%
3803	愛媛県	今治	100.5	3.4	-0.7	6	0	0.0%
3804	愛媛県	松山	235.1	3.4	-0.8	16	2	12.5%
3805	愛媛県	八幡浜・大洲	196.8	3.2	-1.0	4	0	0.0%
3806	愛媛県	宇和島	216.8	2.7	-1.4	6	1	16.7%
3901	高知県	安芸	177.0	4.6	0.5	2	0	0.0%
3902	高知県	中央	206.1	3.6	-0.5	26	4	15.4%
3903	高知県	高幡	40.0	2.9	-1.3	2	0	0.0%
3904	高知県	幡多	161.8	3.9	-0.3	4	2	50.0%
4001	福岡県	福岡・糸島	245.3	4.1	-0.1	50	20	40.0%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
4002	福岡県	粕屋	158.3	5.1	1.0	3	0	0.0%
4003	福岡県	宗像	225.7	2.1	-2.0	7	0	0.0%
4004	福岡県	筑紫	284.3	4.2	0.1	8	3	37.5%
4005	福岡県	朝倉	224.0	4.5	0.3	1	0	0.0%
4006	福岡県	久留米	261.9	3.5	-0.6	16	4	25.0%
4007	福岡県	八女・筑後	169.3	3.0	-1.1	8	2	25.0%
4008	福岡県	有明	205.6	2.4	-1.8	9	1	11.1%
4009	福岡県	飯塚	283.2	3.5	-0.6	6	1	16.7%
4010	福岡県	直方・鞍手	192.0	2.7	-1.5	2	1	50.0%
4011	福岡県	田川	215.0	2.6	-1.5	4	2	50.0%
4012	福岡県	北九州	250.4	3.6	-0.6	38	13	34.2%
4013	福岡県	京築	180.6	2.4	-1.7	7	1	14.3%
4101	佐賀県	中部	187.1	3.1	-1.1	16	4	25.0%
4102	佐賀県	東部	258.0	3.1	-1.0	3	1	33.3%
4103	佐賀県	北部	183.0	3.0	-1.1	3	1	33.3%
4104	佐賀県	西部	206.0	2.4	-1.7	1	0	0.0%
4105	佐賀県	南部	161.8	3.0	-1.1	6	1	16.7%
4201	長崎県	長崎	319.6	3.5	-0.6	14	4	28.6%
4202	長崎県	佐世保県北	204.4	2.6	-1.5	9	0	0.0%
4203	長崎県	県央	267.1	2.5	-1.6	7	2	28.6%
4204	長崎県	県南	171.5	2.2	-1.9	2	0	0.0%
4206	長崎県	五島	304.0	2.0	-2.2	1	0	0.0%
4208	長崎県	壱岐	158.0	2.6	-1.5	2	0	0.0%
4209	長崎県	対馬	275.0	2.2	-1.9	1	0	0.0%
4302	熊本県	宇城	188.2	2.3	-1.9	5	2	40.0%
4303	熊本県	有明	183.0	2.3	-1.8	3	0	0.0%
4304	熊本県	鹿本	201.0	3.5	-0.6	1	1	100.0%
4305	熊本県	菊池	253.0	2.2	-1.9	4	2	50.0%
4306	熊本県	阿蘇	177.7	2.5	-1.6	3	1	33.3%
4308	熊本県	八代	275.8	3.0	-1.1	4	2	50.0%

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

二次医療圏別の100床あたり薬剤師数

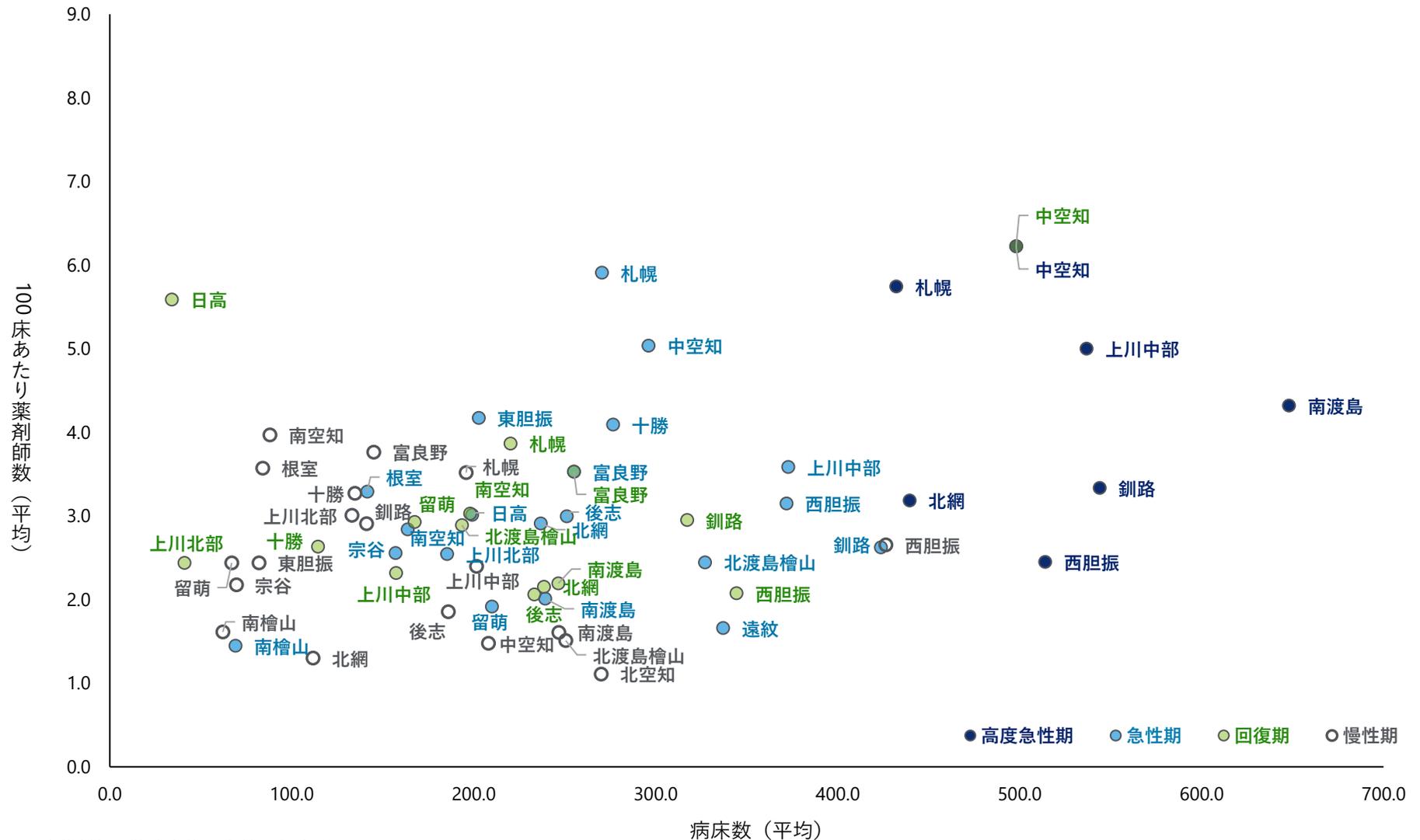
二次医療圏 コード	都道府県	二次医療圏名	平均 病床数	100床あたり薬剤師人数 (平均)	100床あたり薬剤師人数 全国平均との差	回答施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定施設数	病棟薬剤業務実施 加算算定率
4309	熊本県	芦北	210.5	2.5	-1.6	2	0	0.0%
4310	熊本県	球磨	229.0	5.6	1.4	2	1	50.0%
4311	熊本県	天草	123.7	2.2	-1.9	7	0	0.0%
4312	熊本県	熊本・上益城	201.1	3.6	-0.5	33	9	27.3%
4401	大分県	東部	224.0	2.6	-1.6	9	0	0.0%
4403	大分県	中部	231.9	3.6	-0.6	16	6	37.5%
4405	大分県	南部	219.5	3.9	-0.2	2	2	100.0%
4406	大分県	豊肥	90.0	2.2	-1.9	1	0	0.0%
4408	大分県	西部	55.0	3.6	-0.5	1	1	100.0%
4409	大分県	北部	129.2	4.2	0.1	5	1	20.0%
4501	宮崎県	宮崎東諸県	251.7	4.1	0.0	10	4	40.0%
4502	宮崎県	都城北諸県	226.0	1.4	-2.8	5	1	20.0%
4503	宮崎県	延岡西臼杵	148.5	2.8	-1.4	4	1	25.0%
4505	宮崎県	西諸	111.5	3.7	-0.4	2	0	0.0%
4506	宮崎県	西都児湯	118.3	1.9	-2.2	3	0	0.0%
4507	宮崎県	日向入郷	216.3	2.8	-1.3	4	2	50.0%
4601	鹿児島県	鹿児島	193.6	4.1	0.0	34	9	26.5%
4603	鹿児島県	南薩	143.7	1.8	-2.3	6	0	0.0%
4605	鹿児島県	川薩	181.0	2.3	-1.8	5	1	20.0%
4606	鹿児島県	出水	241.5	4.4	0.3	2	1	50.0%
4607	鹿児島県	姶良・伊佐	182.3	2.7	-1.4	10	0	0.0%
4609	鹿児島県	曾於	97.3	2.4	-1.7	3	0	0.0%
4610	鹿児島県	肝属	282.4	2.5	-1.6	5	1	20.0%
4611	鹿児島県	熊毛	172.0	2.9	-1.2	2	0	0.0%
4612	鹿児島県	奄美	213.0	2.1	-2.0	5	0	0.0%
4701	沖縄県	北部	202.7	1.6	-2.5	3	0	0.0%
4702	沖縄県	中部	342.0	4.5	0.4	7	2	28.6%
4703	沖縄県	南部	249.3	3.9	-0.2	15	4	26.7%
4704	沖縄県	宮古	138.0	1.4	-2.7	1	0	0.0%
4705	沖縄県	八重山	86.0	6.2	2.1	2	1	50.0%

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

01__北海道

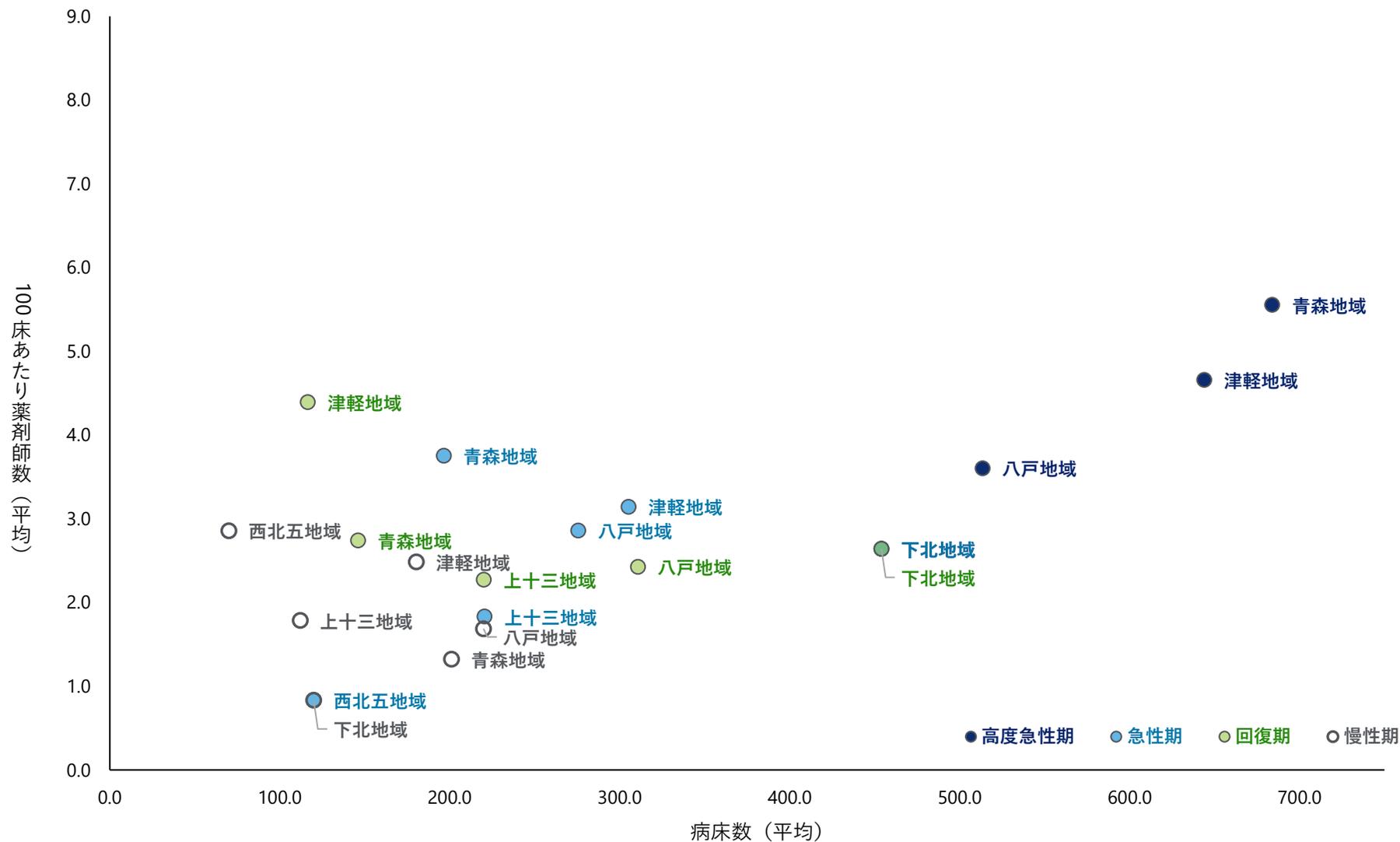


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

02__青森県

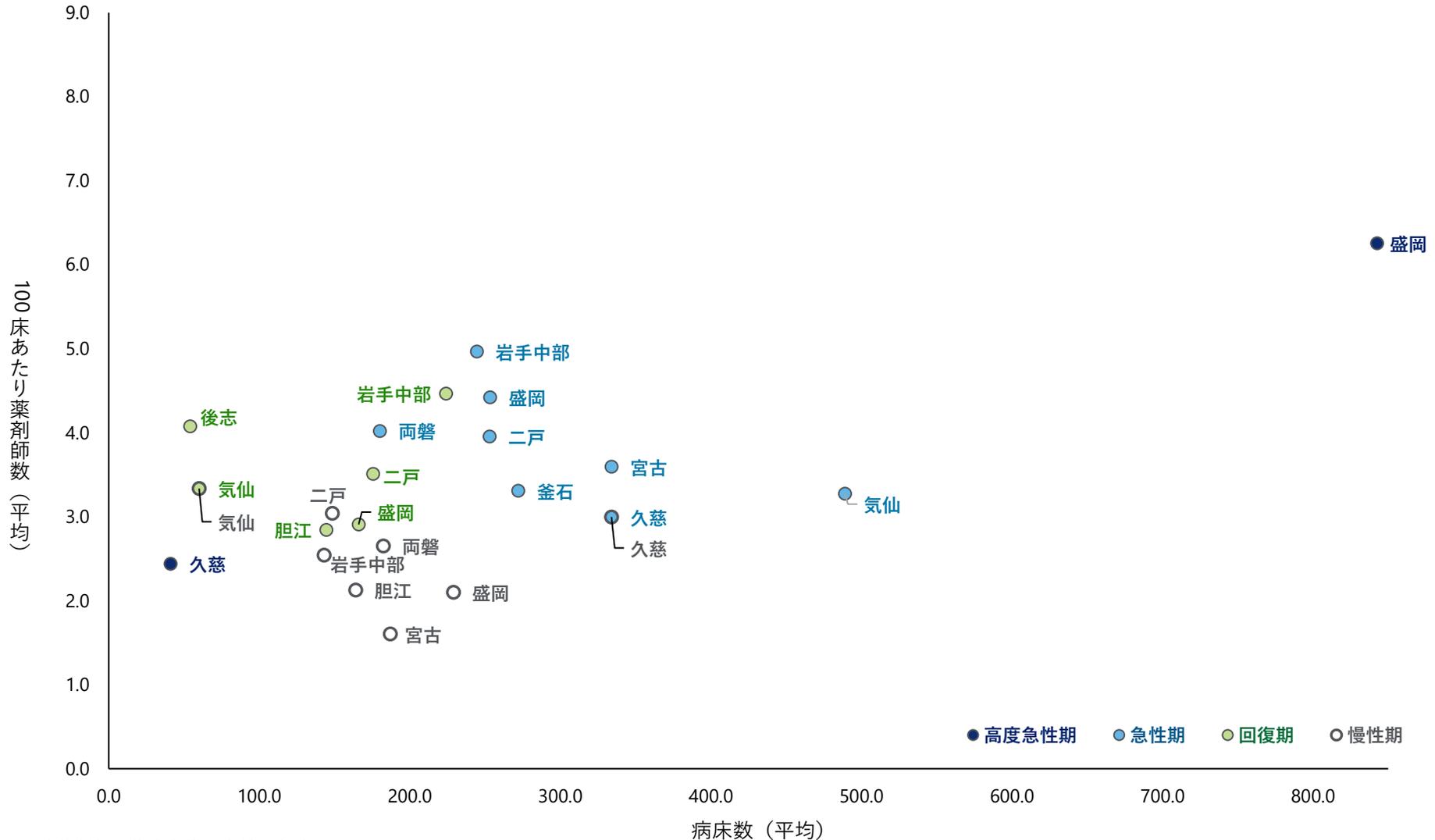


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

03__岩手県

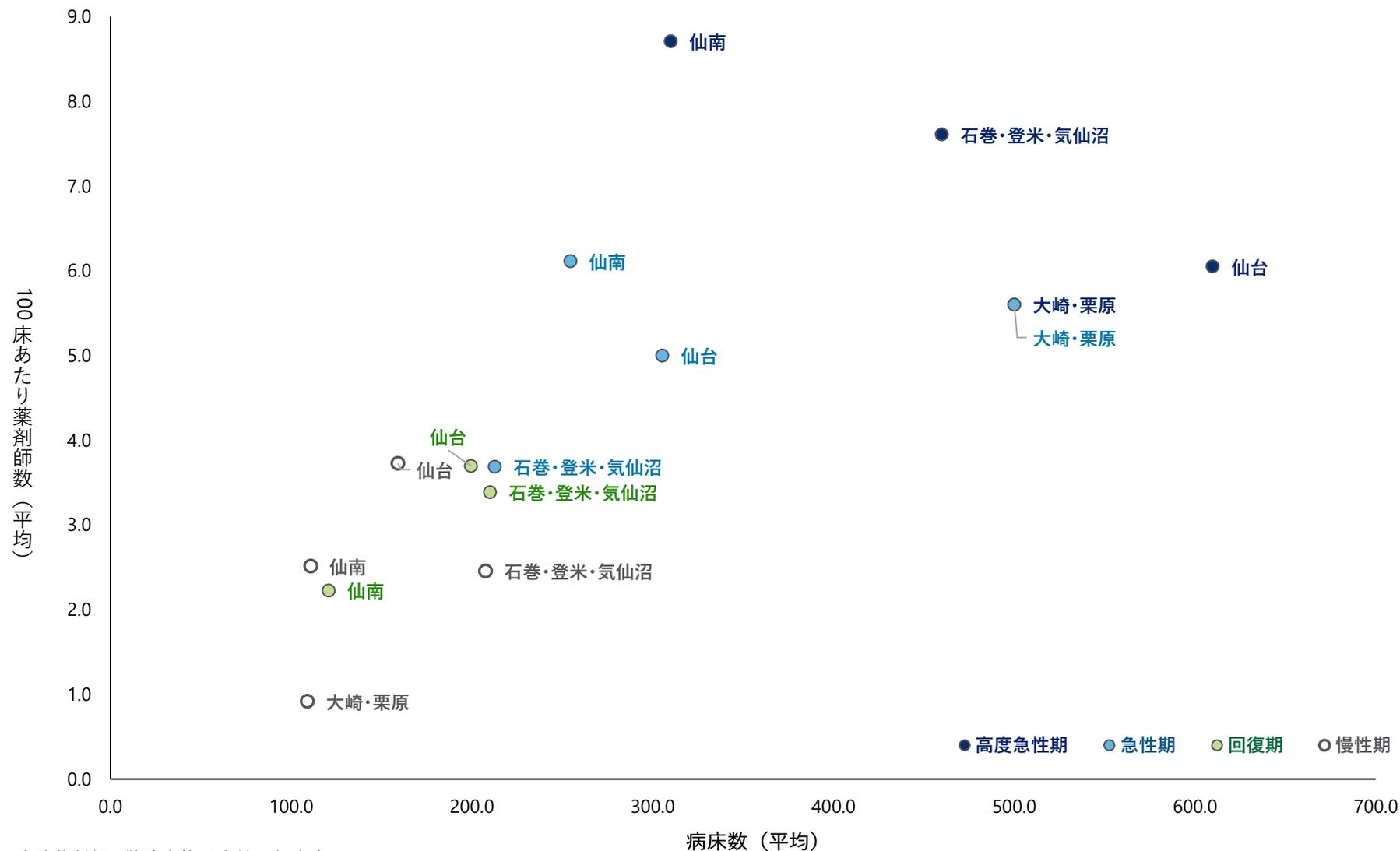


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

04__宮城県

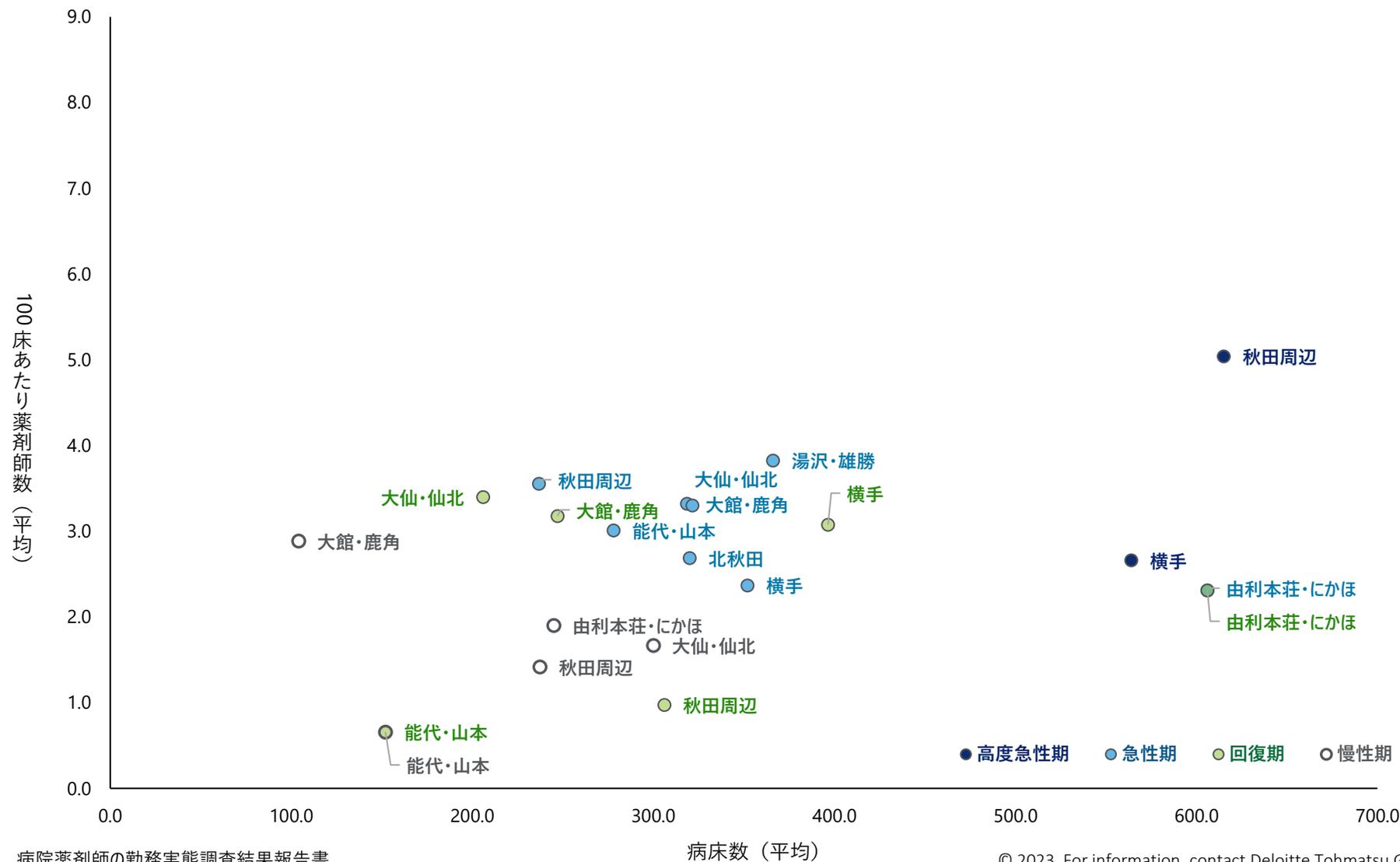


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

05__秋田県

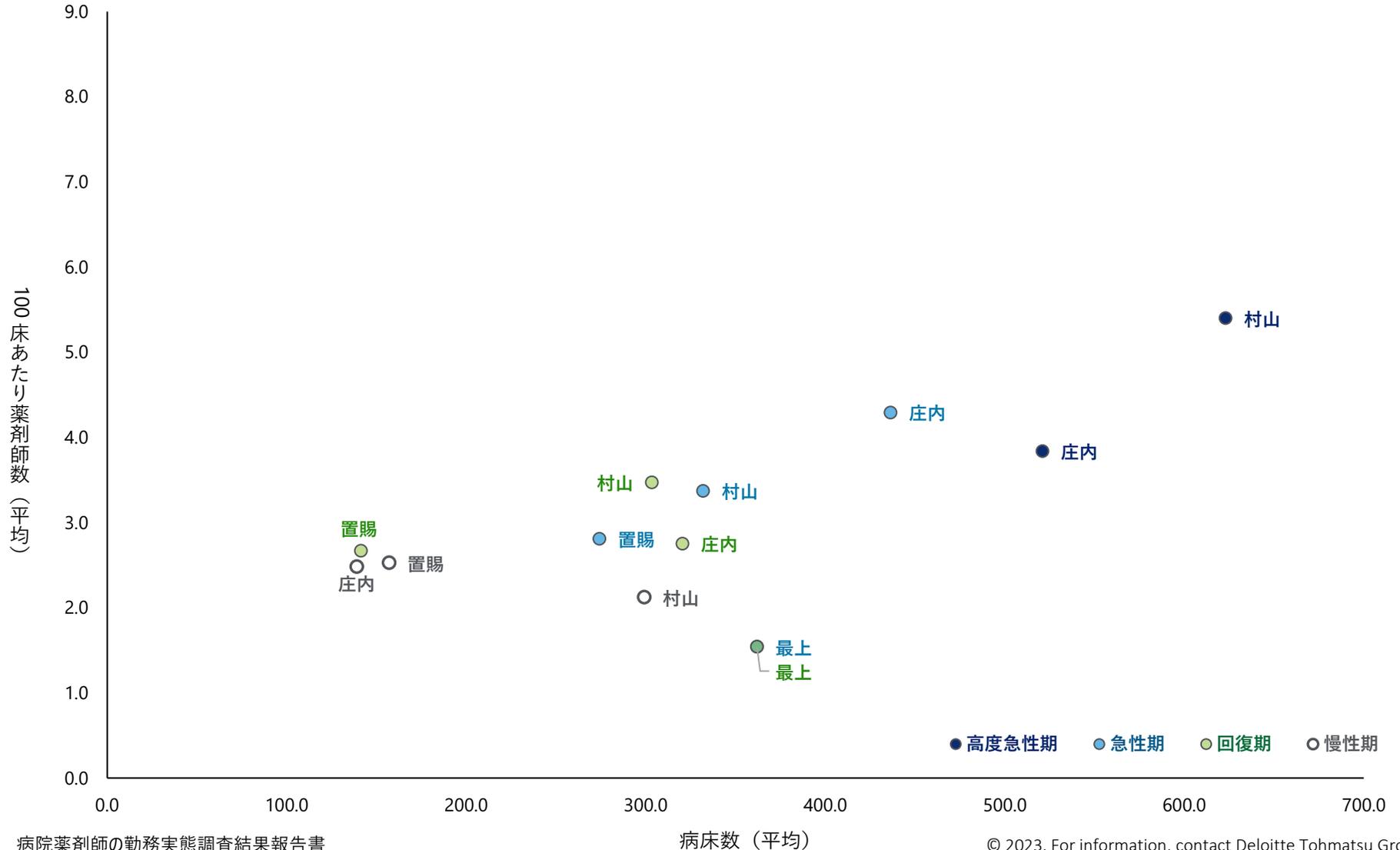


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

06__山形県

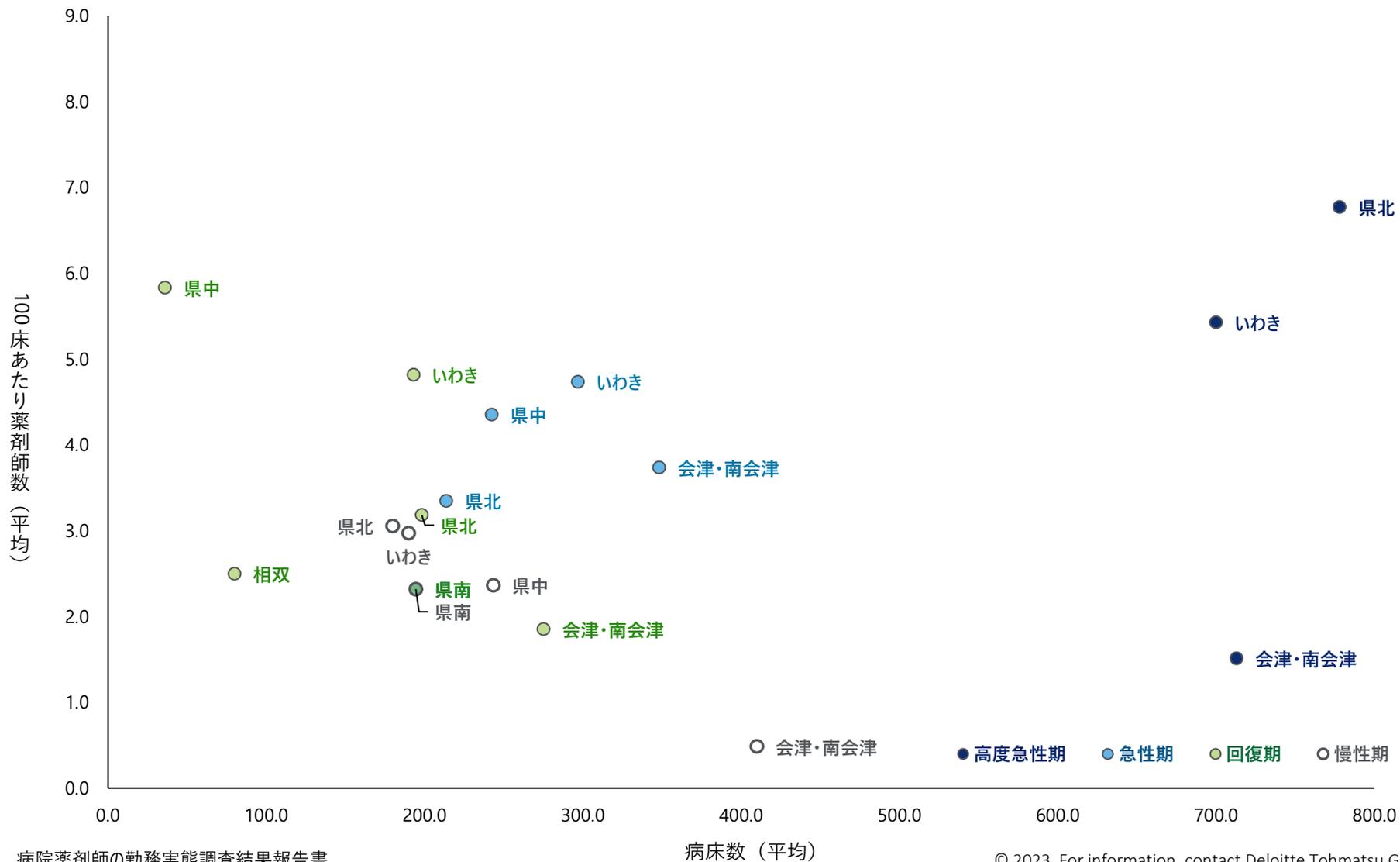


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

07__福島県

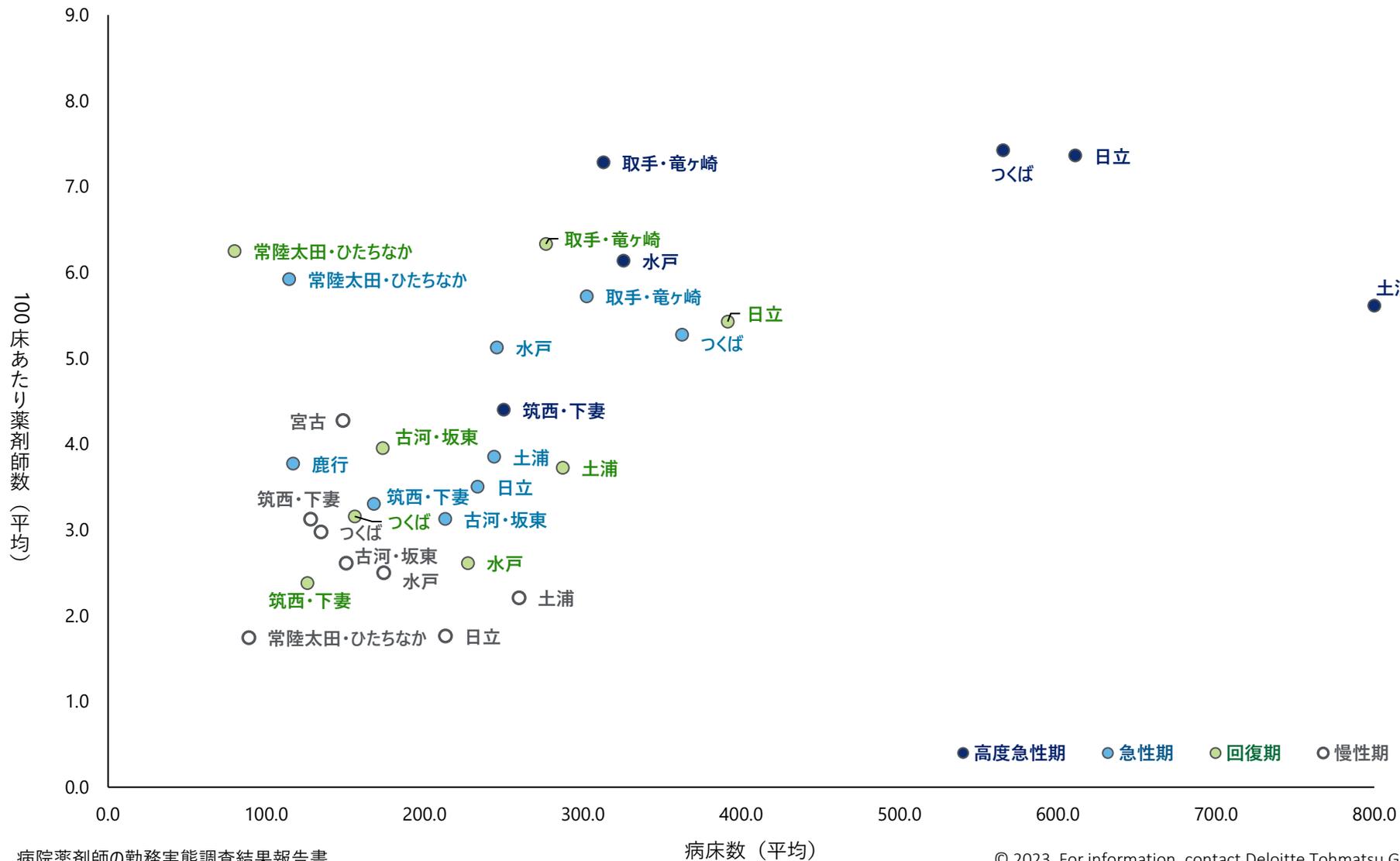


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

08__茨城県

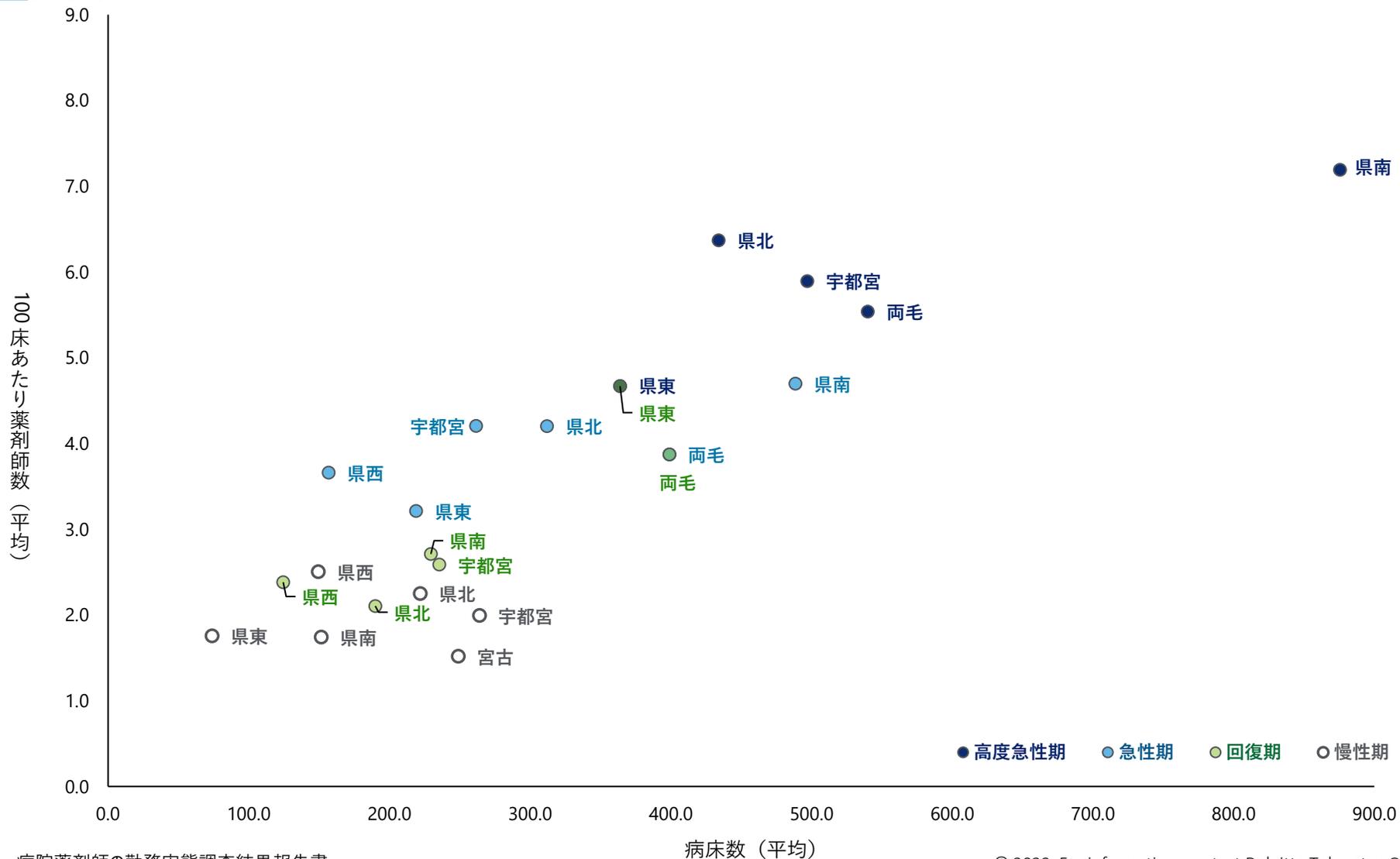


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

09__栃木県

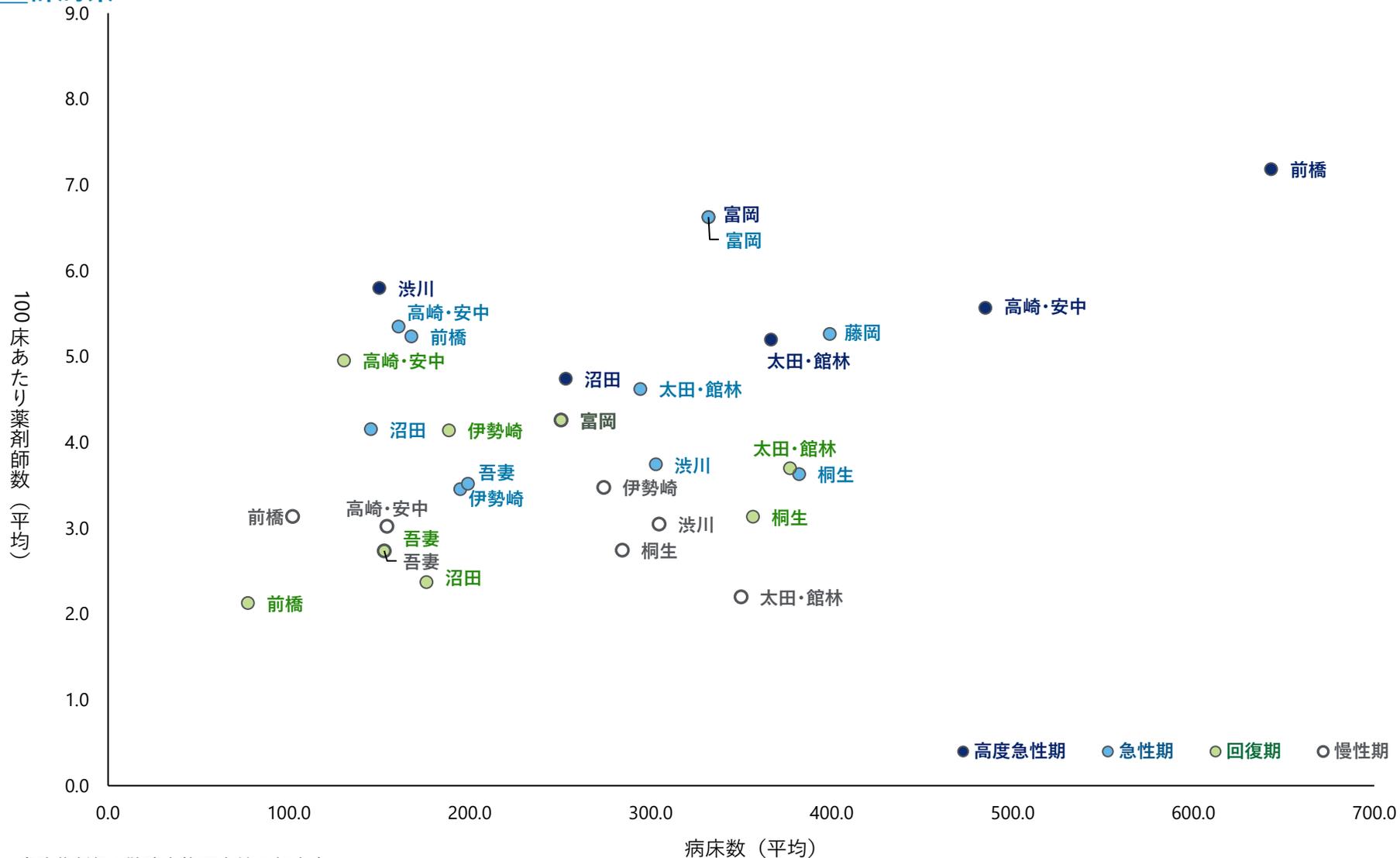


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

10__群馬県

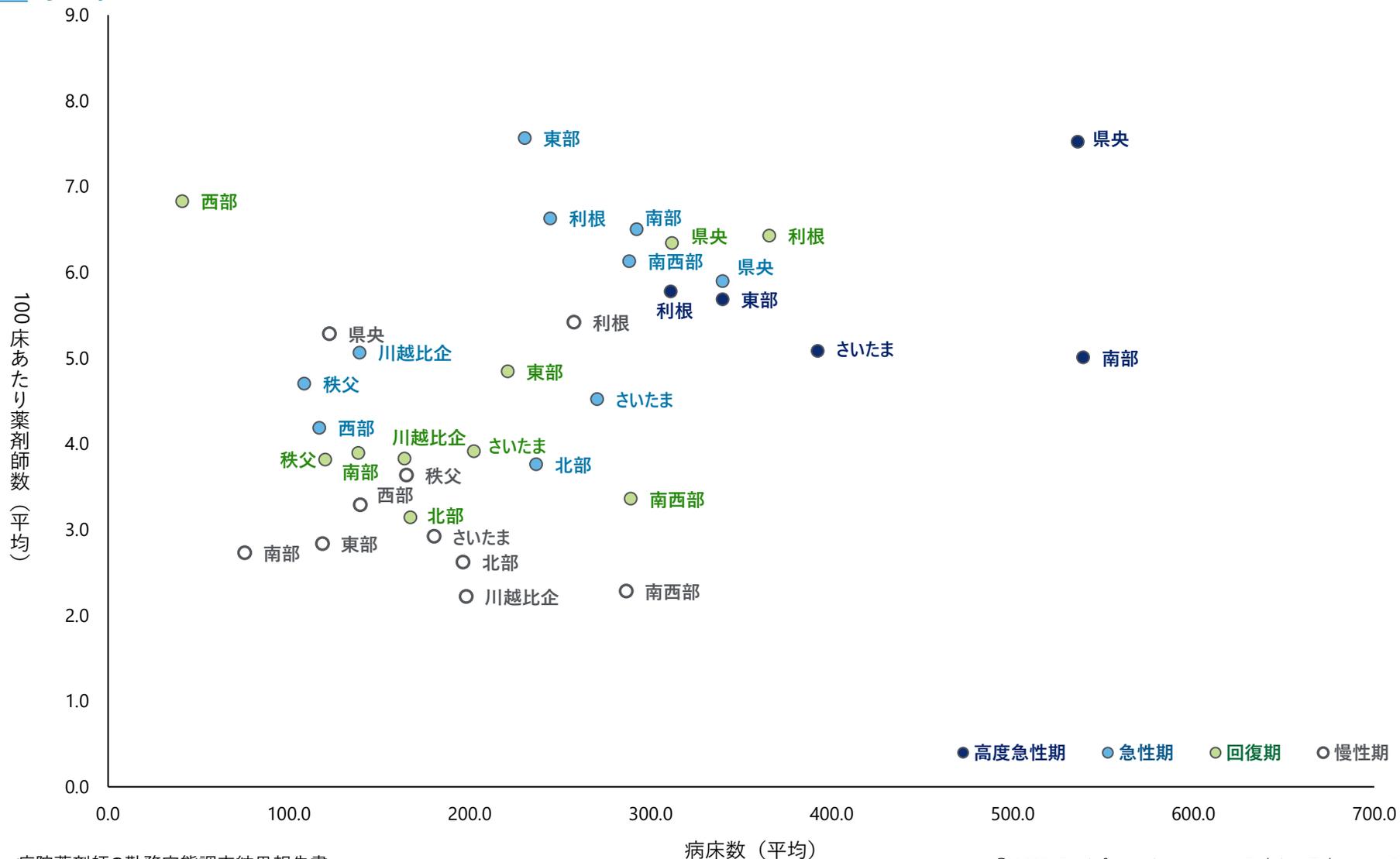


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

11__埼玉県

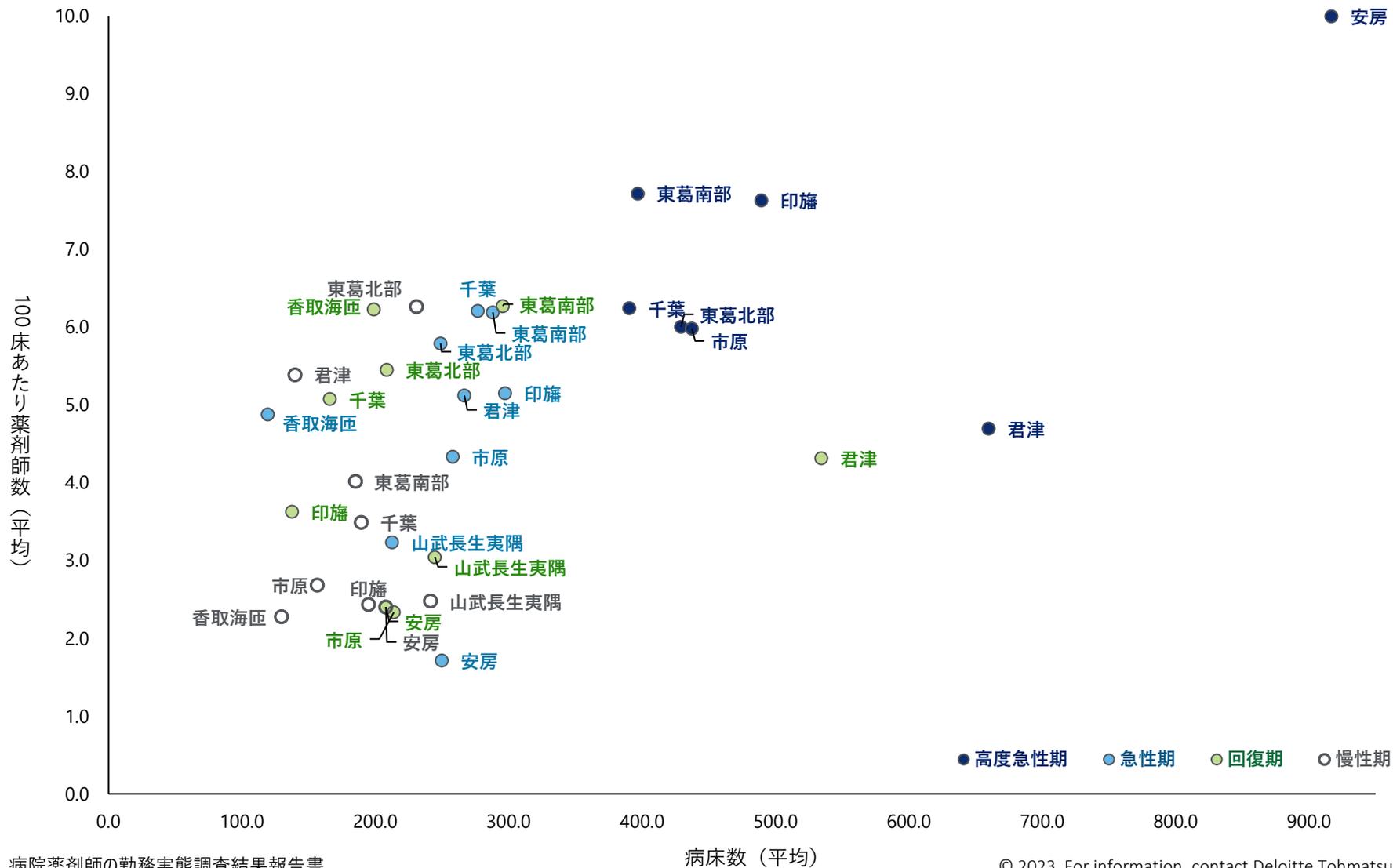


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

12__千葉県

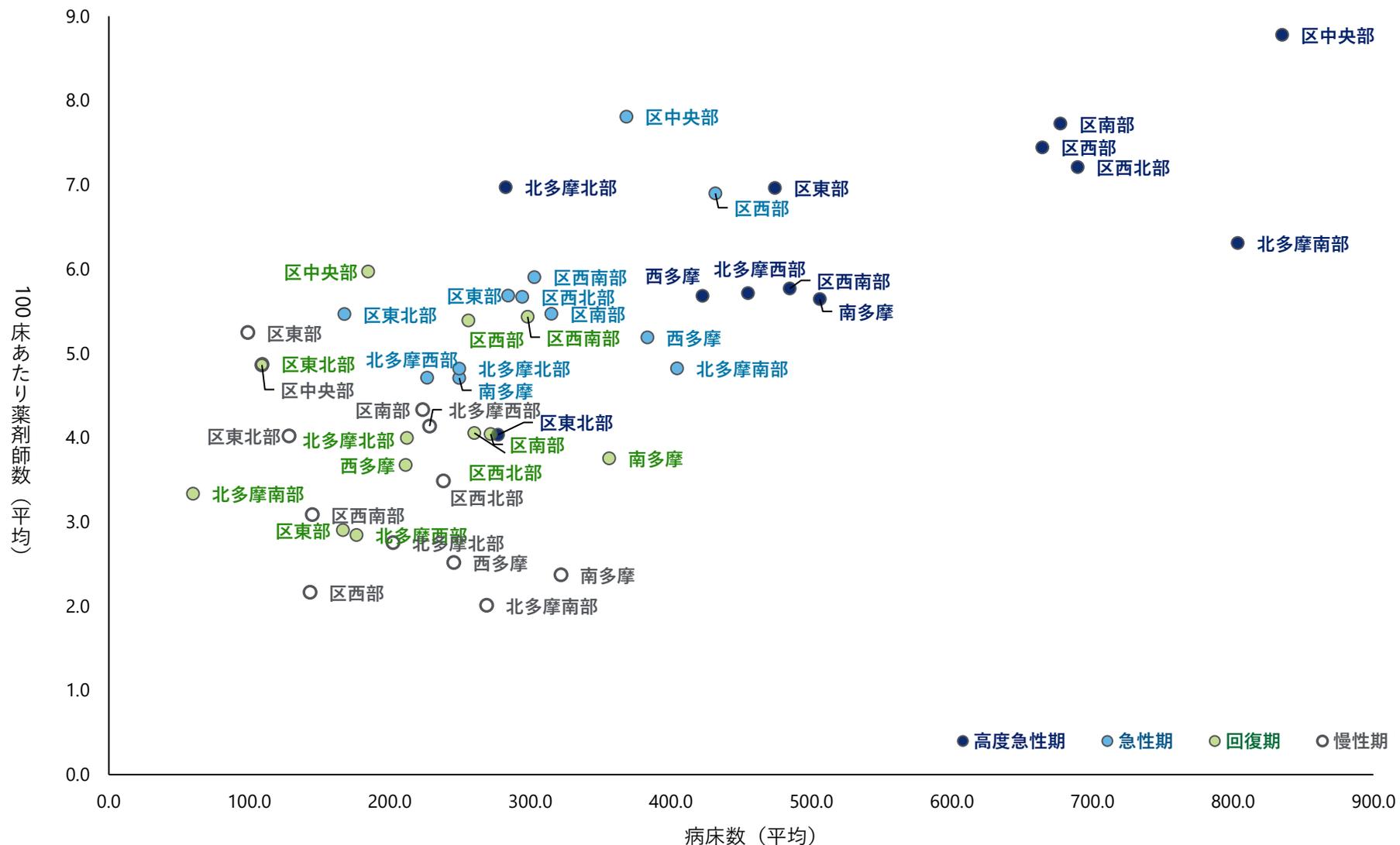


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

13__東京都

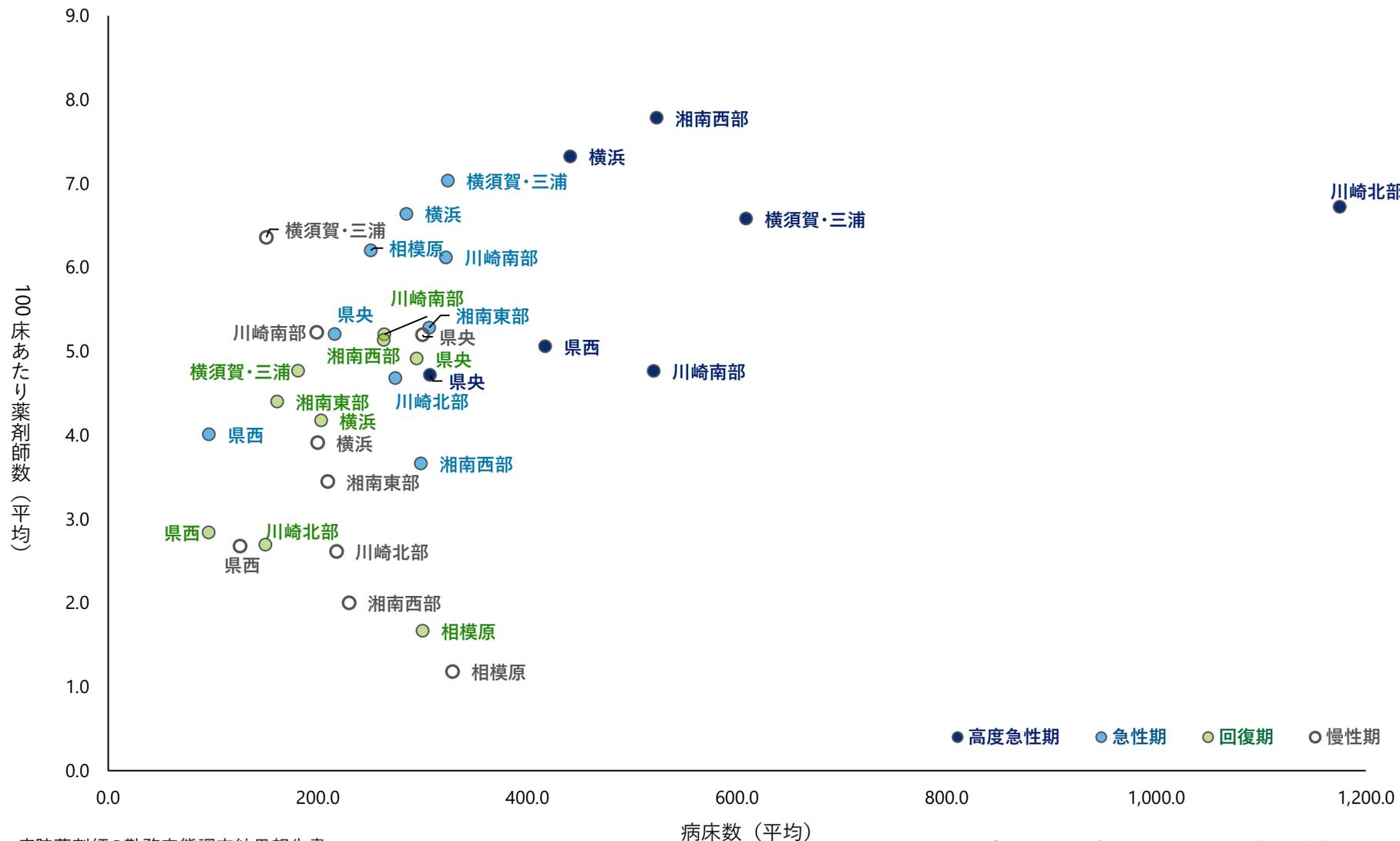


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

14__神奈川県

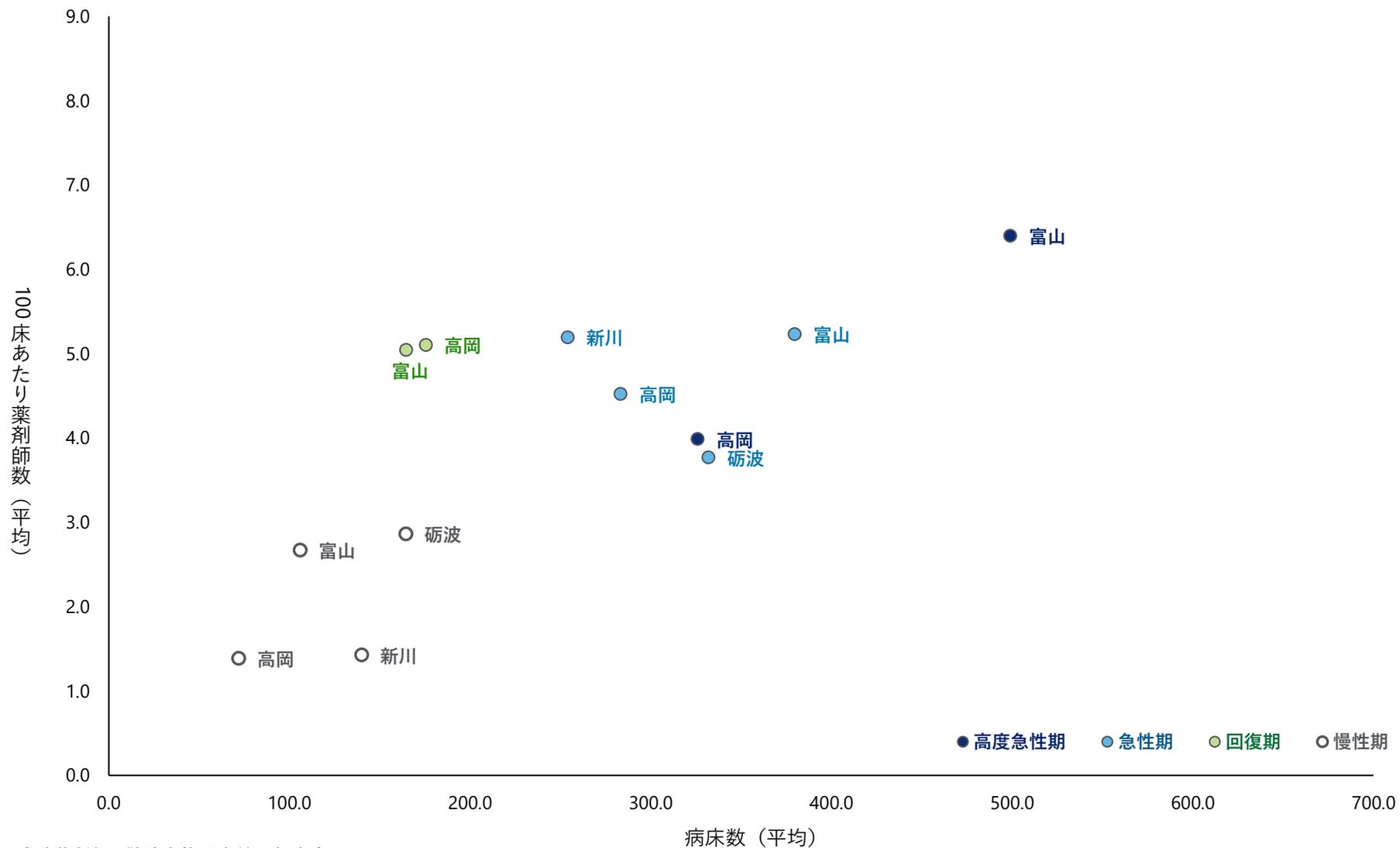


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

16__富山県

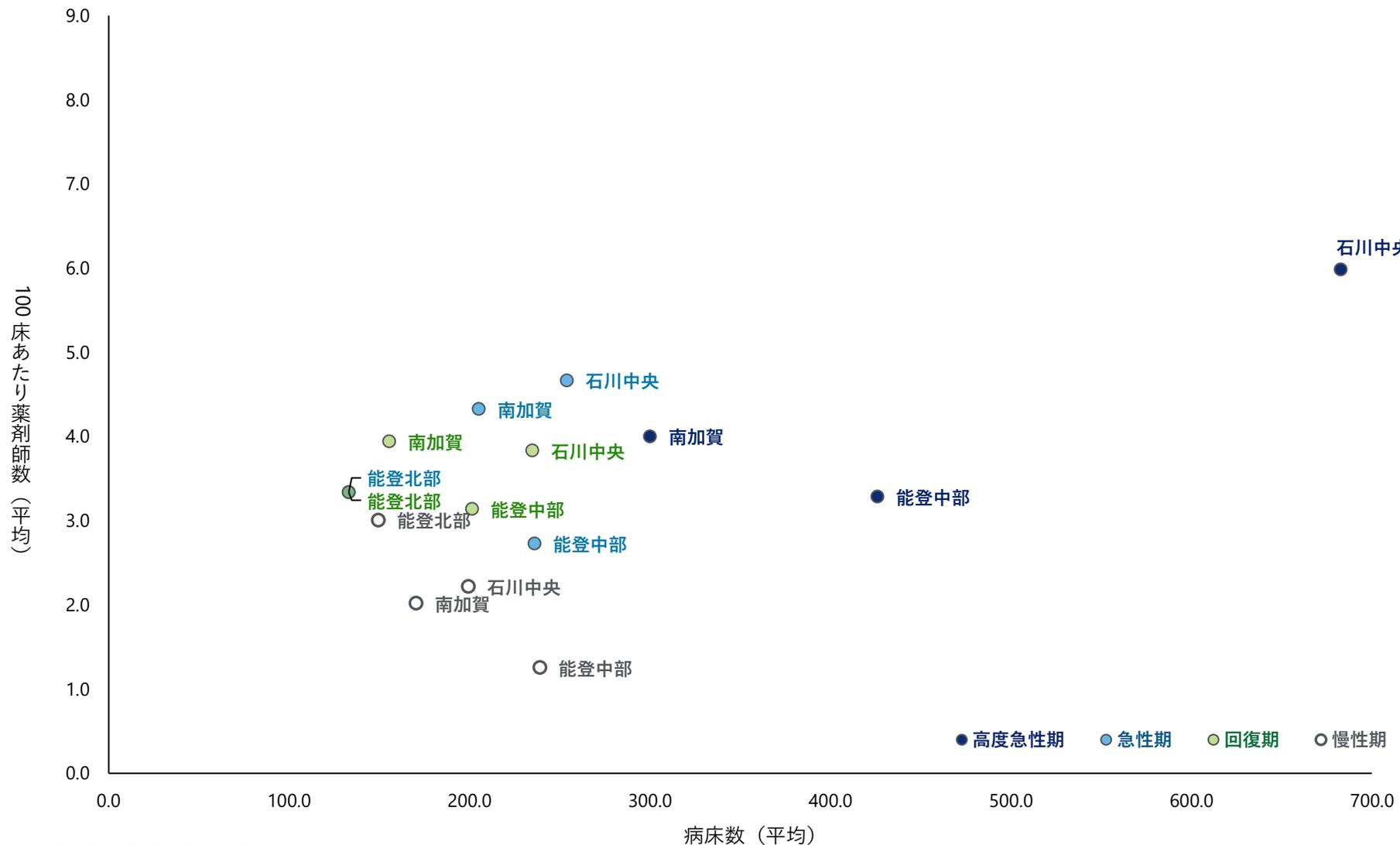


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

17__石川県

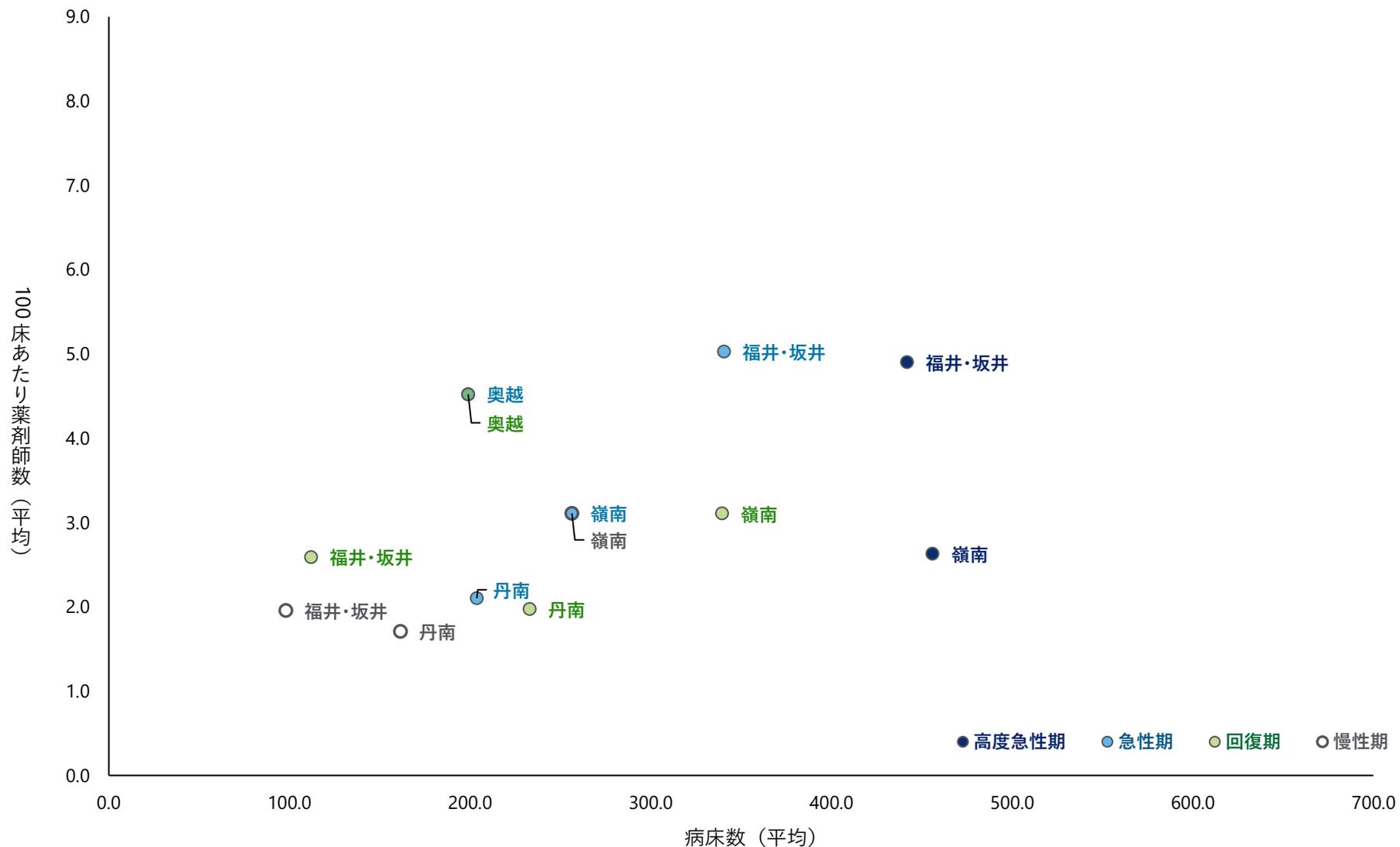


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

18__福井県

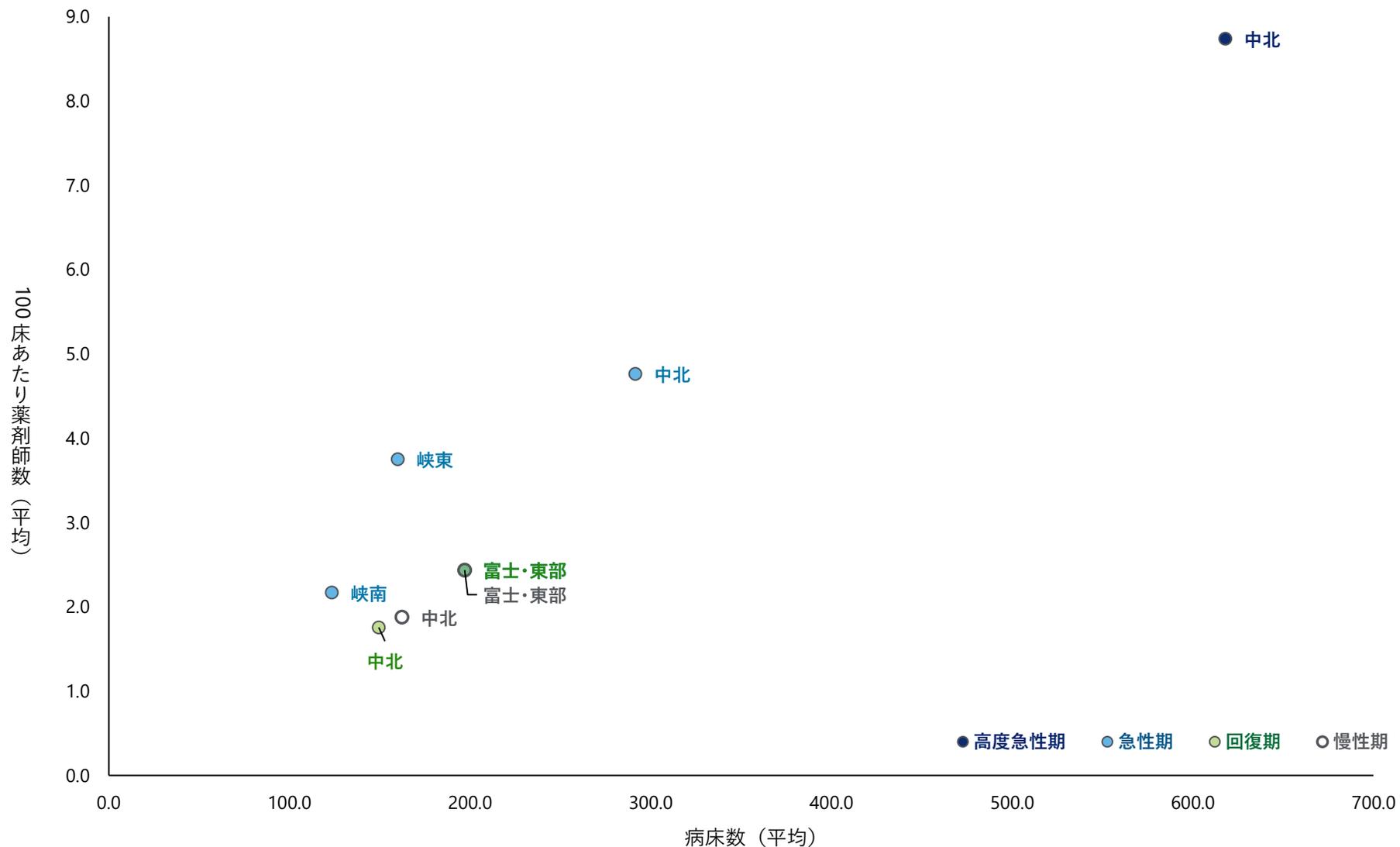


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

19__山梨県

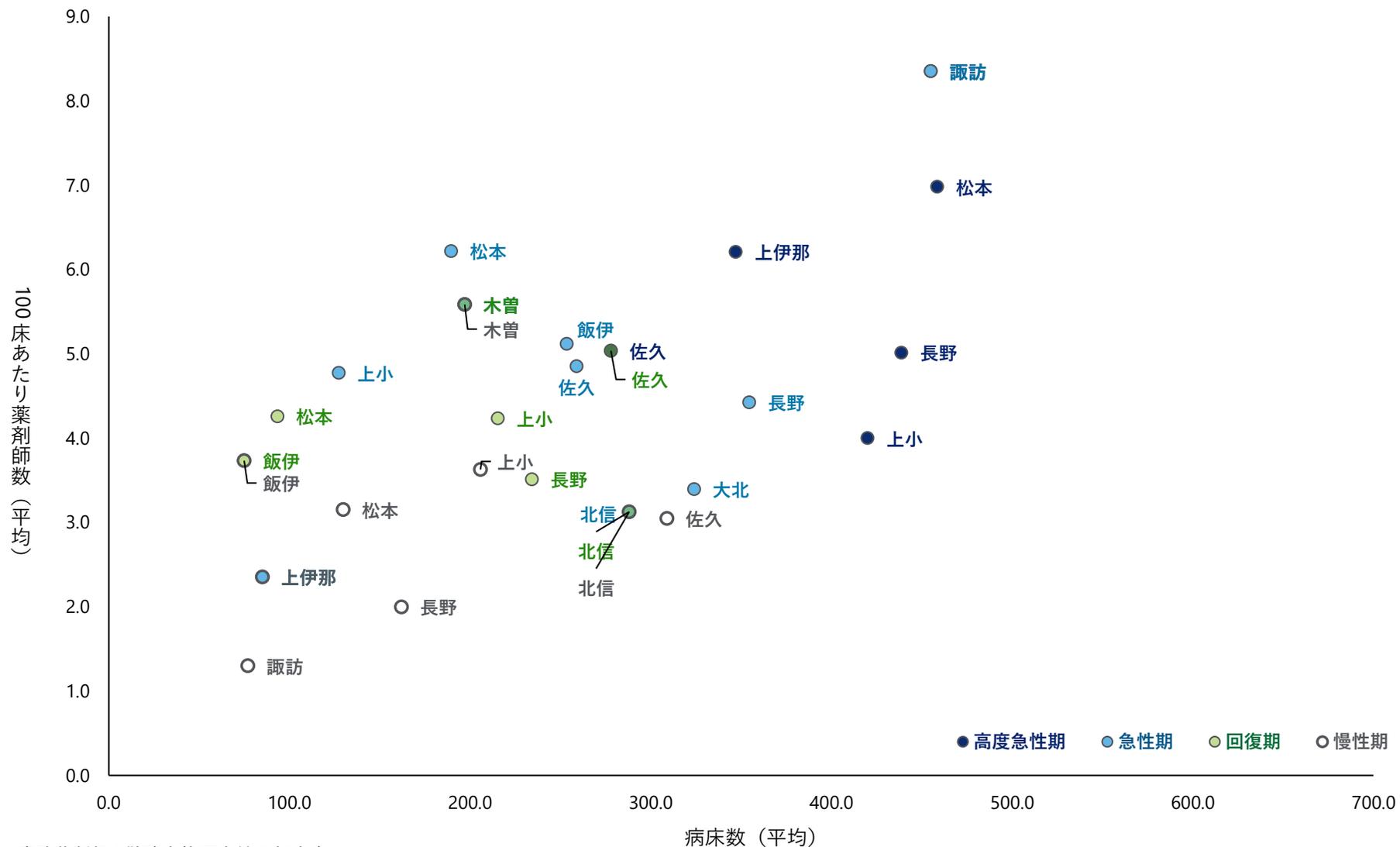


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

20__長野県

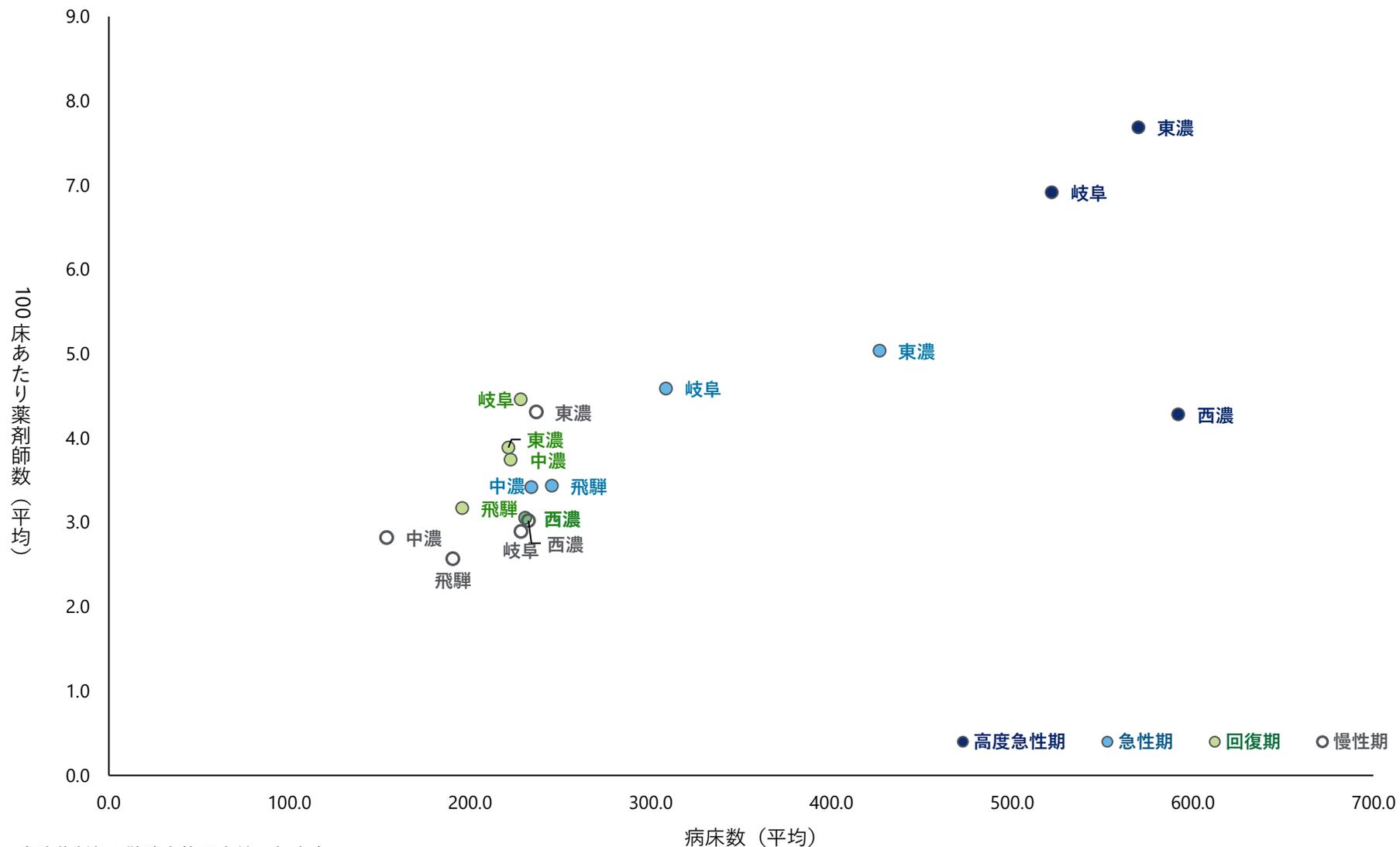


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

21__岐阜県

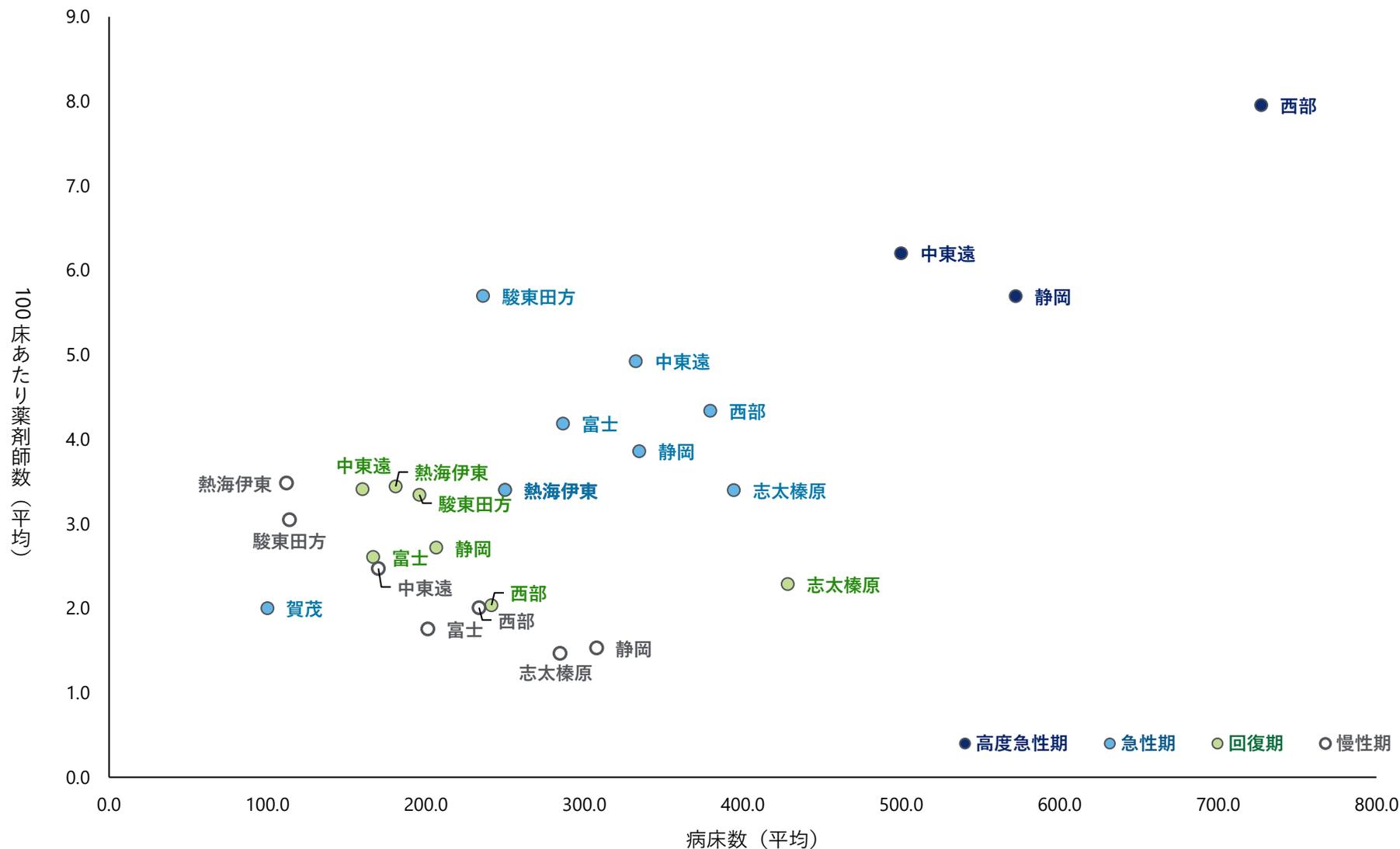


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

22__静岡県

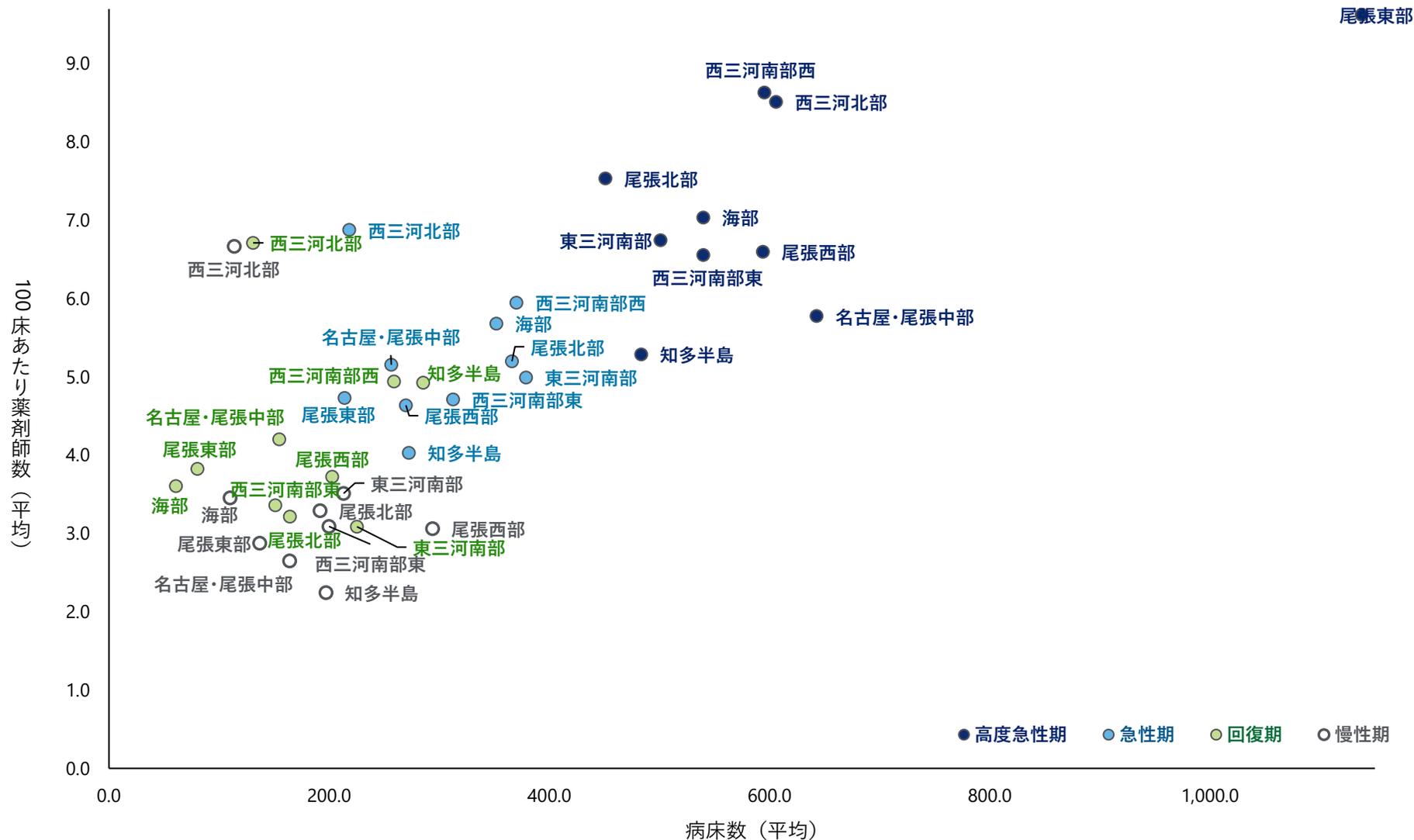


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

23__愛知県

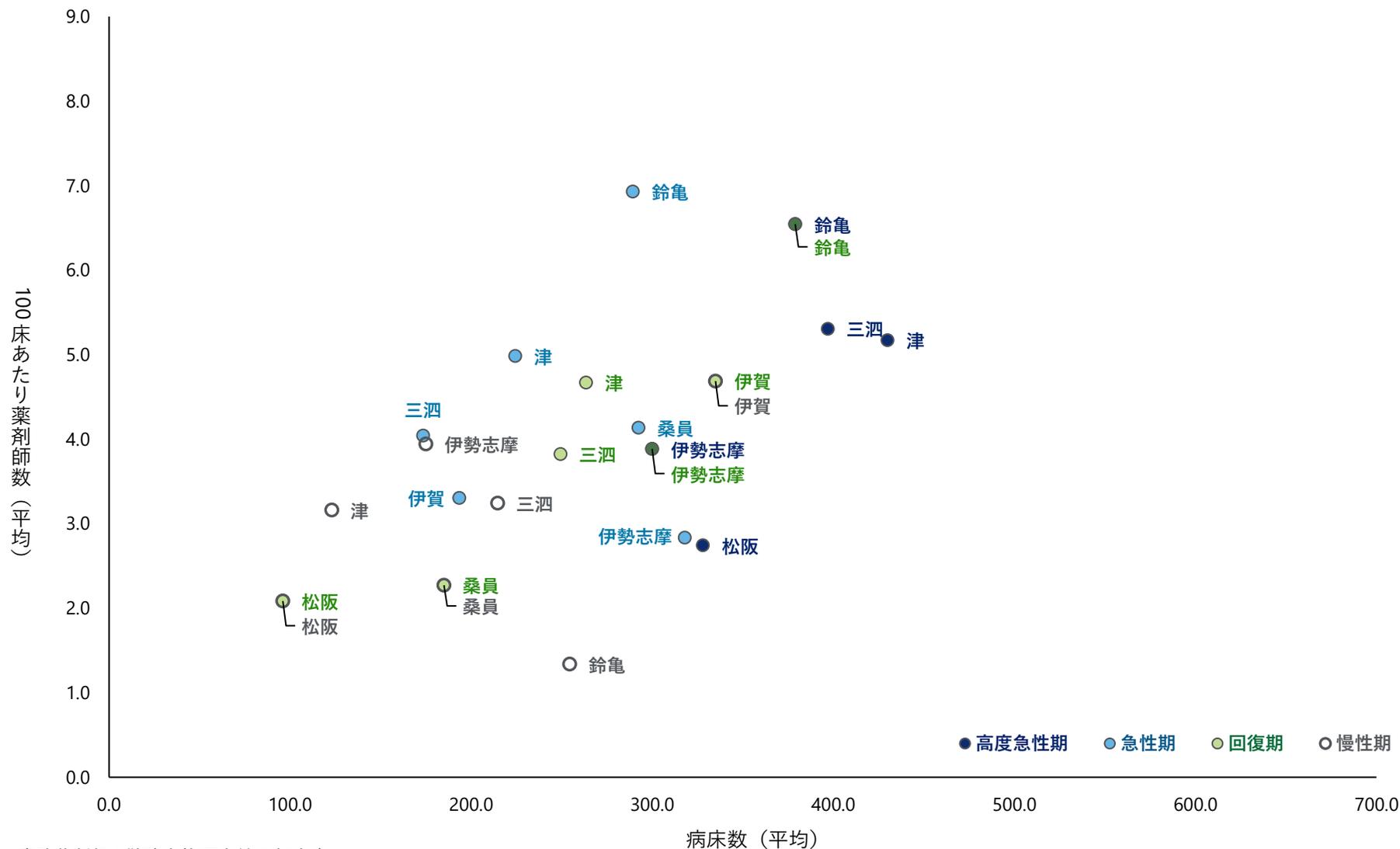


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

24__三重県



都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

25__滋賀県

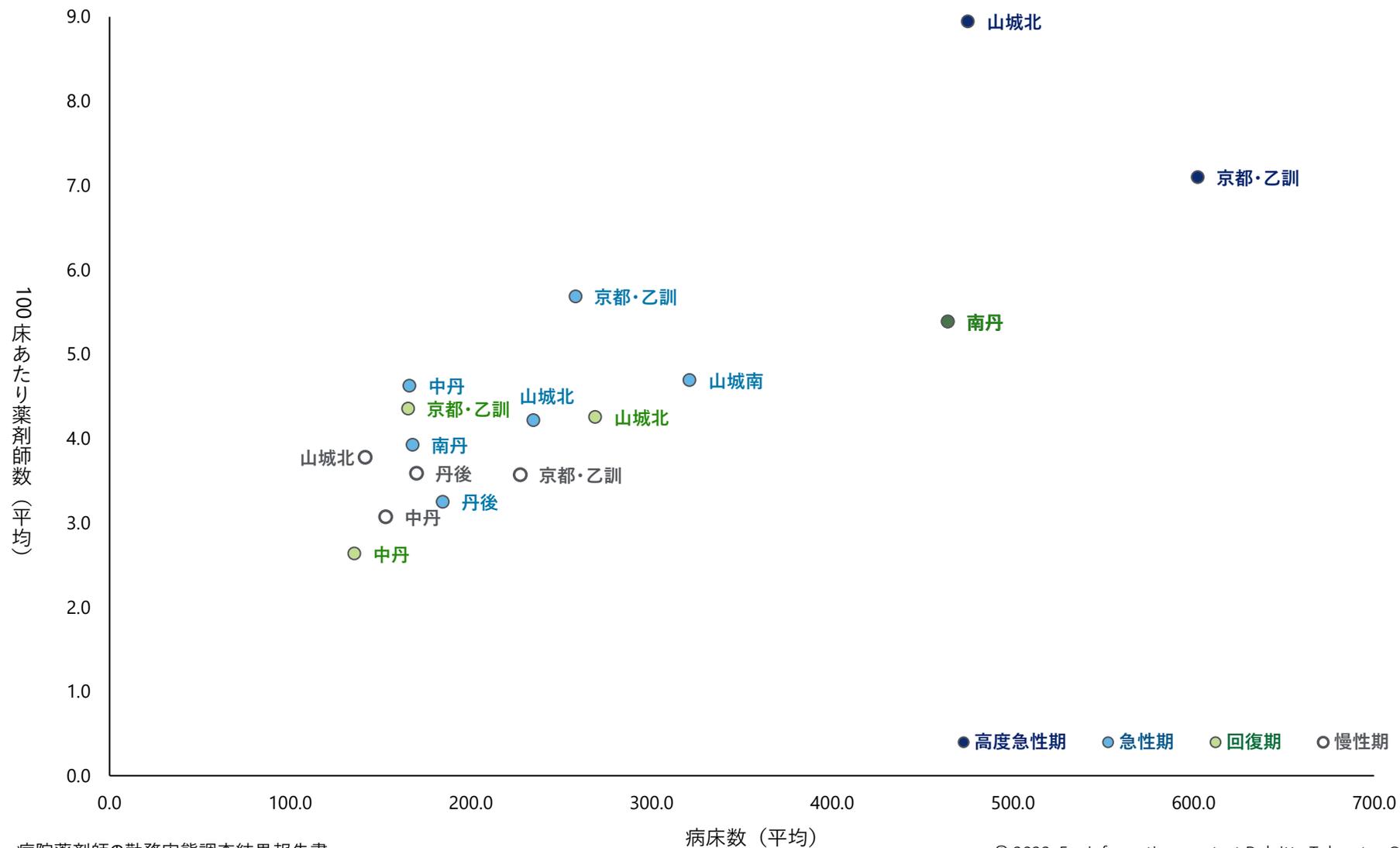


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

26__京都府

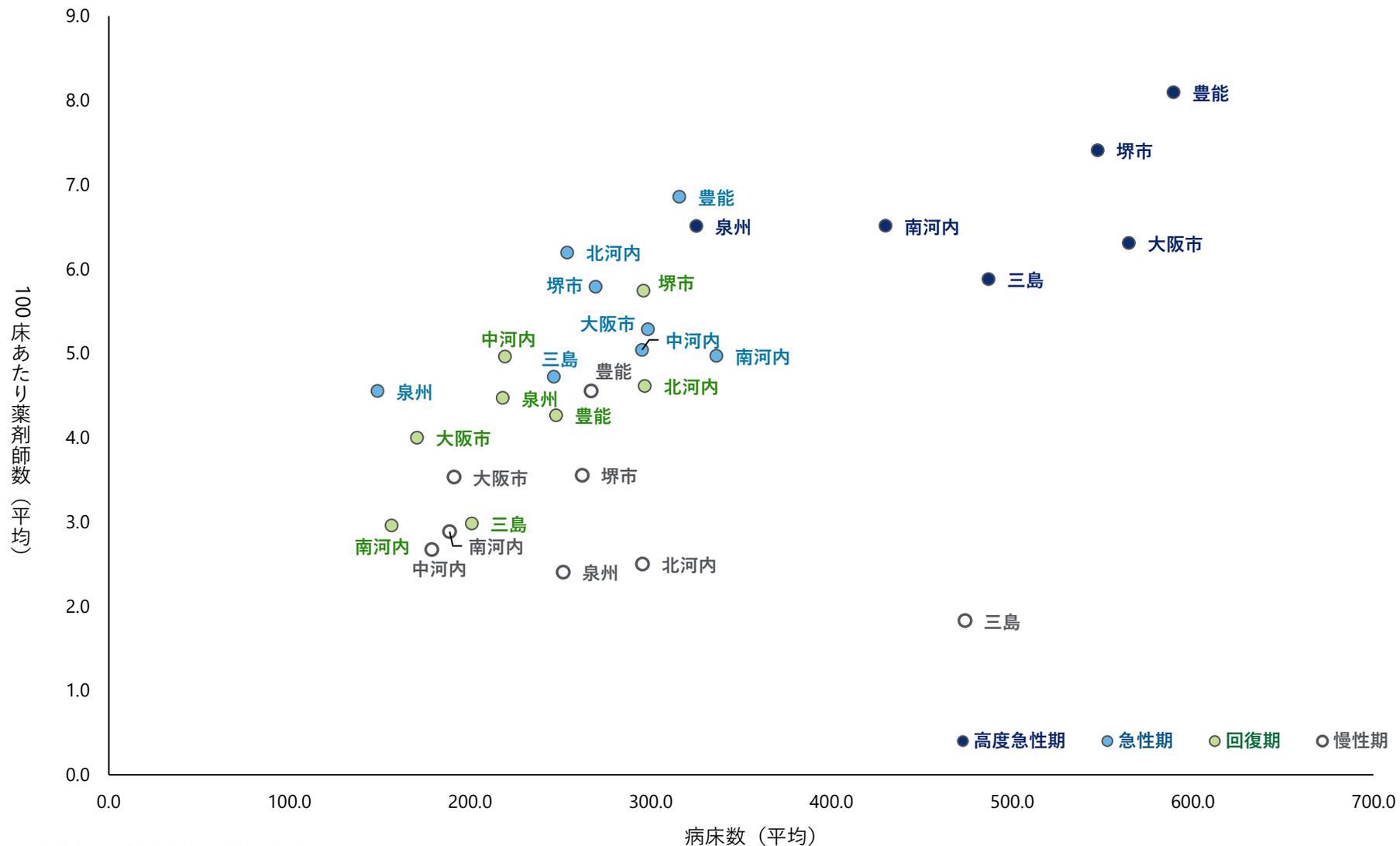


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

27__大阪府

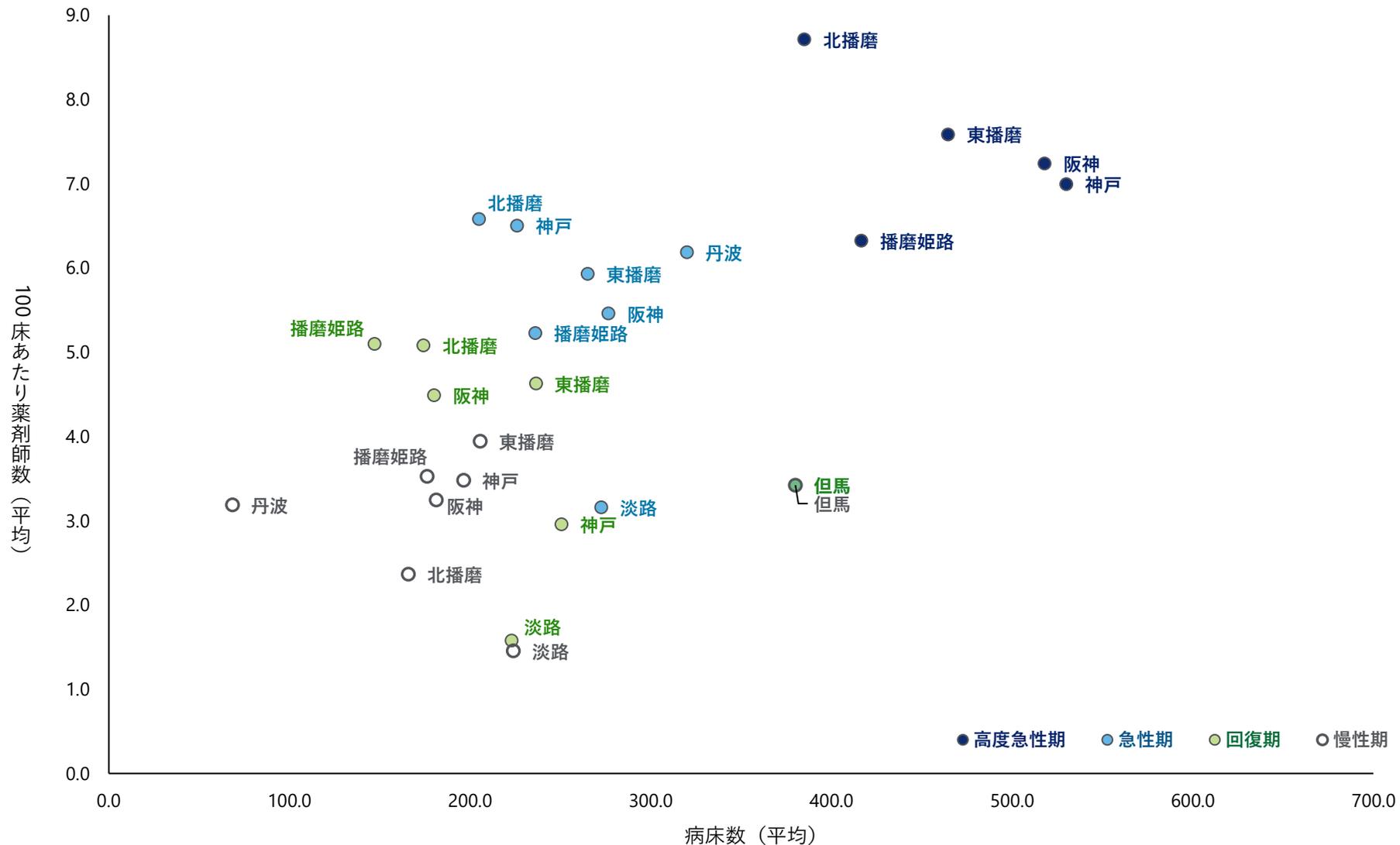


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

28__兵庫県

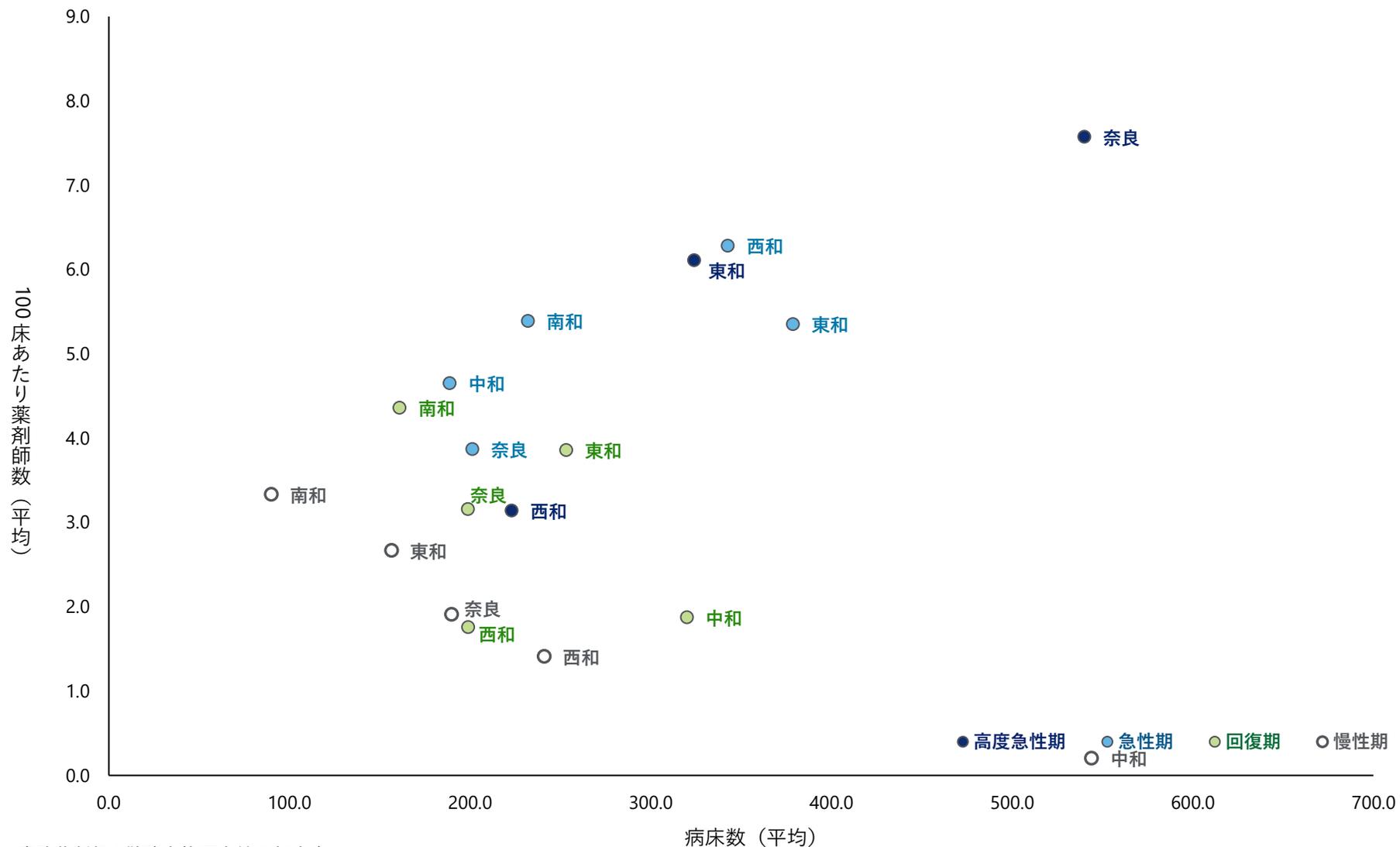


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

29__奈良県



都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

30__和歌山県

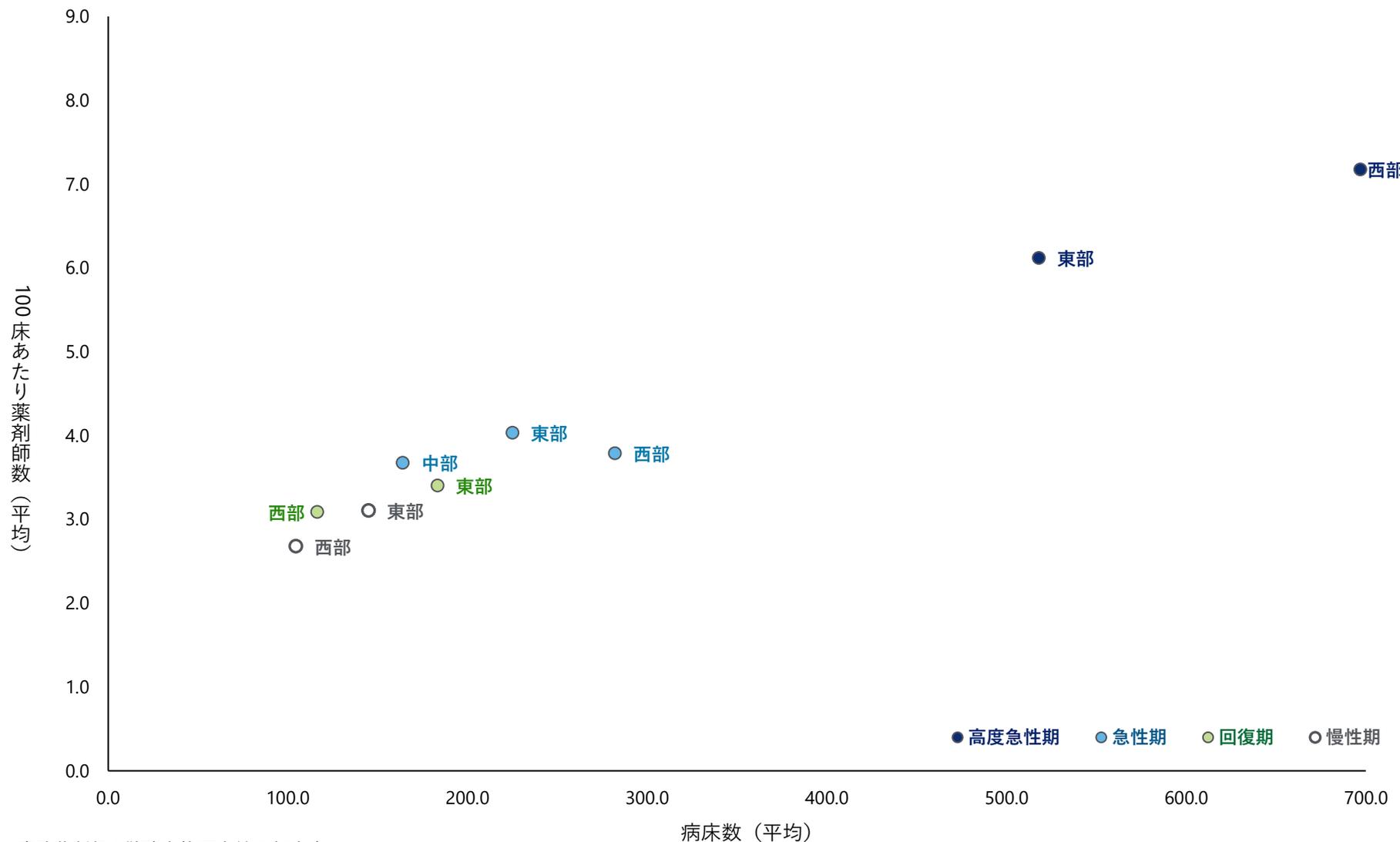


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

31__鳥取県

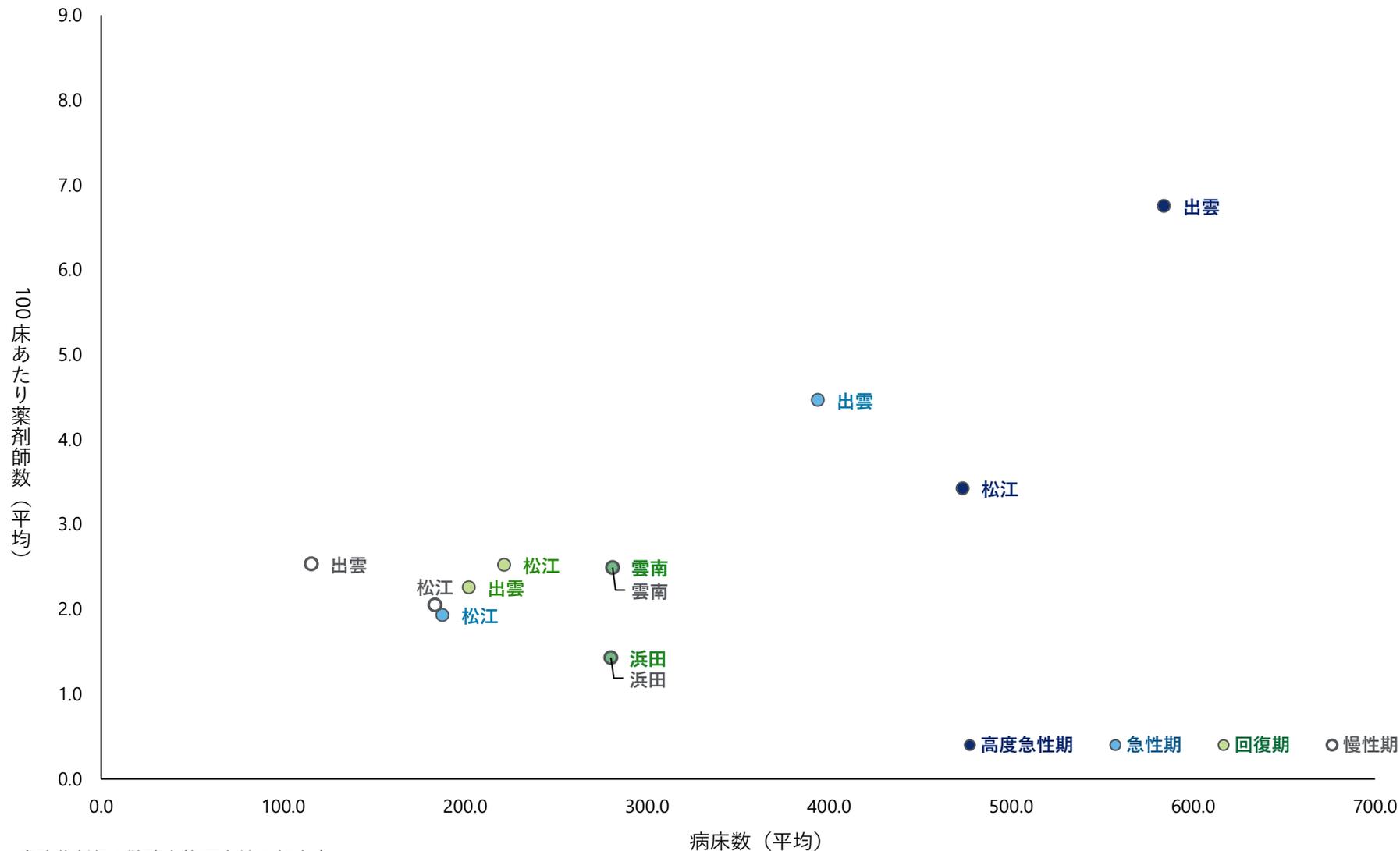


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

32__島根県

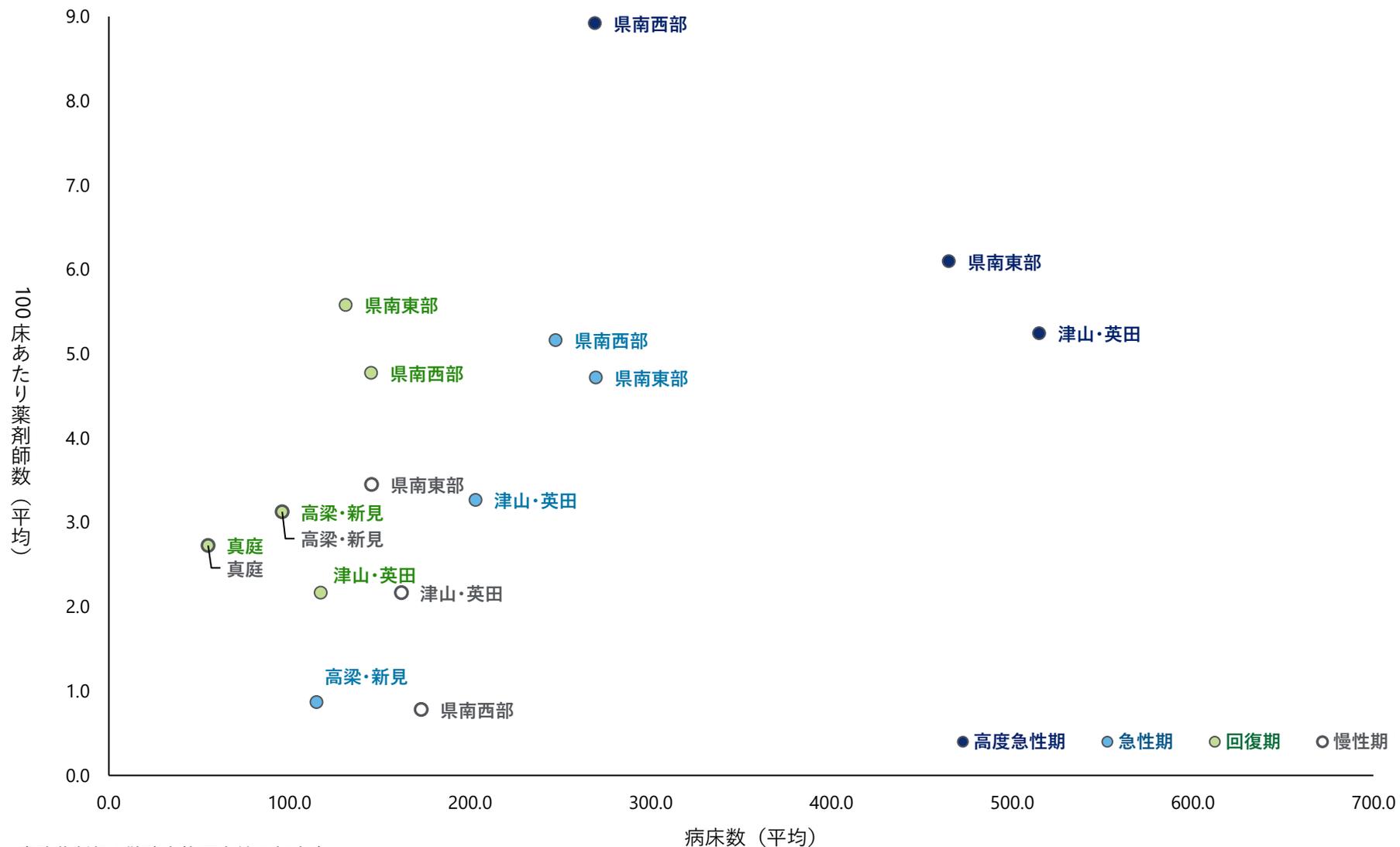


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

33__岡山県

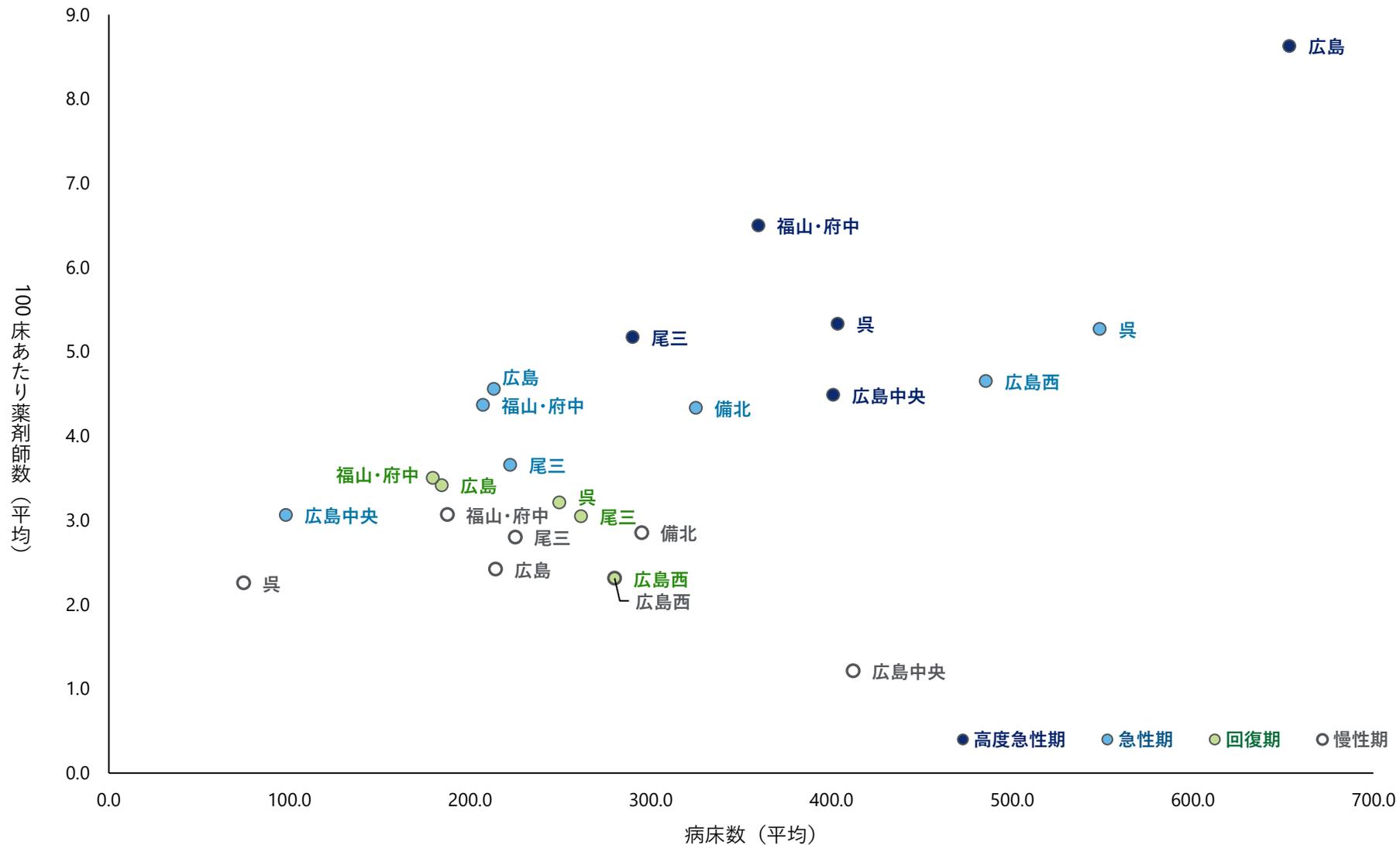


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

34__広島県

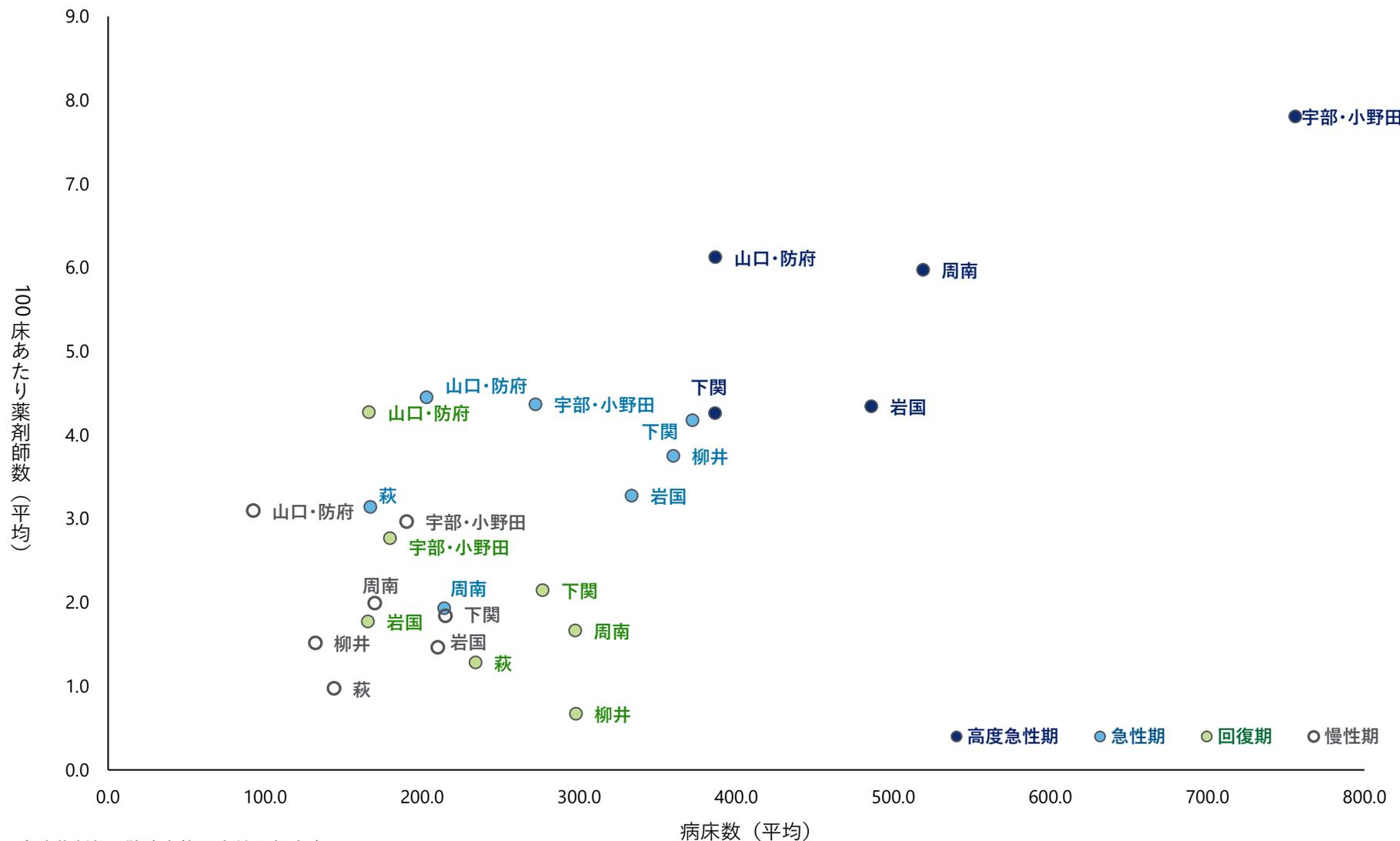


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

35__山口県

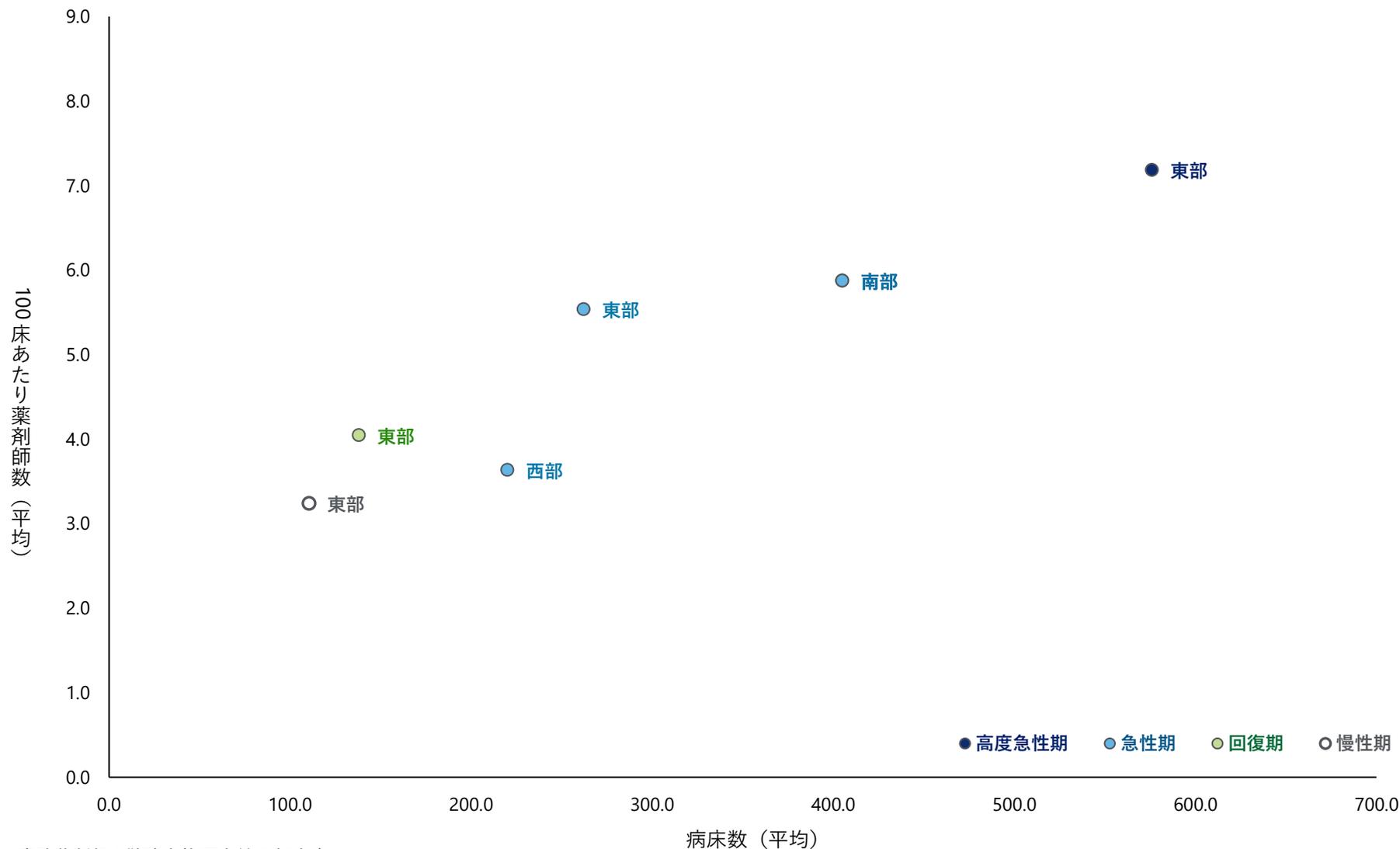


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

36__徳島県

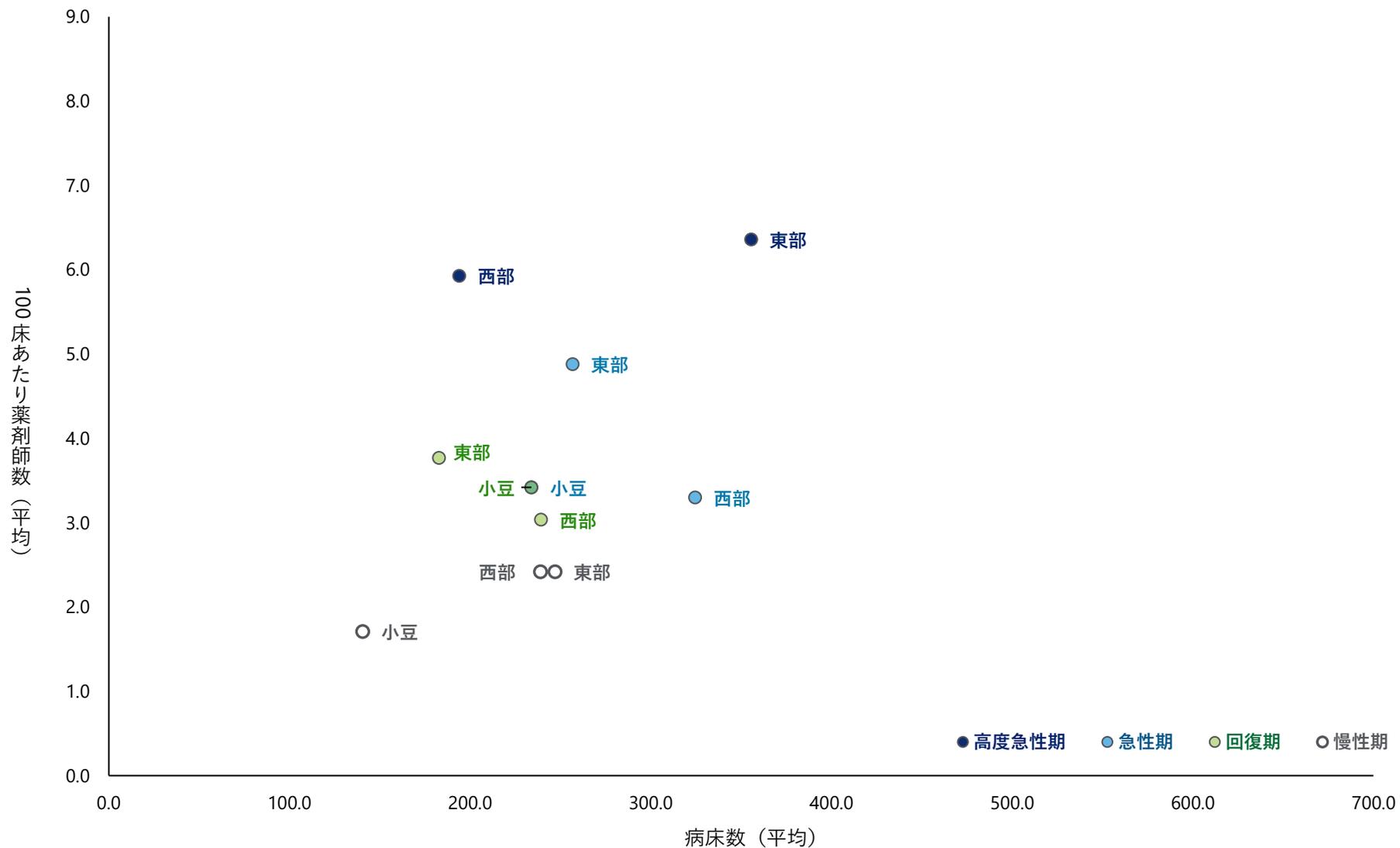


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

37__香川県

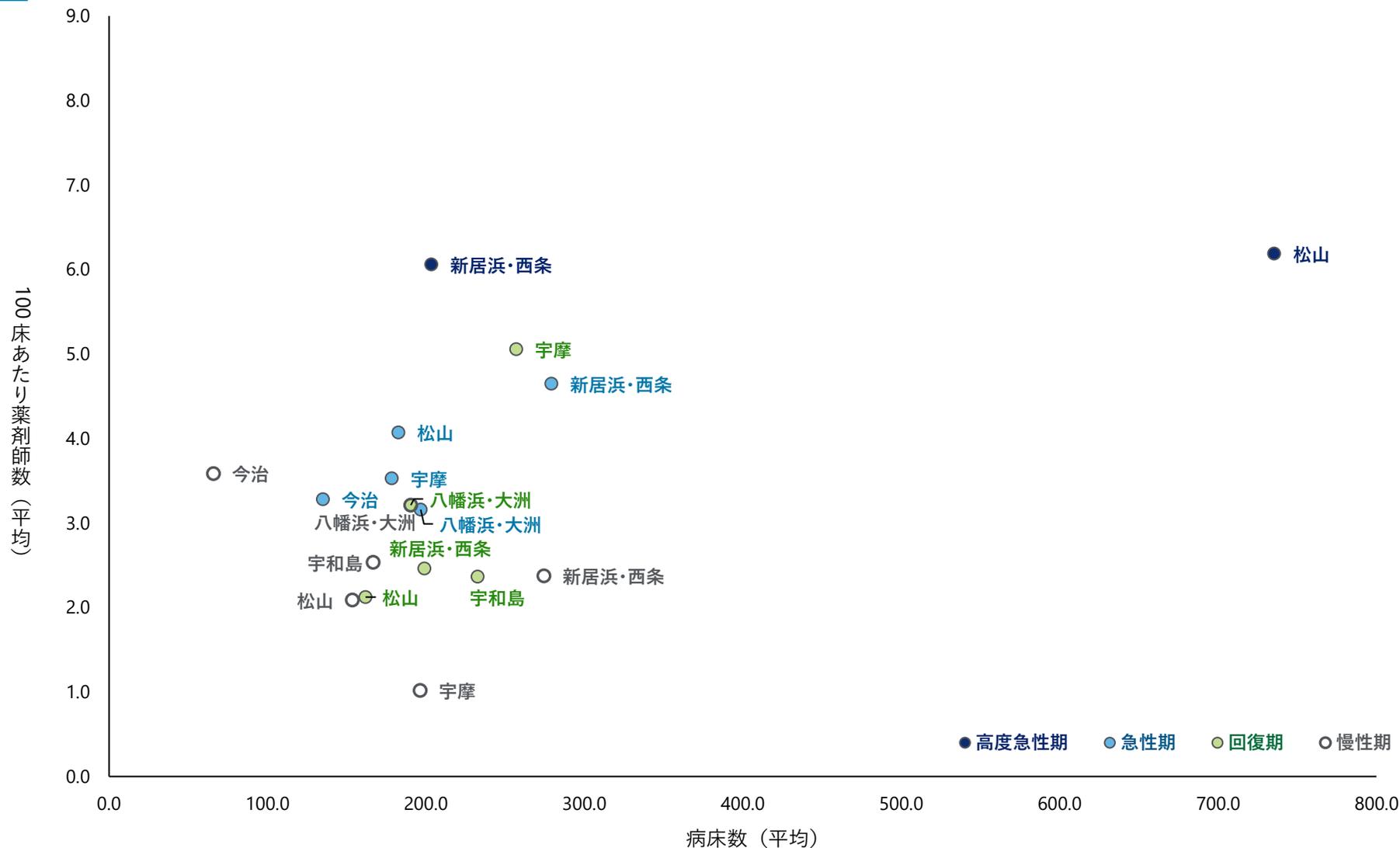


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

38__愛媛県

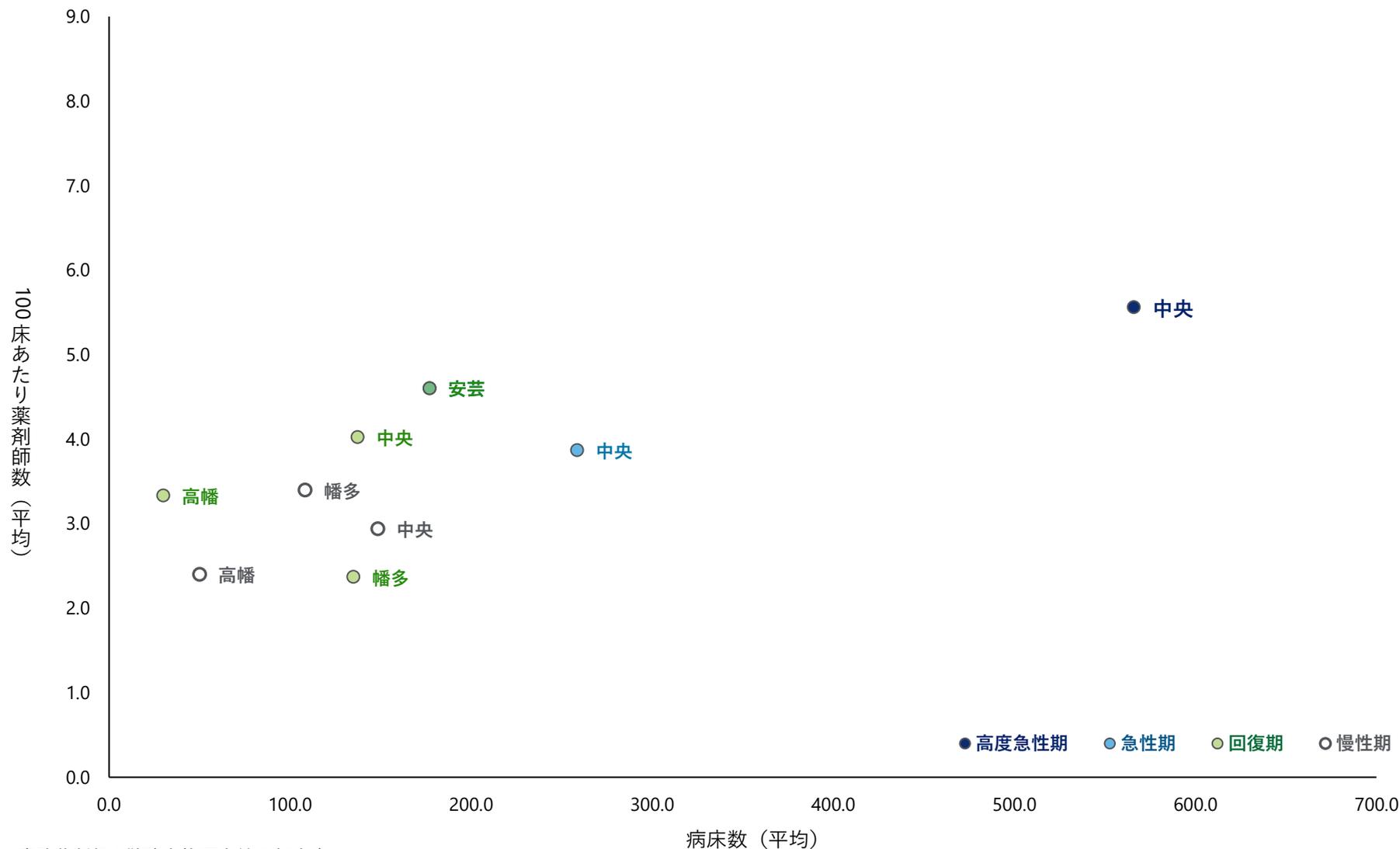


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

39__高知県



都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

40__福岡県

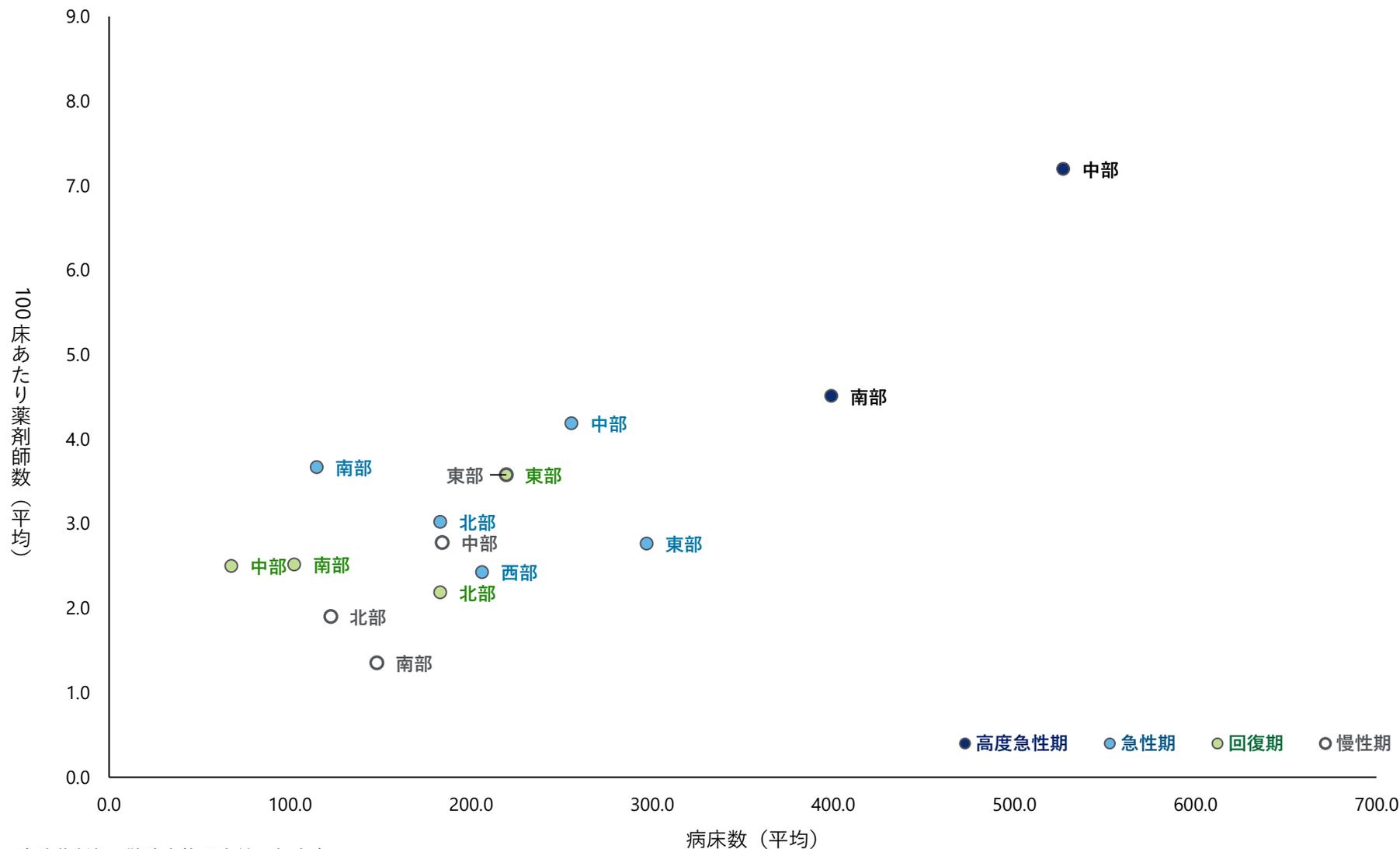


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

41__佐賀県

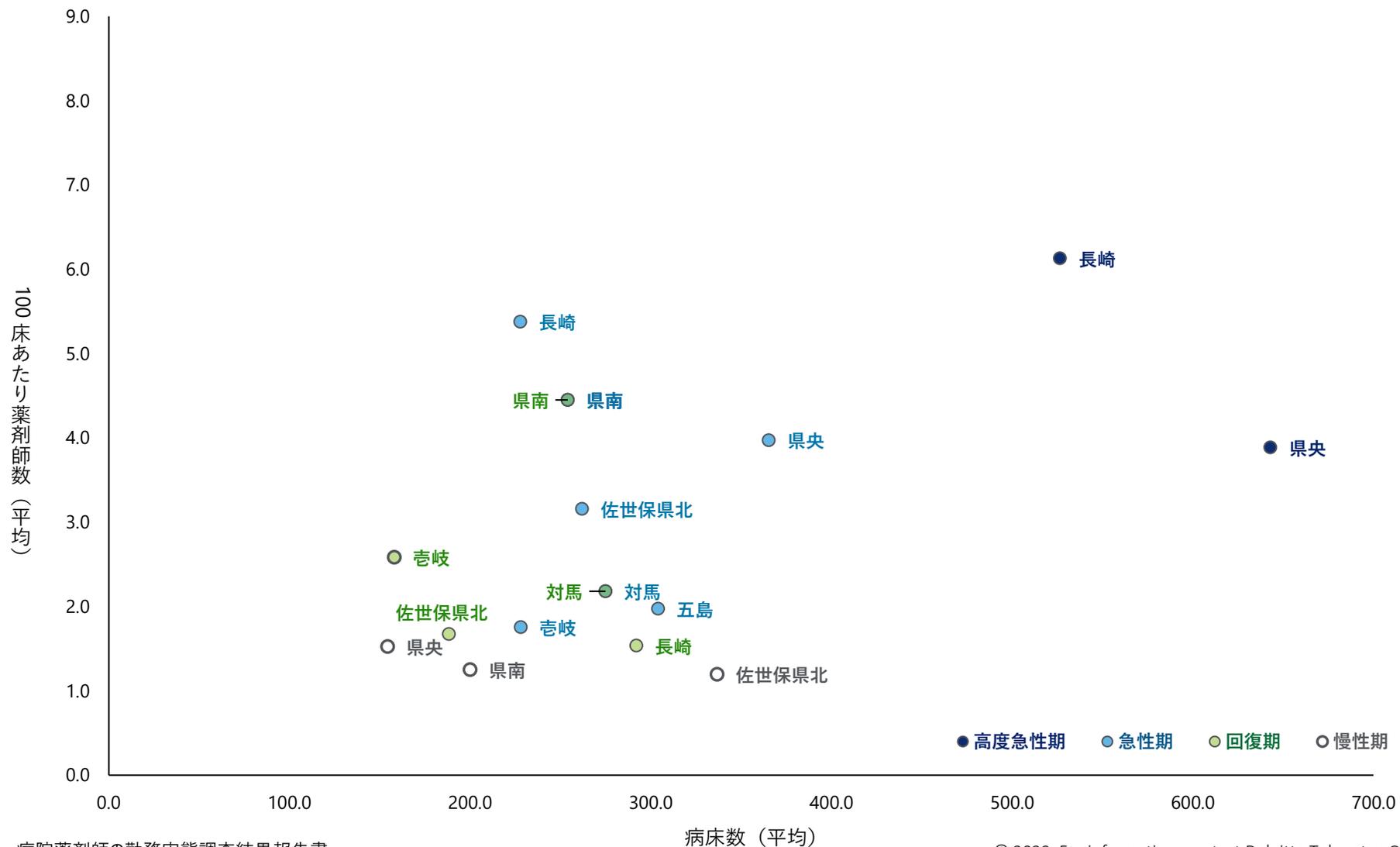


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

42__長崎県

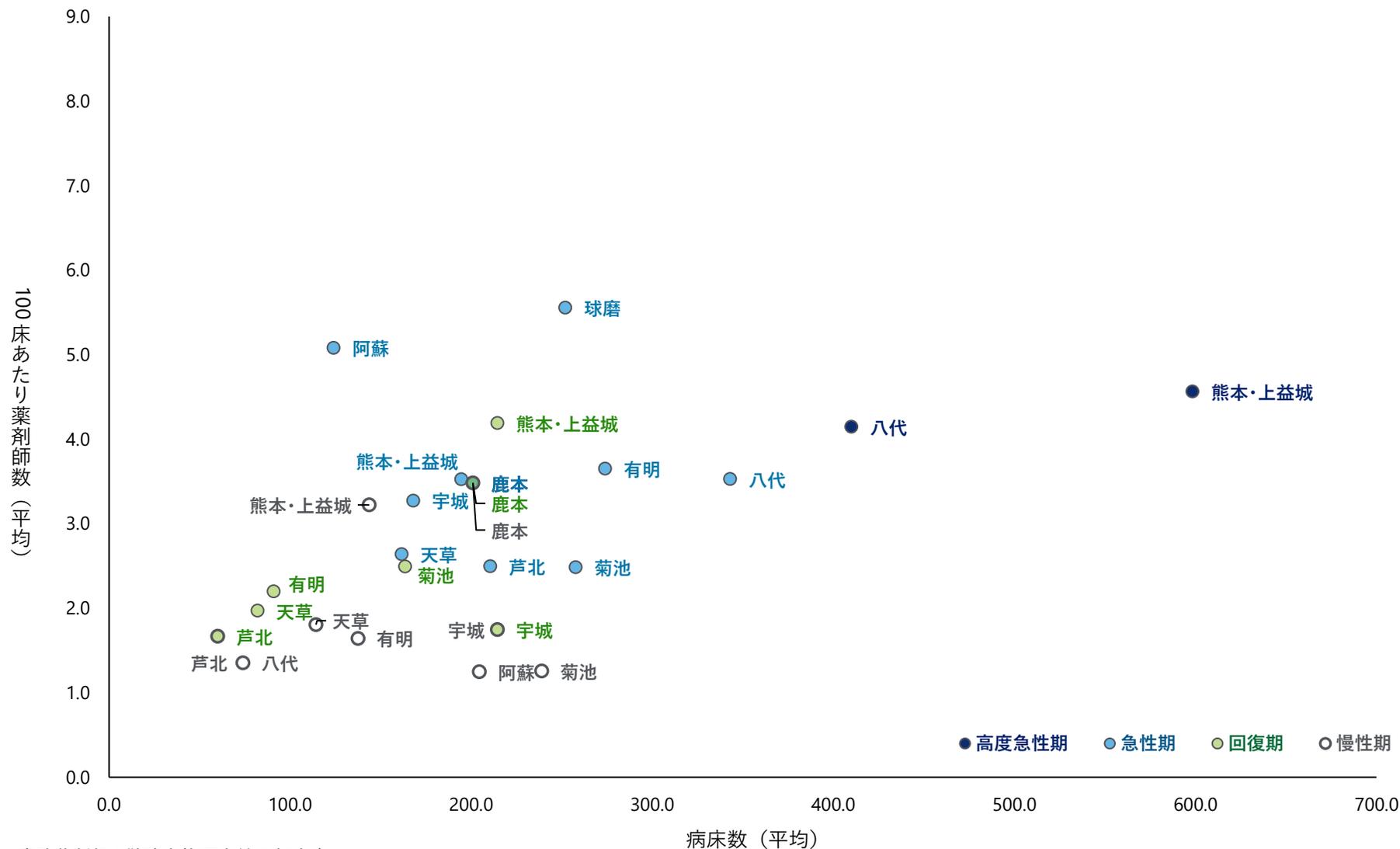


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

43_熊本県

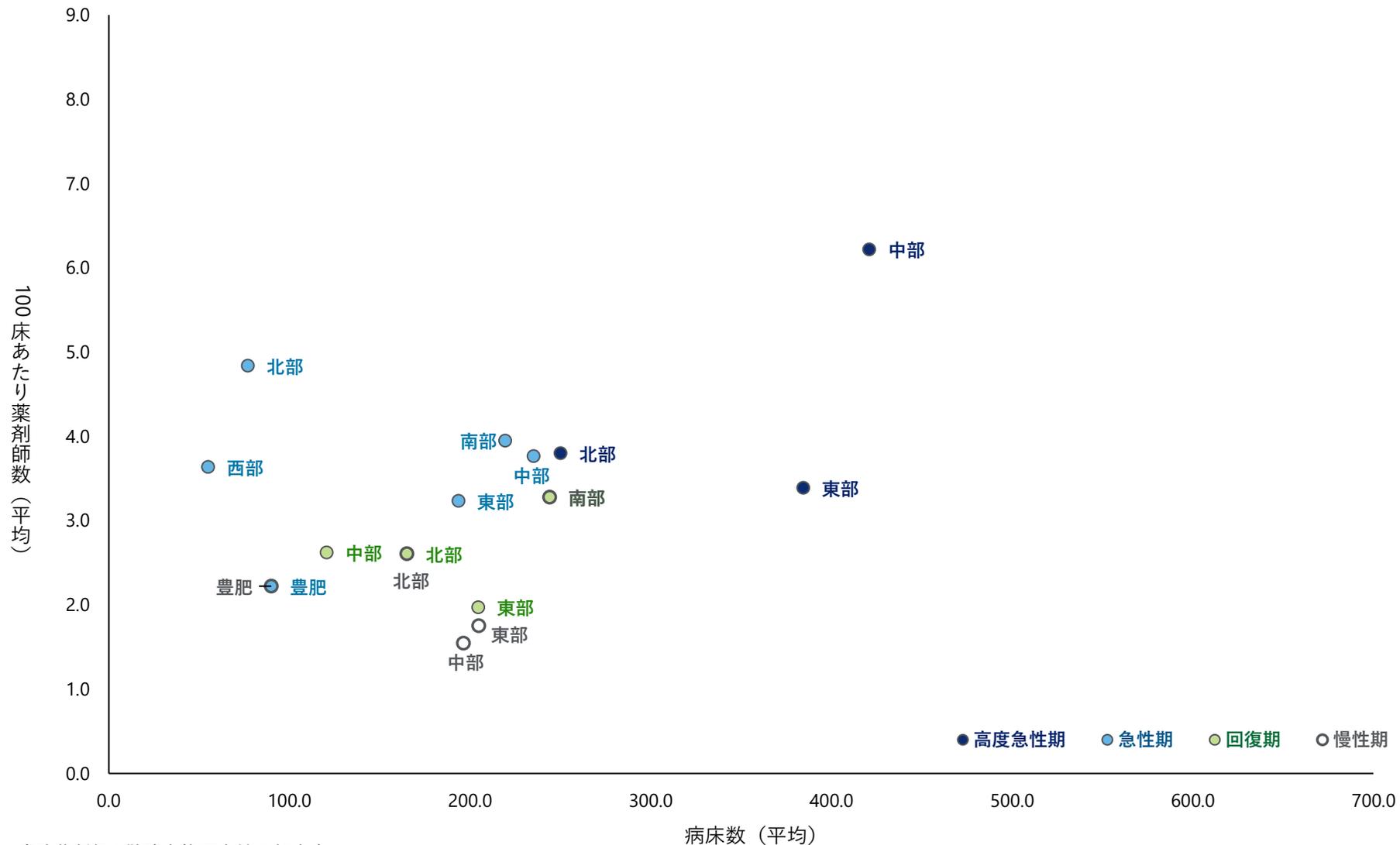


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

44__大分県

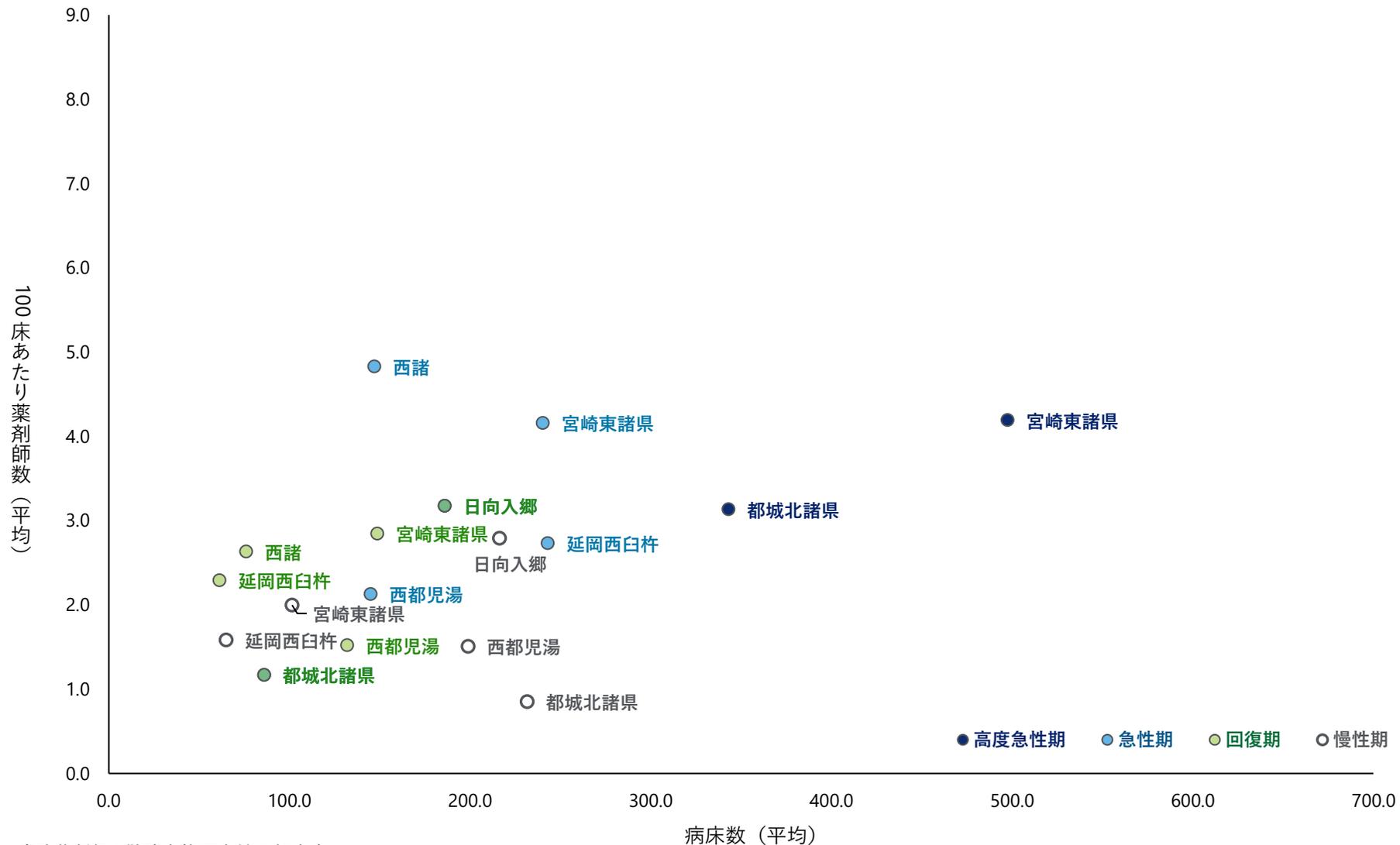


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

45__宮崎県

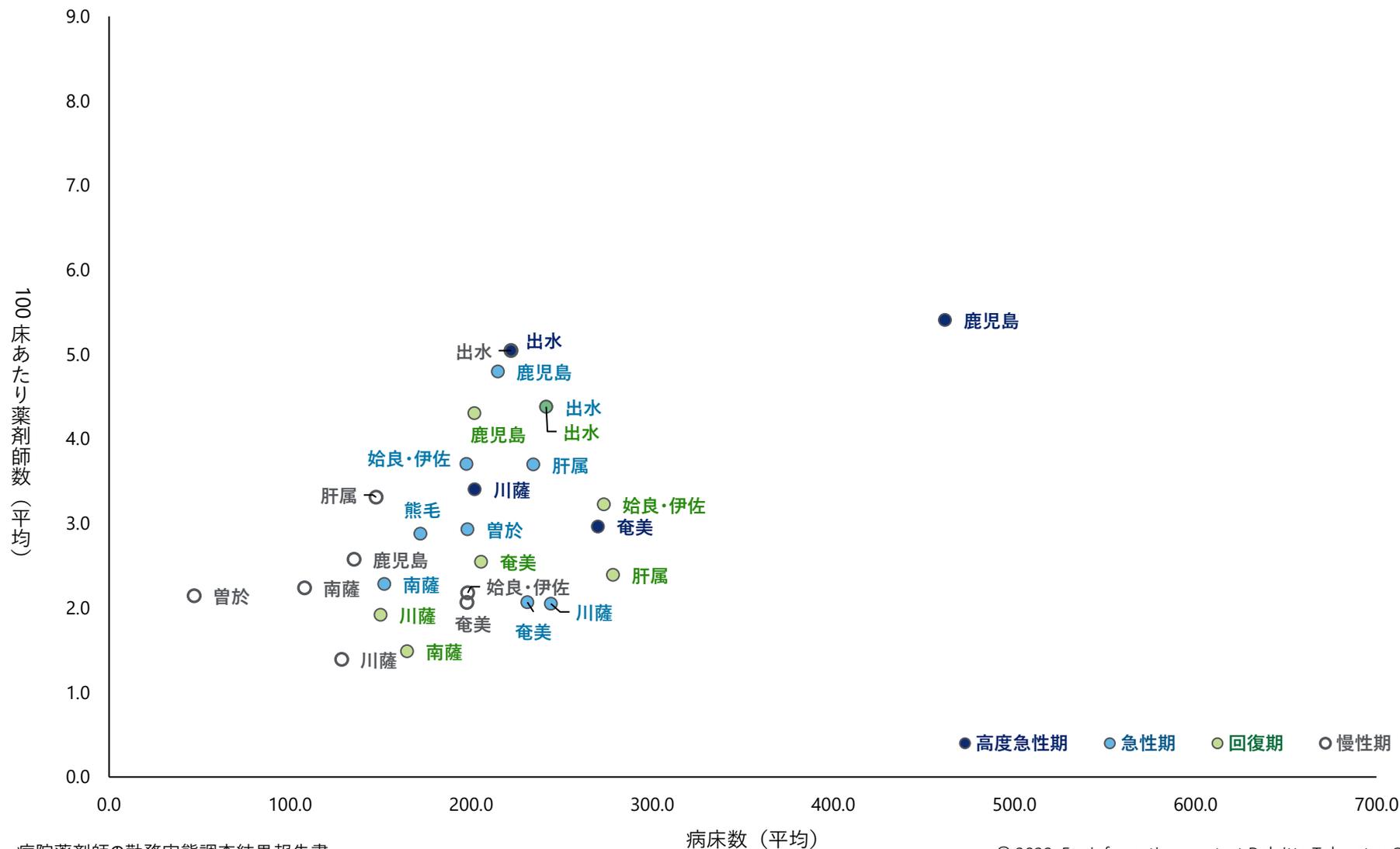


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

46__鹿児島県

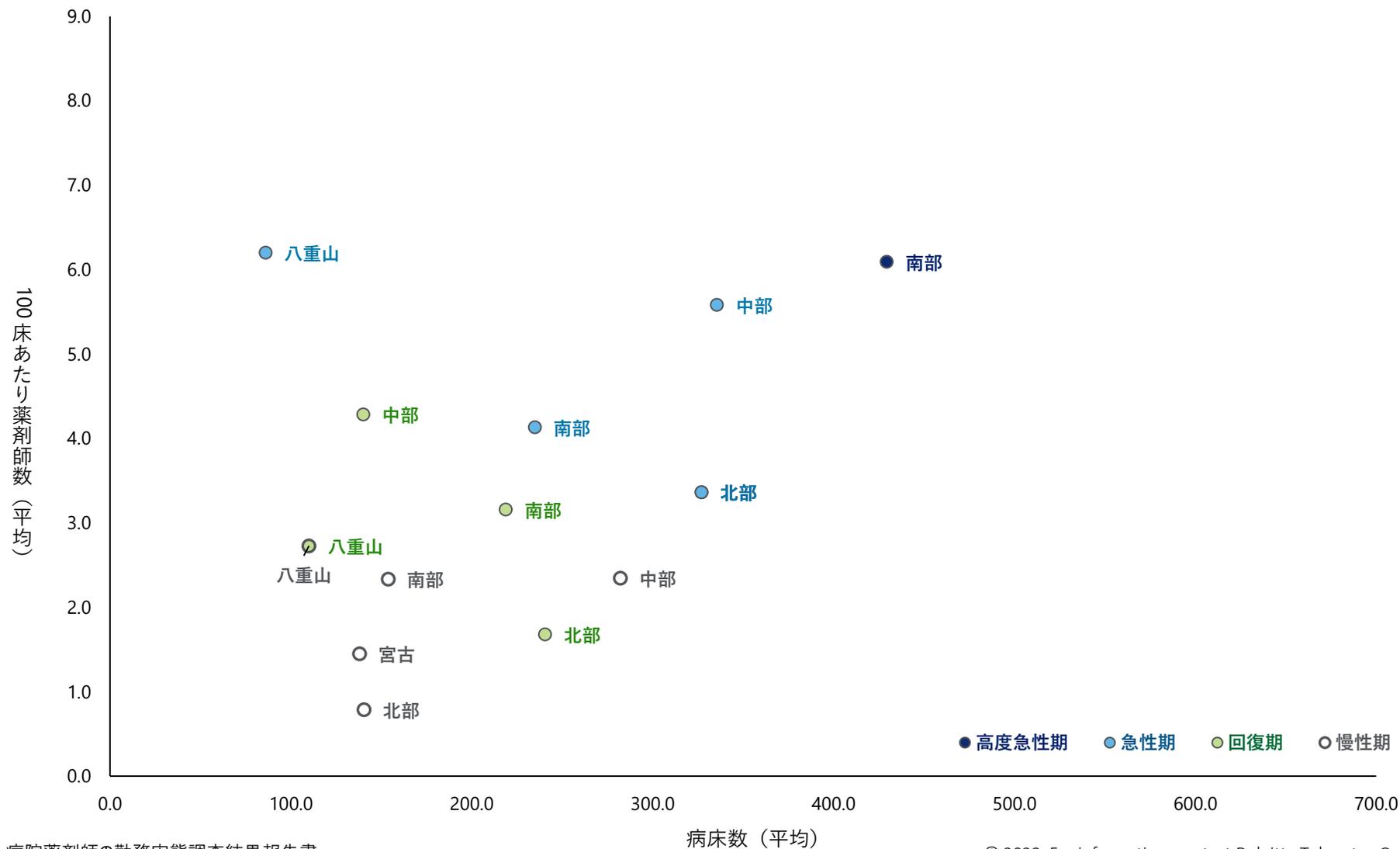


都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

留意事項：本調査に回答した施設の集計結果です

都道府県別__二次医療圏・病床機能別100床あたり薬剤師数

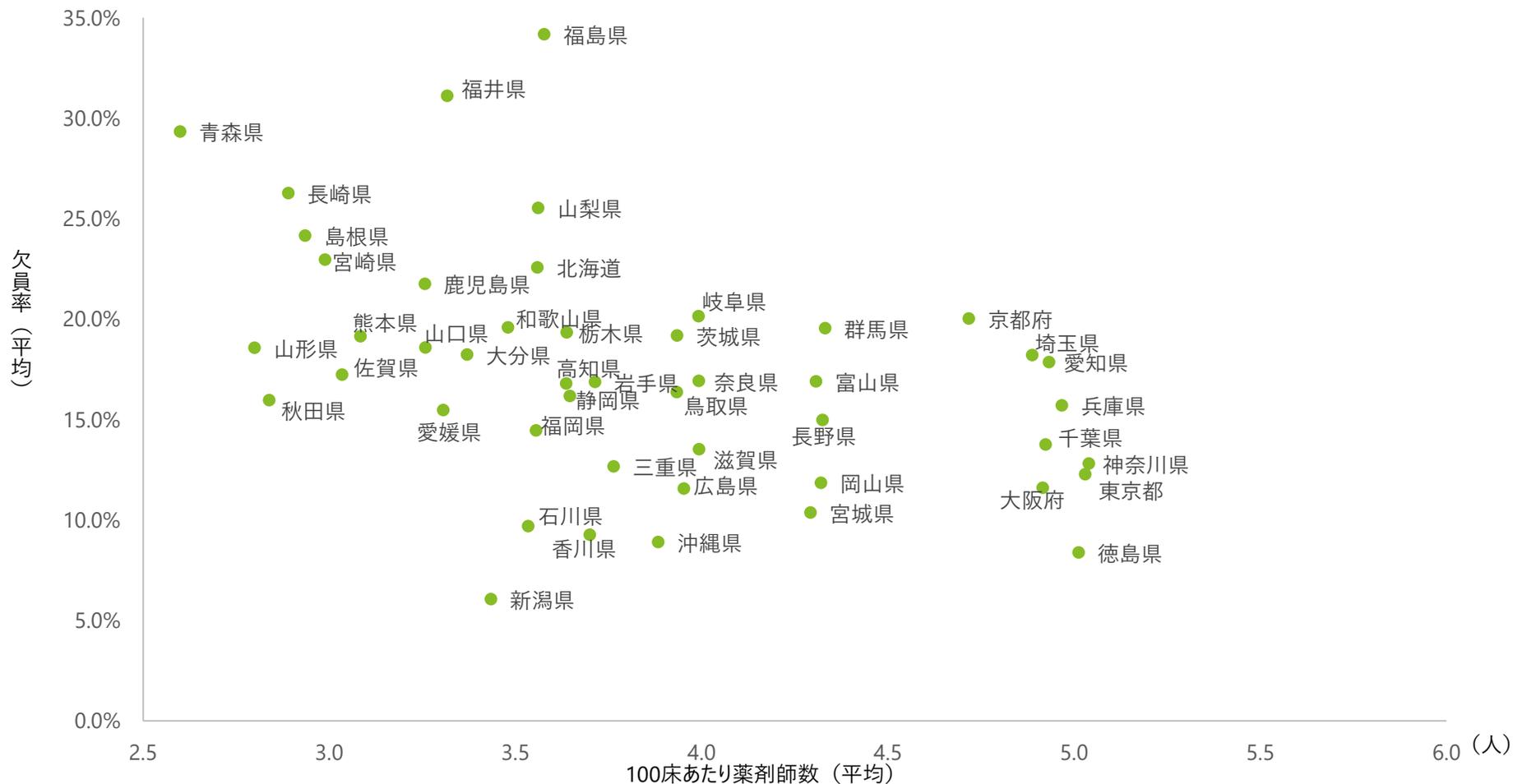
47__沖縄県



【参考 薬剤師欠員状況】

- 100床あたり薬剤師数が少ない都道府県では比較的に欠員率が高い傾向がある（回答施設の欠員数に基づく算出）。

薬剤師欠員率_都道府県別

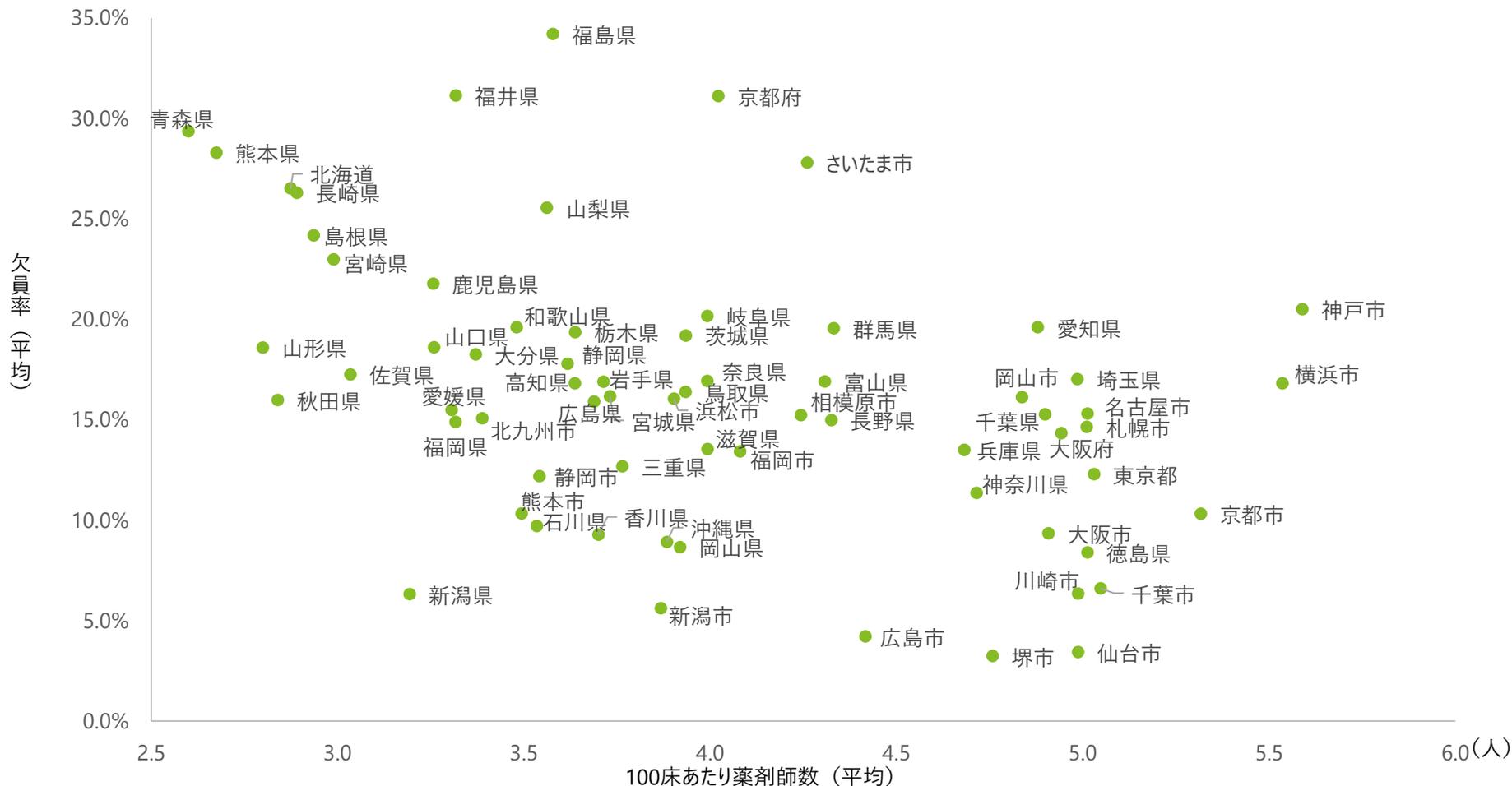


- 欠員率は、施設票の設問6-⑤にて回答頂いた薬剤部薬剤師数（常勤換算数）に対する欠員数を基に算出している。欠員数の回答が無い施設は除外している。

【参考（概算）】__都道府県別_薬剤師欠員状況】

- 100床あたり薬剤師数が少ない都道府県では比較的に欠員率が高い傾向がある（回答施設の欠員数に基づく算出）。

薬剤師欠員率_都道府県別_政令指定都市別出し



- 欠員率は、施設票の設問6-⑤にて回答頂いた薬剤部薬剤師数（常勤換算数）に対する欠員数を基に算出している。欠員数の回答が無い施設は除外している。

【参考（概算）】__都道府県別_薬剤師欠員状況】

- 100床あたり薬剤師数が少ない都道府県では比較的に欠員率が高い傾向がある（回答施設の欠員数に基づく算出）。

薬剤師欠員率_都道府県別 政令指定都市除く



- 欠員率は、施設票の設問6-⑤にて回答頂いた薬剤部薬剤師数（常勤換算数）に対する欠員数を基に算出している。欠員数の回答が無い施設は除外している。

【病棟薬剤業務実施加算算定有無における薬剤師人数区分】

- 病棟薬剤業務実施加算算定有りの施設では2名以上3名未満が、病棟薬剤業務実施加算算定無し施設では1名以上2名未満がボリュームゾーンとなっている。

病棟薬剤業務実施加算_算定有無別の100床あたり薬剤師数区分の施設数 (n=2,829)

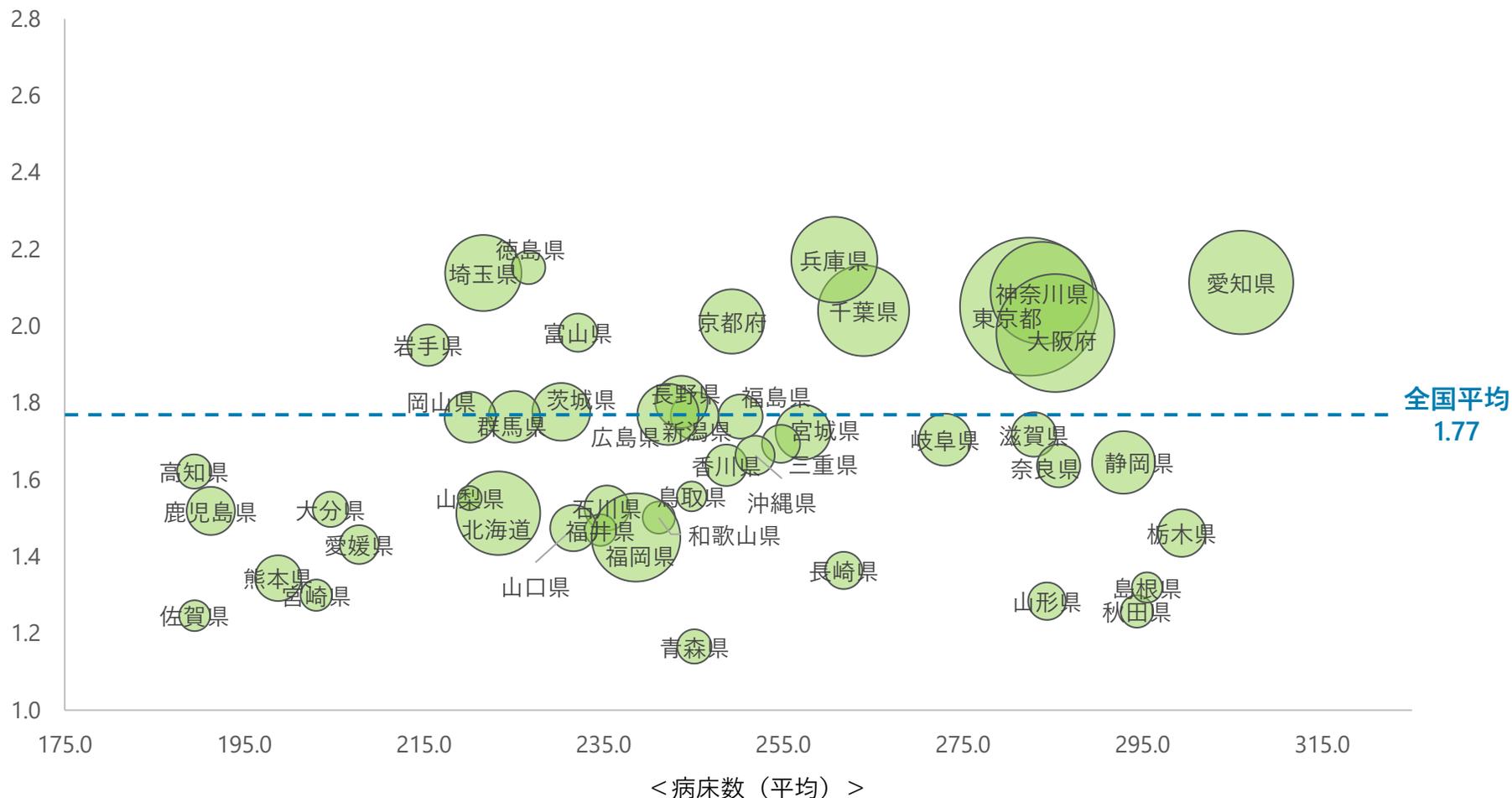
1病棟床あたり薬剤師数	病棟薬剤業務実施加算算定有り (n=983)		病棟薬剤業務実施加算算定無し (n=1,846)	
	施設数	構成比	施設数	構成比
1名未満	18	1.8%	321	17.4%
1名以上2名未満	283	28.8%	763	41.3%
2名以上3名未満	408	41.5%	282	15.3%
3名以上4名未満	110	11.2%	66	3.6%
4名以上5名未満	22	2.2%	21	1.1%
5名以上	8	0.8%	10	0.5%
不明	134	13.6%	383	20.7%

【参考 1病棟あたり薬剤師数】

- 都市部では比較的に1病棟あたり薬剤師数が多い。

1病棟あたり薬剤師数_都道府県別

< 1病棟あたり薬剤師数（平均） >



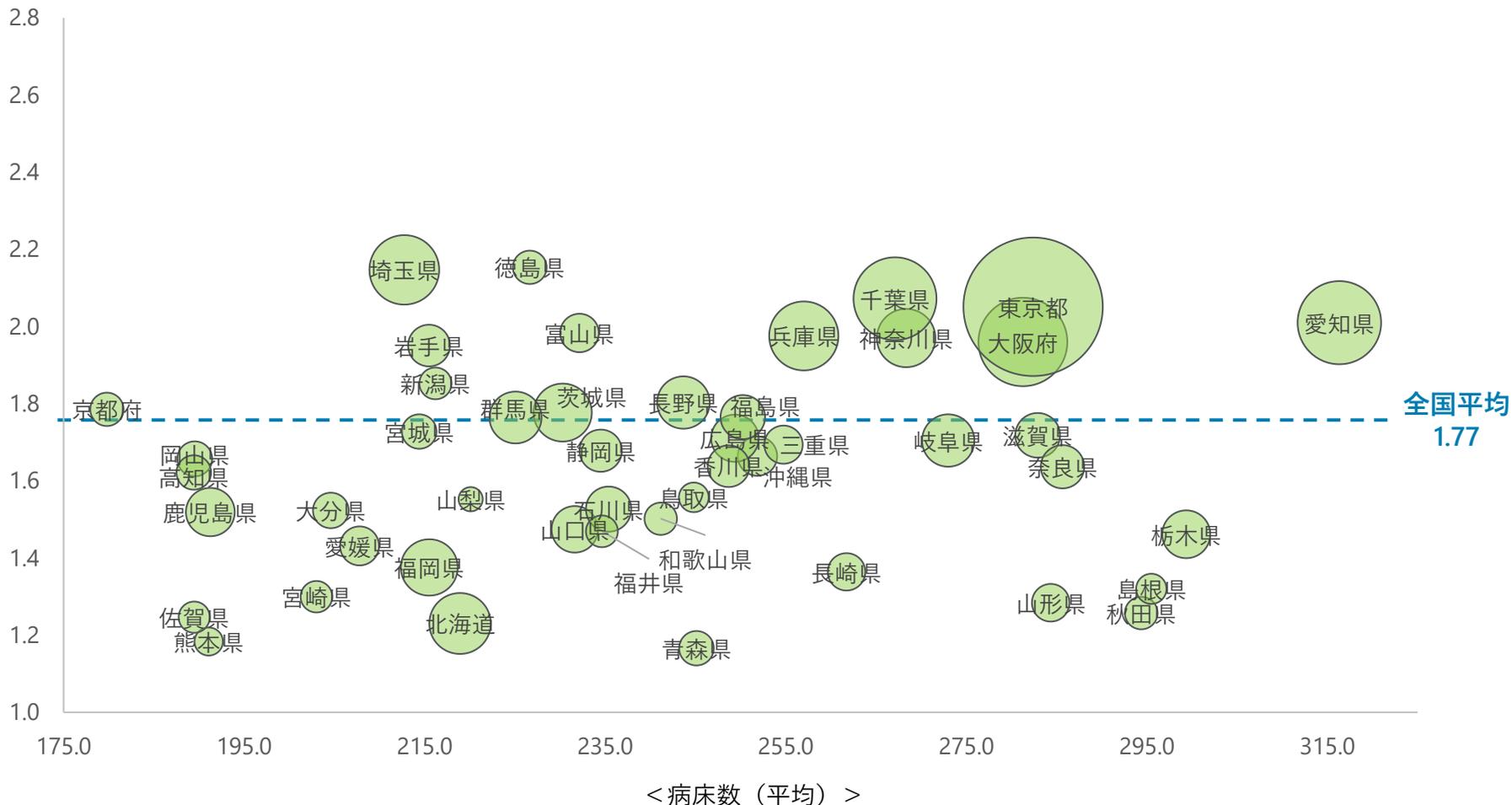
- ●は各都道府県で施設票に回答した医療機関の薬剤部薬剤師数の合計数を基にサイズを設定している。
- 100床あたりの薬剤師数、病床数は各都道府県で施設票に回答した医療機関の平均値を用いている。

【参考 1病棟あたり薬剤師数（政令指定都市以外）】

- 都市部では比較的に1病棟あたり薬剤師数が多い。

1病棟あたり薬剤師数_都道府県別（政令指定都市以外）

< 1病棟あたり薬剤師数（平均） >



- ●は各都道府県で施設票に回答した医療機関の薬剤部薬剤師数の合計数を基にサイズを設定している。
- 100床あたりの薬剤師数、病床数は各都道府県で施設票に回答した医療機関の平均値を用いている。

【参考 1病棟当たり薬剤師人数（数値）_都道府県別】

都道府県	病床数 /平均	1病棟当たり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計	都道府県	病床数 /平均	1病棟当たり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計	都道府県	病床数 /平均	1病棟当たり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計
北海道	223.3	1.5	1,372	石川県	235.4	1.5	405	岡山県	220.1	1.8	517
青森県	245.1	1.2	239	福井県	234.6	1.5	205	広島県	242.2	1.8	744
岩手県	215.5	2.0	344	山梨県	220.1	1.6	121	山口県	231.6	1.5	425
宮城県	257.2	1.7	600	長野県	243.7	1.8	540	徳島県	226.6	2.2	228
秋田県	294.4	1.3	214	岐阜県	273.0	1.7	537	香川県	248.7	1.6	345
山形県	284.3	1.3	284	静岡県	292.9	1.6	778	愛媛県	207.8	1.4	301
福島県	250.2	1.8	390	愛知県	306.0	2.1	2,094	高知県	189.4	1.6	241
茨城県	230.3	1.8	660	三重県	254.7	1.7	291	福岡県	238.6	1.5	1,520
栃木県	299.4	1.5	454	滋賀県	282.9	1.7	396	佐賀県	189.4	1.2	195
群馬県	225.1	1.8	533	京都府	249.3	2.0	820	長崎県	261.7	1.4	281
埼玉県	221.6	2.1	1,136	大阪府	285.3	2.0	2,695	熊本県	198.8	1.3	421
千葉県	263.9	2.0	1,609	兵庫県	260.7	2.2	1,436	大分県	204.6	1.5	255
東京都	282.4	2.1	3,696	奈良県	285.7	1.6	374	宮崎県	203.0	1.3	202
神奈川県	283.8	2.1	2,037	和歌山県	241.1	1.5	210	鹿児島県	191.3	1.5	466
新潟県	245.1	1.8	453	鳥取県	244.8	1.6	181	沖縄県	251.9	1.7	307
富山県	232.1	2.0	297	島根県	295.5	1.3	187				

【参考 1病棟あたり薬剤師数（数値）_都道府県別（政令指定都市別出し）】

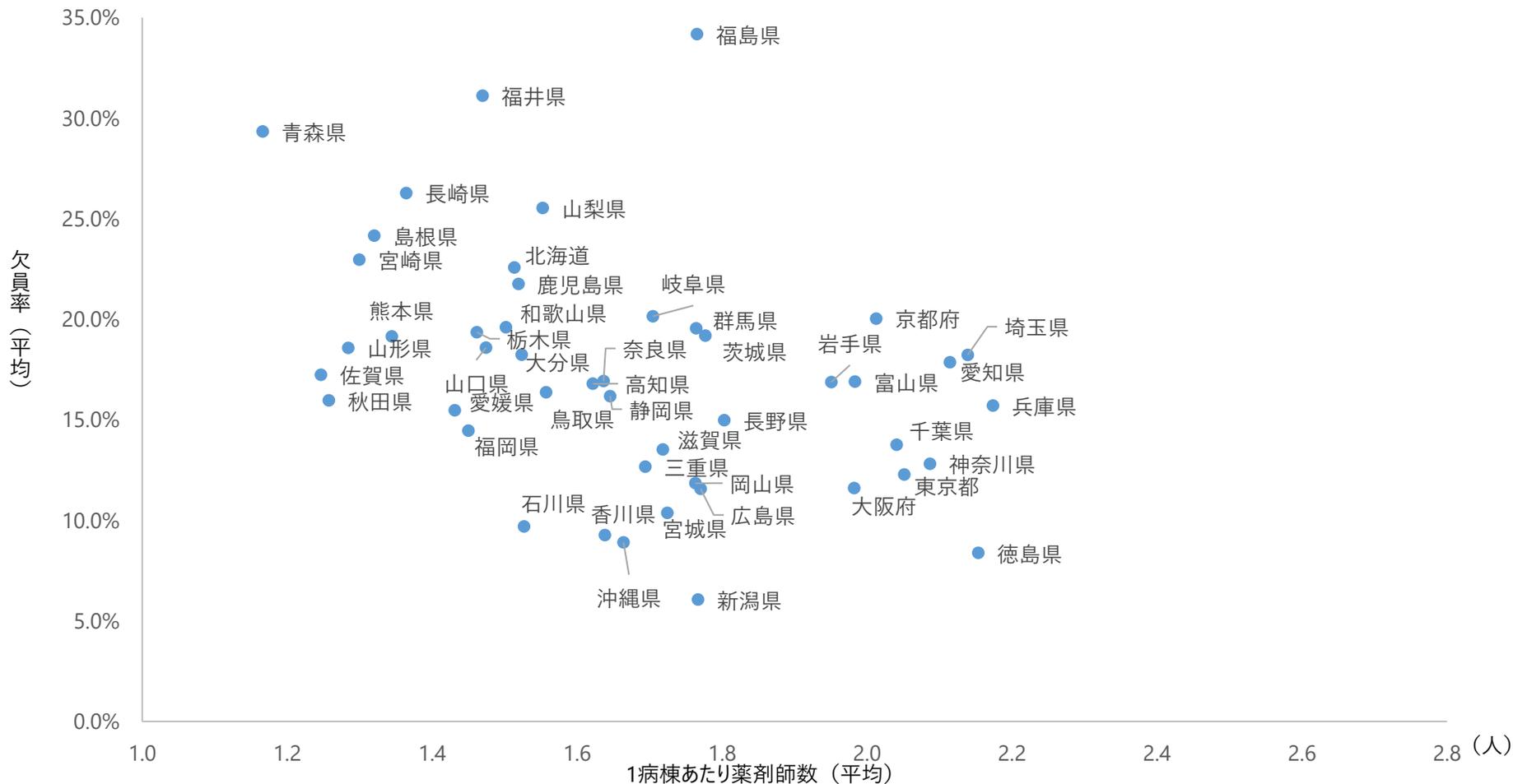
※ 政令指定都市がある都道府県は政令指定都市を除いた値

都道府県	病床数 /平均	1病棟あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計	都道府県	病床数 /平均	1病棟あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計	都道府県	病床数 /平均	1病棟あたり 薬剤師人数 /平均	薬剤部 薬剤師数 合計
北海道	218.9	1.2	733	三重県	254.7	1.7	291	沖縄県	251.9	1.7	307
青森県	245.1	1.2	239	滋賀県	282.9	1.7	396	札幌市	232.6	2.1	639
岩手県	215.5	2.0	344	京都府	179.8	1.8	223	仙台市	310.2	1.7	358
宮城県	214.4	1.7	242	大阪府	281.3	2.0	1,516	さいたま市	279.6	2.1	192
秋田県	294.4	1.3	214	兵庫県	257.0	2.0	929	千葉市	248.5	1.9	277
山形県	284.3	1.3	284	奈良県	285.7	1.6	374	横浜市	280.5	2.2	850
福島県	250.2	1.8	390	和歌山県	241.1	1.5	210	川崎市	324.5	2.1	409
茨城県	230.3	1.8	660	鳥取県	244.8	1.6	181	相模原市	278.9	1.9	111
栃木県	299.4	1.5	454	島根県	295.5	1.3	187	新潟市	295.1	1.6	247
群馬県	225.1	1.8	533	岡山県	189.5	1.7	246	静岡市	355.5	1.5	221
埼玉県	212.7	2.1	944	広島県	249.4	1.7	442	浜松市	404.0	1.7	203
千葉県	267.1	2.1	1,333	山口県	231.6	1.5	425	名古屋市	290.7	2.3	751
東京都	282.4	2.1	3,696	徳島県	226.6	2.2	228	京都市	313.0	2.2	597
神奈川県	268.3	2.0	667	香川県	248.7	1.6	345	大阪市	283.5	2.0	956
新潟県	216.2	1.9	206	愛媛県	207.8	1.4	301	堺市	322.1	2.1	223
富山県	232.1	2.0	297	高知県	189.4	1.6	241	神戸市	268.8	2.6	507
石川県	235.4	1.5	405	福岡県	215.5	1.4	628	岡山市	259.5	1.9	272
福井県	234.6	1.5	205	佐賀県	189.4	1.2	195	広島市	229.7	1.9	301
山梨県	220.1	1.6	121	長崎県	261.7	1.4	281	北九州市	273.4	1.4	346
長野県	243.7	1.8	540	熊本県	191.1	1.2	162	福岡市	255.0	1.6	547
岐阜県	273.0	1.7	537	大分県	204.6	1.5	255	熊本市	206.4	1.5	259
静岡県	234.5	1.7	354	宮崎県	203.0	1.3	202				
愛知県	316.3	2.0	1,343	鹿児島県	191.3	1.5	466				

【参考（概算）】__都道府県別_薬剤師欠員状況】

- 1病棟あたり薬剤師数が少ない都道府県では比較的に欠員率が高い傾向がある（回答施設の欠員数に基づく算出）。

薬剤師欠員率_都道府県別

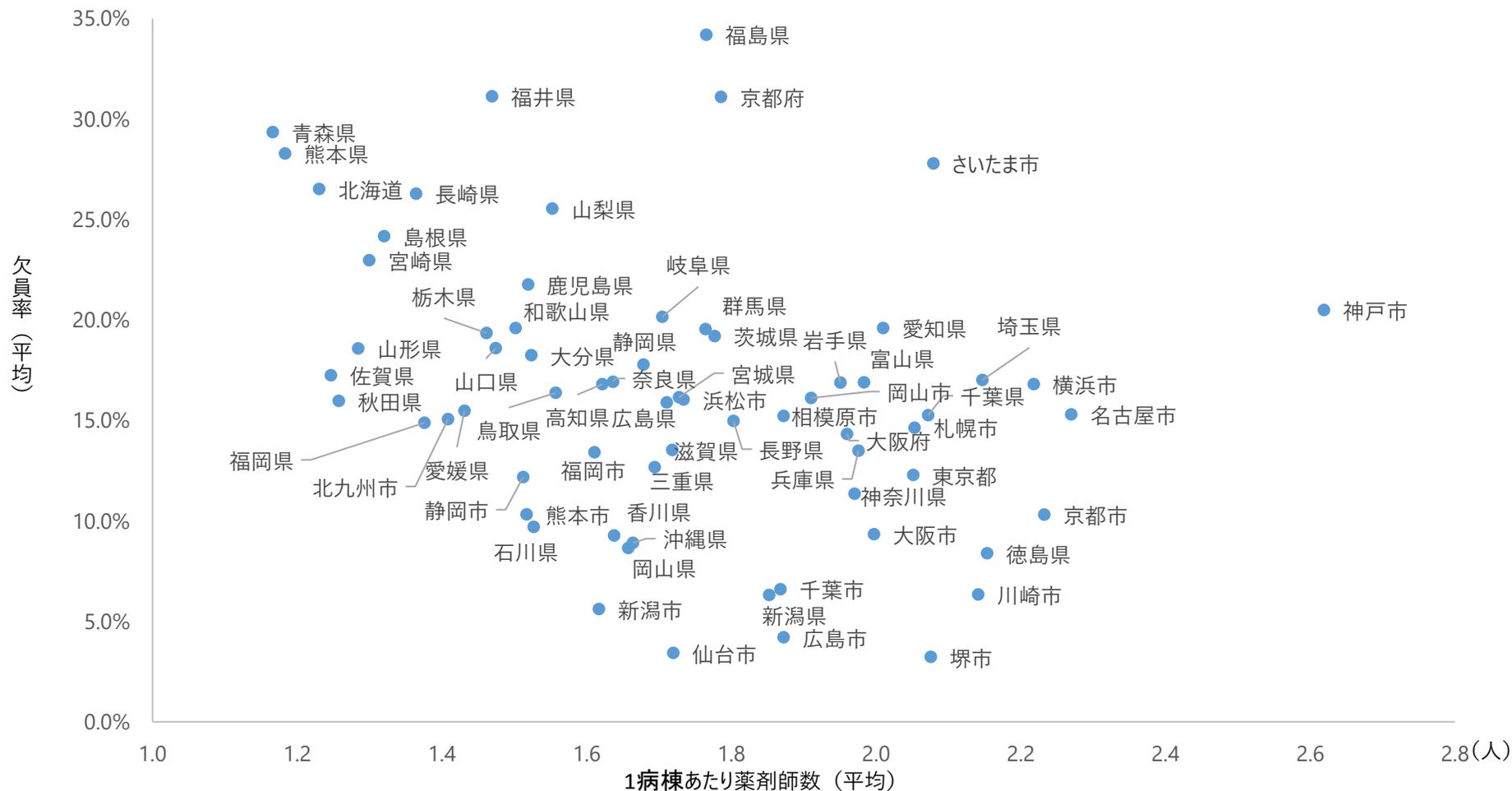


- 欠員率は、施設票の設問6-⑤にて回答頂いた薬剤部薬剤師数（常勤換算数）に対する欠員数を基に算出している。欠員数の回答が無い施設は除外している。

【参考（概算）】__都道府県別_薬剤師欠員状況】

- 1病棟あたり薬剤師数が少ない都道府県では比較的に欠員率が高い傾向がある（回答施設の欠員数に基づく算出）。

薬剤師欠員率_都道府県別（政令指定都市別出し）

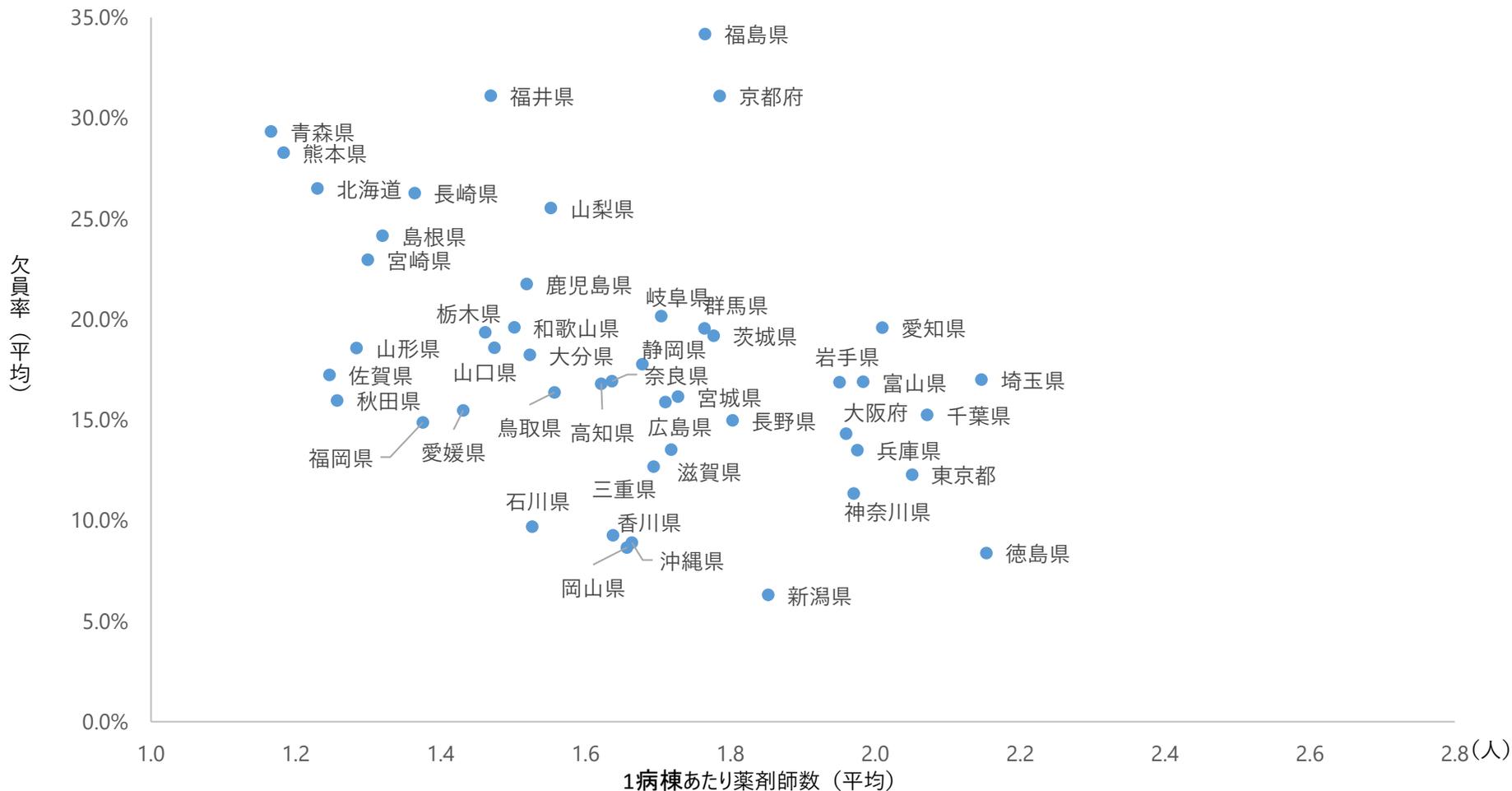


- 欠員率は、施設票の設問6-⑤にて回答頂いた薬剤部薬剤師数（常勤換算数）に対する欠員数を基に算出している。欠員数の回答が無い施設は除外している。

【参考（概算）】__都道府県別_薬剤師欠員状況】

- 1病棟あたり薬剤師数が少ない都道府県では比較的に欠員率が高い傾向がある（回答施設の欠員数に基づく算出）。

薬剤師欠員率_都道府県別（政令指定都市除く）



- 欠員率は、施設票の設問6-⑤にて回答頂いた薬剤部薬剤師数（常勤換算数）に対する欠員数を基に算出している。欠員数の回答が無い施設は除外している。

④勤務実態・勤務形態

勤務実態・勤務形態サマリ

1週間の勤務実態

- 勤務実態について、100床あたり薬剤師数3名以上の施設では、調査期間中の勤務時間の平均値が3名未満の施設よりも1～2時間程度多くなっている。病棟薬剤師実施加算算定有無による大きな差は見られない。
- 勤務実態を病床機能別・病床規模区分別にみると、調査期間7日間の勤務時間は病床規模が大きいほど長い傾向が見られる。勤務実態を病床機能別・病棟薬剤師実施加算算定有無別にみても、病棟薬剤師実施加算算定有無による大きな差は見られない。

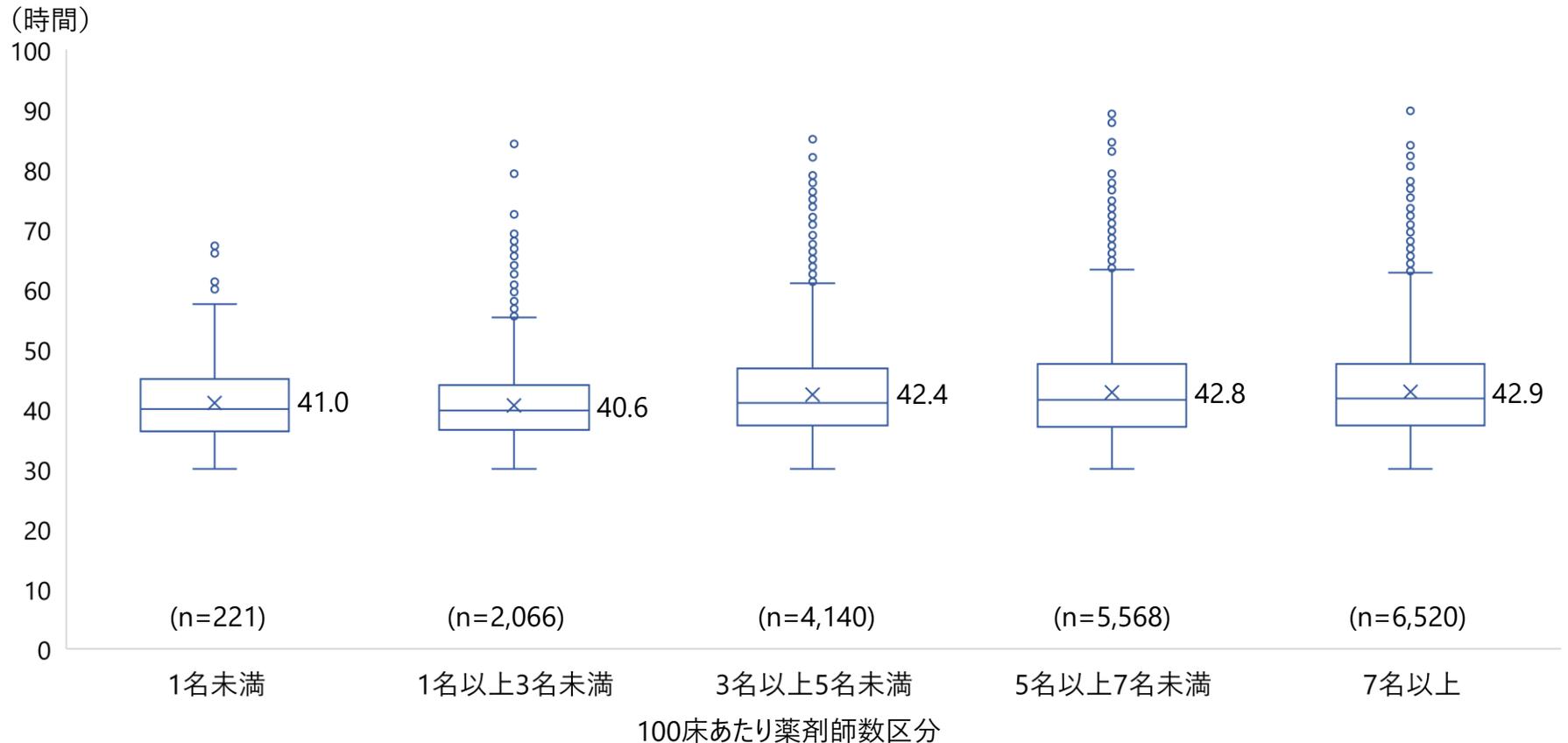
回答施設における勤務形態

- 勤務形態について、約55%の施設が“完全週休2日制”を導入している。また、100床あたり薬剤師数が5名以上の施設では、全体平均よりも完全週休2日制以上の休日日数の割合が若干高い。
- 平日夜間における勤務は44%が「有る」と回答し、その内最も多かったのは「宿直」勤務であった。また、休日勤務は59%が「有る」と回答し、その内最も多かったのは「日直」勤務であった。
- 日勤・夜勤＋当直時の休憩時間は、「1時間台」の者が最も多くなっている。また、日勤・夜勤＋当直時の休憩時間を勤務時間別にみると、いずれの勤務時間においても「1時間未満」や「1時間台」の者が最も多くなっている。
- 日勤・夜勤＋当直時の休憩・手待ち時間は、「1時間台」の者が最も多くなっている。また、日勤・夜勤＋当直時の休憩・手待ち時間を勤務時間別にみると、勤務時間14時間台までは「1時間未満」や「1時間台」の者が最も多くなっている。勤務時間18時間台以上は、「4時間台」、「6時間台」、「8時間台」の回答も多くなっている。

【勤務実態】

- 100床あたり薬剤師数3名以上の施設では、調査期間中の勤務時間の平均値が3名未満の施設よりも1～2時間程度多くなっている。
- 調査期間中の勤務日数や時間外労働の有無等によって中央値より乖離している回答者も一定数生じている。

調査期間7日間の勤務時間（100床あたり薬剤師数区分）



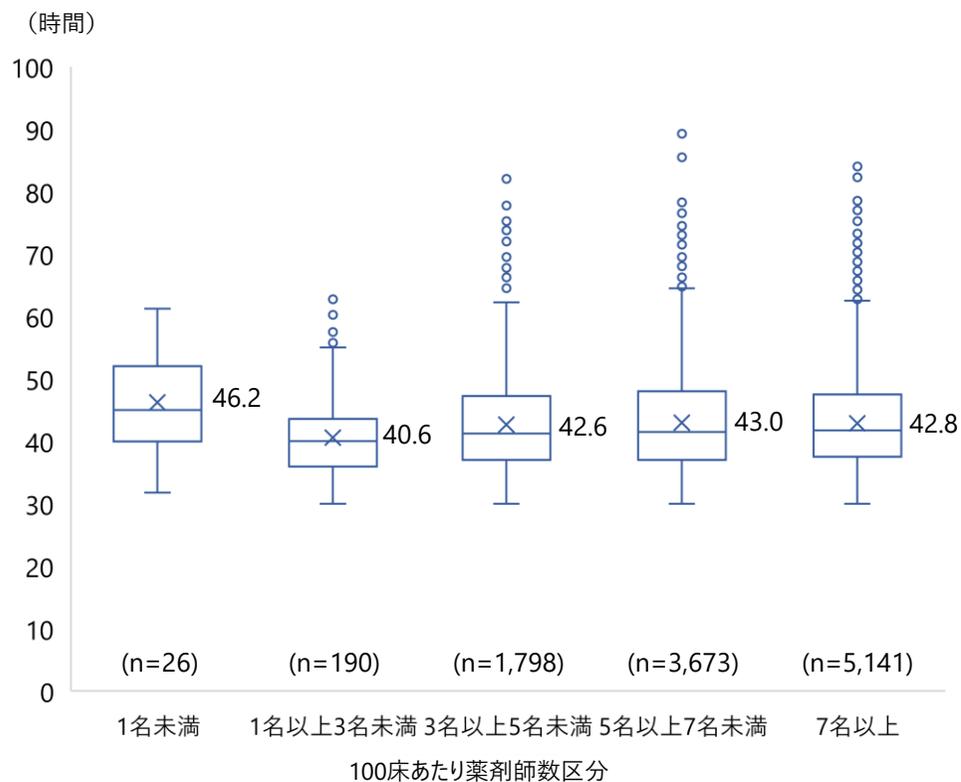
- 7日間の勤務時間が常勤職員と乖離がある職員を加えると上記時間数が低減するため、7日間の勤務時間が30時間以上の職員を対象としている。

【勤務実態】

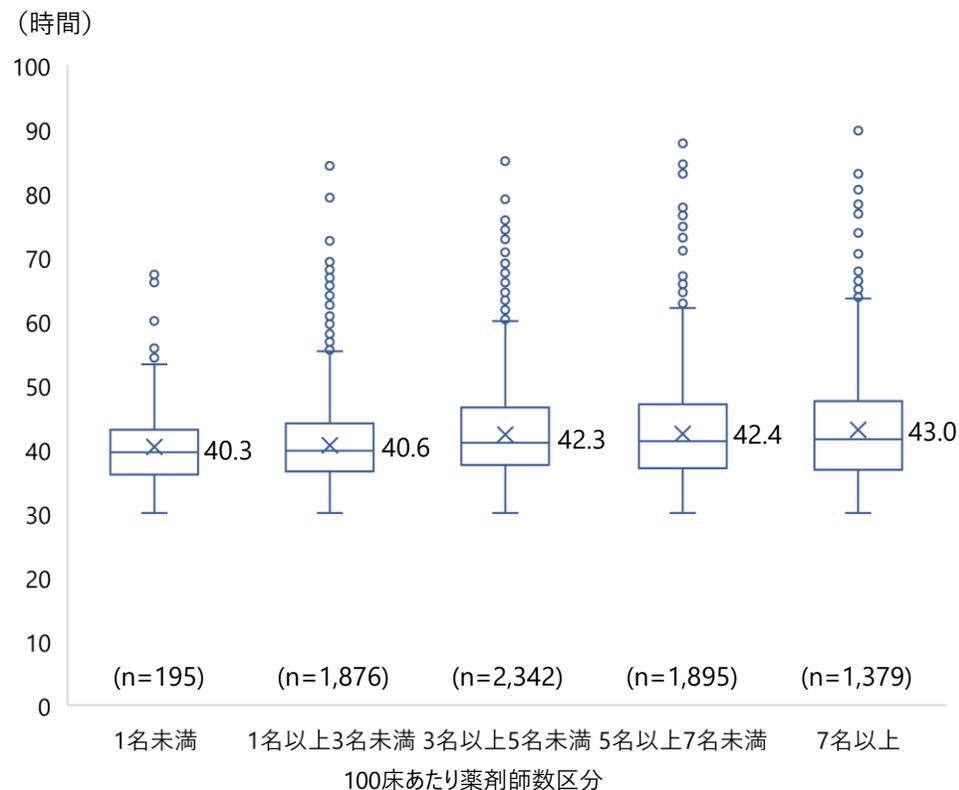
- 調査期間中の勤務時間において、病棟薬剤師実施加算算定有無による大きな差は見られない。
- 調査期間中の勤務日数や時間外労働の有無等によって中央値より乖離している回答者も一定数生じている。

調査期間7日間の勤務時間（100床あたり薬剤師数区分）

病棟薬剤師実施加算算定有り



病棟薬剤師実施加算算定無し



- 7日間の勤務時間が常勤職員と乖離がある職員を加えると上記時間数が低減するため、7日間の勤務時間が30時間以上の職員を対象としている。

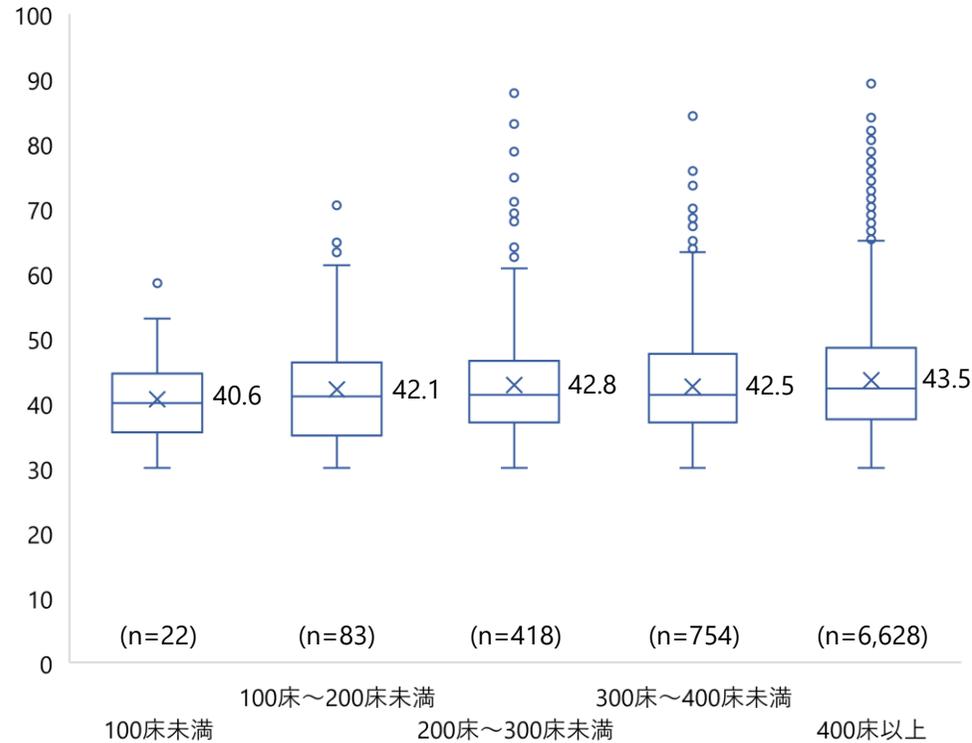
【勤務実態】

- 調査期間7日間の勤務時間は病床規模が大きいほど長い傾向が見られる。
- 7日間の勤務日数や時間外労働の有無等によって中央値より乖離している回答者も一定数生じている。

調査期間7日間の勤務時間（病床機能別）

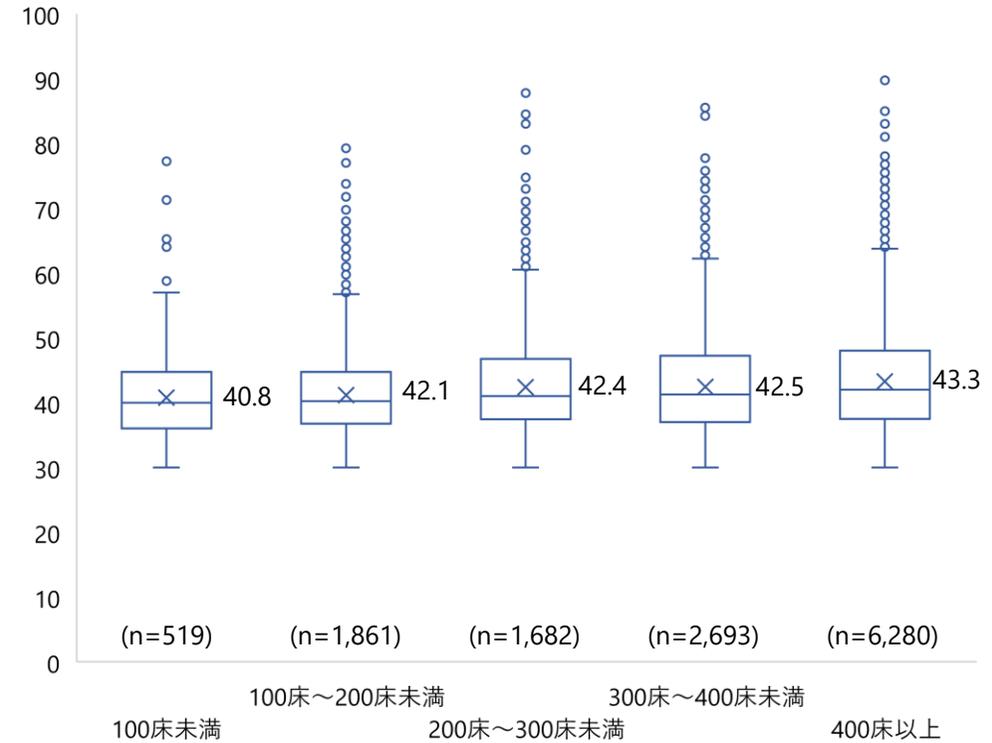
高度急性期

(時間)



急性期

(時間)



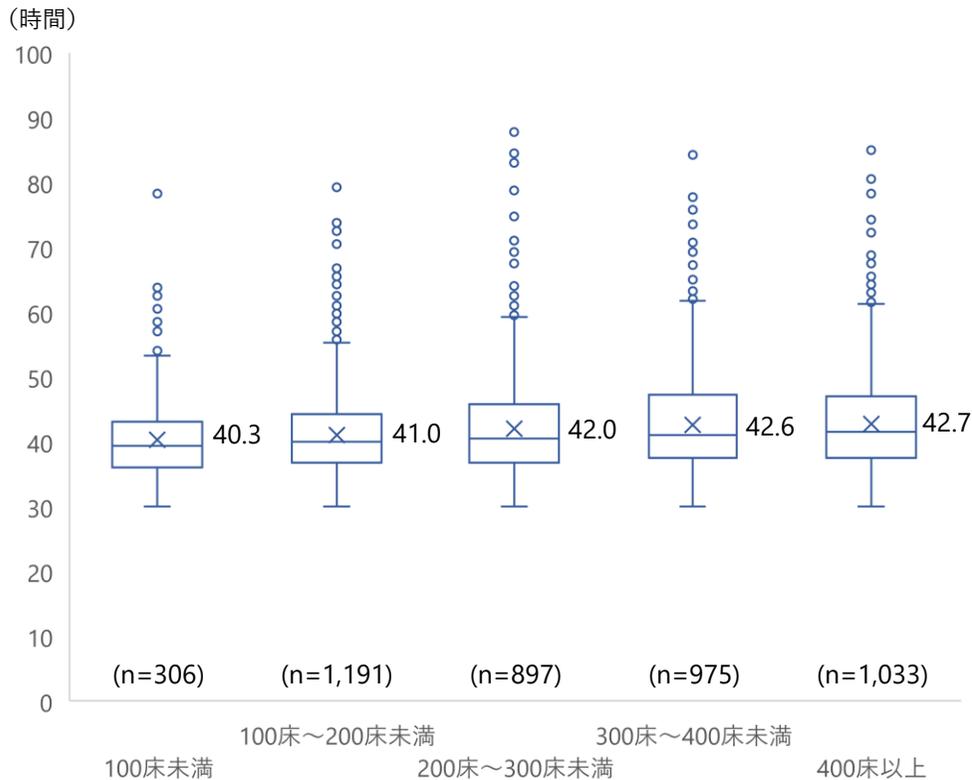
- 7日間の勤務時間が常勤職員と乖離がある職員を加えると上記時間数が低減するため、7日間の勤務時間が30時間以上の職員を対象としている。

【勤務実態】

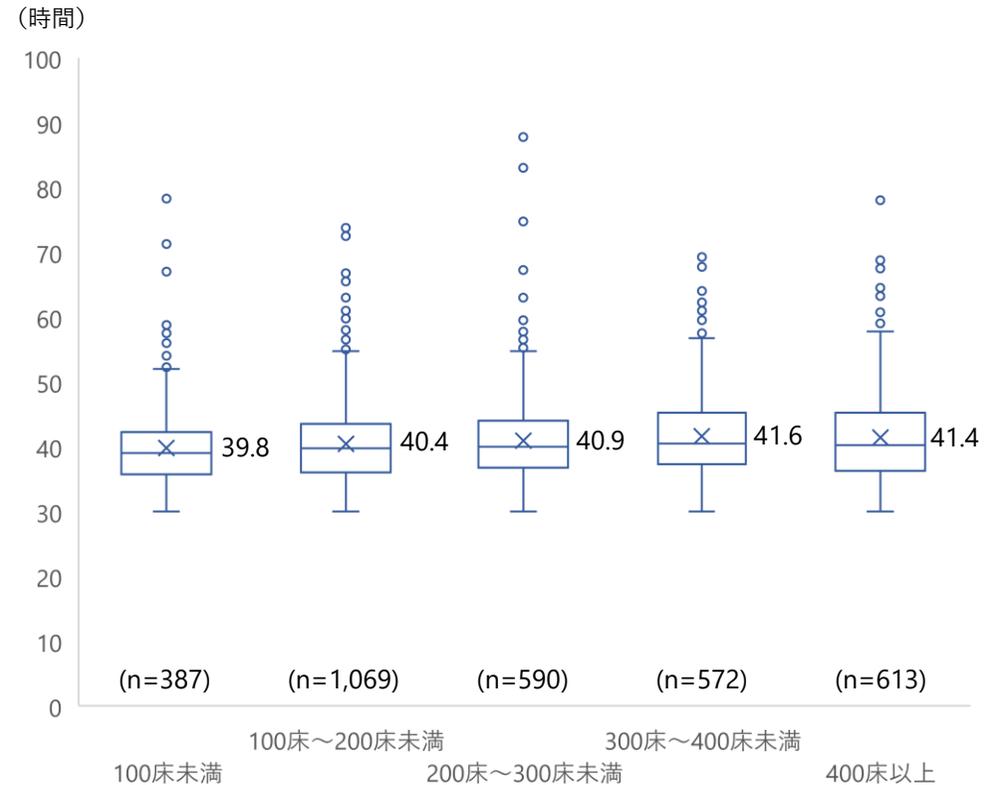
- 調査期間7日間の勤務時間は病床規模が大きいほど長い傾向が見られる。
- 7日間の勤務日数や時間外労働の有無等によって中央値より乖離している回答者も一定数生じている。

調査期間7日間の勤務時間（病床機能別）

回復期



慢性期



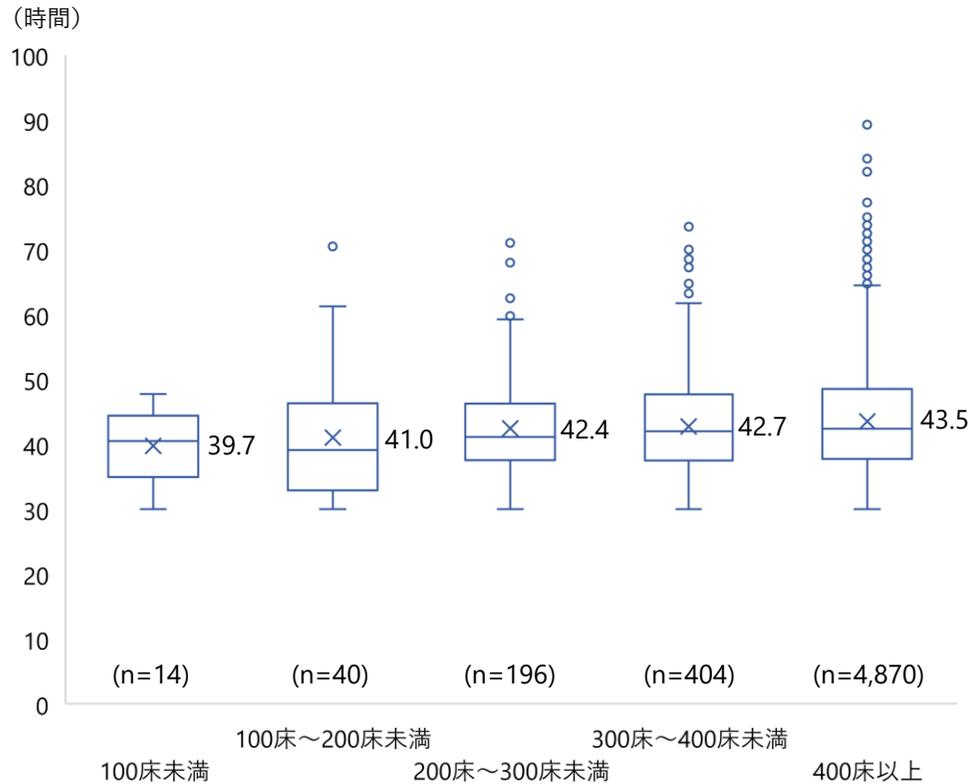
- 7日間の勤務時間が常勤職員と乖離がある職員を加えると上記時間数が低減するため、7日間の勤務時間が30時間以上の職員を対象としている。

【勤務実態】

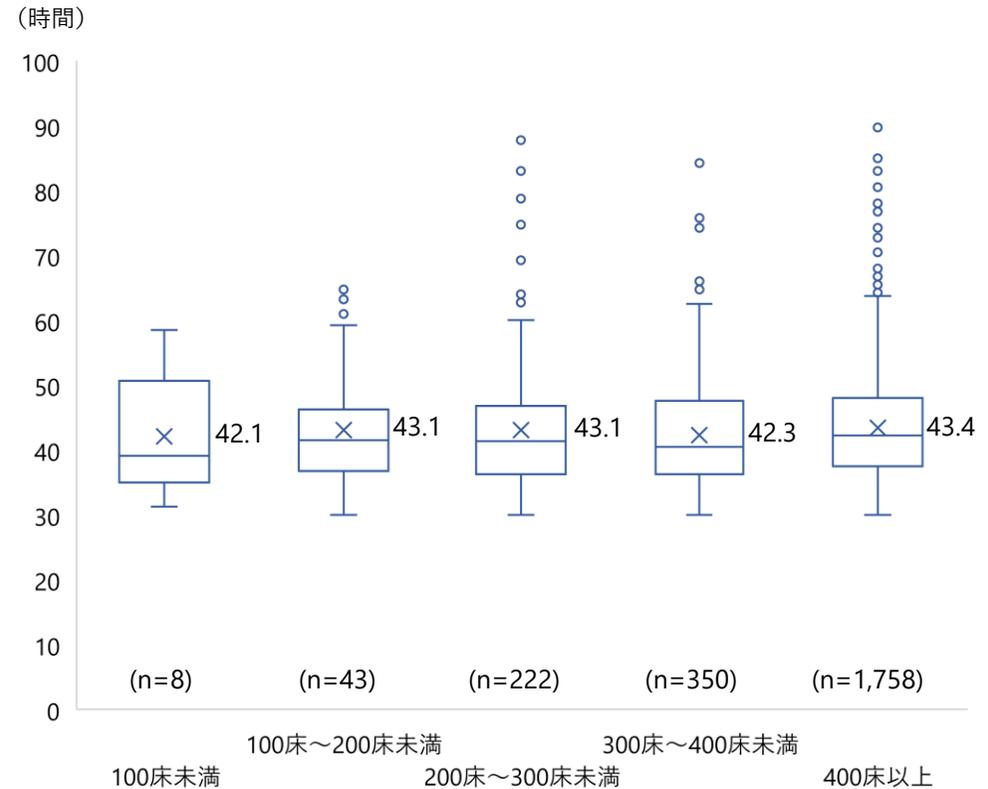
- 調査期間中の勤務時間において、病棟薬剤師実施加算算定有無による大きな差は見られない。
- 調査期間中の勤務日数や時間外労働の有無等によって中央値より乖離している回答者も一定数生じている。

調査期間7日間の勤務時間（高度急性期）

病棟薬剤師実施加算取得有り



病棟薬剤師実施加算取得無し



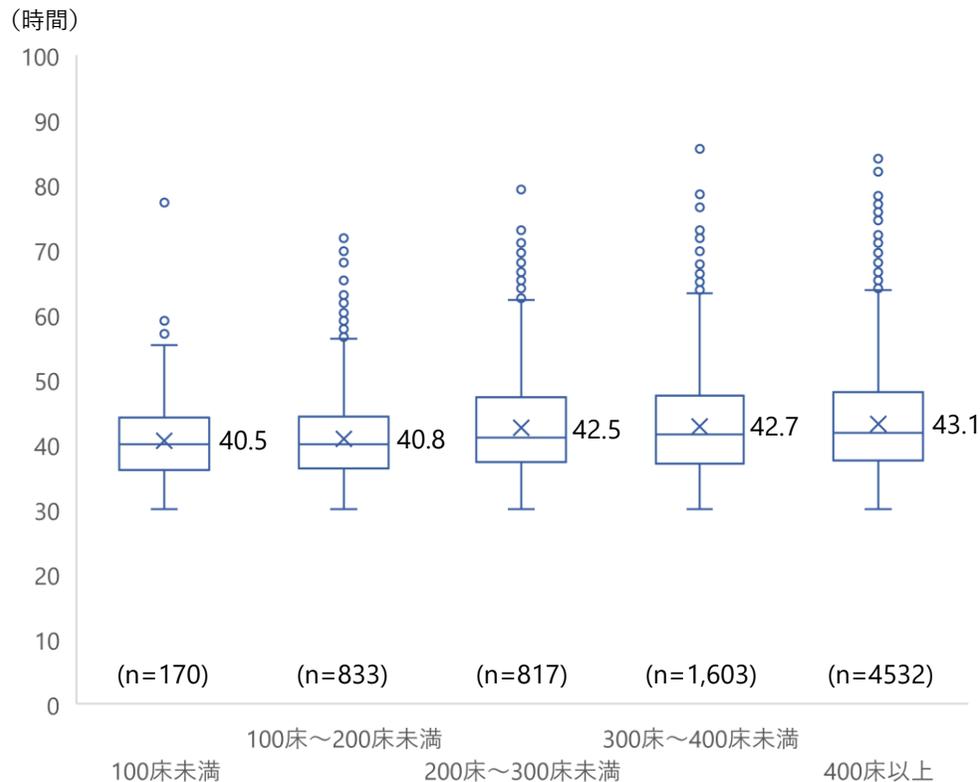
- 7日間の勤務時間が常勤職員と乖離がある職員を加えると上記時間数が低減するため、7日間の勤務時間が30時間以上の職員を対象としている。

【勤務実態】

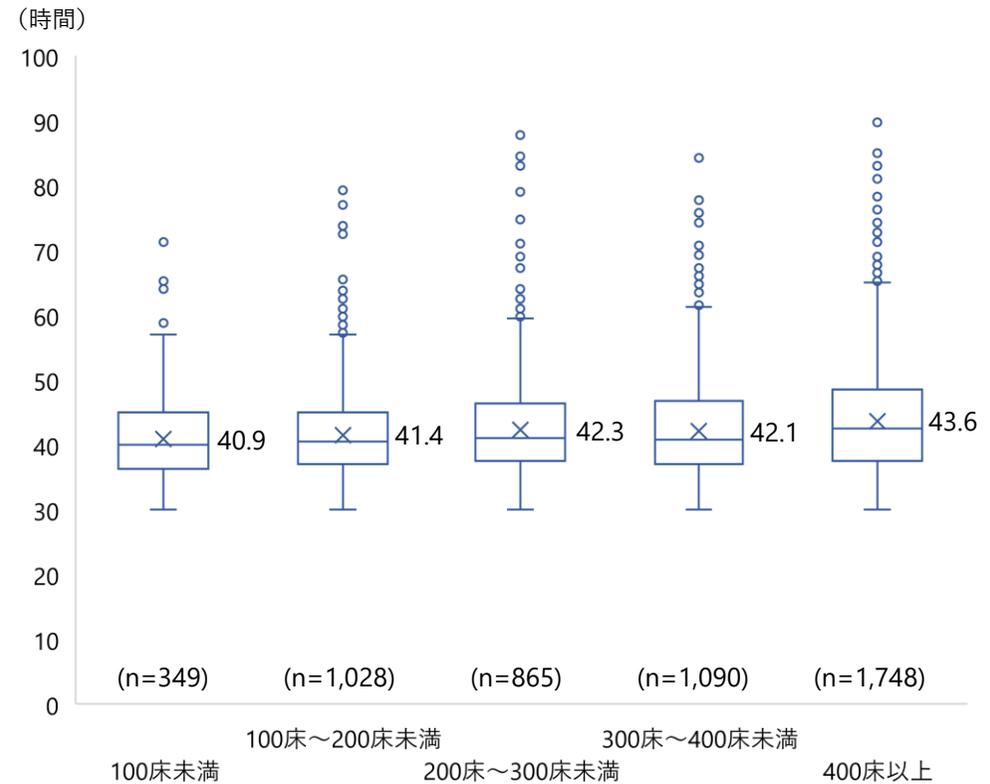
- 調査期間中の勤務時間において、病棟薬剤師実施加算算定有無による大きな差は見られない。
- 調査期間中の勤務日数や時間外労働の有無等によって中央値より乖離している回答者も一定数生じている。

調査期間7日間の勤務時間（急性期）

病棟薬剤師実施加算取得有り



病棟薬剤師実施加算取得無し



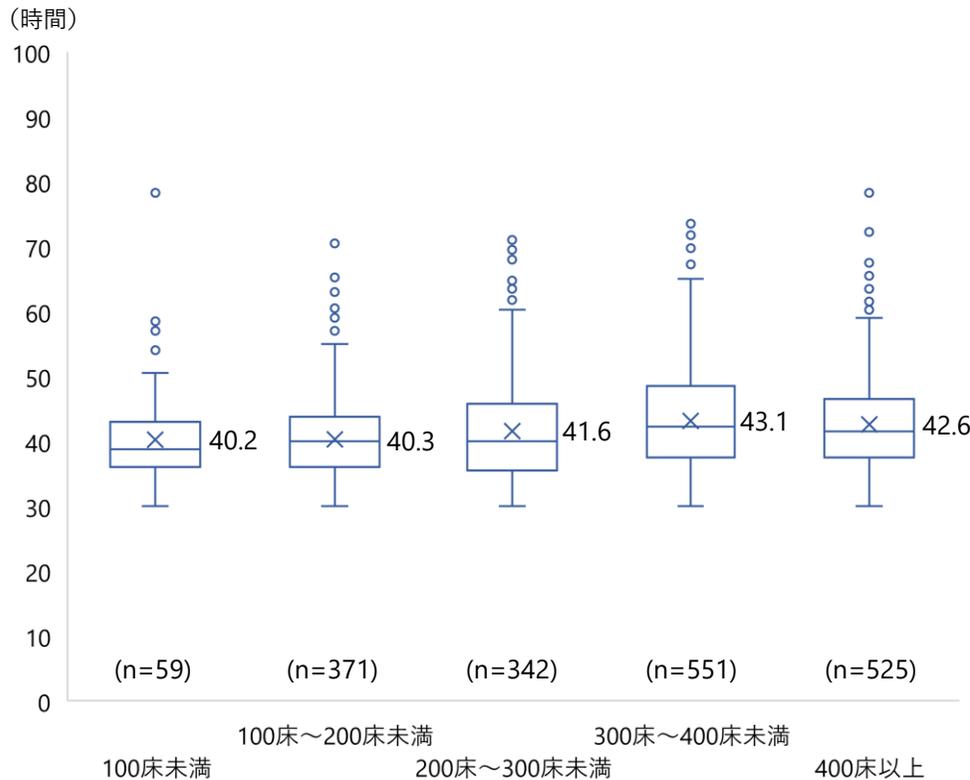
- 7日間の勤務時間が常勤職員と乖離がある職員を加えると上記時間数が低減するため、7日間の勤務時間が30時間以上の職員を対象としている。

【勤務実態】

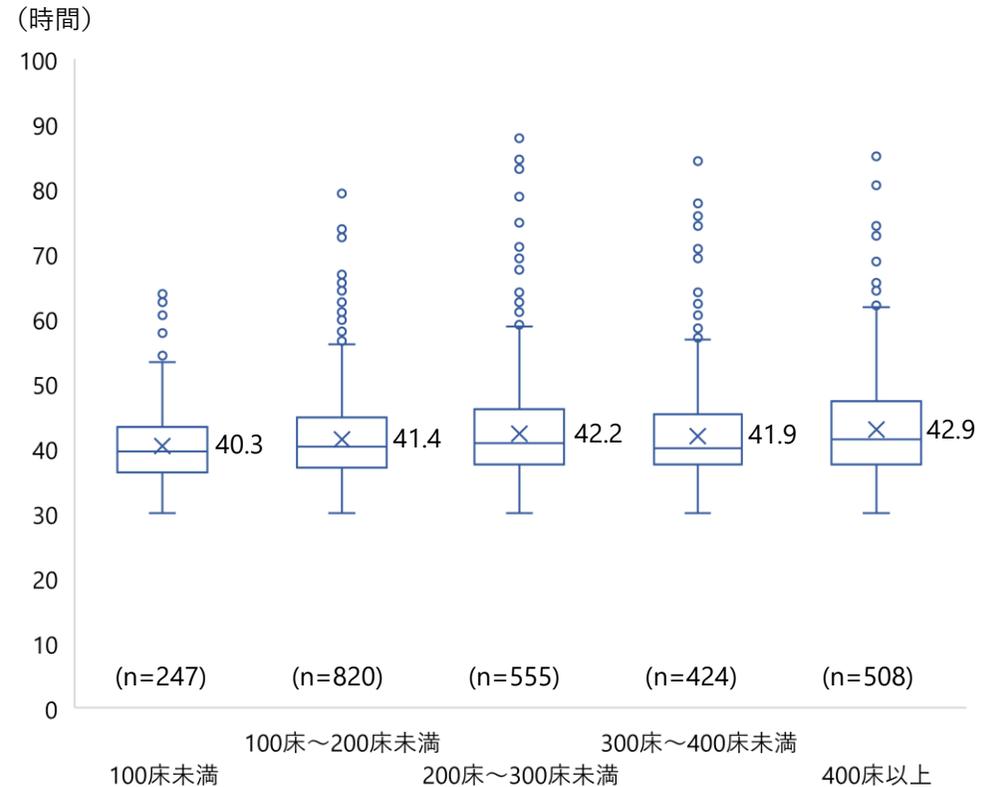
- 調査期間中の勤務時間において、病棟薬剤師実施加算算定有無による大きな差は見られない。
- 調査期間中の勤務日数や時間外労働の有無等によって中央値より乖離している回答者も一定数生じている。

調査期間7日間の勤務時間（回復期）

病棟薬剤師実施加算取得有り



病棟薬剤師実施加算取得無し



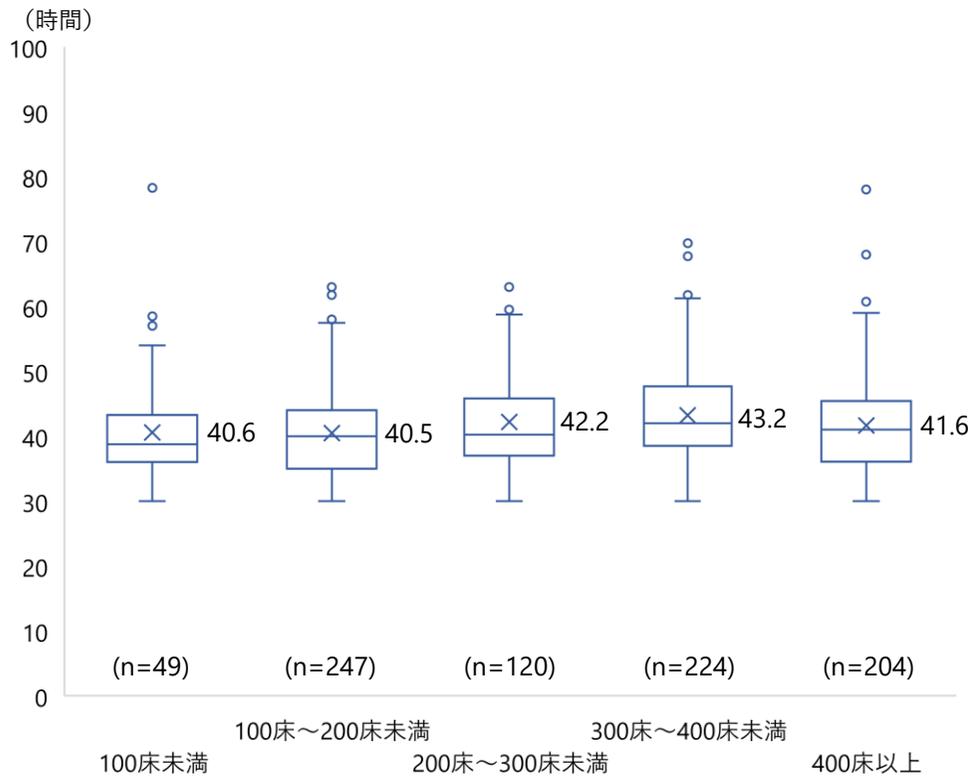
- 7日間の勤務時間が常勤職員と乖離がある職員を加えると上記時間数が低減するため、7日間の勤務時間が30時間以上の職員を対象としている。

【勤務実態】

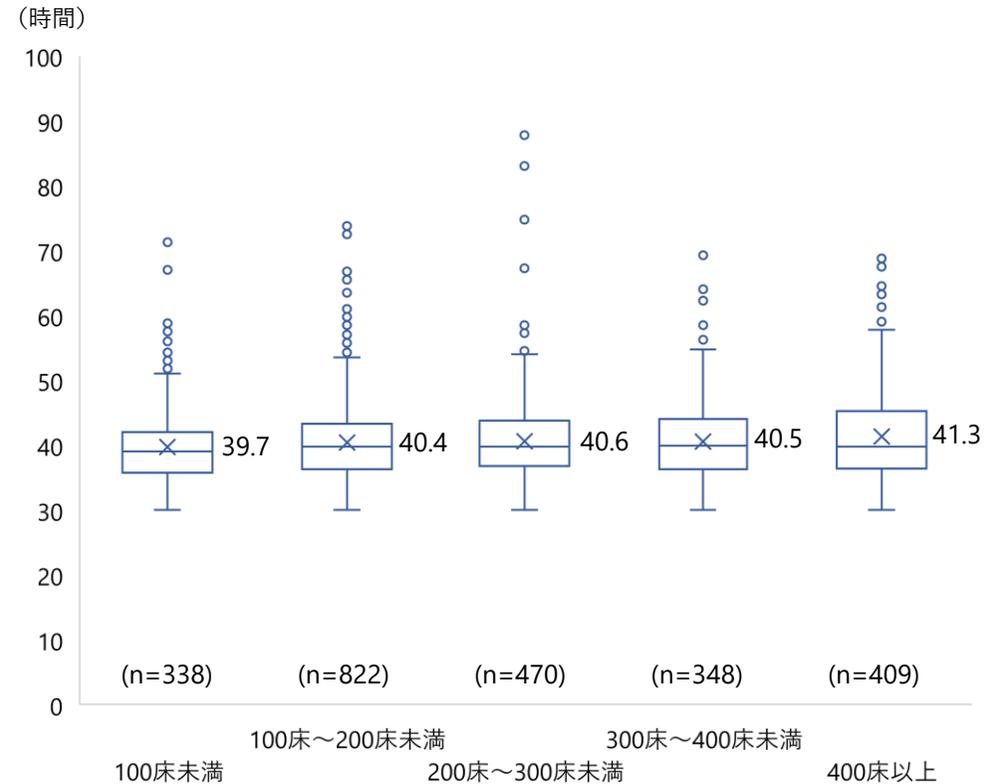
- 調査期間中の勤務時間において、病棟薬剤師実施加算算定有無による大きな差は見られない。
- 調査期間中の勤務日数や時間外労働の有無等によって中央値より乖離している回答者も一定数生じている。

調査期間7日間の勤務時間（慢性期）

病棟薬剤師実施加算取得有り



病棟薬剤師実施加算取得無し



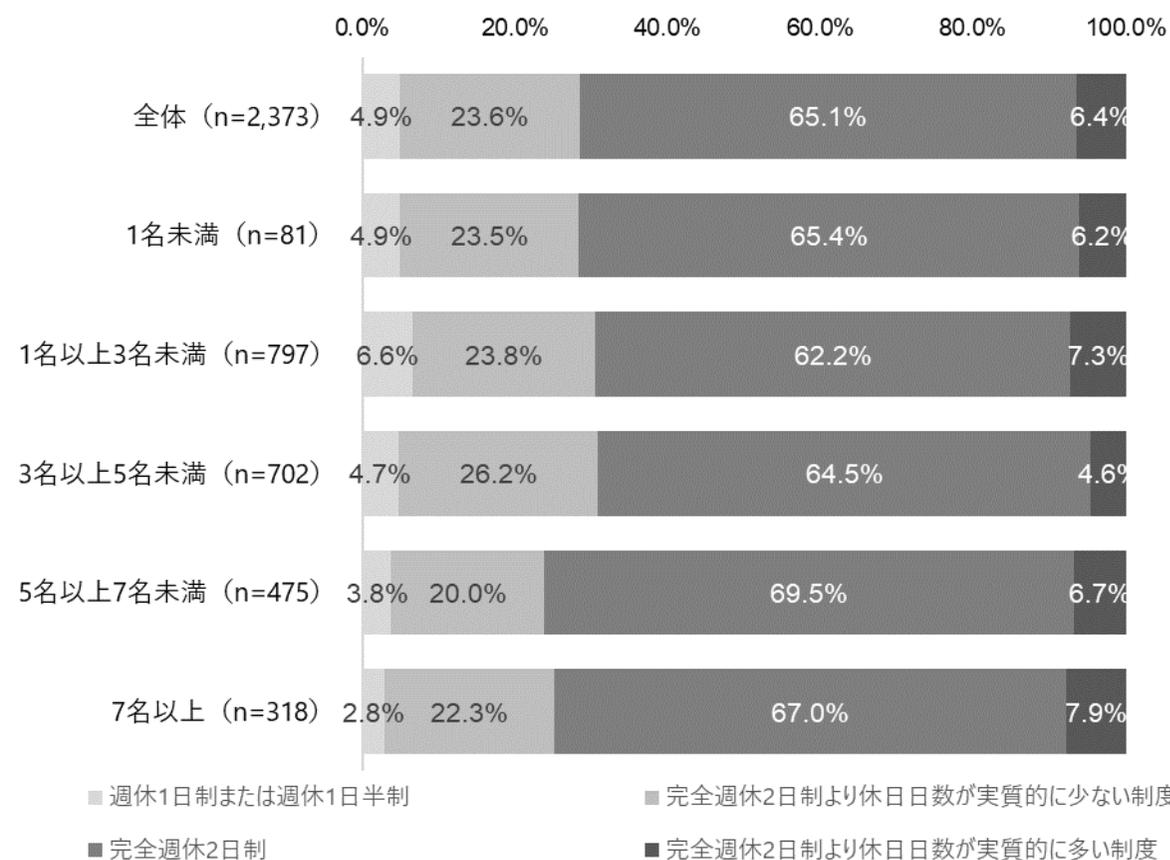
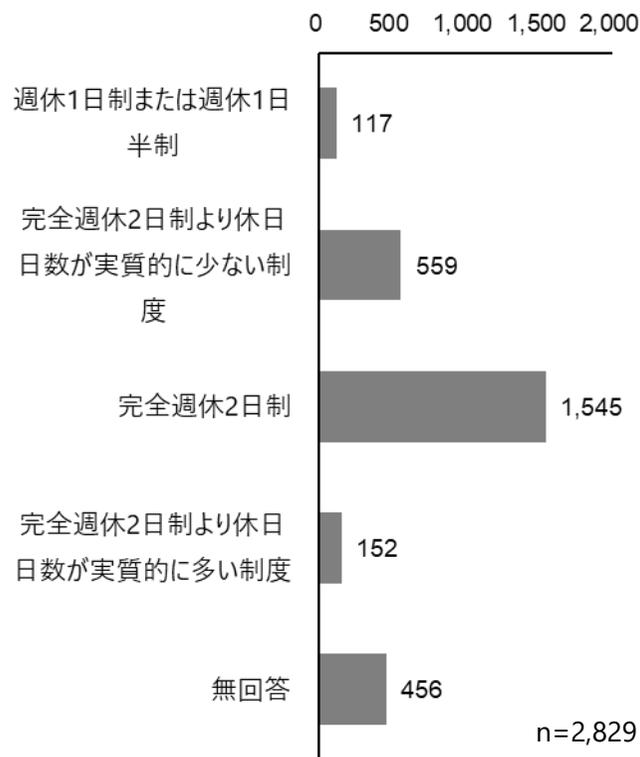
- 7日間の勤務時間が常勤職員と乖離がある職員を加えると上記時間数が低減するため、7日間の勤務時間が30時間以上の職員を対象としている。

【勤務形態】

- 約55%の施設が“完全週休2日制”を導入している。
- 100床あたり薬剤師数が5名以上の施設では、全体平均よりも完全週休2日制以上の休日日数の割合が若干高い。

勤務形態

100床あたり薬剤師数別__勤務形態

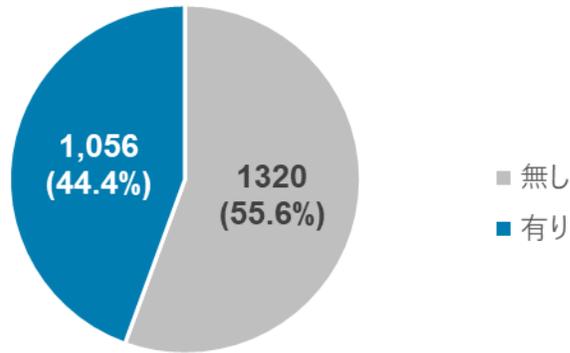


※施設票における各施設の回答内容を基に算出している。

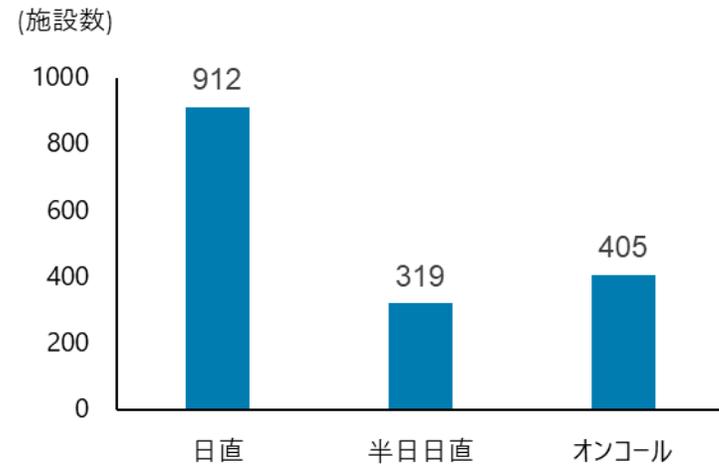
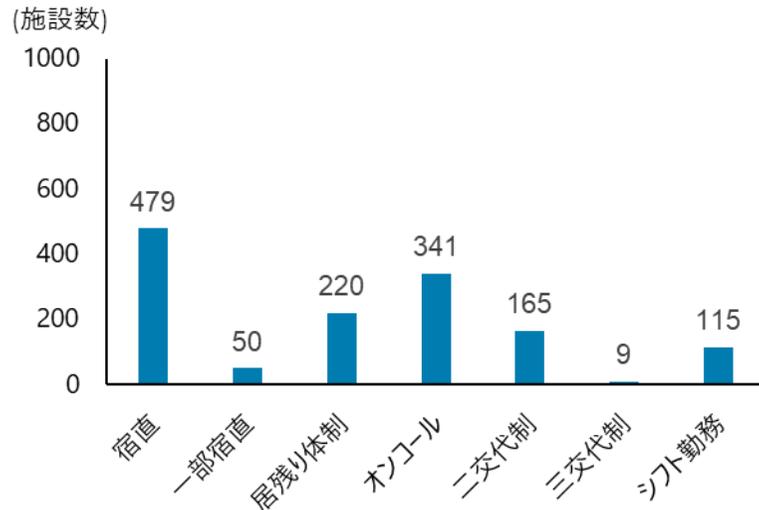
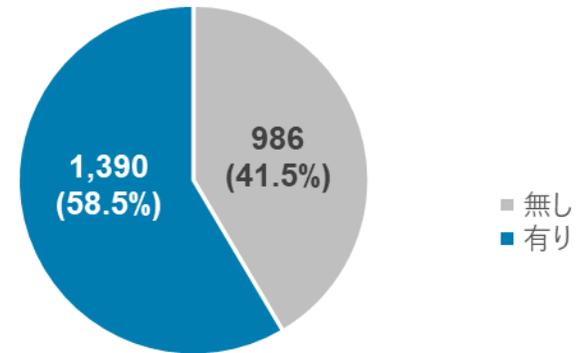
【勤務形態】

- 平日夜間における勤務は44%が「有り」と回答し、その内最も多かったのは「宿直」勤務であった。
- 休日勤務は59%が「有り」と回答し、その内最も多かったのは「日直」勤務であった。

平日夜間における勤務 (n=2,376)



休日勤務の有無 (n=2,376)

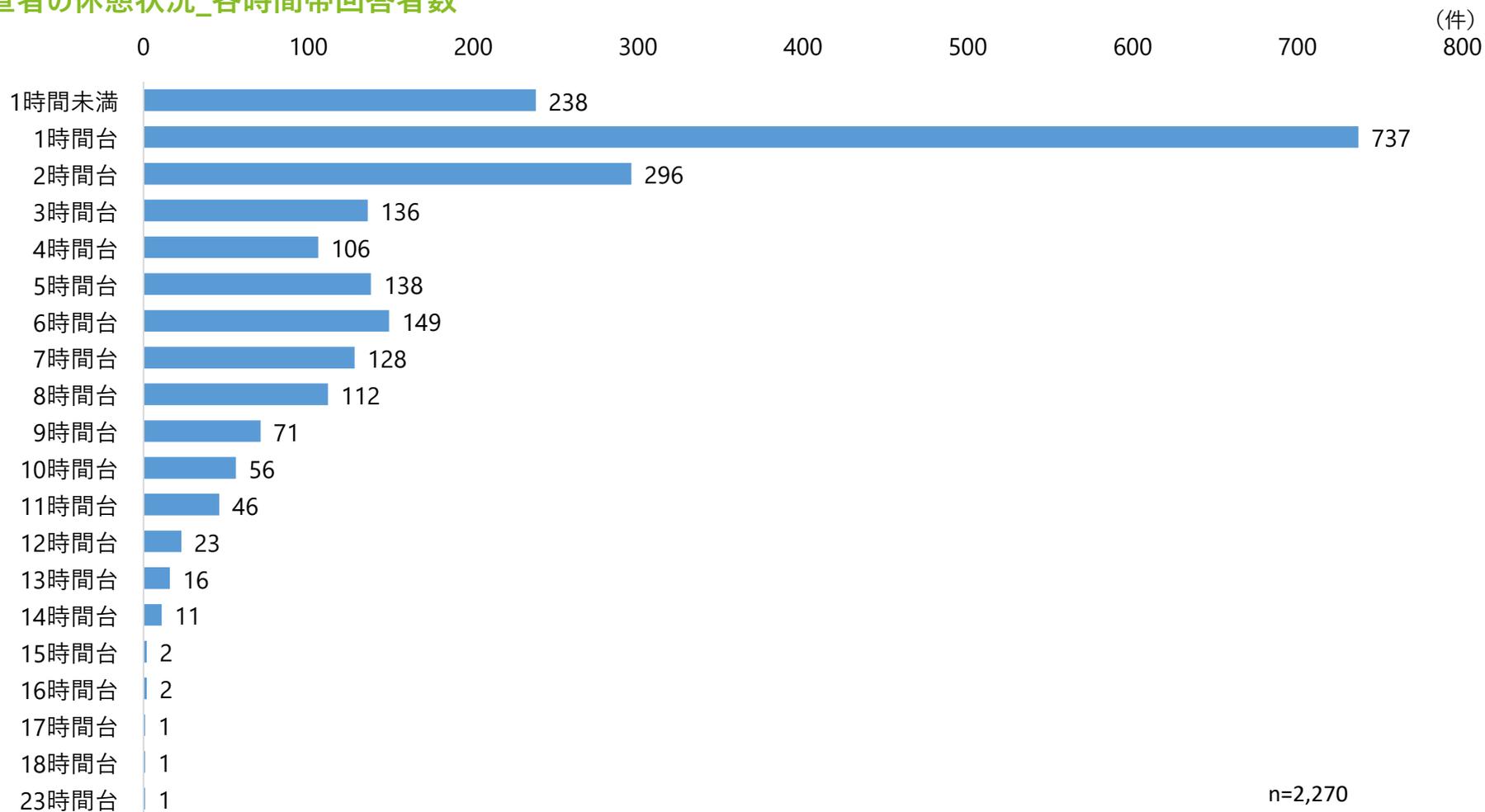


※施設票における各施設の回答内容を基に算出している。

【参考 当直者の休憩状況】

- 日勤・夜勤 + 当直時の休憩時間は、「1時間台」の者が最も多くなっている。

当直者の休憩状況_各時間帯回答者数



※ 休憩時間は日勤・夜勤 + 当直の休憩時間を集計している

【参考 当直者の休憩状況】

- 日勤・夜勤 + 当直時の休憩時間を勤務時間別にみると、いずれの勤務時間においても「1時間未満」や「1時間台」の者が最も多くなっている。

当直者の休憩状況（勤務時間別）_各時間帯回答者数

勤務時間	休憩時間																				総計
	1時間未満	1時間台	2時間台	3時間台	4時間台	5時間台	6時間台	7時間台	8時間台	9時間台	10時間台	11時間台	12時間台	13時間台	14時間台	15時間台	16時間台	17時間台	18時間台	23時間台	
5時間台	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
6時間台	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
7時間台	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
8時間台	13	7	0	3	2	4	6	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
9時間台	10	20	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
10時間台	10	25	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
11時間台	12	26	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
12時間台	10	29	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
13時間台	7	27	0	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
14時間台	9	43	0	7	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65
15時間台	62	262	0	164	69	35	16	16	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	628
16時間台	15	36	0	21	14	6	6	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107
17時間台	6	29	0	11	3	2	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
18時間台	4	1	0	2	1	4	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16
19時間台	6	1	0	1	4	1	1	3	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	24
20時間台	9	2	0	3	1	4	5	4	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	34
21時間台	3	13	0	3	1	2	5	6	2	4	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0	45
22時間台	6	20	0	2	4	0	10	3	8	3	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	64
23時間台	41	194	1	72	31	43	83	100	109	94	65	48	42	20	15	11	2	2	1	1	975
総計	238	737	1	296	136	106	138	149	128	112	71	56	46	23	16	11	2	2	1	1	2,270

※ 勤務時間は日勤・夜勤 + 当直の時間を集計している

※ 休憩時間は日勤・夜勤 + 当直の休憩時間を集計している

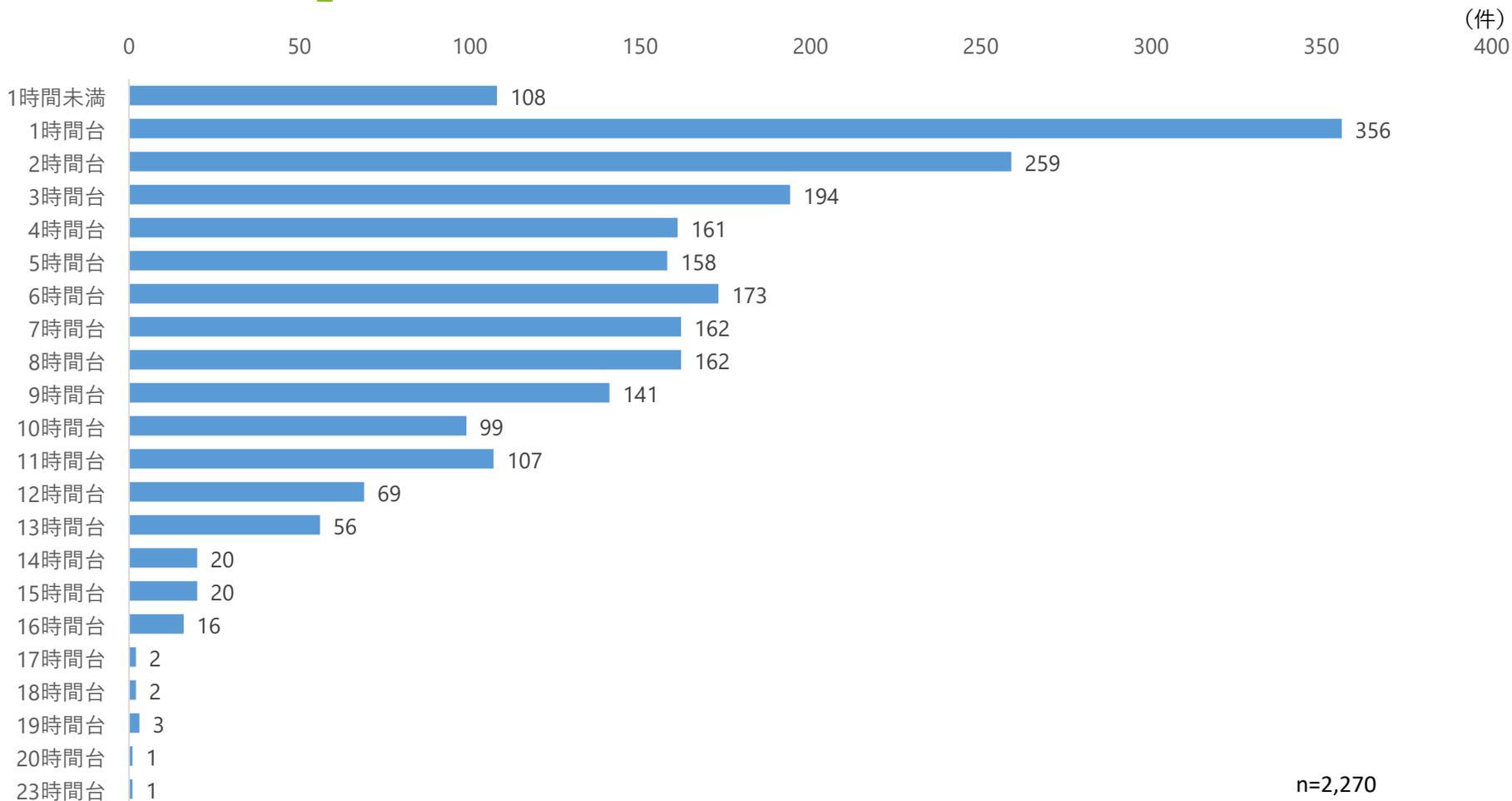
赤字 ……各時間帯で最も回答者数が多い項目

青枠 ……各時間帯の理論休憩時間（日勤の勤務内において勤務時間6時間以上8時間以下で45分、8時間台で1時間の休憩時間を取得、8時間を超える勤務は当直勤務とし当直時間中の労働が発生していない場合）

【参考 当直者の休憩・手待ち状況】

- 日勤・夜勤 + 当直時の休憩・手待ち時間は、「1時間台」の者が最も多くなっている。

当直者の休憩・手待ち状況_各時間帯回答者数



※ 休憩時間は日勤・夜勤 + 当直の休憩時間を集計している

【参考 当直者の休憩・手待ち状況】

- 日勤・夜勤 + 当直時の休憩・手待ち時間を勤務時間別にみると、勤務時間14時間台までは「1時間未満」や「1時間台」の者が最も多くなっている。勤務時間18時間台以上は、「4時間台」、「6時間台」、「8時間台」の回答も多くなっている。

当直者の休憩・手待ち状況（勤務時間別）_各時間帯回答者数

勤務時間	休憩・手待ち時間																						総計
	1時間未満	1時間台	2時間台	3時間台	4時間台	5時間台	6時間台	7時間台	8時間台	9時間台	10時間台	11時間台	12時間台	13時間台	14時間台	15時間台	16時間台	17時間台	18時間台	19時間台	20時間台	23時間台	
5時間台	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
6時間台	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
7時間台	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
8時間台	4	7	1	3	6	7	5	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
9時間台	4	23	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
10時間台	7	25	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
11時間台	12	24	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
12時間台	8	23	3	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
13時間台	6	21	9	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
14時間台	5	26	11	9	5	3	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65
15時間台	25	130	179	117	73	42	30	14	6	3	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	628
16時間台	6	25	22	16	11	11	6	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107
17時間台	2	20	11	7	4	2	7	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
18時間台	2	0	2	1	4	1	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
19時間台	2	0	0	1	4	1	3	2	4	3	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
20時間台	4	1	1	2	3	5	6	4	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
21時間台	2	1	1	1	3	5	7	2	6	5	6	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	45
22時間台	0	4	0	4	1	7	4	9	13	7	6	5	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	64
23時間台	5	23	16	24	40	69	98	115	120	116	79	94	59	54	19	19	16	2	2	3	1	1	975
総計	108	356	259	194	161	158	173	162	162	141	99	107	69	56	20	20	16	2	2	3	1	1	2270

※ 勤務時間は日勤・夜勤 + 当直の時間を集計している
 ※ 休憩時間は日勤・夜勤 + 当直の休憩時間を集計している
赤字 ……各時間帯で最も回答者数が多い項目

12時間台 ……各時間帯の理論休憩時間（日勤の勤務内において勤務時間6時間以上8時間以下で45分、8時間台で1時間の休憩時間を取得、8時間を超える勤務は当直勤務とし当直時間中の労働が発生していない場合）

⑤調査期間1週間の業務従事内容

業務従事内容サマリ

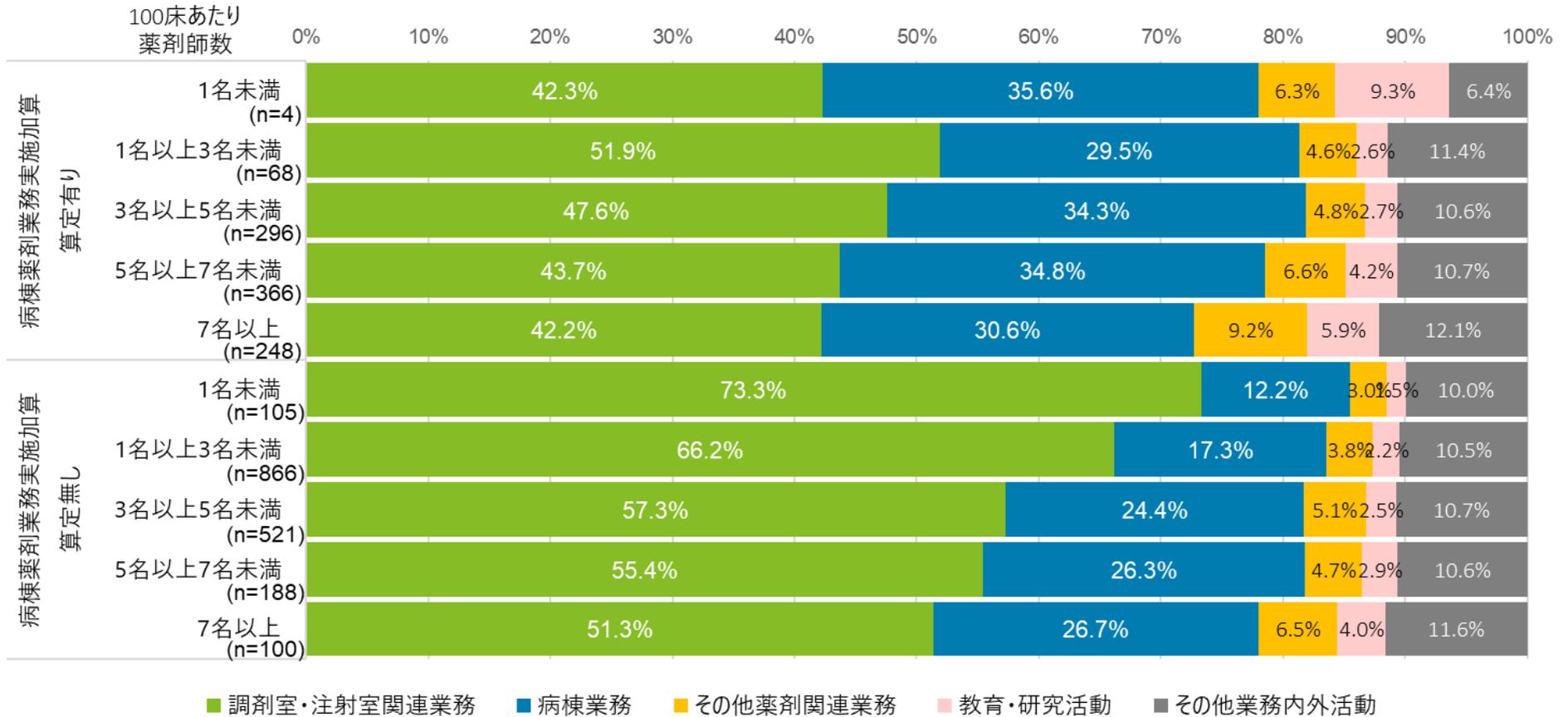
調査期間1週間の 業務従事内容

- 1週間の業務割合について、病棟薬剤業務実施加算の算定有無及び100床あたり薬剤師数を基に業務割合（大項目）を比較すると、加算算定有無によって病棟業務の割合は10%以上差異があり、また、100床あたり薬剤師数が多い方が調剤室・注射室関連業務の割合が低下する傾向がある。
- 各業務従事割合については以下のとおりである。
 - 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による病棟業務の従事割合の差異は、中項目「薬剤管理指導業務」・「病棟薬剤業務」のそれぞれで生じている。特に病棟薬剤業務の『カルテ等からの患者情報の収集』、『投与後の薬学的管理』、『カルテ等への記録』では1～3%の差異がある。
 - 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による調剤室・注射室関連業務の従事割合の差異は、調剤関連業務による差異が13%程生じているおり、特に調剤・調剤鑑査で生じている。
 - 病棟薬剤業務実施加算の算定有無によるその他薬剤関連業務の差異は2%程であり、小項目の従事割合の差異は1%未満である。
 - 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による教育・研究活動の従事割合では“院内”の業務に1.3%程差異が生じており、教育・研究活動の小項目間の従事割合の差異は1%未満である。
 - 病棟薬剤業務実施加算の算定有無によるその他業務内外活動の従事割合では中項目間で1%未満の差異が生じており、小項目間で1%未満の差異が生じている。
 - 院外処方箋発行率を踏まえた業務従事割合では、院外処方箋発行率の違いによる調剤室・注射室関連業務や病棟業務の従事割合の増減よりも、病棟薬剤業務実施加算の算定有無による差異の方が大きい。
 - 各種調剤機器導入有無を踏まえた業務従事割合では、調剤・注射室関連業務において各種調剤機器導入有無により業務従事割合に差異が生じており、調剤関連業務の調剤、調剤鑑査において特にその差が大きい。また、病棟業務においても各種調剤機器導入有無により業務従事割合に差異が生じており、病棟薬剤業務のカルテ等からの患者情報の収集において特にその差が大きくなっている。
- 業務内容を時間帯別にみると、フルタイム以外の職員の活用や調剤業務を特定のスタッフに集中化、薬剤師から他職種へのタスク・シフト／シェアの取組み実施、薬剤師資格を持たない薬剤部職員の活用等によって病棟業務の従事の在り方が異なっている。
- 病棟業務実施加算の算定有無による病棟業務従事割合を勤続年数別で比較すると、特に“2～3年”・“4～5年”・“6～10年”では10～15%程度の差異がある。

【1週間の業務割合】

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無及び100床あたり薬剤師数を基に業務割合（大項目）を比較すると、加算算定有無によって病棟業務の割合は10%以上差異があり、また、100床あたり薬剤師数が多い方が調剤室・注射室関連業務の割合が低下する傾向がある。

1週間の業務割合（大項目）_病棟薬剤業務実施加算算定有無・100床あたり薬剤師数（区分）



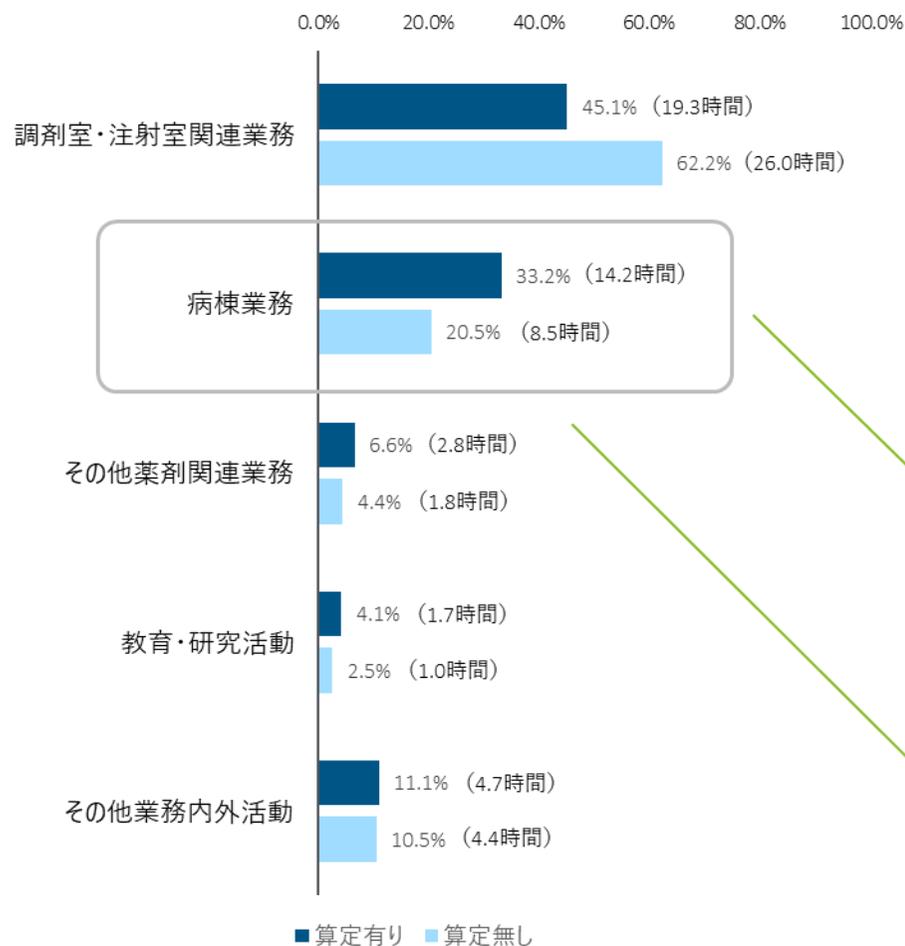
- 各施設で回答者の業務項目の勤務時間を合算し、施設の総勤務時間に占める各業務の従事割合から施設毎の平均値を算出している。

病棟業務従事割合_業務項目別

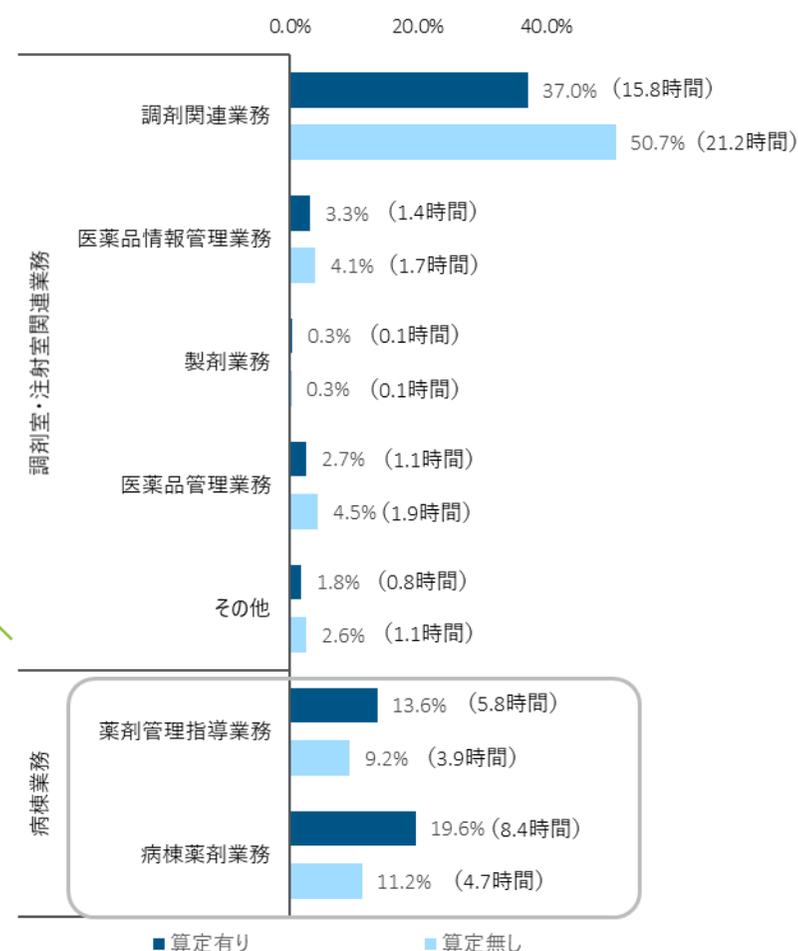
- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による病棟業務の従事割合の差異は、中項目「薬剤管理指導業務」・「病棟薬剤業務」のそれぞれで生じている。

病棟業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

大項目別



中項目別

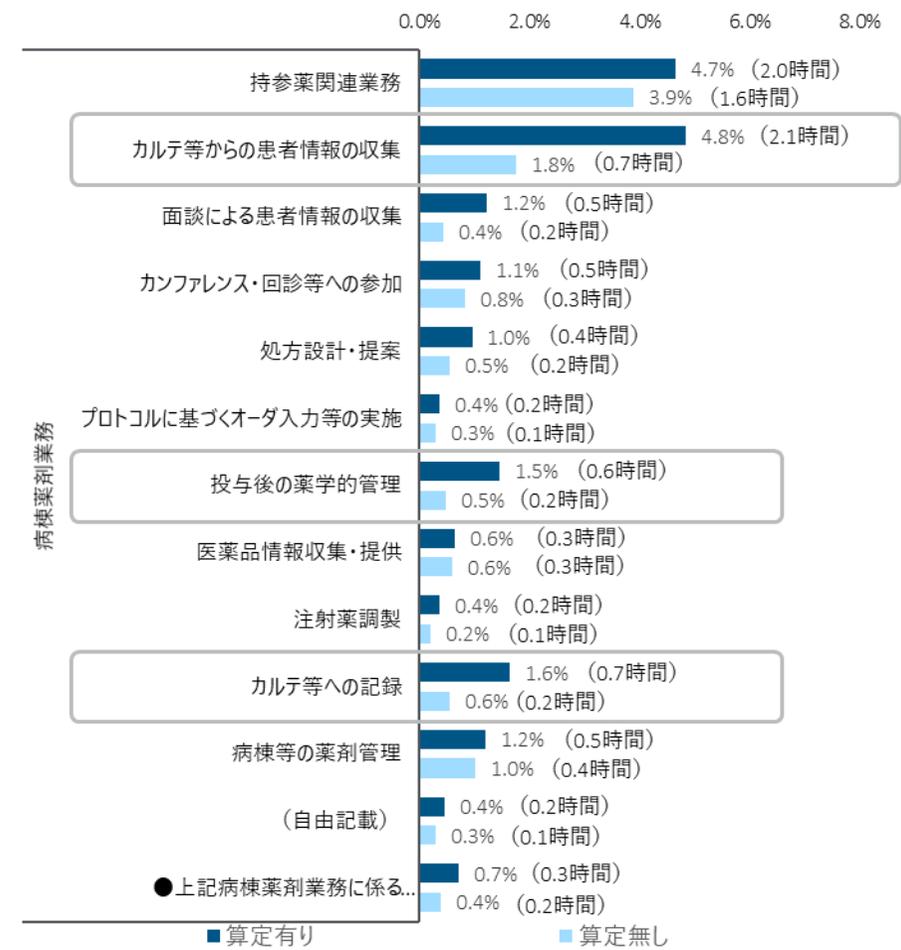
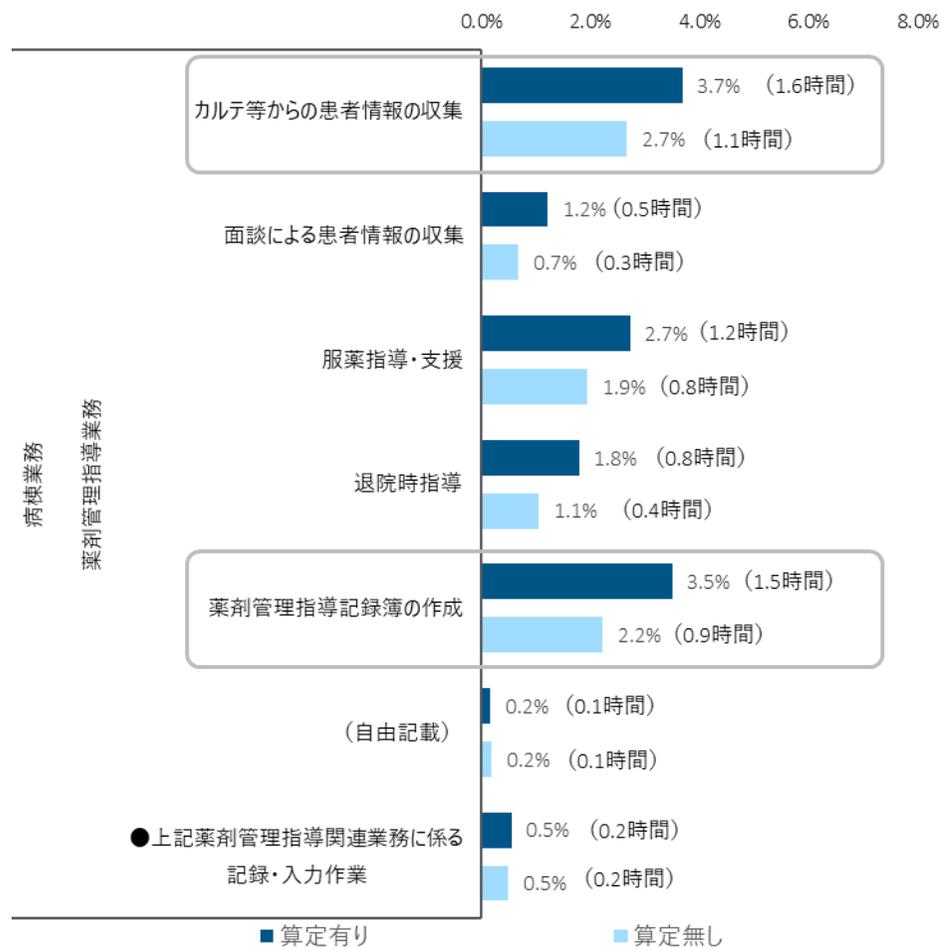


病棟業務従事割合_業務項目別（小項目）病棟薬剤業務実施加算有無

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による病棟業務の従事割合の差異は、中項目「薬剤管理指導業務」・「病棟薬剤業務」のそれぞれで生じている。特に病棟薬剤業務の『カルテ等からの患者情報の収集』、『投与後の薬学的管理』、『カルテ等への記録』では1～3%の差異がある。

病棟業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

小項目別

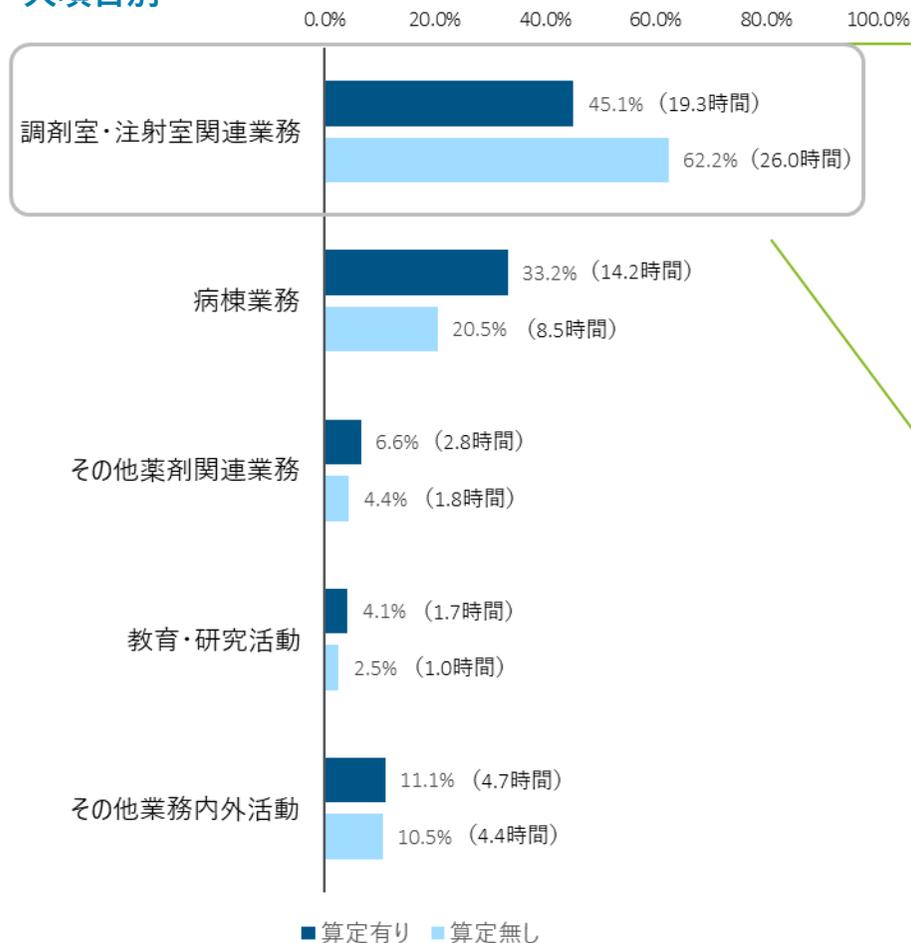


調剤室・注射室関連業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

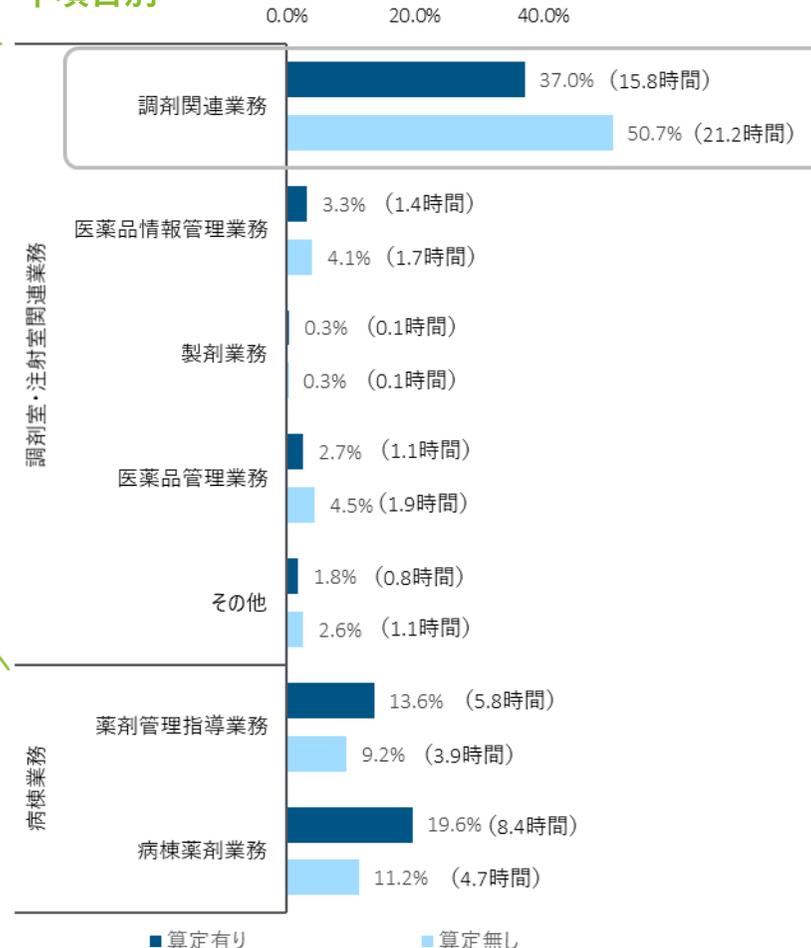
- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による調剤室・注射室関連業務の従事割合の差異は、特に調剤関連業務による差異が13%程生じている。

調剤室・注射室関連業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

大項目別



中項目別

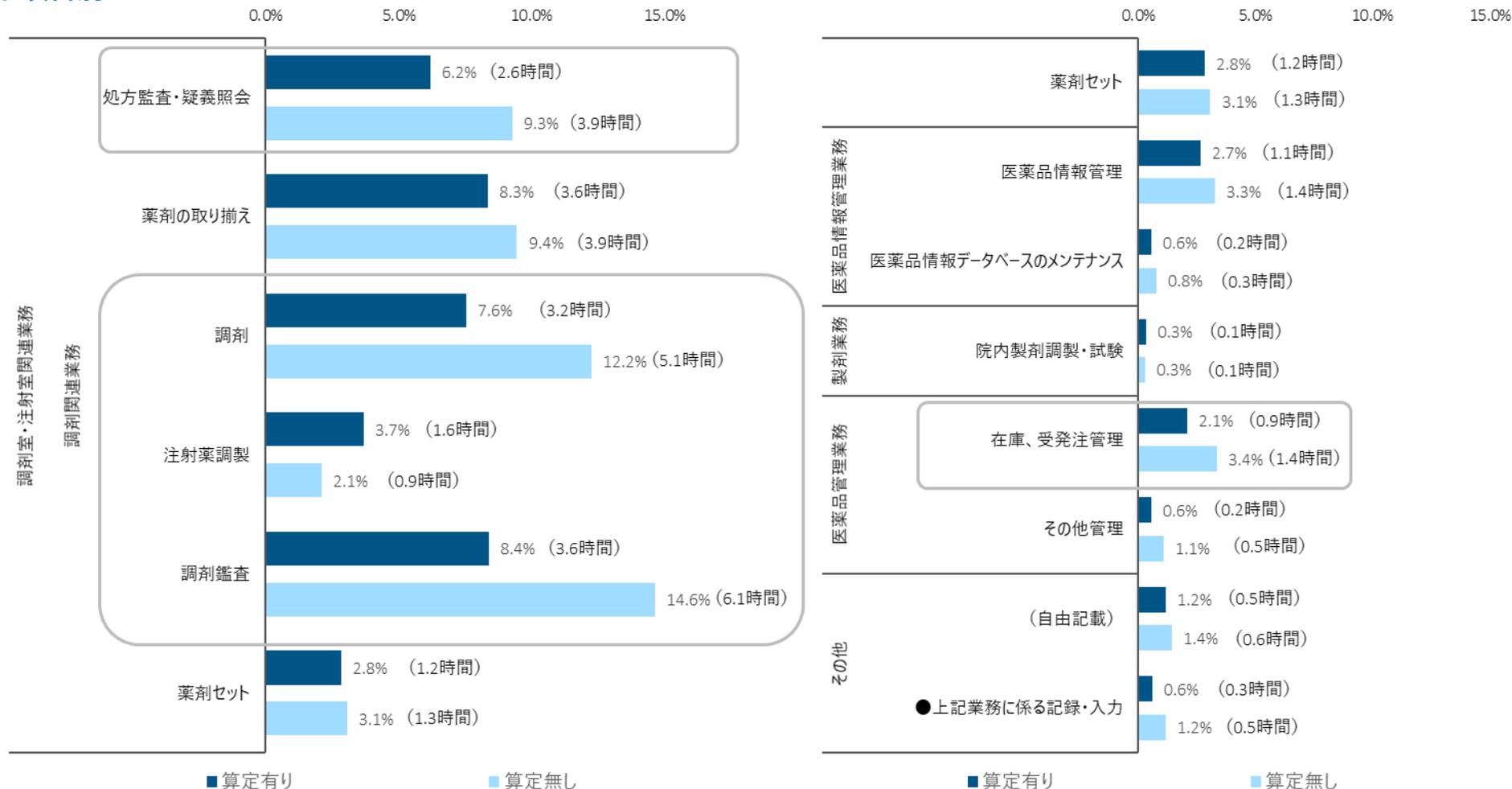


調剤室・注射室関連業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による調剤室・注射室関連業務の従事割合の差異は、特に調剤・調剤鑑査で生じている。

調剤室・注射室関連業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

小項目別

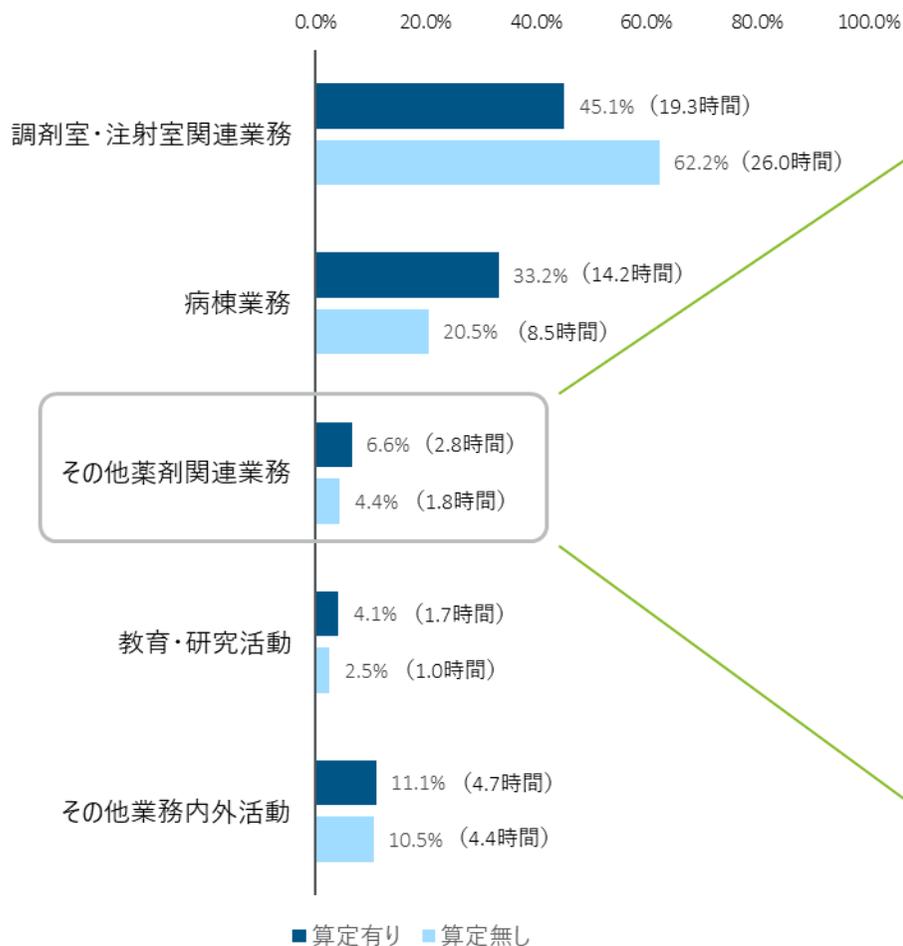


その他薬剤関連業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

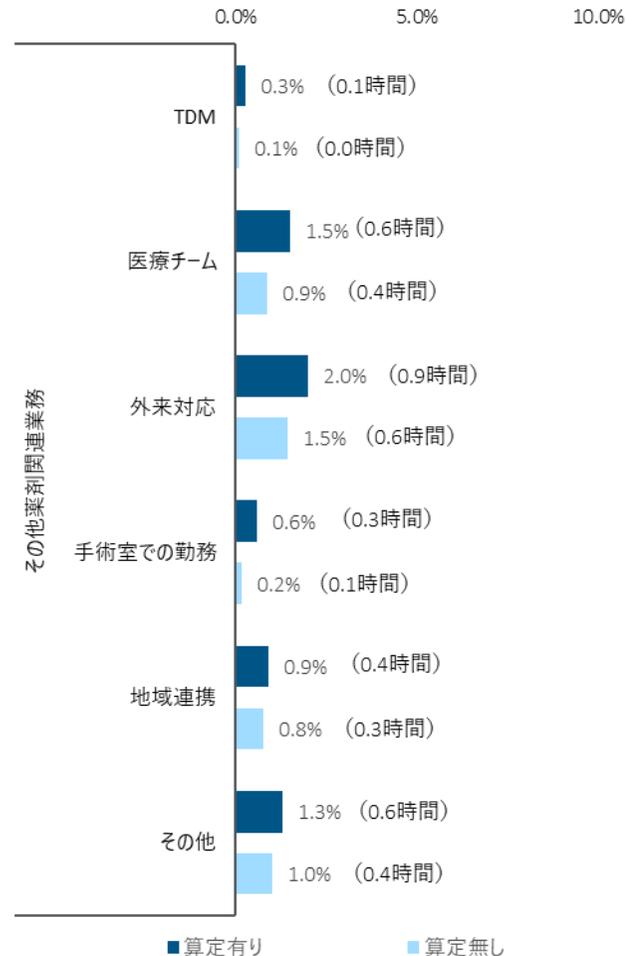
- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無によるその他薬剤関連業務の差異は2%程である。

その他薬剤関連業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

大項目別



中項目別

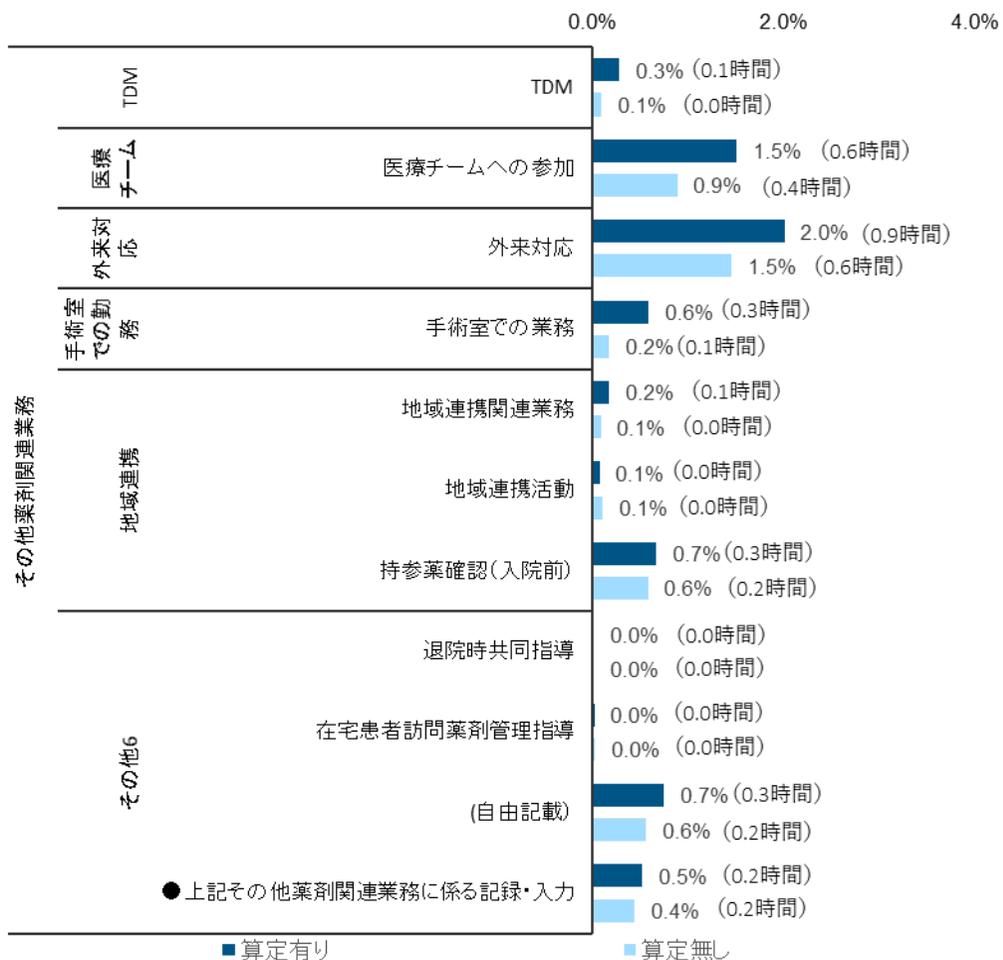


その他薬剤関連業務従事割合_業務項目別

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無によるその他薬剤関連業務の小項目の従事割合の差異は1%未満である。

その他薬剤関連業務従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

小項目

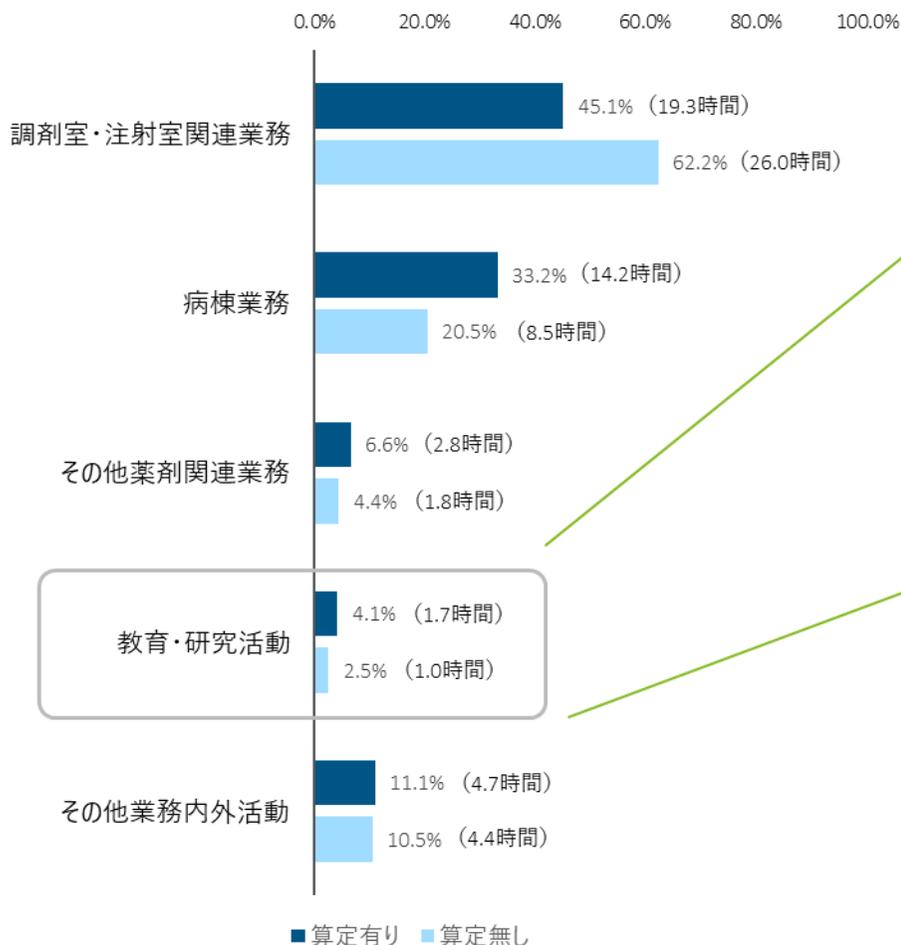


教育・研究活動従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

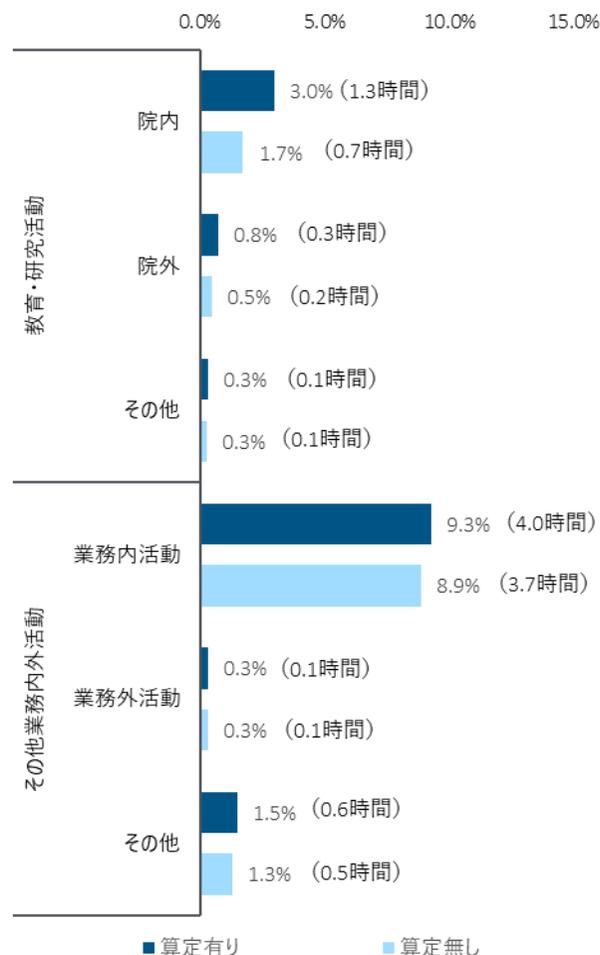
- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による教育・研究活動の従事割合では“院内”の業務に1.3%程差異が生じている。

教育・研究活動従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

大項目別



中項目別

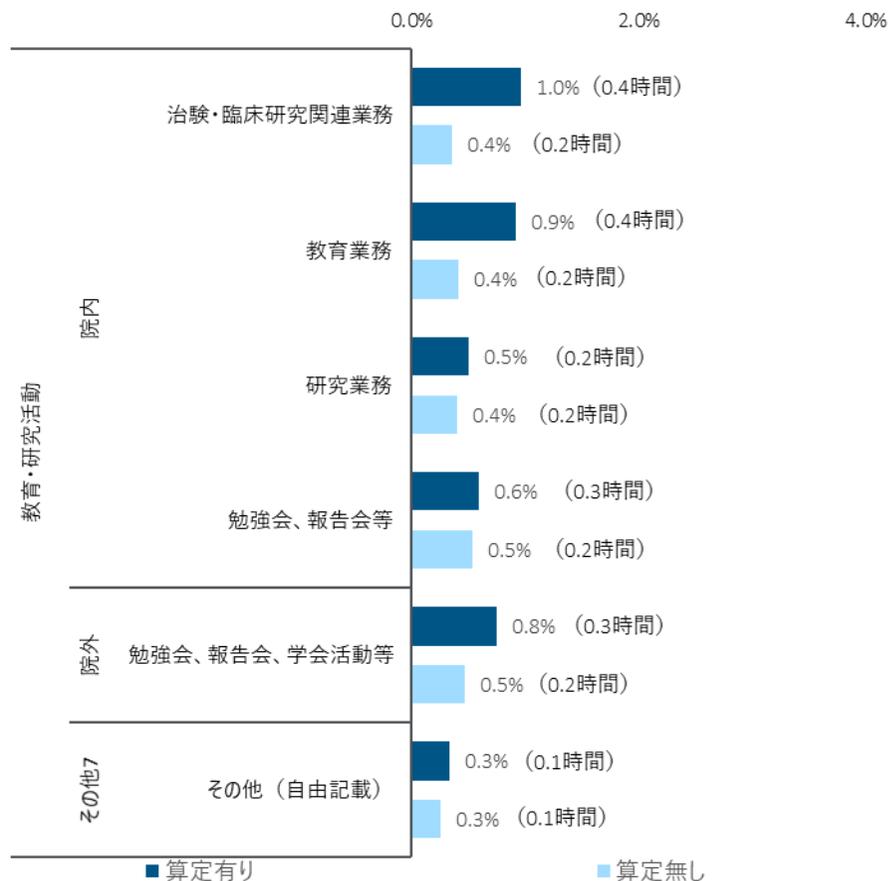


教育・研究活動従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無による教育・研究活動の小項目間の従事割合の差異は1%未満である。

教育・研究活動従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

小項目別



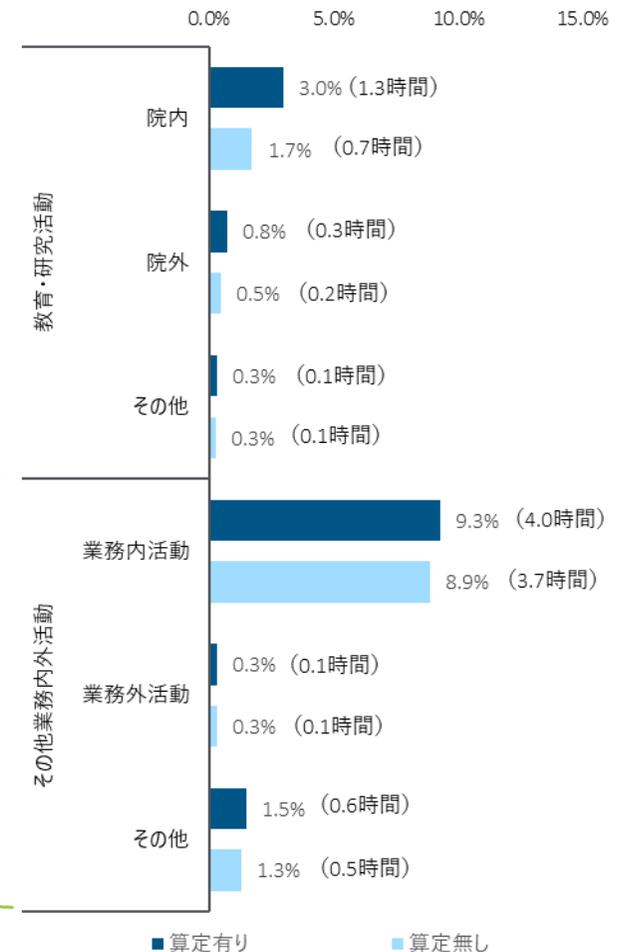
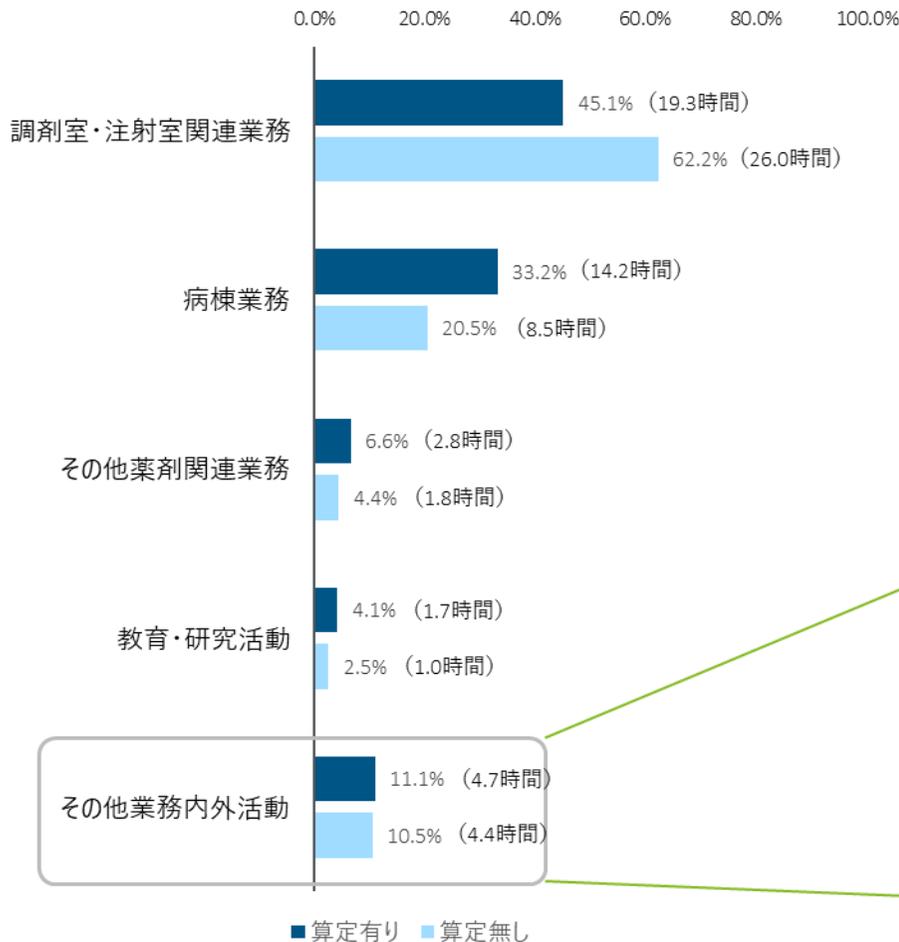
その他業務内外活動従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無によるその他業務内外活動の従事割合では中項目間で1%未満の差異が生じている。

その他業務内外活動従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

大項目別

中項目別

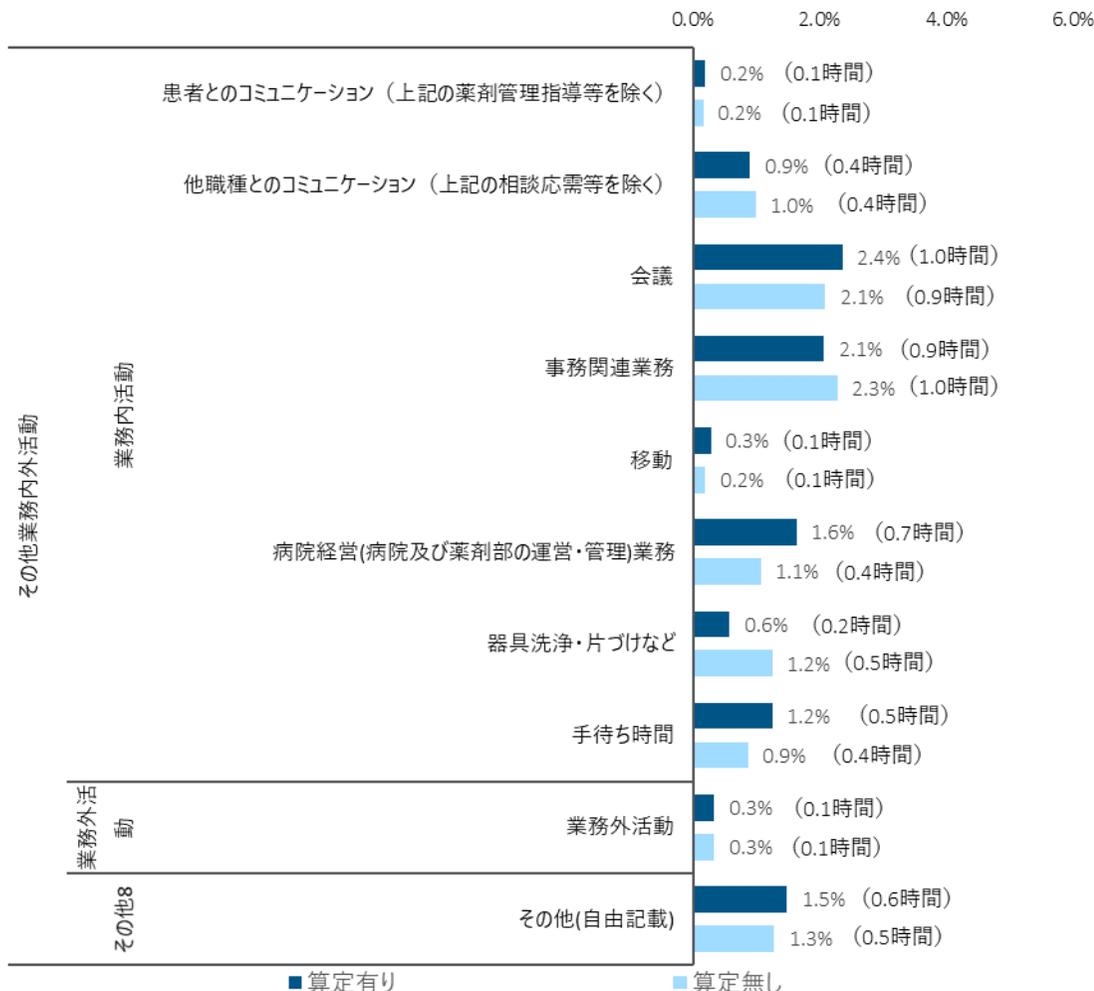


その他業務内外活動従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無によるその他業務内外活動の従事割合では小項目間で1%未満の差異が生じている。

その他業務内外活動従事割合_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

小項目別

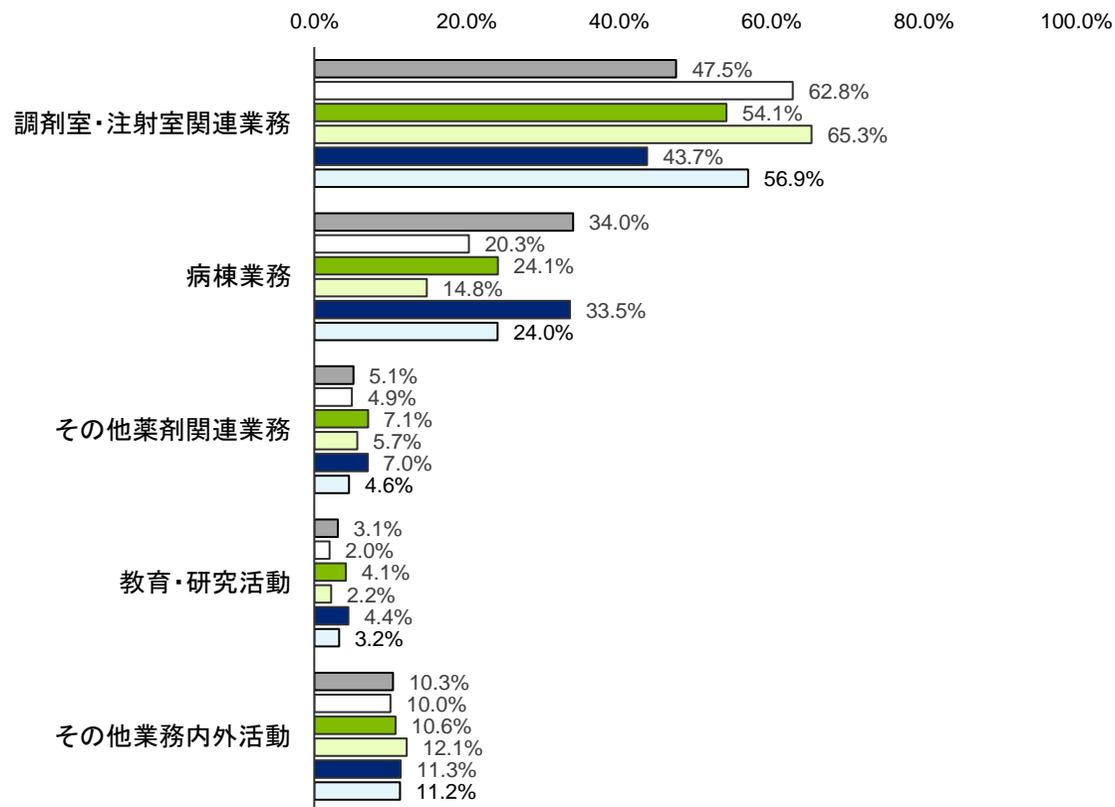


院外処方箋発行率を踏まえた業務従事割合（業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無）

- 院外処方箋発行率の違いによって調剤室・注射室関連業務や病棟業務の従事割合に差異は一定生じているが、病棟薬剤業務実施加算の算定有無による差異の方が大きくなっている。

院外処方箋発行率_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

大項目別



■ 院外処方箋発行率"0" 加算算定あり (n=226)
 ■ 院外処方箋発行率"1~49%" 加算算定あり (n=41)
 ■ 院外処方箋発行率"50%~" 加算算定あり (n=680)

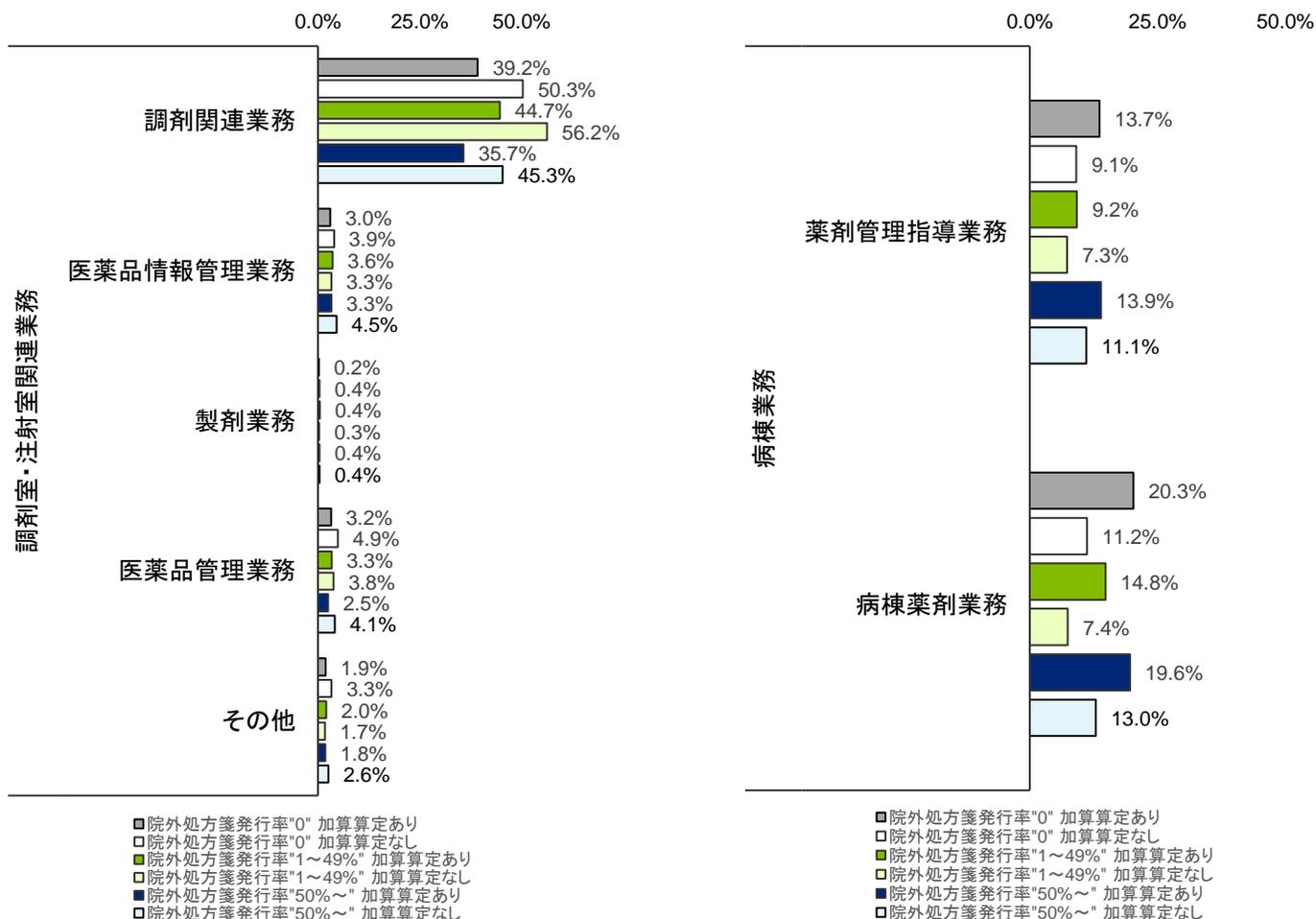
□ 院外処方箋発行率"0" 加算算定なし (n=425)
 □ 院外処方箋発行率"1~49%" 加算算定なし (n=104)
 □ 院外処方箋発行率"50%~" 加算算定なし (n=559)

院外処方箋発行率を踏まえた業務従事割合（業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無）

- 院外処方箋発行率の違いによって調剤室・注射室関連業務や病棟業務の従事割合に差異は一定生じているが、病棟薬剤業務実施加算の算定有無による差異の方が大きくなっている。

院外処方箋発行率_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

中項目別（調剤室・注射室関連業務、病棟業務）

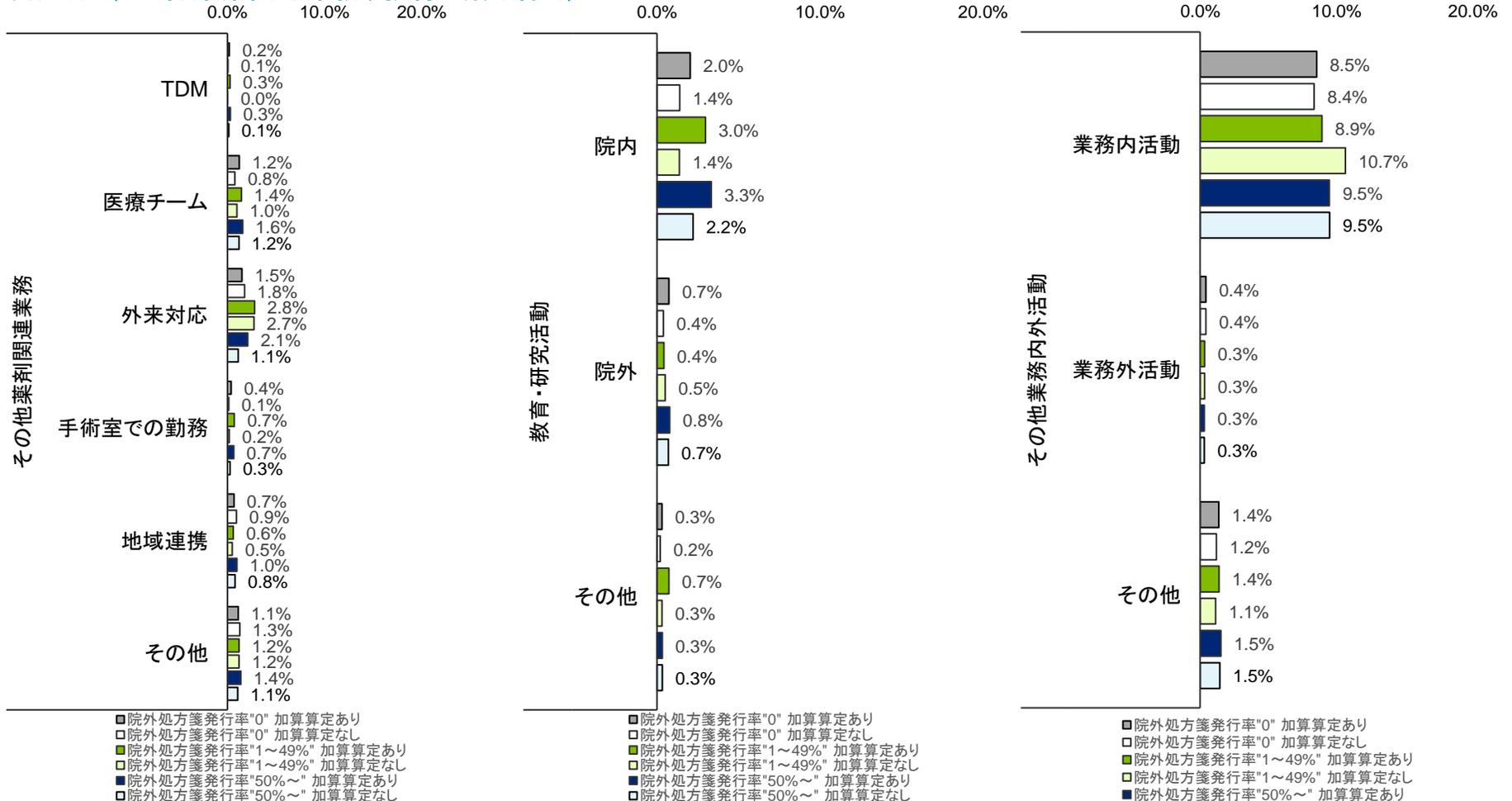


院外処方箋発行率を踏まえた業務従事割合（業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無）

- 院外処方箋発行率の違いによって調剤室・注射室関連業務や病棟業務の従事割合に差異は一定生じているが、病棟薬剤業務実施加算の算定有無による差異の方が大きくなっている。

院外処方箋発行率_業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無

中項目別（その他薬剤関連業務、教育・研究活動）

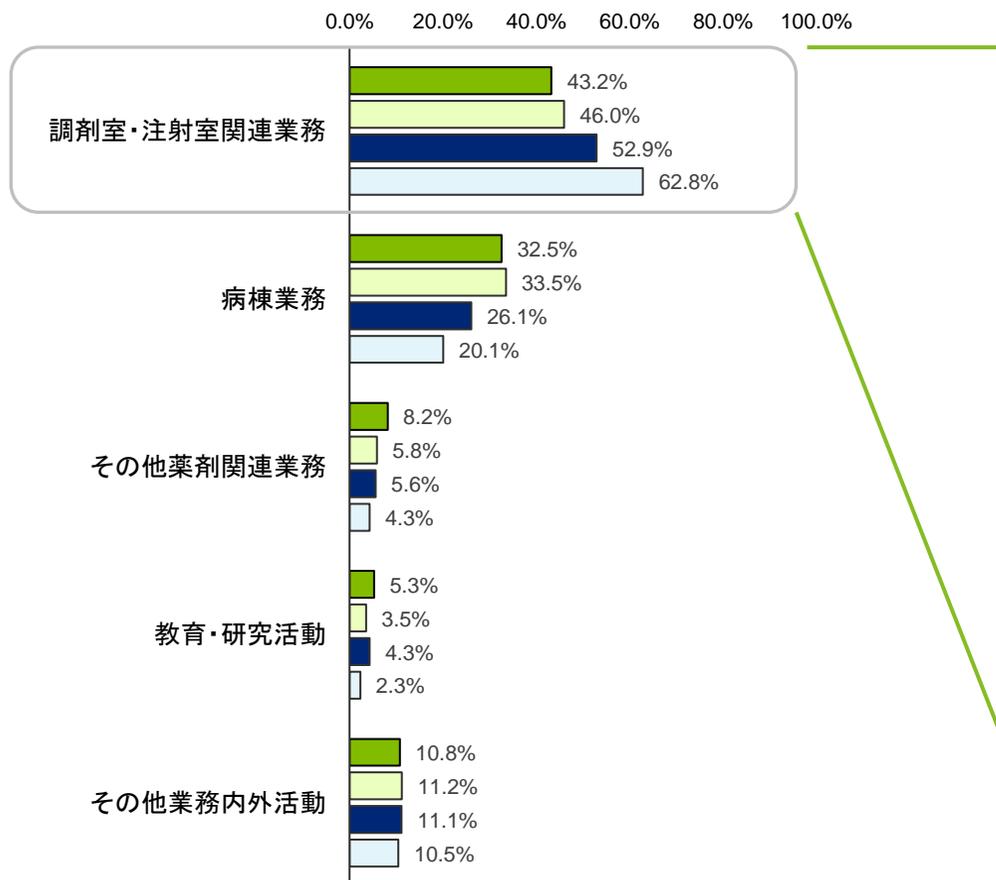


各種調剤機器導入有無を踏まえた業務従事割合（業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無）

- 調剤・注射室関連業務において各種調剤機器導入有無により業務従事割合に差異が生じている。また、調剤関連業務において特にその差が大きくなっている。

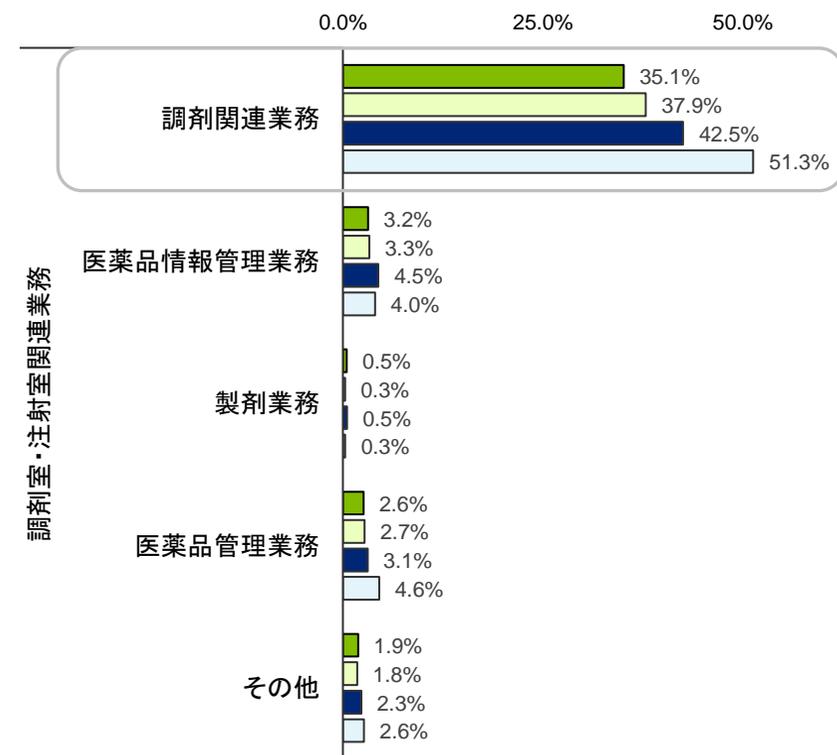
病棟薬剤業務実施加算有無_業務項目別_各種調剤機器導入有無

大項目別



施設票にて調剤業務を効率化するための調剤機器を導入している、注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器を導入していると回答した施設

中項目別



■ 加算算定有り 各種調剤機器導入有り □ 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
 ■ 加算算定無し 各種調剤機器導入有り □ 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

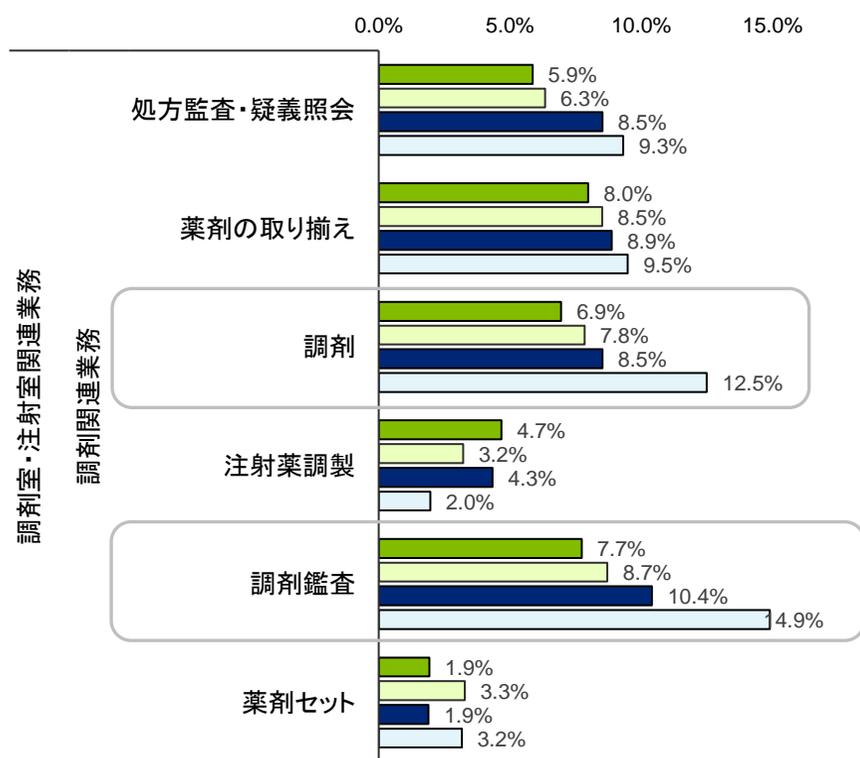
■ 加算算定有り 各種調剤機器導入有り □ 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
 ■ 加算算定無し 各種調剤機器導入有り □ 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

各種調剤機器導入有無を踏まえた業務従事割合（業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無）

- 調剤関連業務のうち、調剤、調剤監査において、各種調剤機器導入有無により業務従事割合に差異が生じている。

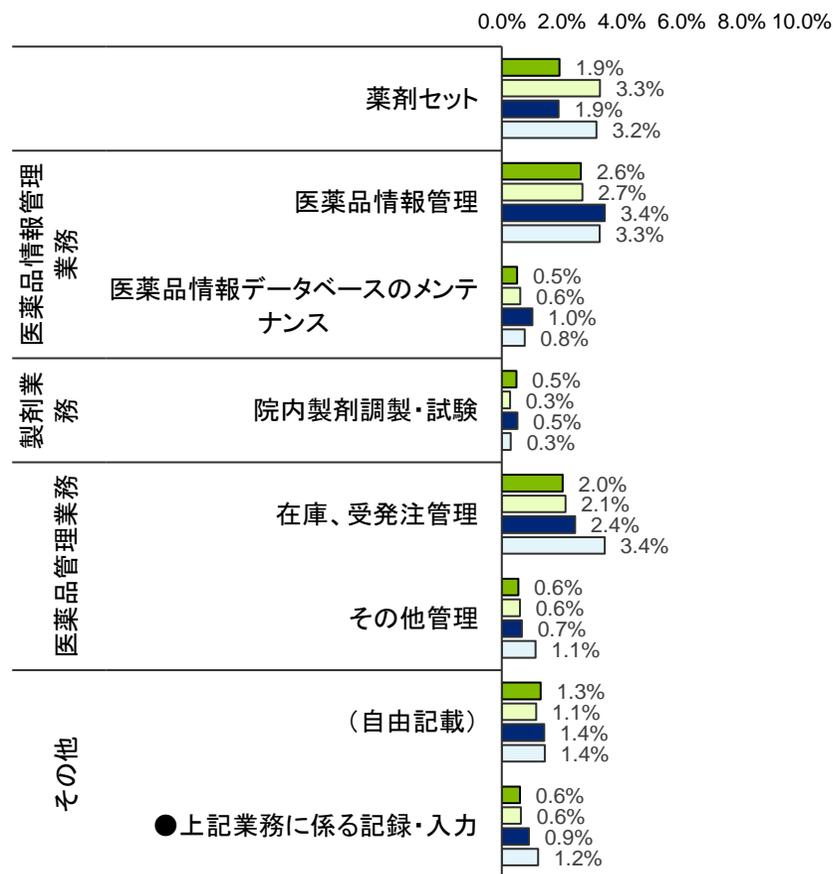
病棟薬剤業務実施加算有無_業務項目別_各種調剤機器導入有無

小項目（調剤室・注射室関連業務）



- 加算算定有り 各種調剤機器導入有り □ 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
- 加算算定無し 各種調剤機器導入有り □ 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

施設票にて調剤業務を効率化するための調剤機器を導入している、注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器を導入していると回答した施設



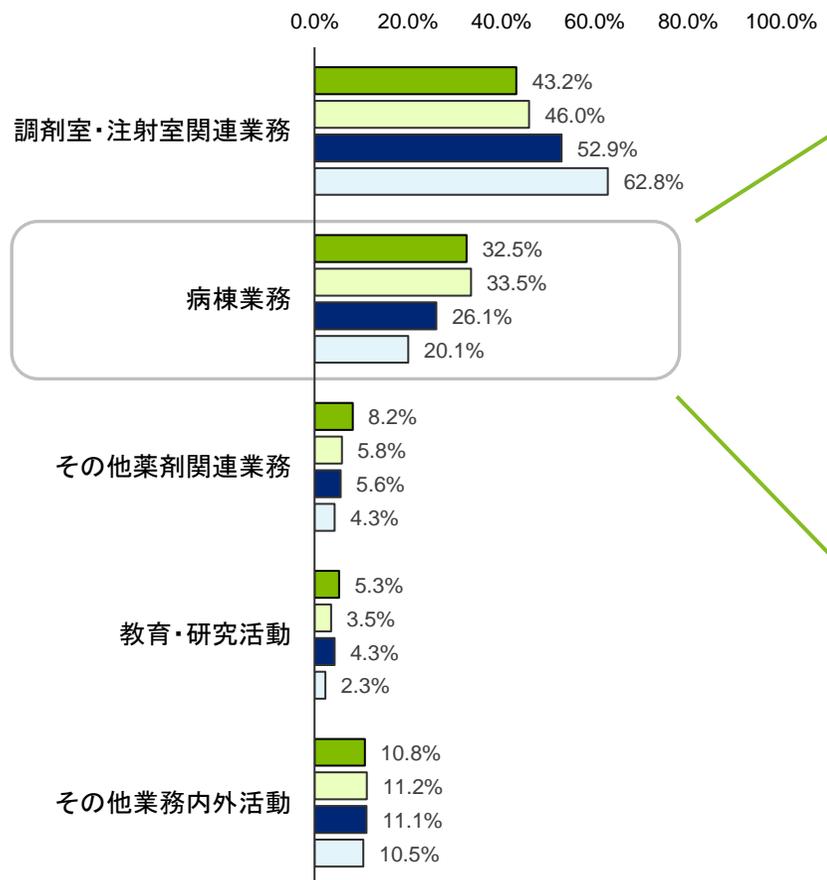
- 加算算定有り 各種調剤機器導入有り □ 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
- 加算算定無し 各種調剤機器導入有り □ 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

各種調剤機器導入有無を踏まえた業務従事割合（業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無）

- 病棟業務において各種調剤機器導入有無により業務従事割合に差異が生じている。また、病棟薬剤業務において特にその差が大きくなっている。

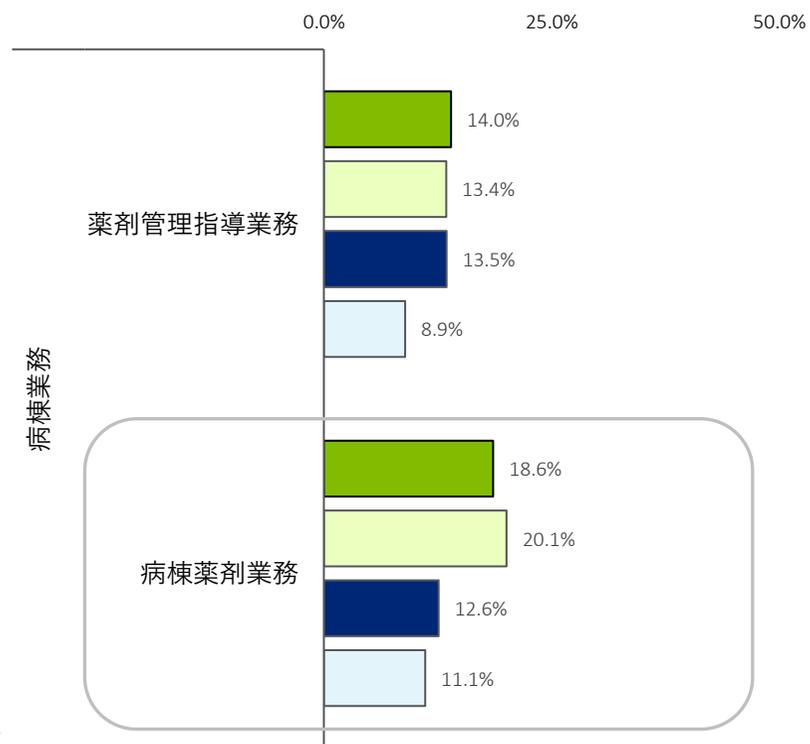
病棟薬剤業務実施加算有無_業務項目別_各種調剤機器導入有無

大項目別



施設票にて調剤業務を効率化するための調剤機器を導入している、注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器を導入していると回答した施設

中項目別



■ 加算算定有り 各種調剤機器導入有り □ 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
 ■ 加算算定無し 各種調剤機器導入有り □ 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

■ 加算算定有り 各種調剤機器導入有り □ 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
 ■ 加算算定無し 各種調剤機器導入有り □ 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

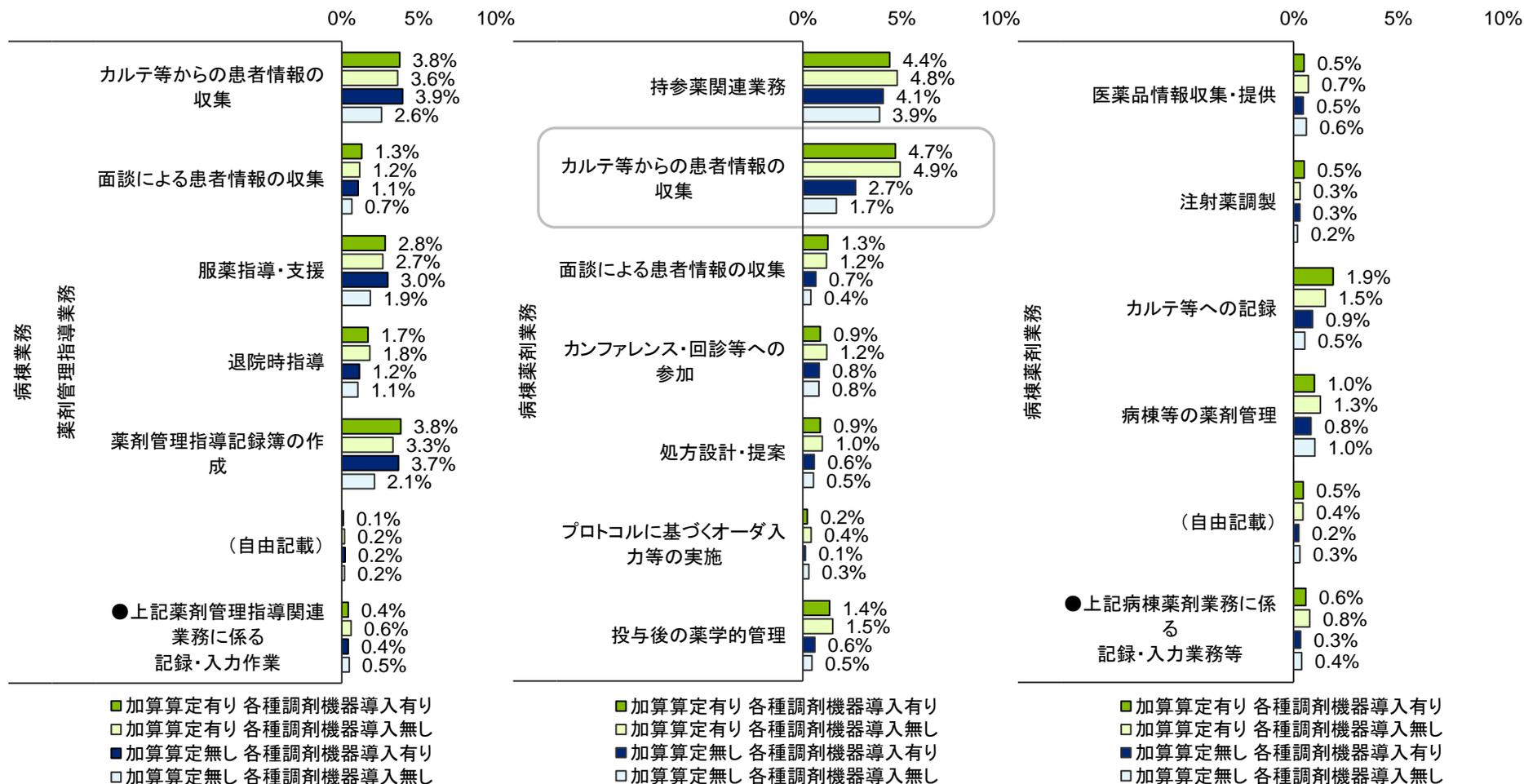
各種調剤機器導入有無を踏まえた業務従事割合（業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無）

- 病棟薬剤業務のうち、カルテ等からの患者情報の収集において各種調剤機器導入有無により業務従事割合に差異が生じている。

病棟薬剤業務実施加算有無_業務項目別_各種調剤機器導入有無

施設票にて調剤業務を効率化するための調剤機器を導入している、注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器を導入していると回答した施設

小項目（病棟業務、病棟薬剤業務）



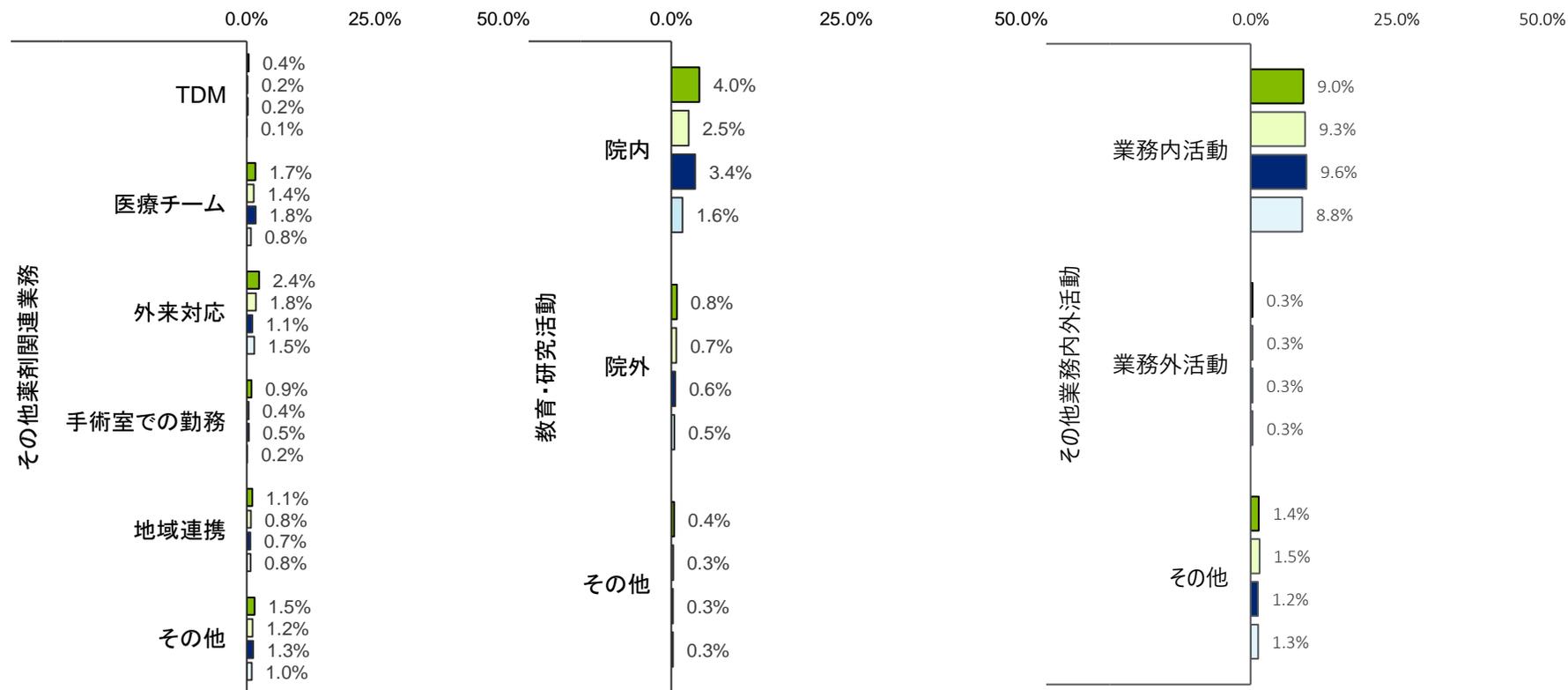
各種調剤機器導入有無を踏まえた業務従事割合（業務項目別_病棟薬剤業務実施加算有無）

- その他薬剤関連業務、教育・研究活動、その他業務内外活動においては、各種調剤機器導入有無により業務従事割合に差異は生じていない。

病棟薬剤業務実施加算有無_業務項目別_各種調剤機器導入有無

施設票にて調剤業務を効率化するための調剤機器を導入している、注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器を導入していると回答した施設

中項目別（その他薬剤関連業務、教育・研究活動、その他業務内外活動）



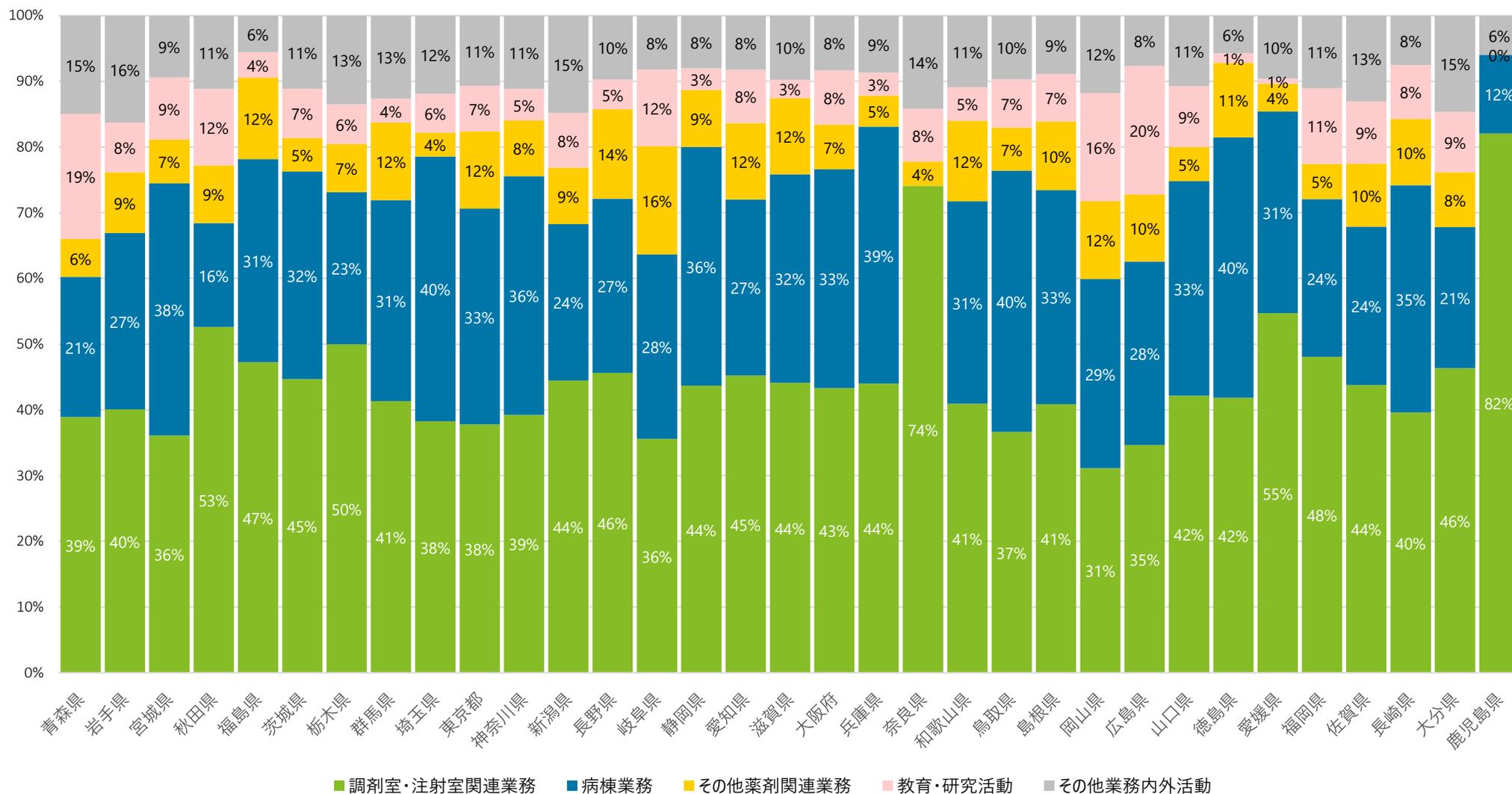
- 加算算定有り 各種調剤機器導入有り
- 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
- 加算算定無し 各種調剤機器導入有り
- 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

- 加算算定有り 各種調剤機器導入有り
- 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
- 加算算定無し 各種調剤機器導入有り
- 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

- 加算算定有り 各種調剤機器導入有り
- 加算算定有り 各種調剤機器導入無し
- 加算算定無し 各種調剤機器導入有り
- 加算算定無し 各種調剤機器導入無し

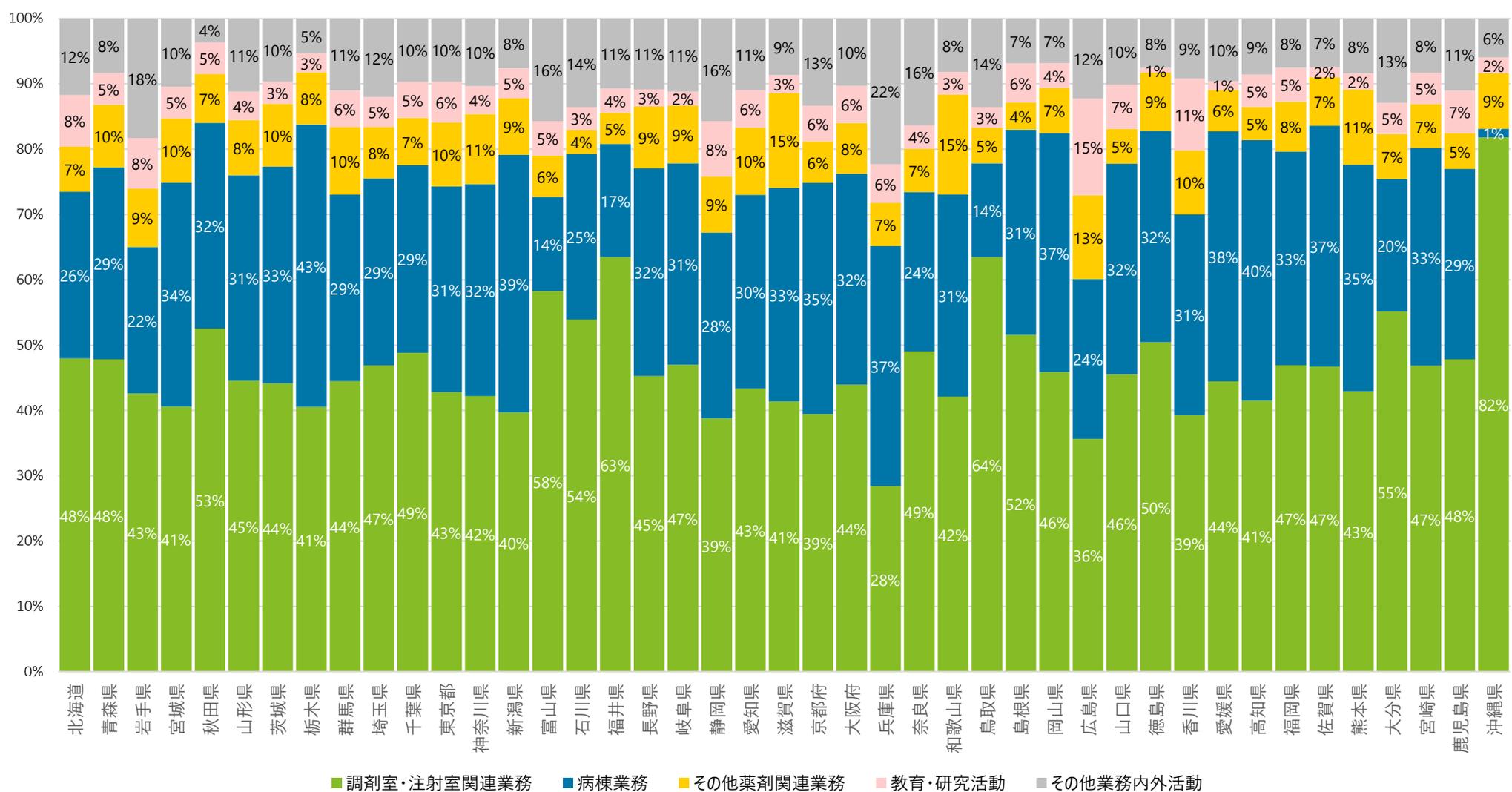
都道府県別の業務従事割合__病院種別

1. 高度救命救急センター



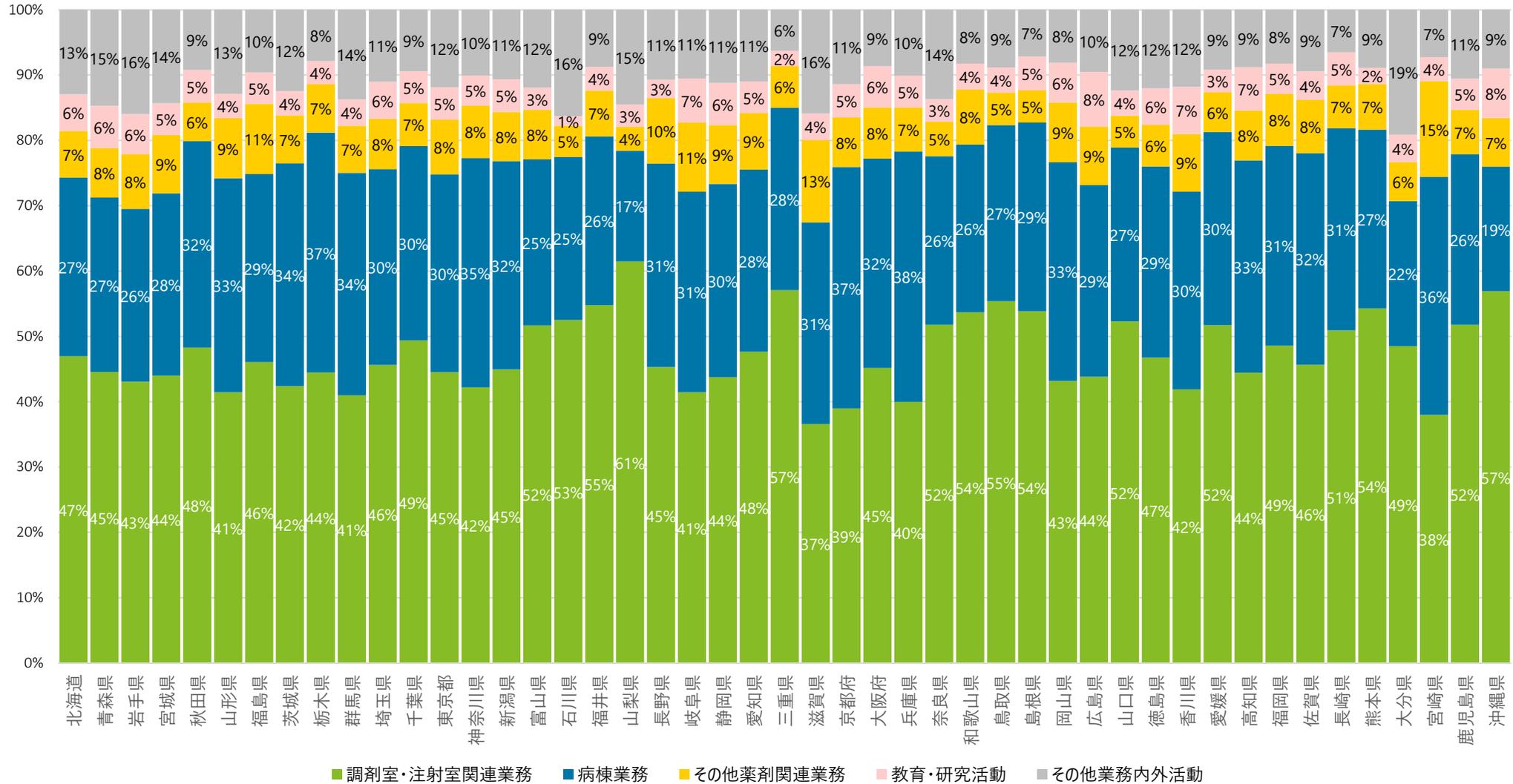
都道府県別の業務従事割合__病院種別

2. 救命救急センター



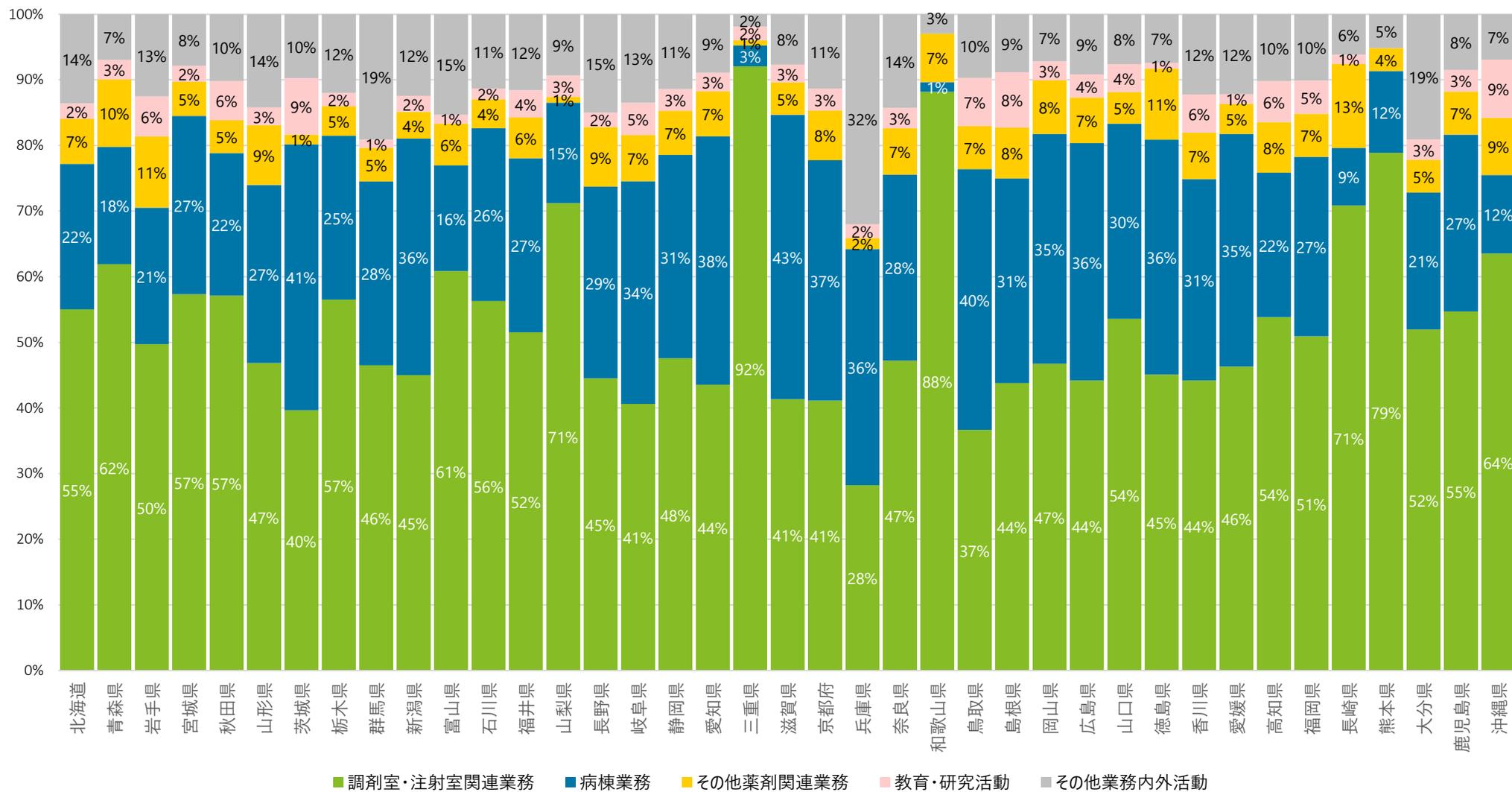
都道府県別の業務従事割合__病院種別

3.災害拠点病院



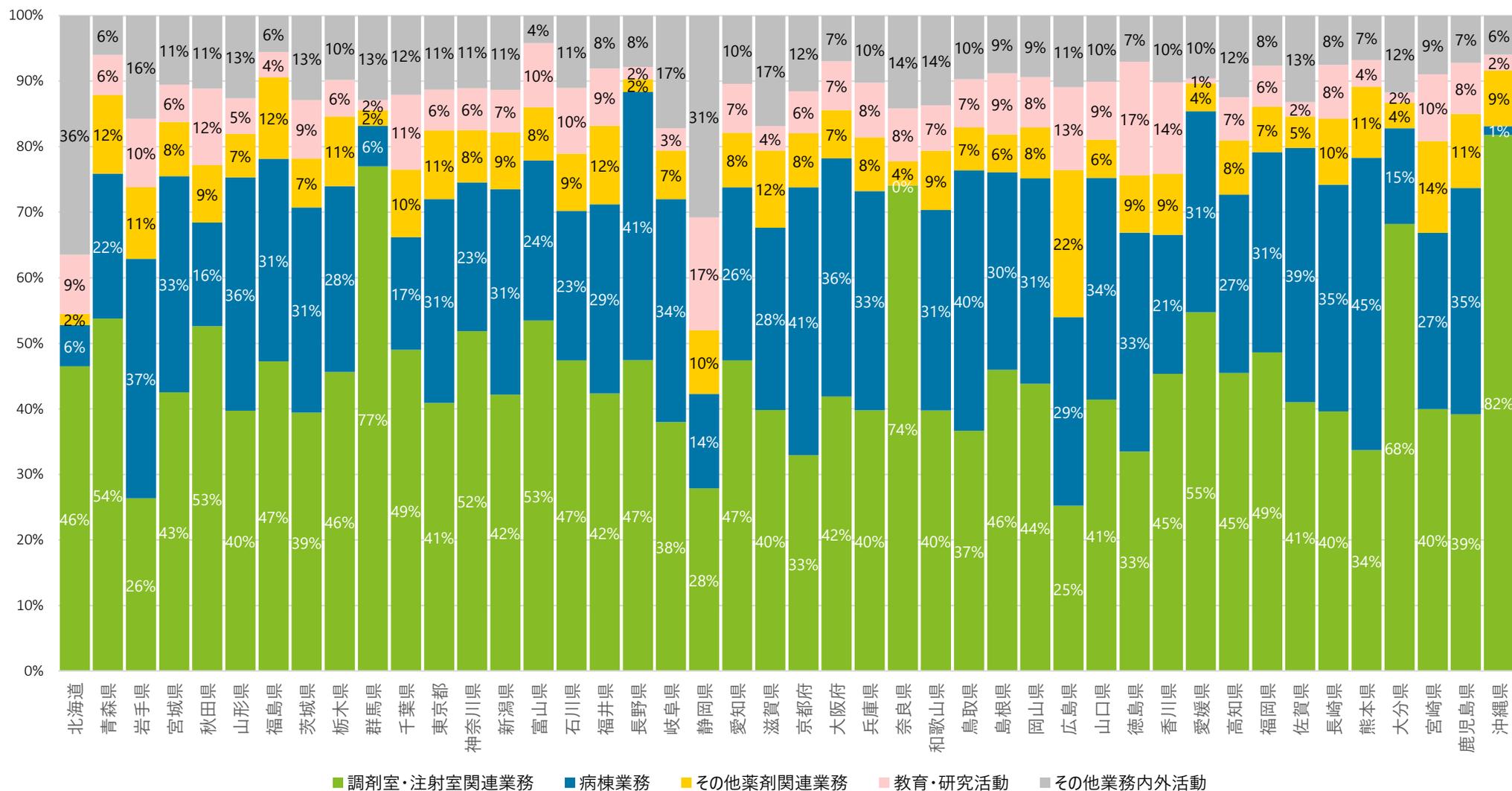
都道府県別の業務従事割合 病院種別

4. へき地医療拠点病院



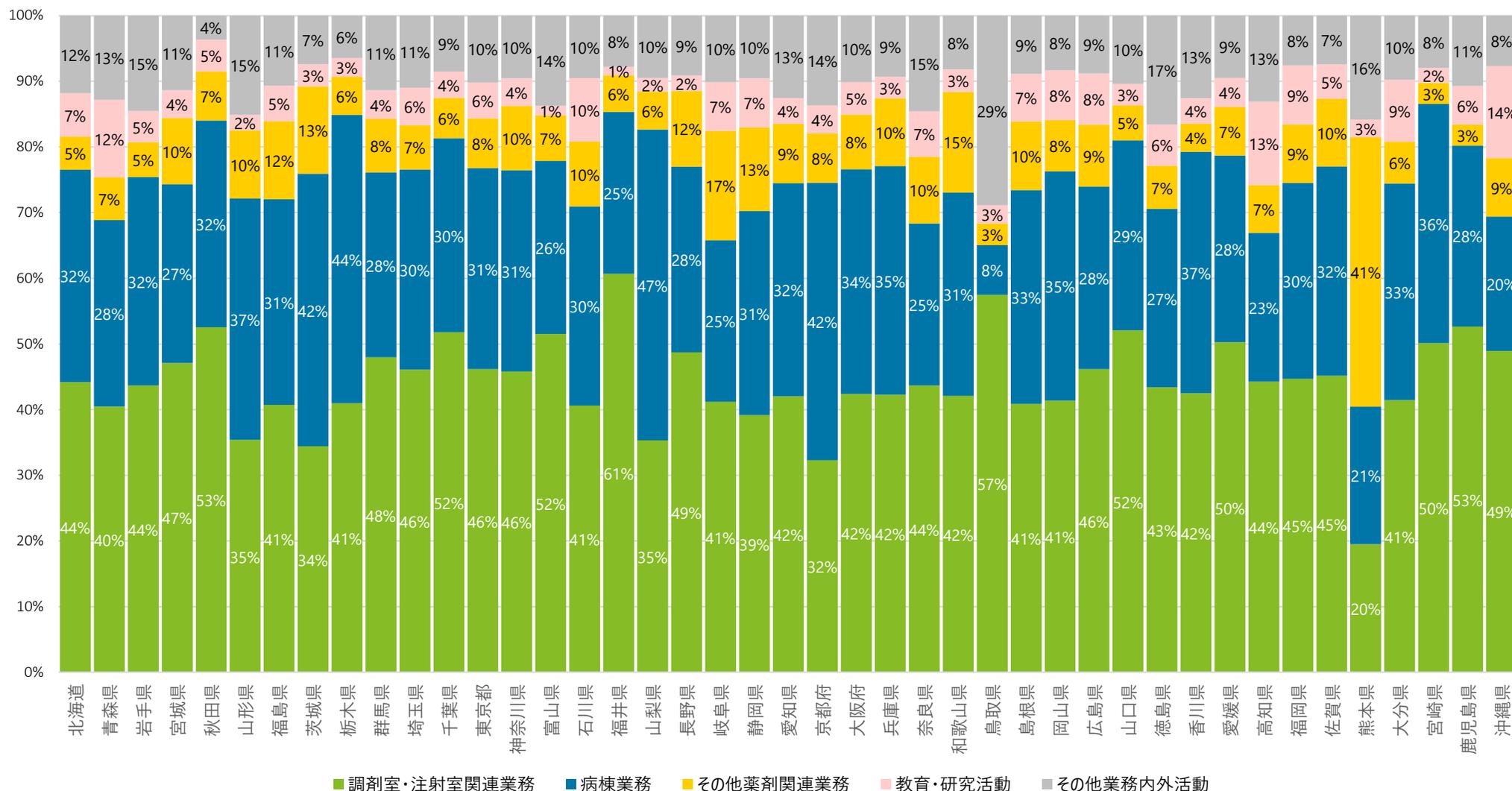
都道府県別の業務従事割合__病院種別

5. 総合周産期母子医療センター



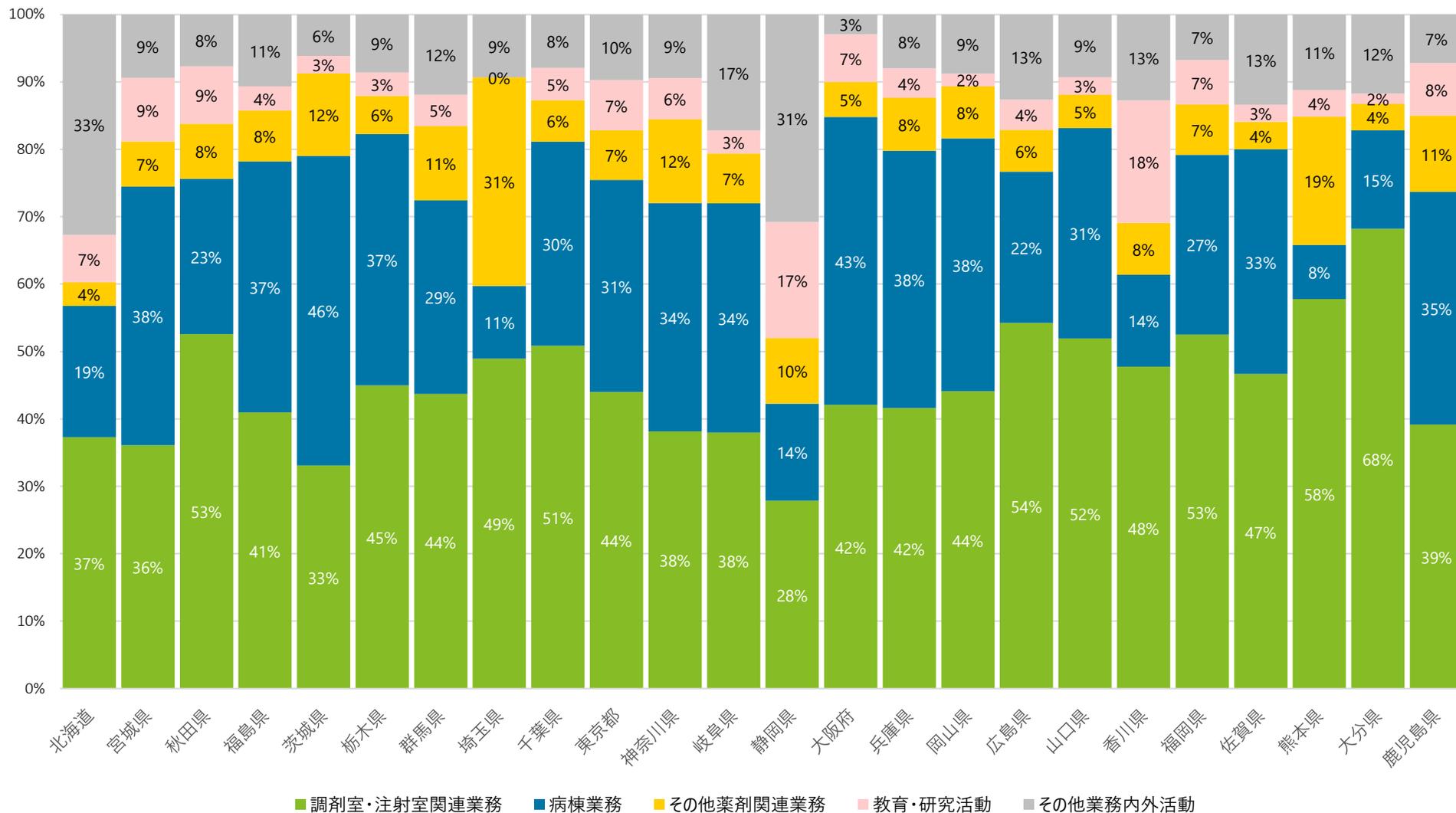
都道府県別の業務従事割合__病院種別

6. 地域周産期母子医療センター



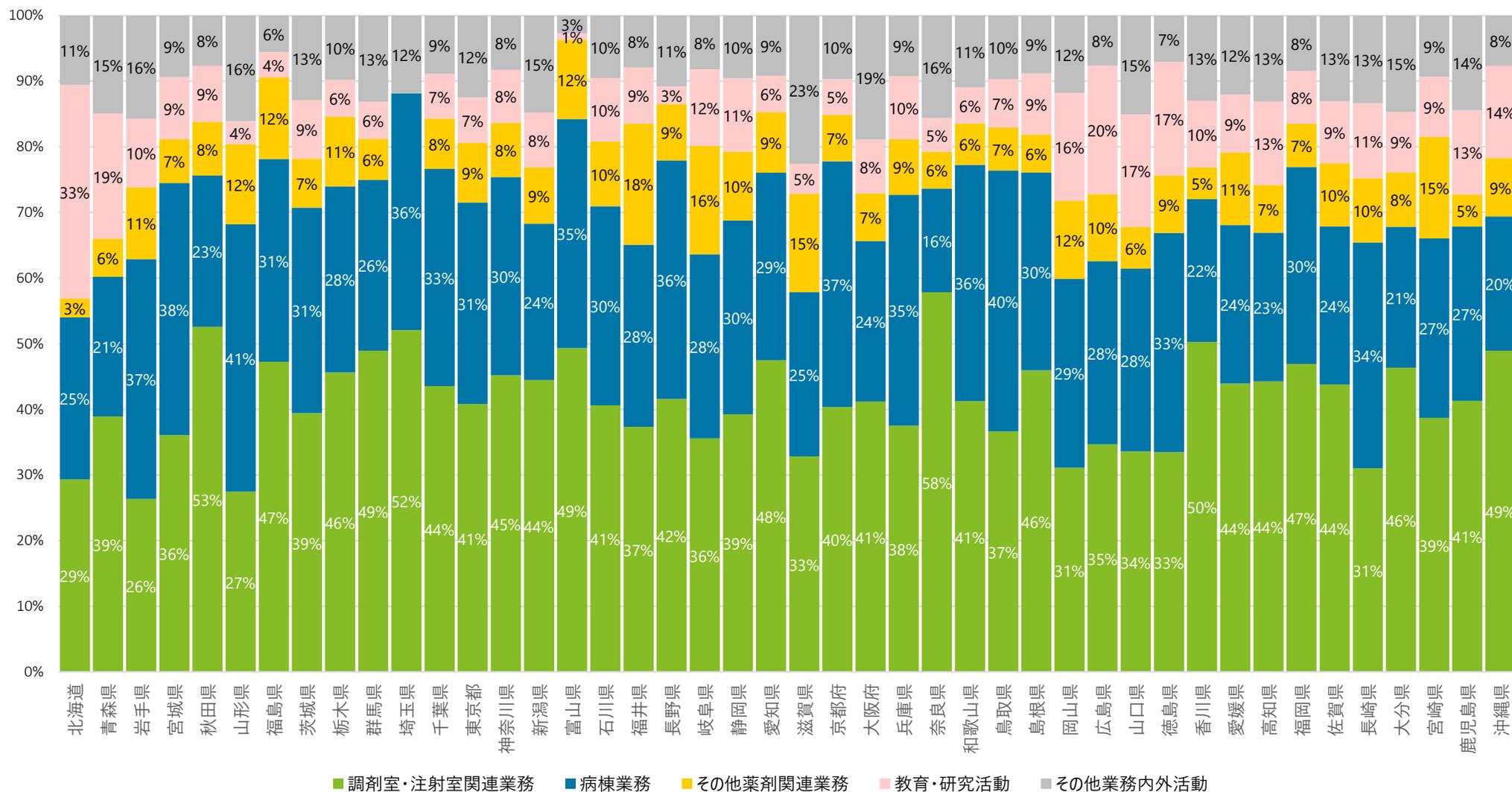
都道府県別の業務従事割合__病院種別

7. 小児救急医療拠点病院



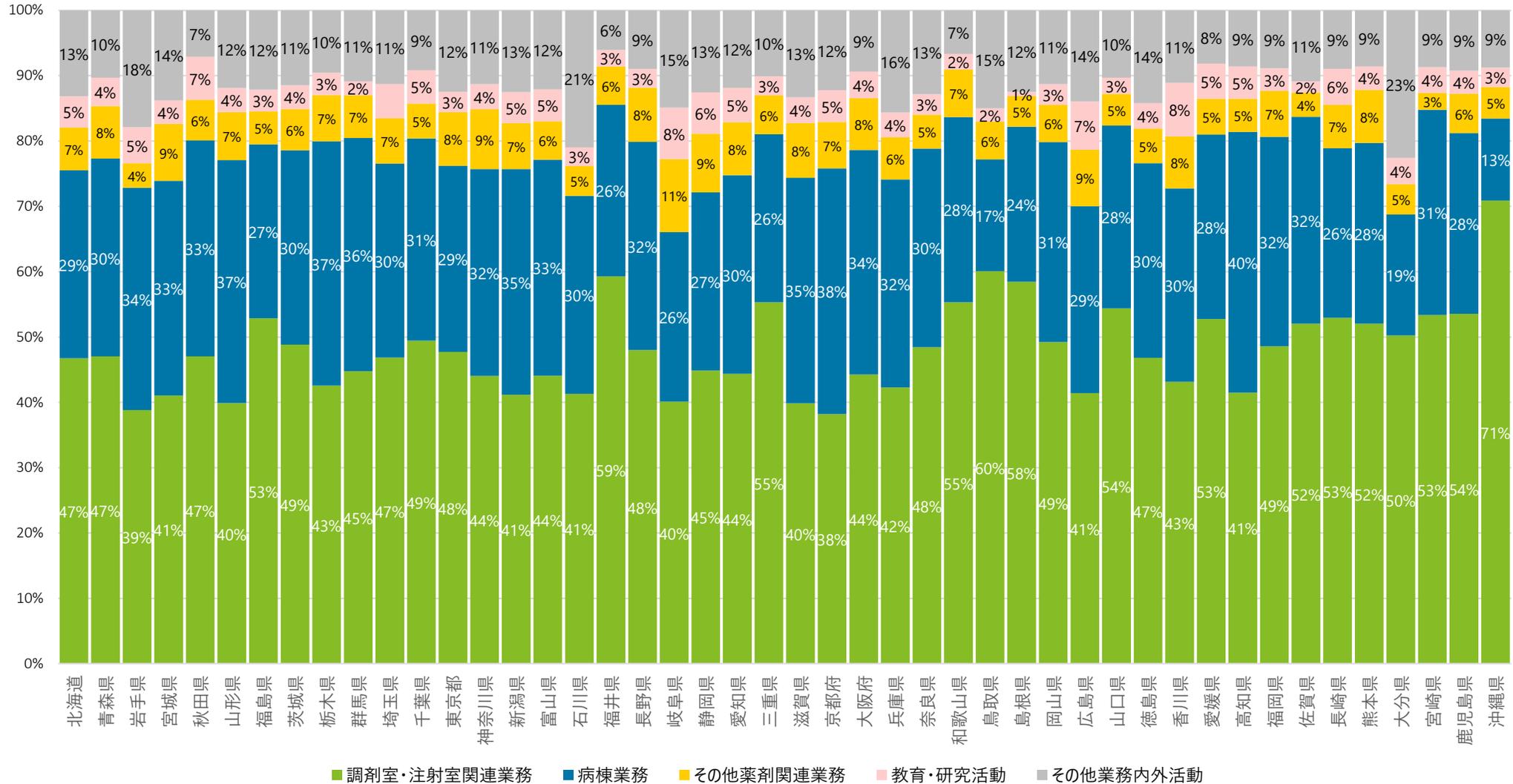
都道府県別の業務従事割合__病院種別

8. 特定機能病院



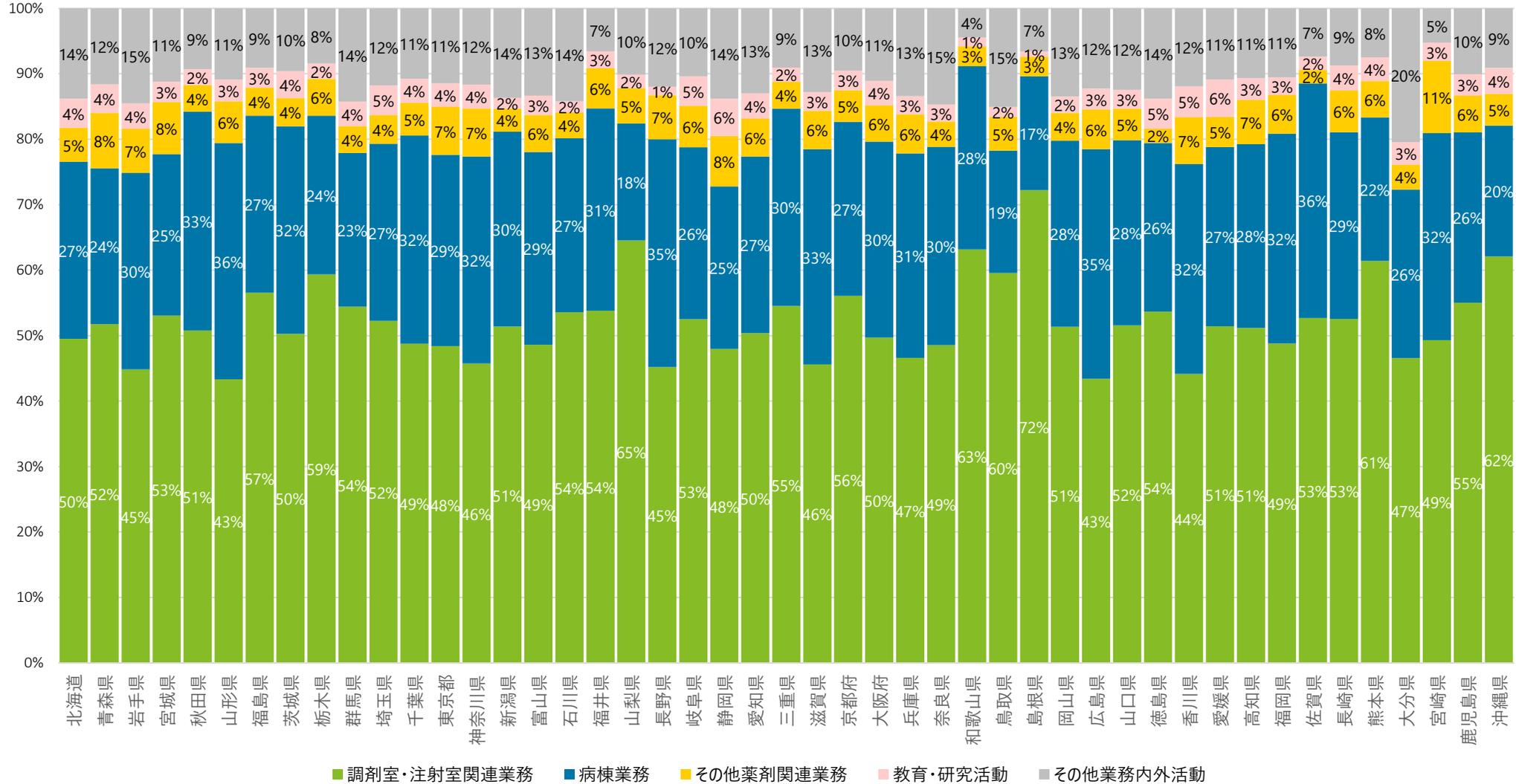
都道府県別の業務従事割合__病院種別

9. 地域医療支援病院



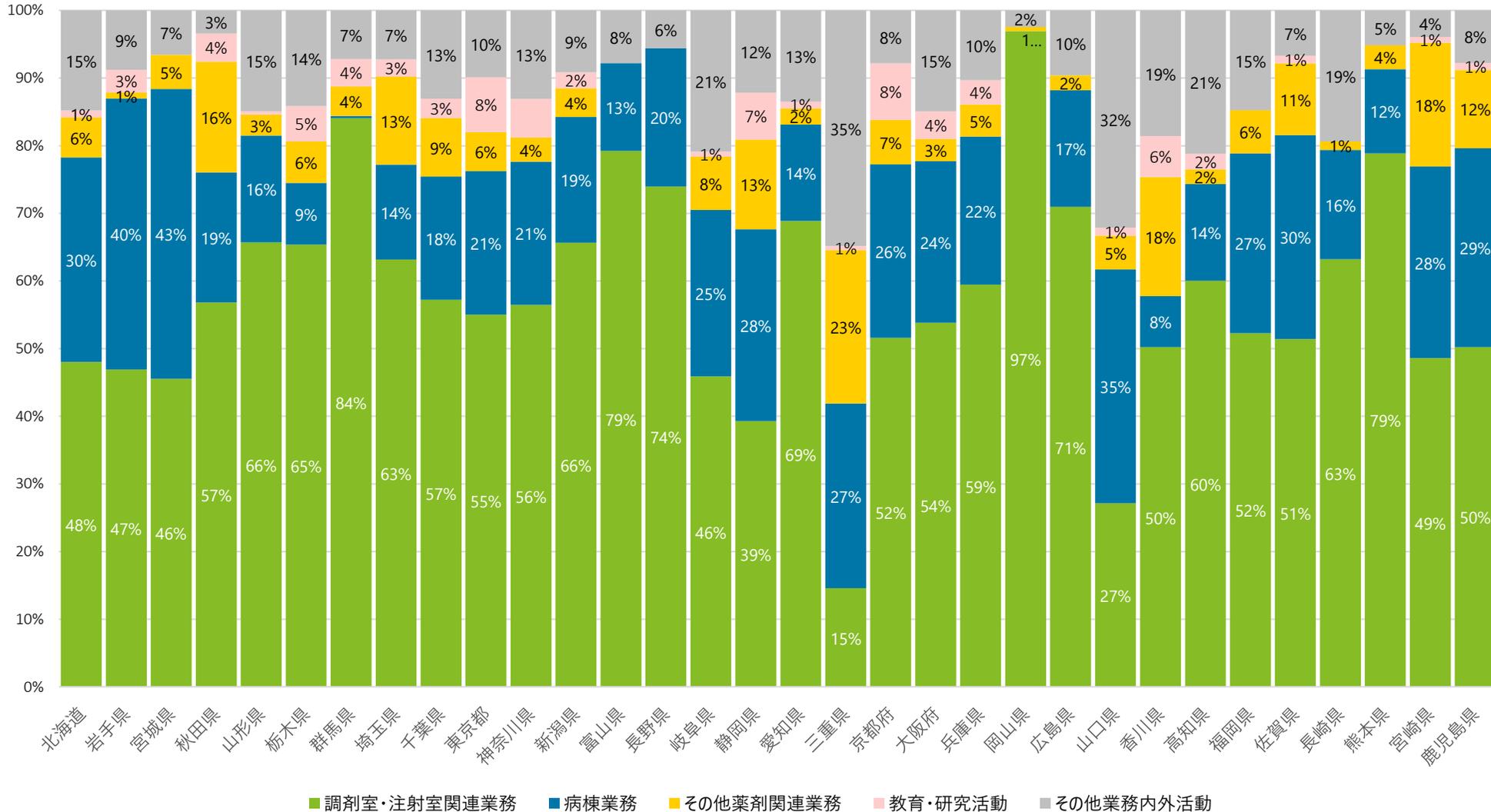
都道府県別の業務従事割合__病院種別

10. 二次救急指定病院



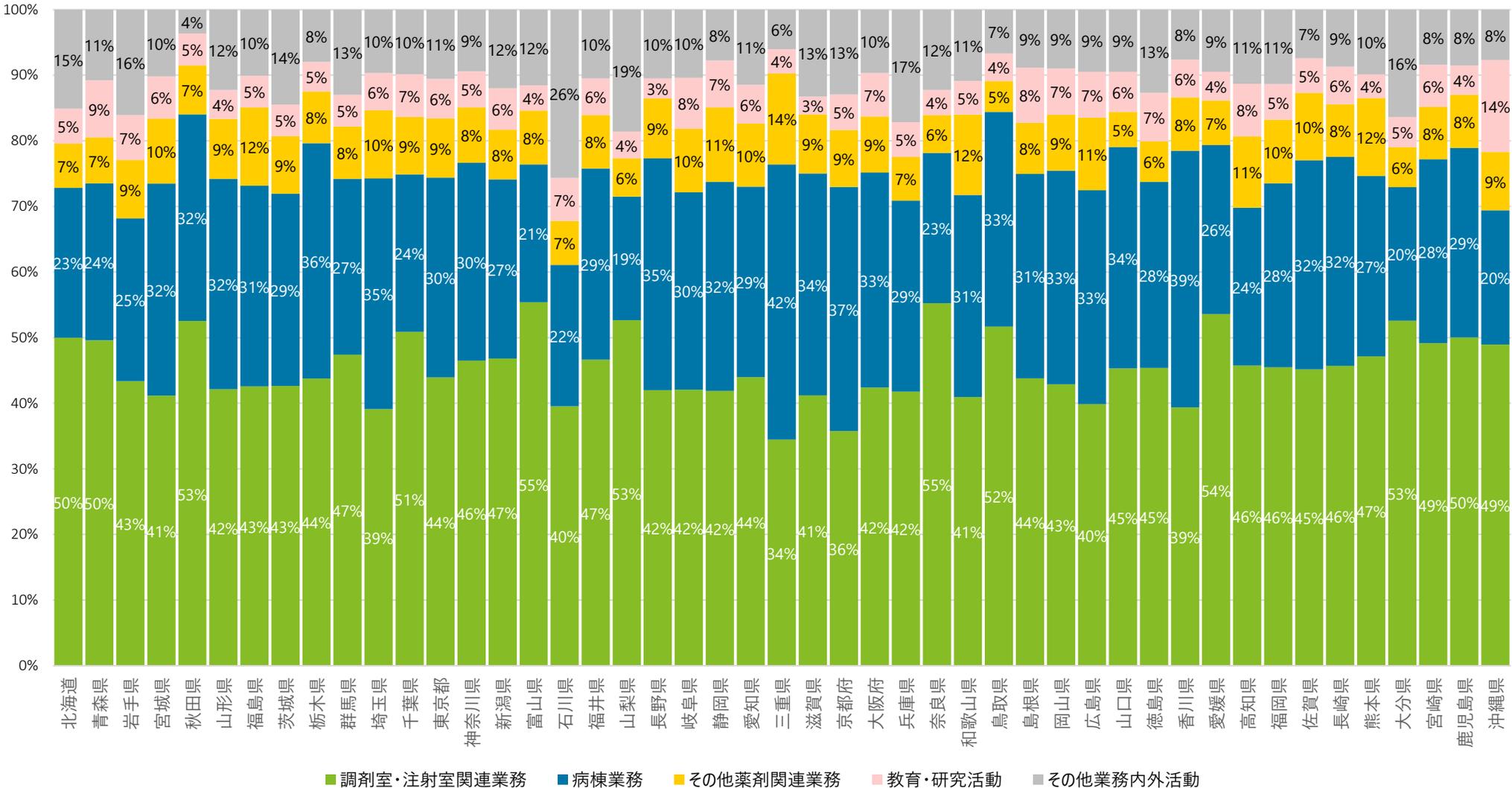
都道府県別の業務従事割合__病院種別

11. 専門病院



都道府県別の業務従事割合__病院種別

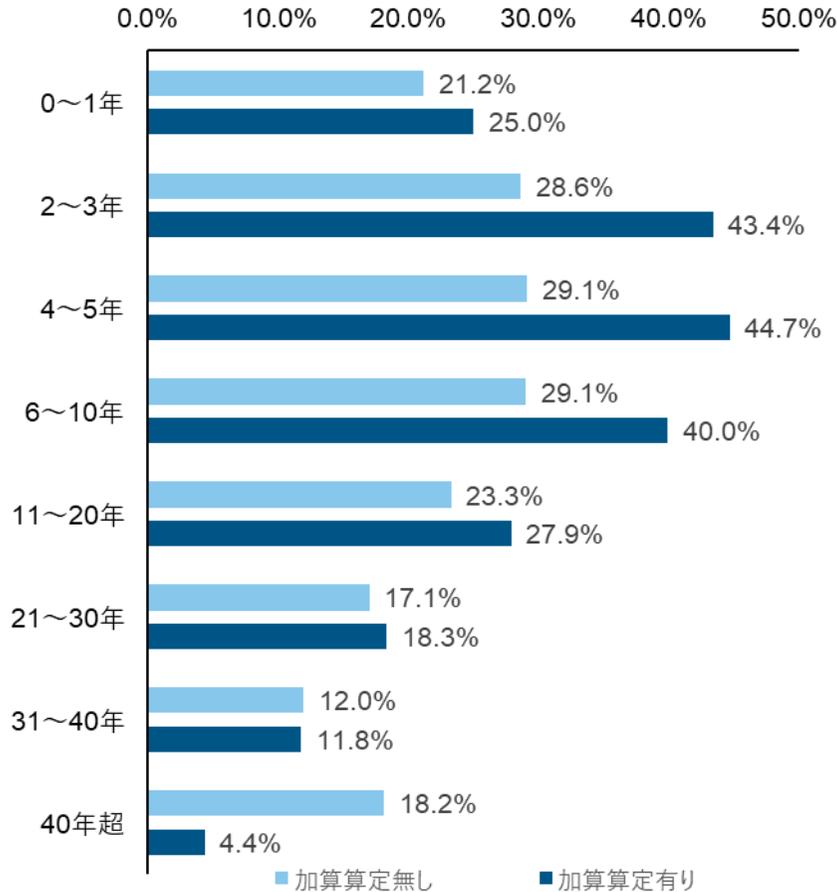
12. がん診療連携拠点病院



勤続年数別の病棟業務従事割合

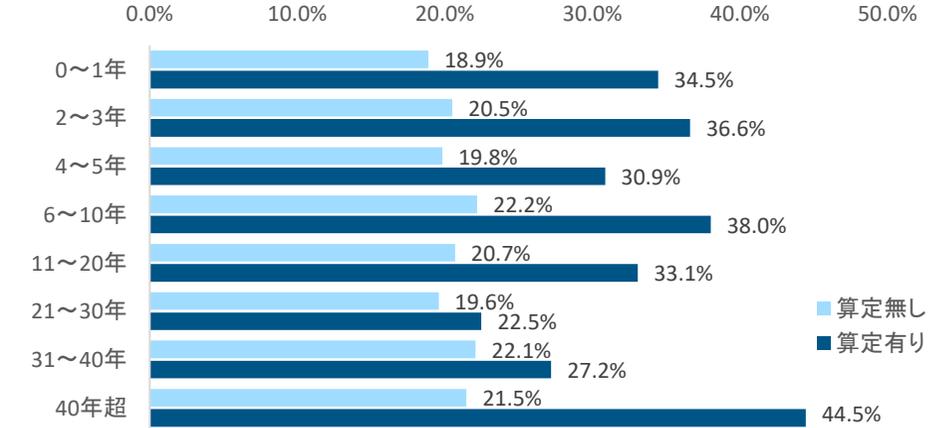
- 病棟業務実施加算の算定有無による病棟業務従事割合を勤続年数別で比較すると、特に“2～3年”・“4～5年”・“6～10年”では10～15%程度の差異がある。

病棟業務従事割合_勤続年数別

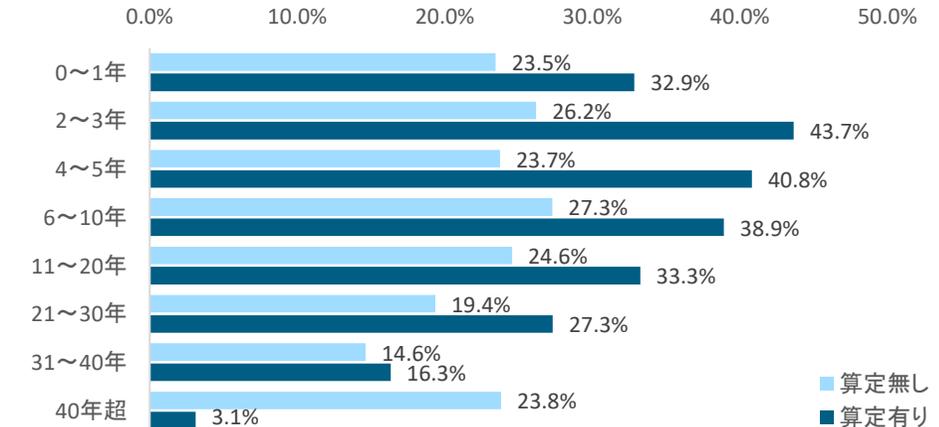


病床規模別

(100床未満)



(100床～200床未満)

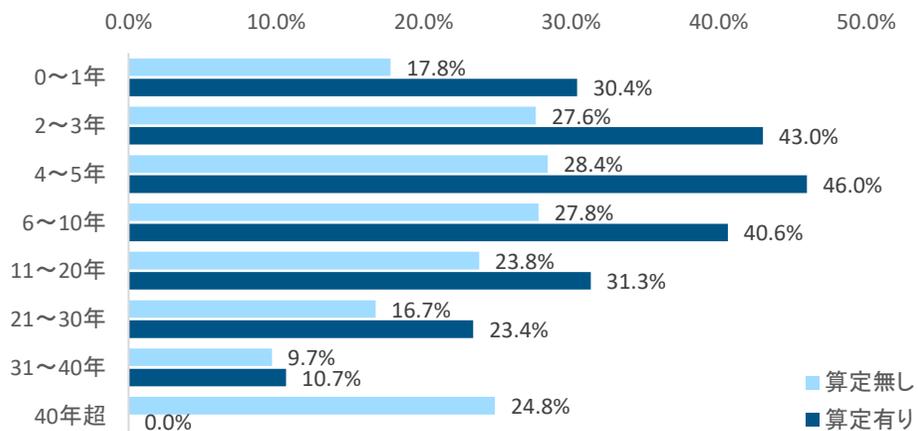


勤続年数別の病棟業務従事割合

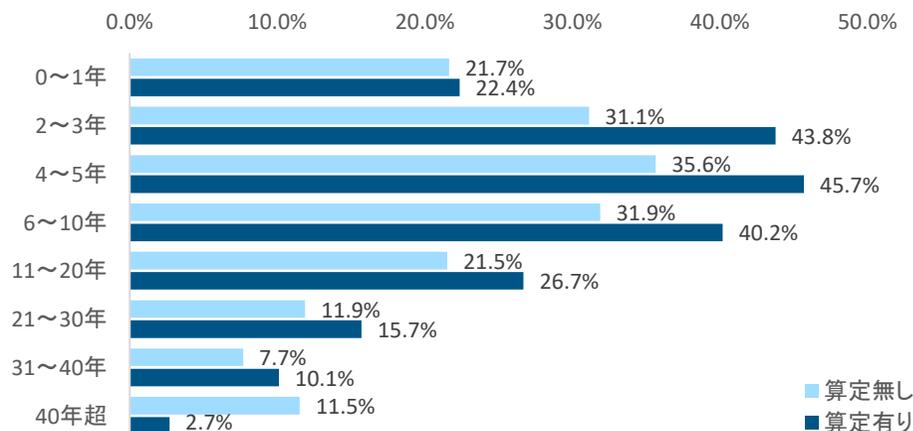
- 病棟業務実施加算の算定有無による病棟業務割合を勤続年数別で比較すると、特に“2～3年”・“4～5年”・“6～10年”では10～15%程度の差異がある。

病床規模別

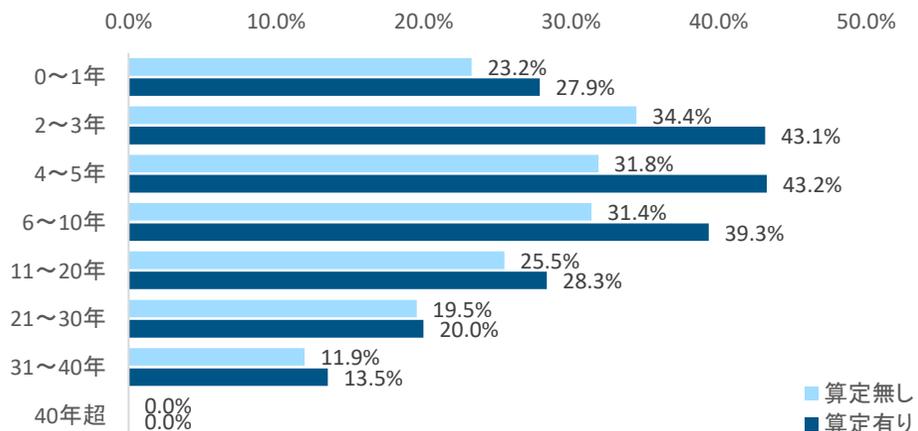
(200床～300床未満)



(400床以上)



(300床～400床未満)



⑥タスク・シフト/シェア等の取組状況

薬剤師免許を有さない職員が従事する業務

タスク・シフト/シェア等の取組状況サマリ

薬剤師免許を有さない 職員が従事する業務

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無に関わらず、多くの施設は薬剤師資格を有さない職員を100床あたり1名未満配置している。
- 薬剤師免許を有さない職員が従事する業務について、算定有りの施設では、「集計表等に基づく医薬品の取り揃え」、「集計表等に基づく注射剤の準備」はほとんどの人数区分で半数以上が取り組んでいる。また、算定有りの施設では100床あたり1名以上の施設で「薬剤部門内の事務作業」を80%以上の施設が取り組んでいるほか、内服・外用剤、注射剤の在庫管理は人員数が算定の有無、薬剤師数の区分にかかわらず半数以上が取り組んでいる。
 - 100未満の施設では、算定有り・100床あたり薬剤師数が3名以上5名未満の施設では、約半数が「処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃えること」、「集計表等に基づく注射剤の準備」を実施している。また、算定有り・無しに関わらず概ね半数以上の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施している。
 - 100床～200床未満の施設では、算定有りの施設では、「集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること」は100床あたり薬剤師数1名以上3名未満、7名以上の施設で半数以上が取り組んでいる。また、算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施している。
 - 200床～300床未満の施設では、算定有りの施設では、「集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること」、「集計表等に基づく注射剤の準備」はほとんどの人数区分で取り組んでいる。また、算定有り・無しに関わらず概ね80%以上の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施しているほか、算定有りの施設では概ね80%以上の施設で「在庫管理」を実施している。
 - 300床～400床未満の施設では、算定有りの施設では、「集計表等に基づく注射剤の準備」はほとんどの人数区分で半数以上が取り組んでいる。また、算定有り・無しに関わらず概ね80%以上の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施しているほか、算定有り・無しに関わらずほとんどの人数区分の施設で半数以上が「在庫管理」「卸業者への発注業務」を実施している。
 - 400床以上の施設では、算定有りの施設では、100床あたり薬剤師数5名以上の施設の半数以上で「注射自動調剤機器への注射剤の補充」を実施している。また、算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施している。

【100床あたり薬剤師数・病棟薬剤業務実施加算有無における薬剤師資格を有さない職員数】

- 病棟薬剤業務実施加算の算定有無に関わらず、多くの施設は薬剤師資格を有さない職員を100床あたり1名未満配置している。

薬剤師数と薬剤師資格を有さない職員数

			100床あたり薬剤師資格を有さない職員数					
			1名未満	1～2名未満	2～3名未満	3～4名	4～5名未満	5名以上
100床あたり薬剤師数	1名未満	算定有り (n=4)	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		算定無し (n=87)	73.6%	19.5%	2.3%	0.0%	1.1%	0.0%
	1名以上3名未満	算定有り (n=62)	69.4%	22.6%	4.8%	3.2%	0.0%	0.0%
		算定無し (n=782)	74.3%	21.4%	3.2%	0.8%	0.1%	0.3%
	3名以上5名未満	算定有り (n=277)	62.5%	31.0%	4.0%	2.2%	0.4%	0.0%
		算定無し (n=460)	56.7%	31.1%	8.3%	2.8%	0.7%	0.4%
	5名以上7名未満	算定有り (n=340)	62.1%	30.9%	6.5%	0.6%	0.0%	0.0%
		算定無し (n=158)	55.7%	29.7%	10.1%	1.9%	0.6%	1.9%
	7名以上	算定有り (n=241)	48.5%	37.3%	7.5%	3.7%	1.2%	1.7%
		算定無し (n=84)	44.0%	25.0%	14.3%	9.5%	4.8%	2.4%

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（1/2）】

病床規模全体

- 算定有りの施設では、「集計表等に基づく医薬品の取り揃え」、「集計表等に基づく注射剤の準備」はほとんどの人数区分で半数以上が取り組んでいる。

※表中の%は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	業務内容						
		処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃えること	処方箋以外の集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること	調剤補助業務（一包化や散剤分包の事前準備など）	調剤補助業務（計数等）	注射自動調剤機器への注射剤の補充	注射処方箋に基づく注射剤の準備（個人セット）	集計表等に基づく注射剤の準備
算定有り	7名以上 n=241	44%	62%	36%	45%	42%	38%	66%
	5名以上7名未満 n=340	38%	57%	37%	38%	35%	35%	65%
	3名以上5名未満 n=277	46%	54%	42%	45%	14%	42%	61%
	1名以上3名未満 n=62	61%	55%	55%	53%	6%	45%	52%
	1名未満 n=3	33%	67%	33%	33%	33%	33%	33%
算定無し	7名以上 n=84	33%	48%	36%	38%	21%	31%	57%
	5名以上7名未満 n=158	41%	46%	37%	42%	19%	35%	51%
	3名以上5名未満 n=460	42%	39%	43%	44%	11%	35%	43%
	1名以上3名未満 n=782	46%	39%	45%	44%	5%	35%	31%
	1名未満 n=84	49%	38%	58%	52%	2%	29%	26%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（2/2）】

病床規模全体

- 算定有りの施設では100床あたり1名以上の施設で「薬剤部門内の事務作業」を80%以上の施設が取り組んでいる。
- 内服・外用剤、注射剤の在庫管理は人員数が算定の有無、薬剤師数の区分にかかわらず半数以上が取り組んでいる。

※表中の%は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

		業務内容					
		医薬品の病棟・外来等への搬送	医薬品の病棟・外来等の医薬品の定数管理・補充	内服・外用剤、注射剤の在庫管理（薬剤部内所定場所への補充）	内服・外用剤、注射剤の卸業者への発注業務	薬剤部門内の事務作業	麻薬帳簿記載など薬剤師業務の補助作業（調剤を除く）
病棟薬剤業務 実施加算の算 定有無	100床あたり薬剤師数						
算定有り	7名以上 n=241	55%	43%	71%	59%	85%	26%
	5名以上7名未満 n=340	51%	36%	65%	58%	83%	22%
	3名以上5名未満 n=277	49%	36%	70%	60%	83%	19%
	1名以上3名未満 n=62	47%	35%	65%	66%	82%	19%
	1名未満 n=3	33%	0%	67%	67%	67%	33%
算定無し	7名以上 n=84	45%	49%	64%	52%	79%	20%
	5名以上7名未満 n=158	42%	27%	55%	44%	72%	15%
	3名以上5名未満 n=460	43%	33%	56%	55%	73%	10%
	1名以上3名未満 n=782	36%	26%	51%	50%	67%	8%
	1名未満 n=84	27%	25%	54%	49%	68%	4%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（1/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・100床あたり薬剤師数が3名以上5名未満の施設では、約半数が「処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃えること」、「集計表等に基づく注射剤の準備」を実施している。

※表中の％は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	業務内容						
		処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃えること	処方箋以外の集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること	調剤補助業務（一包化や散剤分包の事前準備など）	調剤補助業務（計数等）	注射自動調剤機器への注射剤の補充	注射処方箋に基づく注射剤の準備（個人セット）	集計表等に基づく注射剤の準備
算定有り	7名以上 n=24	46%	42%	29%	38%	4%	17%	17%
	5名以上7名未満 n=36	31%	47%	22%	22%	6%	33%	36%
	3名以上5名未満 n=30	53%	40%	43%	47%	7%	40%	57%
	1名以上3名未満 n=8	50%	38%	50%	50%	13%	50%	38%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=35	34%	37%	37%	40%	6%	26%	46%
	5名以上7名未満 n=54	30%	22%	22%	26%	0%	19%	20%
	3名以上5名未満 n=154	32%	24%	32%	31%	0%	28%	22%
	1名以上3名未満 n=201	31%	20%	29%	30%	1%	21%	15%
	1名未満 n=4	50%	25%	50%	50%	0%	0%	25%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（2/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・無しに関わらず概ね半数以上の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施している。

※表中の％は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務 実施加算の算 定有無	100床あたり薬剤師数	業務内容					
		医薬品の病棟・ 外来等への搬送	医薬品の病棟・ 外来等の医薬 品の定数管理・ 補充	内服・外用剤、 注射剤の在庫 管理（薬剤部 内所定場所への 補充）	内服・外用剤、 注射剤の卸業 者への発注業務	薬剤部門内の 事務作業	麻薬帳簿記載 など薬剤師業務 の補助作業 （調剤を除く）
算定有り	7名以上 n=24	■ 50%	■ 46%	■ 50%	■ 42%	■ 67%	■ 8%
	5名以上7名未満 n=36	■ 31%	■ 31%	■ 42%	■ 39%	■ 58%	■ 11%
	3名以上5名未満 n=30	■ 60%	■ 50%	■ 57%	■ 50%	■ 73%	■ 23%
	1名以上3名未満 n=8	■ 50%	■ 38%	■ 50%	■ 50%	■ 38%	■ 38%
	1名未満 n=0	■ 0%	■ 0%	■ 0%	■ 0%	■ 0%	■ 0%
算定無し	7名以上 n=35	■ 31%	■ 29%	■ 49%	■ 43%	■ 63%	■ 14%
	5名以上7名未満 n=54	■ 30%	■ 13%	■ 30%	■ 24%	■ 48%	■ 6%
	3名以上5名未満 n=154	■ 38%	■ 24%	■ 34%	■ 40%	■ 54%	■ 6%
	1名以上3名未満 n=201	■ 35%	■ 22%	■ 30%	■ 32%	■ 45%	■ 6%
	1名未満 n=4	■ 50%	■ 50%	■ 50%	■ 75%	■ 75%	■ 0%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（1/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有りの施設では、「集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること」は100床あたり薬剤師数1名以上3名未満、7名以上の施設で半数以上が取り組んでいる。

※表中の%は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	業務内容						
		処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃えること	処方箋以外の集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること	調剤補助業務（一包化や散剤分包の事前準備など）	調剤補助業務（計数等）	注射自動調剤機器への注射剤の補充	注射処方箋に基づく注射剤の準備（個人セット）	集計表等に基づく注射剤の準備
算定有り	7名以上 n=28	32%	■ 54%	29%	39%	4%	43%	■ 64%
	5名以上7名未満 n=61	39%	39%	44%	39%	3%	33%	49%
	3名以上5名未満 n=98	44%	43%	43%	38%	4%	35%	49%
	1名以上3名未満 n=21	■ 57%	■ 67%	48%	43%	5%	43%	48%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=11	27%	■ 64%	45%	36%	0%	27%	■ 73%
	5名以上7名未満 n=36	■ 58%	53%	■ 53%	■ 56%	6%	■ 50%	61%
	3名以上5名未満 n=175	50%	40%	47%	46%	3%	34%	39%
	1名以上3名未満 n=309	50%	40%	47%	44%	4%	37%	33%
	1名未満 n=28	■ 50%	32%	■ 54%	46%	0%	25%	21%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（2/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施している。

※表中の％は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

		業務内容					
		医薬品の病棟・外来等への搬送	医薬品の病棟・外来等の医薬品の定数管理・補充	内服・外用剤、注射剤の在庫管理（薬剤部内所定場所への補充）	内服・外用剤、注射剤の卸業者への発注業務	薬剤部門内の事務作業	麻薬帳簿記載など薬剤師業務の補助作業（調剤を除く）
病棟薬剤業務 実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数						
	7名以上 n=28	50%	54%	71%	54%	93%	7%
	5名以上7名未満 n=61	49%	26%	61%	51%	75%	15%
	3名以上5名未満 n=98	58%	43%	66%	63%	80%	10%
	1名以上3名未満 n=21	52%	43%	71%	67%	81%	5%
1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
算定無し	7名以上 n=11	55%	73%	91%	64%	91%	9%
	5名以上7名未満 n=36	50%	39%	72%	58%	78%	17%
	3名以上5名未満 n=175	46%	37%	59%	57%	78%	6%
	1名以上3名未満 n=309	41%	28%	53%	50%	71%	6%
	1名未満 n=28	29%	21%	43%	32%	68%	4%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（1/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有りの施設では、「集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること」、「集計表等に基づく注射剤の準備」はほとんどの人数区分で取り組んでいる。

※表中の%は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	業務内容						
		処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃えること	処方箋以外の集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること	調剤補助業務（一包化や散剤分包の事前準備など）	調剤補助業務（計数等）	注射自動調剤機器への注射剤の補充	注射処方箋に基づく注射剤の準備（個人セット）	集計表等に基づく注射剤の準備
算定有り	7名以上 n=20	65%	80%	55%	60%	15%	65%	75%
	5名以上7名未満 n=43	49%	63%	44%	37%	19%	47%	70%
	3名以上5名未満 n=40	48%	58%	40%	48%	3%	45%	65%
	1名以上3名未満 n=11	82%	64%	82%	73%	9%	55%	73%
	1名未満 n=1	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=12	25%	58%	33%	17%	33%	25%	42%
	5名以上7名未満 n=26	38%	62%	35%	50%	35%	35%	69%
	3名以上5名未満 n=42	40%	57%	50%	52%	19%	52%	60%
	1名以上3名未満 n=140	56%	49%	49%	56%	6%	41%	38%
	1名未満 n=20	50%	40%	60%	65%	5%	35%	25%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（2/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・無しに関わらず概ね80%以上の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施している。
- 算定有りの施設では概ね80%以上の施設で「在庫管理」を実施している。

※表中の%は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

		業務内容					
		医薬品の病棟・外来等への搬送	医薬品の病棟・外来等の医薬品の定数管理・補充	内服・外用剤、注射剤の在庫管理（薬剤部内所定場所への補充）	内服・外用剤、注射剤の卸業者への発注業務	薬剤部門内の事務作業	麻薬帳簿記載など薬剤師業務の補助作業（調剤を除く）
病棟薬剤業務 実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数						
算定有り	7名以上 n=20	70%	65%	95%	70%	90%	30%
	5名以上7名未満 n=43	47%	42%	77%	65%	86%	19%
	3名以上5名未満 n=40	40%	30%	80%	65%	88%	23%
	1名以上3名未満 n=11	55%	55%	73%	73%	91%	27%
	1名未満 n=1	0%	0%	100%	100%	100%	0%
算定無し	7名以上 n=12	33%	58%	50%	50%	83%	17%
	5名以上7名未満 n=26	65%	27%	88%	73%	100%	23%
	3名以上5名未満 n=42	40%	26%	76%	60%	88%	24%
	1名以上3名未満 n=140	32%	29%	63%	59%	76%	14%
	1名未満 n=20	20%	40%	60%	60%	65%	5%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（1/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有りの施設では、「集計表等に基づく注射剤の準備」はほとんどの人数区分で半数以上が取り組んでいる。

※表中の%は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	業務内容						
		処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃えること	処方箋以外の集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること	調剤補助業務（一包化や散剤分包の事前準備など）	調剤補助業務（計数等）	注射自動調剤機器への注射剤の補充	注射処方箋に基づく注射剤の準備（個人セット）	集計表等に基づく注射剤の準備
算定有り	7名以上 n=30	47%	57%	37%	50%	40%	40%	70%
	5名以上7名未満 n=71	35%	62%	34%	41%	41%	35%	70%
	3名以上5名未満 n=56	38%	59%	36%	39%	20%	45%	66%
	1名以上3名未満 n=16	63%	44%	50%	56%	0%	44%	50%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=9	44%	44%	44%	56%	33%	67%	78%
	5名以上7名未満 n=17	29%	47%	41%	35%	35%	47%	59%
	3名以上5名未満 n=45	47%	51%	42%	58%	33%	42%	80%
	1名以上3名未満 n=80	49%	54%	56%	46%	8%	45%	43%
	1名未満 n=16	69%	63%	69%	63%	6%	50%	50%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（2/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・無しに関わらず概ね80%以上の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施している。
- 算定有り・無しに関わらずほとんどの人数区分の施設で半数以上が「在庫管理」「卸業者への発注業務」を実施している。

※表中の%は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務 実施加算の算 定有無	100床あたり薬剤師数	業務内容					
		医薬品の病棟・ 外来等への搬送	医薬品の病棟・ 外来等の医薬 品の定数管理・ 補充	内服・外用剤、 注射剤の在庫 管理（薬剤部 内所定場所への 補充）	内服・外用剤、 注射剤の卸業 者への発注業務	薬剤部門内の 事務作業	麻薬帳簿記載 など薬剤師業務 の補助作業 （調剤を除く）
算定有り	7名以上 n=30	53%	47%	73%	67%	90%	13%
	5名以上7名未満 n=71	56%	38%	69%	68%	90%	21%
	3名以上5名未満 n=56	39%	32%	68%	59%	86%	21%
	1名以上3名未満 n=16	38%	13%	63%	75%	100%	25%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=9	67%	67%	78%	56%	100%	33%
	5名以上7名未満 n=17	41%	29%	47%	47%	76%	18%
	3名以上5名未満 n=45	38%	38%	78%	78%	89%	11%
	1名以上3名未満 n=80	33%	20%	60%	63%	78%	6%
	1名未満 n=16	31%	19%	75%	56%	75%	6%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（1/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有りの施設では、100床あたり薬剤師数5名以上の施設の半数以上で「注射自動調剤機器への注射剤の補充」を実施している。

※表中の％は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	業務内容						
		処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃えること	処方箋以外の集計表等に基づいて医薬品を取り揃えること	調剤補助業務（一包化や散剤分包の事前準備など）	調剤補助業務（計数等）	注射自動調剤機器への注射剤の補充	注射処方箋に基づく注射剤の準備（個人セット）	集計表等に基づく注射剤の準備
算定有り	7名以上 n=139	42%	66%	36%	45%	60%	36%	73%
	5名以上7名未満 n=129	36%	64%	37%	40%	61%	33%	76%
	3名以上5名未満 n=53	53%	74%	49%	62%	38%	51%	79%
	1名以上3名未満 n=6	50%	50%	50%	50%	17%	33%	50%
	1名未満 n=2	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%
算定無し	7名以上 n=17	35%	53%	24%	41%	53%	29%	71%
	5名以上7名未満 n=25	52%	68%	44%	56%	52%	44%	76%
	3名以上5名未満 n=44	43%	57%	55%	55%	45%	45%	75%
	1名以上3名未満 n=52	42%	54%	62%	62%	15%	37%	46%
	1名未満 n=16	25%	25%	56%	38%	0%	13%	13%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師免許を有さない職員が従事する業務（2/2）】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「薬剤部門内の事務作業」を実施している。

		業務内容					
		医薬品の病棟・外来等への搬送	医薬品の病棟・外来等の医薬品の定数管理・補充	内服・外用剤、注射剤の在庫管理（薬剤部内所定場所への補充）	内服・外用剤、注射剤の卸業者への発注業務	薬剤部門内の事務作業	麻薬帳簿記載など薬剤師業務の補助作業（調剤を除く）
病棟薬剤業務 実施加算の算 定有無	100床あたり薬剤師数						
算定有り	7名以上 n=139	55%	36%	70%	59%	86%	35%
	5名以上7名未満 n=129	57%	40%	67%	60%	88%	31%
	3名以上5名未満 n=53	42%	26%	77%	58%	87%	26%
	1名以上3名未満 n=6	33%	33%	50%	50%	83%	17%
	1名未満 n=2	50%	0%	50%	50%	50%	50%
算定無し	7名以上 n=17	65%	59%	82%	65%	88%	35%
	5名以上7名未満 n=25	32%	36%	56%	36%	84%	24%
	3名以上5名未満 n=44	55%	48%	80%	75%	89%	25%
	1名以上3名未満 n=52	29%	27%	71%	67%	87%	12%
	1名未満 n=16	25%	13%	44%	50%	63%	0%

※表中の％は実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアに係る取組や薬剤師業務の効率化に係る取組状況

タスク・シフト/シェア等の取組状況サマリ

薬剤師から他職種への
タスク・シフト/シェアに係る
取組や薬剤師業務の
効率化に係る取組状況

- 算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。また、算定有り・100床あたり3名以上の施設と算定無し・100床あたり7名以上の施設の半数以上で「運搬」のタスク・シフト/シェアに取り組んでいる。
 - 100未満の施設で、100床あたり薬剤師数3名以上7名未満の施設では、算定有り・無しに関わらず半数以上の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。
 - 100床～200床未満の施設では、算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。また、算定有りの施設では、概ね半数以上の施設で「運搬のタスク・シフト/シェア」に取り組んでいる。
 - 200床～300床未満の施設では、算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。また、算定有り・無しに関わらず100床あたり3名以上では半数以上の施設で「運搬のタスク・シフト/シェア」に取り組んでいる。
 - 300床～400床未満の施設では、算定有り・無しに関わらず概ね半数以上の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。また、算定有り・無しに関わらず100床あたり3名以上では概ね半数以上の施設で「運搬のタスク・シフト/シェア」に取り組んでいる。
 - 400床以上の施設では、算定有りの施設では、概ね半数以上の施設が「調剤機器の導入」・「運搬の他職種へのタスク・シフト/シェア」に取り組んでいる。

【薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアに係る取組や薬剤師業務の効率化に係る取組状況】

病床規模全体

- 算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。
- 算定有り・100床あたり3名以上の施設と算定無し・100床あたり7名以上の施設の半数以上で「運搬」のタスク・シフト/シェアに取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	無菌製剤処理業務を効率化するための調剤機器の導入	記録・入力業務の他職種へのタスク・シフト/シェア	運搬の他職種へのタスク・シフト/シェア
算定有り	7名以上 n=241	77%	58%	19%	45%	71%
	5名以上7名未満 n=340	71%	46%	16%	34%	64%
	3名以上5名未満 n=277	66%	19%	12%	37%	52%
	1名以上3名未満 n=62	77%	6%	11%	32%	40%
	1名未満 n=3	67%	33%	33%	33%	33%
算定無し	7名以上 n=84	63%	25%	14%	23%	52%
	5名以上7名未満 n=158	58%	21%	9%	30%	46%
	3名以上5名未満 n=460	67%	14%	9%	28%	44%
	1名以上3名未満 n=782	68%	3%	3%	22%	35%
	1名未満 n=84	65%	4%	0%	24%	27%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアに係る取組や薬剤師業務の効率化に係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 100床あたり薬剤師数3名以上7名未満の施設では、算定有り・無しに関わらず半数以上の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	無菌製剤処理業務を効率化するための調剤機器の導入	記録・入力業務の他職種へのタスク・シフト/シェア	運搬の他職種へのタスク・シフト/シェア
算定有り	7名以上 n=24	46%	0%	13%	38%	46%
	5名以上7名未満 n=36	50%	3%	0%	22%	42%
	3名以上5名未満 n=30	57%	3%	7%	43%	37%
	1名以上3名未満 n=8	88%	0%	0%	25%	13%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=35	57%	0%	6%	26%	37%
	5名以上7名未満 n=54	54%	2%	4%	15%	31%
	3名以上5名未満 n=154	55%	3%	3%	23%	37%
	1名以上3名未満 n=201	48%	0%	1%	23%	34%
	1名未満 n=4	25%	0%	0%	0%	0%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアに係る取組や薬剤師業務の効率化に係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。
- 算定有りの施設では、概ね半数以上の施設で「運搬のタスク・シフト/シェア」に取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実 施加算の算定有 無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	無菌製剤処理業務を効率化するための調剤機器の導入	記録・入力業務の他職種へのタスク・シフト/シェア	運搬の他職種へのタスク・シフト/シェア
算定有り	7名以上 n=28	64%	11%	7%	36%	46%
	5名以上7名未満 n=61	64%	8%	13%	15%	56%
	3名以上5名未満 n=98	64%	8%	10%	34%	52%
	1名以上3名未満 n=21	71%	10%	19%	43%	57%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=11	64%	0%	9%	27%	45%
	5名以上7名未満 n=36	56%	3%	6%	33%	53%
	3名以上5名未満 n=175	73%	5%	7%	26%	41%
	1名以上3名未満 n=309	71%	2%	2%	22%	34%
	1名未満 n=28	57%	4%	0%	25%	25%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアに係る取組や薬剤師業務の効率化に係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・無しに関わらず全人数区分の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。
- 算定有り・無しに関わらず100床あたり3名以上では半数以上の施設で「運搬のタスク・シフト/シェア」に取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	無菌製剤処理業務を効率化するための調剤機器の導入	記録・入力業務の他職種へのタスク・シフト/シェア	運搬の他職種へのタスク・シフト/シェア
算定有り	7名以上 n=20	75%	15%	5%	50%	75%
	5名以上7名未満 n=43	84%	28%	21%	40%	51%
	3名以上5名未満 n=40	75%	10%	10%	40%	50%
	1名以上3名未満 n=11	91%	0%	18%	45%	55%
	1名未満 n=1	100%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=12	67%	33%	33%	17%	67%
	5名以上7名未満 n=26	73%	35%	12%	50%	58%
	3名以上5名未満 n=42	79%	21%	19%	29%	50%
	1名以上3名未満 n=140	77%	5%	4%	20%	36%
	1名未満 n=20	65%	0%	0%	20%	35%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアに係る取組や薬剤師業務の効率化に係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・無しに関わらず概ね半数以上の施設で「調剤機器の導入」に取り組んでいる。
- 算定有り・無しに関わらず100床あたり3名以上では概ね半数以上の施設で「運搬のタスク・シフト/シェア」に取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	無菌製剤処理業務を効率化するための調剤機器の導入	記録・入力業務の他職種へのタスク・シフト/シェア	運搬の他職種へのタスク・シフト/シェア
算定有り	7名以上 n=30	77%	53%	17%	20%	60%
	5名以上7名未満 n=71	72%	56%	17%	34%	62%
	3名以上5名未満 n=56	75%	30%	14%	29%	54%
	1名以上3名未満 n=16	69%	6%	6%	13%	31%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=9	78%	56%	33%	11%	67%
	5名以上7名未満 n=17	41%	35%	24%	29%	47%
	3名以上5名未満 n=45	71%	33%	20%	38%	51%
	1名以上3名未満 n=80	83%	11%	5%	23%	34%
	1名未満 n=16	81%	13%	0%	31%	38%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアに係る取組や薬剤師業務の効率化に係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有りの施設では、概ね半数以上の施設が「調剤機器の導入」・「運搬の他職種へのタスク・シフト/シェア」に取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	注射薬調剤業務を効率化するための調剤機器の導入	無菌製剤処理業務を効率化するための調剤機器の導入	記録・入力業務の他職種へのタスク・シフト/シェア	運搬の他職種へのタスク・シフト/シェア
算定有り	7名以上 n=139	85%	84%	25%	53%	81%
	5名以上7名未満 n=129	74%	76%	20%	43%	78%
	3名以上5名未満 n=53	60%	45%	15%	45%	62%
	1名以上3名未満 n=6	83%	17%	0%	33%	17%
	1名未満 n=2	50%	50%	50%	50%	50%
算定無し	7名以上 n=17	65%	71%	12%	24%	71%
	5名以上7名未満 n=25	64%	64%	12%	36%	52%
	3名以上5名未満 n=44	75%	61%	18%	48%	64%
	1名以上3名未満 n=52	87%	12%	8%	17%	33%
	1名未満 n=16	75%	0%	0%	25%	19%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

薬剤師へのタスク・シフト／シェアの取組

(更なる薬剤師の活躍)

タスク・シフト/シェア等の取組状況サマリ

薬剤師への タスク・シフト/シェアの 取組

- 算定有り・100床あたり1名以上の施設では、「薬剤選択などについて医師への処方提案」、「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」、「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」を約80%以上の施設が取り組んでいる。また、算定有りの施設では、半数以上の施設が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」、「抗がん剤等の無菌調製」、「薬剤師への相談体制」に取り組んでいる。
 - 100未満の施設では、算定有り・100床あたり3名以上の施設では、「薬剤選択などについて医師への処方提案」・「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」を80%以上が取り組んでいる。また、算定有り・100床あたり3名以上の施設では、80%以上が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」を実施している。
 - 100床～200床未満の施設では、算定有り・100床あたり1名以上の施設では80%以上が、「薬剤選択などについて医師への処方提案」・「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」に取り組んでいる。また、算定有り・100床あたり1名以上の施設では80%以上が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」を実施している。
 - 200床～300床未満の施設では、算定有り全人数区分の施設の施設、算定無し・100床あたり1～7名の施設では約80%以上が、「薬剤選択などについて医師への処方提案」「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」に取り組んでいる。また、算定有りの施設、算定無しの施設の全人数区分の施設では50%以上が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」を実施している。
 - 300床～400床未満の施設では、算定有り・100床あたり1名以上の施設では、80%以上が「薬剤選択などについて医師への処方提案」、「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」、「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」を実施している。また、算定有り・100床あたり1名以上の施設では、概ね80%以上の施設が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」、「抗がん剤等の無菌調製」、「薬剤師への相談体制」を実施している。
 - 400床以上の施設では、算定有り・100床あたり3名以上の施設では80%以上が、「薬剤選択などについて医師への処方提案」・「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」を実施している。また、算定有り・100床あたり5名以上の施設では、80%以上の施設が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」、「抗がん剤等の無菌調製」、「薬剤師への相談体制」を実施している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況（1/2）】

病床規模全体

- 算定有り・100床あたり1名以上の施設では、「薬剤選択などについて医師への処方提案」、「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」、「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」を約80%以上の施設が取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施 加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダーについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコルに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること	薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案すること	薬物療法を受けている患者（在宅の患者を含む。）に対し、薬学的管理（患者の副作用の状況の把握、服薬指導等）を行うこと	薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること	薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案すること
算定有り	7名以上 n=241	62%	93%	93%	98%	63%
	5名以上7名未満 n=340	52%	86%	88%	90%	57%
	3名以上5名未満 n=277	45%	87%	90%	88%	57%
	1名以上3名未満 n=62	35%	84%	79%	84%	48%
	1名未満 n=3	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=84	35%	73%	71%	62%	43%
	5名以上7名未満 n=158	38%	68%	66%	70%	41%
	3名以上5名未満 n=460	28%	64%	66%	61%	38%
	1名以上3名未満 n=782	21%	55%	53%	43%	27%
	1名未満 n=84	18%	42%	30%	23%	17%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況（2/2）】

病床規模全体

- 算定有りの施設では、半数以上の施設が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」、「抗がん剤等の無菌調製」、「薬剤師への相談体制」に取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管理を行うこと	入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行うこと	定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること	抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと	薬剤師への薬剤に関する相談体制の整備
算定有り	7名以上 n=241	63%	96%	14%	91%	82%
	5名以上7名未満 n=340	56%	93%	12%	85%	79%
	3名以上5名未満 n=277	47%	92%	18%	79%	74%
	1名以上3名未満 n=62	32%	89%	15%	58%	69%
	1名未満 n=3	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=84	31%	74%	14%	61%	63%
	5名以上7名未満 n=158	25%	74%	13%	55%	60%
	3名以上5名未満 n=460	22%	73%	8%	44%	52%
	1名以上3名未満 n=782	7%	69%	9%	15%	46%
	1名未満 n=84	2%	58%	11%	6%	37%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・100床あたり3名以上の施設では、「薬剤選択などについて医師への処方提案」・「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」を80%以上が取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

		タスク・シフト/シェアの内容				
		薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコールに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること	薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案すること	薬物療法を受けている患者（在宅の患者を含む。）に対し、薬学的管理（患者の副作用の状況の把握、服薬指導等）を行うこと	薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること	薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案すること
病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数					
算定有り	7名以上 n=24	71%	92%	88%	88%	63%
	5名以上7名未満 n=36	50%	81%	81%	72%	61%
	3名以上5名未満 n=30	43%	87%	90%	70%	63%
	1名以上3名未満 n=8	38%	75%	88%	63%	50%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=35	17%	51%	63%	34%	26%
	5名以上7名未満 n=54	33%	57%	44%	43%	46%
	3名以上5名未満 n=154	25%	60%	53%	38%	39%
	1名以上3名未満 n=201	20%	45%	28%	23%	27%
	1名未満 n=4	0%	0%	0%	0%	0%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・100床あたり3名以上の施設では、80%以上が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」を実施している。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管理を行うこと	入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行うこと	定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること	抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと	薬剤師への薬剤に関する相談体制の整備
算定有り	7名以上 n=24	25%	88%	21%	29%	63%
	5名以上7名未満 n=36	17%	94%	19%	33%	75%
	3名以上5名未満 n=30	13%	97%	37%	33%	70%
	1名以上3名未満 n=8	0%	75%	25%	0%	88%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=35	3%	60%	6%	23%	54%
	5名以上7名未満 n=54	6%	63%	13%	9%	50%
	3名以上5名未満 n=154	4%	73%	7%	9%	45%
	1名以上3名未満 n=201	2%	58%	14%	4%	39%
	1名未満 n=4	0%	25%	0%	0%	0%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

- 100床未満
- 100床～200床未満**
- 200床～300床未満
- 300床～400床未満
- 400床以上

● 算定有り・100床あたり1名以上の施設では80%以上が、「薬剤選択などについて医師への処方提案」・「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」に取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 ■

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダーについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコルに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること	薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案すること	薬物療法を受けている患者（在宅の患者を含む。）に対し、薬学的管理（患者の副作用の状況の把握、服薬指導等）を行うこと	薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること	薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案すること
算定有り	7名以上 n=28	54%	93%	89%	96%	68%
	5名以上7名未満 n=61	61%	92%	90%	92%	70%
	3名以上5名未満 n=98	45%	93%	93%	88%	66%
	1名以上3名未満 n=21	29%	90%	86%	90%	67%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=11	55%	100%	82%	82%	91%
	5名以上7名未満 n=36	39%	75%	78%	86%	47%
	3名以上5名未満 n=175	24%	61%	65%	62%	39%
	1名以上3名未満 n=309	22%	60%	56%	44%	32%
	1名未満 n=28	21%	39%	29%	11%	29%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・100床あたり1名以上の施設では80%以上が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」を実施している。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管理を行うこと	入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行うこと	定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること	抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと	薬剤師への薬剤に関する相談体制の整備
算定有り	7名以上 n=28	61%	96%	18%	93%	64%
	5名以上7名未満 n=61	51%	95%	13%	84%	74%
	3名以上5名未満 n=98	39%	94%	17%	72%	66%
	1名以上3名未満 n=21	48%	95%	14%	62%	67%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=11	45%	91%	9%	91%	64%
	5名以上7名未満 n=36	31%	81%	11%	64%	53%
	3名以上5名未満 n=175	19%	75%	11%	41%	49%
	1名以上3名未満 n=309	6%	76%	11%	13%	47%
	1名未満 n=28	0%	57%	14%	4%	25%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り全人数区分の施設、算定無し・100床あたり1～7名の施設では約80%以上が、「薬剤選択などについて医師への処方提案」「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」に取り組んでいる。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコルに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること	薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案すること	薬物療法を受けている患者（在宅の患者を含む。）に対し、薬学的管理（患者の副作用の状況の把握、服薬指導等）を行うこと	薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること	薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案すること
算定有り	7名以上 n=20	75%	95%	100%	100%	85%
	5名以上7名未満 n=43	56%	84%	86%	88%	65%
	3名以上5名未満 n=40	40%	80%	93%	95%	48%
	1名以上3名未満 n=11	36%	100%	73%	100%	55%
	1名未満 n=1	0%	100%	0%	100%	100%
算定無し	7名以上 n=12	25%	67%	50%	58%	8%
	5名以上7名未満 n=26	50%	81%	85%	100%	50%
	3名以上5名未満 n=42	31%	79%	86%	86%	38%
	1名以上3名未満 n=140	19%	56%	62%	49%	28%
	1名未満 n=20	20%	40%	25%	25%	15%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有りの施設、算定無し施設の全人数区分の施設では50%以上が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」を実施している。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管理を行うこと	入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行うこと	定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること	抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと	薬剤師への薬剤に関する相談体制の整備
算定有り	7名以上 n=20	85%	95%	30%	100%	85%
	5名以上7名未満 n=43	60%	93%	19%	91%	77%
	3名以上5名未満 n=40	60%	95%	18%	93%	80%
	1名以上3名未満 n=11	36%	100%	27%	64%	82%
	1名未満 n=1	0%	100%	0%	100%	100%
算定無し	7名以上 n=12	25%	67%	0%	83%	58%
	5名以上7名未満 n=26	42%	92%	23%	96%	73%
	3名以上5名未満 n=42	33%	79%	10%	86%	62%
	1名以上3名未満 n=140	11%	69%	5%	17%	48%
	1名未満 n=20	0%	55%	0%	0%	30%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・100床あたり1名以上の施設では、80%以上が「薬剤選択などについて医師への処方提案」、「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」、「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」を実施している。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコルに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること	薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案すること	薬物療法を受けている患者（在宅の患者を含む。）に対し、薬学的管理（患者の副作用の状況の把握、服薬指導等）を行うこと	薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること	薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案すること
算定有り	7名以上 n=30	67%	93%	90%	100%	70%
	5名以上7名未満 n=71	52%	89%	90%	97%	56%
	3名以上5名未満 n=56	43%	86%	84%	89%	57%
	1名以上3名未満 n=16	38%	75%	75%	81%	25%
	1名未満 n=0	0%	0%	0%	0%	0%
算定無し	7名以上 n=9	67%	89%	78%	89%	67%
	5名以上7名未満 n=17	35%	59%	71%	59%	35%
	3名以上5名未満 n=45	33%	69%	78%	89%	40%
	1名以上3名未満 n=80	25%	63%	78%	71%	19%
	1名未満 n=16	31%	63%	44%	56%	13%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・100床あたり1名以上の施設では、概ね80%以上の施設が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」、「抗がん剤等の無菌調製」、「薬剤師への相談体制」を実施している。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上 □

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管理を行うこと	入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行うこと	定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること	抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと	薬剤師への薬剤に関する相談体制の整備
算定有り	7名以上 n=30	73% ■	100% ■	13% □	100% ■	90% ■
	5名以上7名未満 n=71	69% ■	92% ■	6% □	96% ■	77% ■
	3名以上5名未満 n=56	46% □	88% ■	14% □	89% ■	86% ■
	1名以上3名未満 n=16	38% □	88% ■	6% □	81% ■	63% □
	1名未満 n=0	0% □	0% □	0% □	0% □	0% □
算定無し	7名以上 n=9	67% ■	89% ■	33% □	78% ■	78% ■
	5名以上7名未満 n=17	35% □	71% ■	6% □	71% ■	65% □
	3名以上5名未満 n=45	56% □	69% ■	2% □	93% ■	62% □
	1名以上3名未満 n=80	14% □	70% ■	8% □	36% □	55% □
	1名未満 n=16	13% □	75% ■	19% □	13% □	63% □

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・100床あたり3名以上の施設では80%以上が、「薬剤選択などについて医師への処方提案」・「薬物療法を受けている患者への薬学的管理」「モニタリング等に基づき医師への薬剤への変更提案」を実施している。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコルに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること	薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案すること	薬物療法を受けている患者（在宅の患者を含む。）に対し、薬学的管理（患者の副作用の状況の把握、服薬指導等）を行うこと	薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること	薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案すること
算定有り	7名以上 n=139	59%	92%	94%	99%	58%
	5名以上7名未満 n=129	48%	84%	88%	91%	47%
	3名以上5名未満 n=53	53%	83%	87%	94%	42%
	1名以上3名未満 n=6	50%	67%	67%	67%	33%
	1名未満 n=2	50%	50%	50%	50%	0%
算定無し	7名以上 n=17	47%	94%	94%	94%	59%
	5名以上7名未満 n=25	36%	72%	72%	84%	16%
	3名以上5名未満 n=44	43%	68%	86%	89%	30%
	1名以上3名未満 n=52	17%	58%	73%	60%	13%
	1名未満 n=16	0%	38%	31%	13%	6%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

【薬剤師へのタスク・シフト/シェアに係る取組状況】

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床以上

- 算定有り・100床あたり5名以上の施設では、80%以上の施設が「入院患者について医師へ服薬計画を提案するなどの薬学的管理」、「抗がん剤等の無菌調製」、「薬剤師への相談体制」を実施している。

※表中の%はタスク・シフト/シェアの内容を実施している割合を記載
 ※実施率が80%以上 ■ 50%以上

病棟薬剤業務実施加算の算定有無	100床あたり薬剤師数	タスク・シフト/シェアの内容				
		外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管理を行うこと	入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行うこと	定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること	抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと	薬剤師への薬剤に関する相談体制の整備
算定有り	7名以上 n=139	65%	97%	9%	99%	86%
	5名以上7名未満 n=129	60%	91%	10%	93%	84%
	3名以上5名未満 n=53	70%	91%	11%	96%	74%
	1名以上3名未満 n=6	0%	67%	0%	50%	50%
	1名未満 n=2	0%	50%	0%	50%	50%
算定無し	7名以上 n=17	65%	88%	35%	94%	76%
	5名以上7名未満 n=25	36%	72%	12%	88%	76%
	3名以上5名未満 n=44	50%	64%	7%	86%	70%
	1名以上3名未満 n=52	8%	69%	0%	27%	40%
	1名未満 n=16	0%	56%	13%	13%	50%

※施設票にて取組状況が不明な施設は除外している。

①調査概要

調査対象	<p>【中小病院】</p> <p>① 自計式調査の施設票設問において、薬剤師に関する加算等（病棟薬剤業務実施加算、薬剤管理指導料医療安全対策加算、感染対策向上加算、等）を算定している中小病院</p> <p>【大病院_大学病院】</p> <p>② 教育・研究機関として中小病院とは異なる機能を担う大学病院</p>
調査方法	<ul style="list-style-type: none">● 調査員が調査対象病院における薬剤師の業務を観察し、業務内容を記録する。● 自計式調査の業務項目に基づいて、1分単位で詳細に記録する。
調査対象期間	調査対象期間：2023年1月23日（月）～2023年月3月22日（水）
調査数	<p>【調査協力医療機関】</p> <p>中小病院 8医療機関 大学病院 6医療機関</p> <p>【調査人数】</p> <p>中小病院 23人 大学病院 19人</p>

※調査協力医療機関及び調査員において新型コロナウイルスへの感染対策を十分に講じた上で調査を実施

①調査概要

- 他計式調査にあたって、下記の中小病院8医療機関、大学病院6医療機関にご協力頂いた。

他計式調査の協力医療機関

① 中小病院

- 医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院 (172床)
- 社会医療法人ペガサス 馬場記念病院 (300床)
- 医療法人育和会 育和会記念病院 (265床)
- 社会医療法人財団互惠会 大船記念病院 (285床)
- 公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院 (189床)
- 医療法人鉄友会 宇野病院 (180床)
- 独立行政法人 地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター (226床)
- 社会医療法人恵和会 西岡病院 (98床)

② 大学病院

- 国立大学法人 千葉大学医学部附属病院 (850床)
- 国立大学法人 神戸大学医学部附属病院 (934床)
- 国立大学法人 岐阜大学医学部附属病院 (606床)
- 国立大学法人 金沢大学附属病院 (830床)
- 国立大学法人 京都大学医学部附属病院 (1,141床)
- 国立大学法人 大阪大学医学部附属病院 (1,086床)

他形式調査の分析視点

他計式調査の分析視点

分析視点

① 【担当業務による分類】

- 他計式調査では、調査に協力頂く医療機関側で調査対象者を数名選定いただき調査を実施する。病棟従事者を基本としつつも、幅広く院内でご活躍される方を対象にしているため、配属部門や役割も異なっている。そのため、各部門や役割に応じた実態把握を目的とし、調査対象者の役割・配属部門に基づいて分析を行う。

< 調査対象者の業務担当 >

- ✓ 病棟
- ✓ 病棟支援（受け持つ病棟はなく、各病棟専任者の支援やサポート）
- ✓ 調剤室・注射
- ✓ 外来化学療法

② 【所要時間による分析】

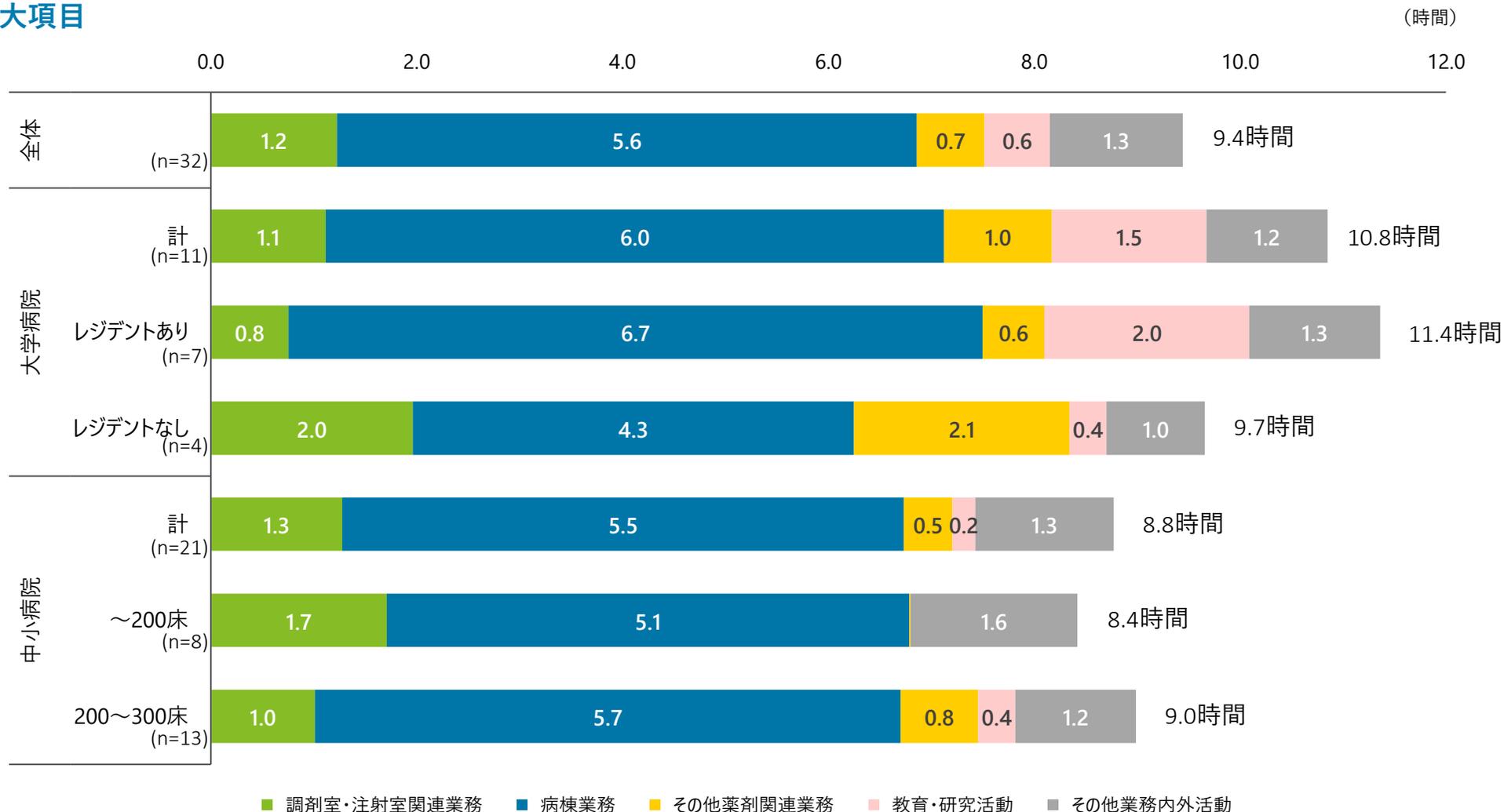
- 他計式調査では各調査対象者の1日の勤務時間のバラツキが大きいため、全体に占める割合（業務ウェイト）ではなく、各業務に費やした時間そのものを比較する。

業務担当別の業務別従事時間

- 中小病院では概ね一日の70%程度を病棟業務に従事している。
- 大学病院では「医療チーム」業務や「教育・研究活動」も担っている。

病棟担当

大項目

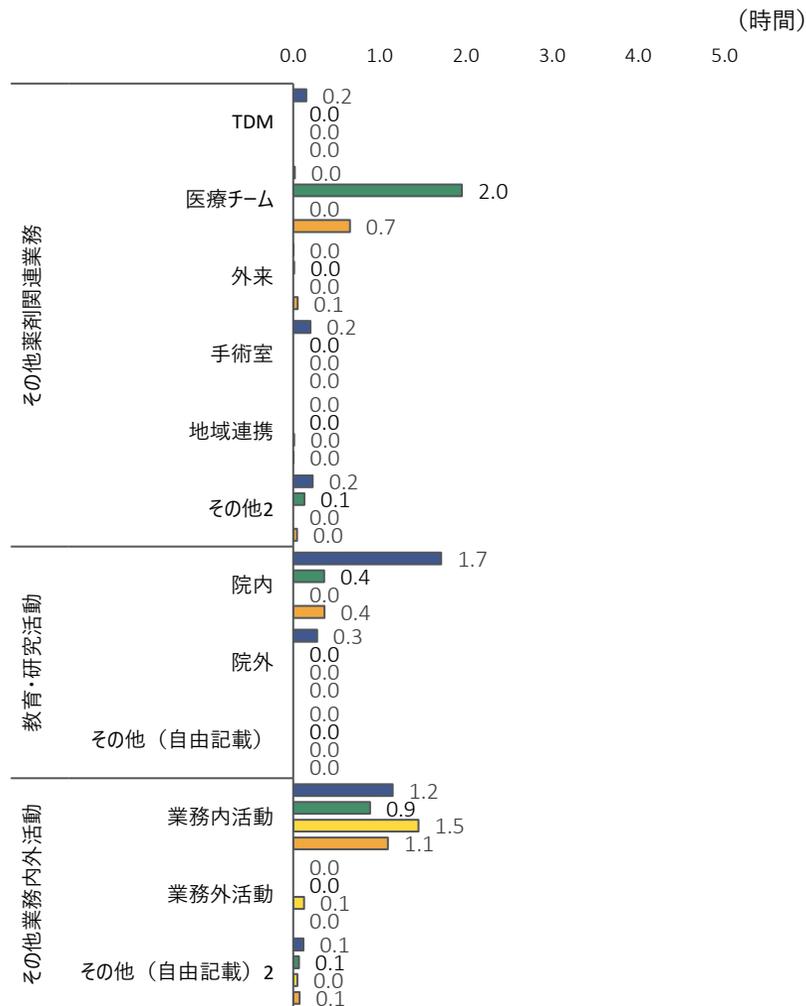
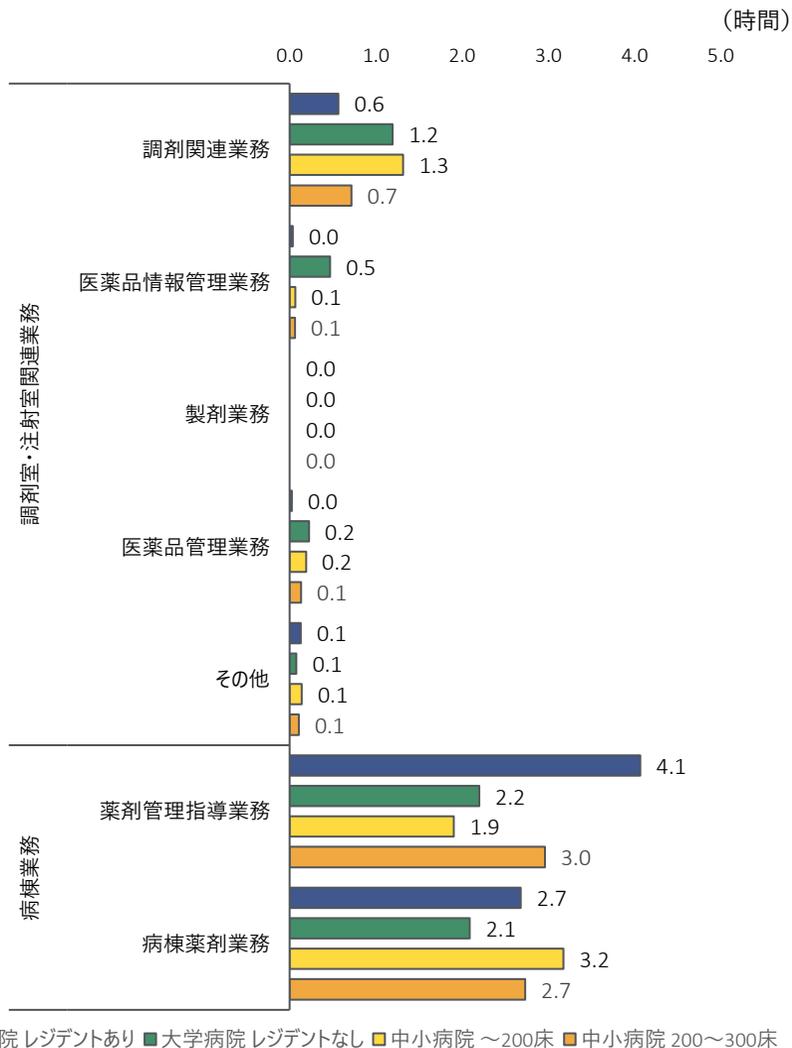


業務担当別の業務別従事時間

- 中小病院では概ね一日の70%程度を病棟業務に従事している。
- 大学病院では「医療チーム」業務や「教育・研究活動」も担っている。

病棟担当

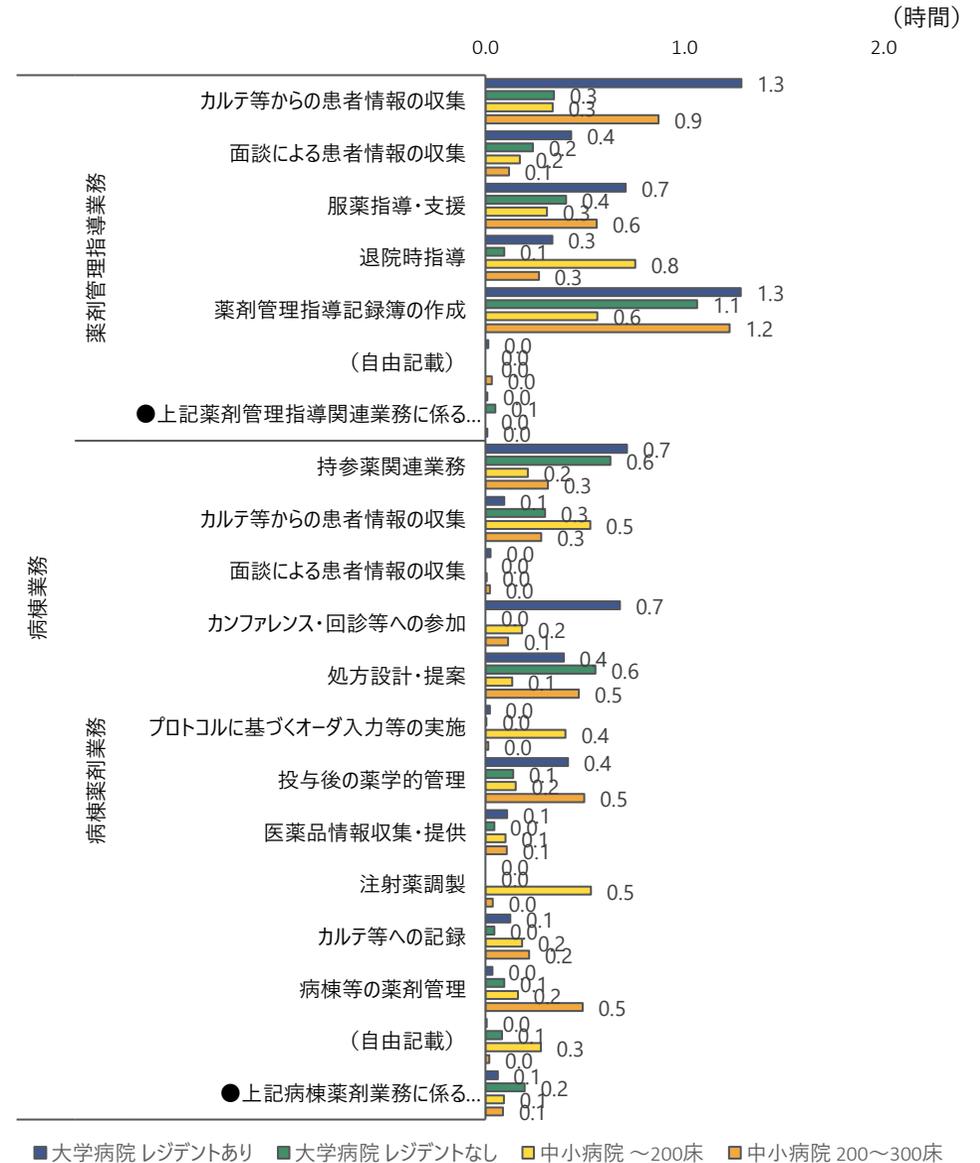
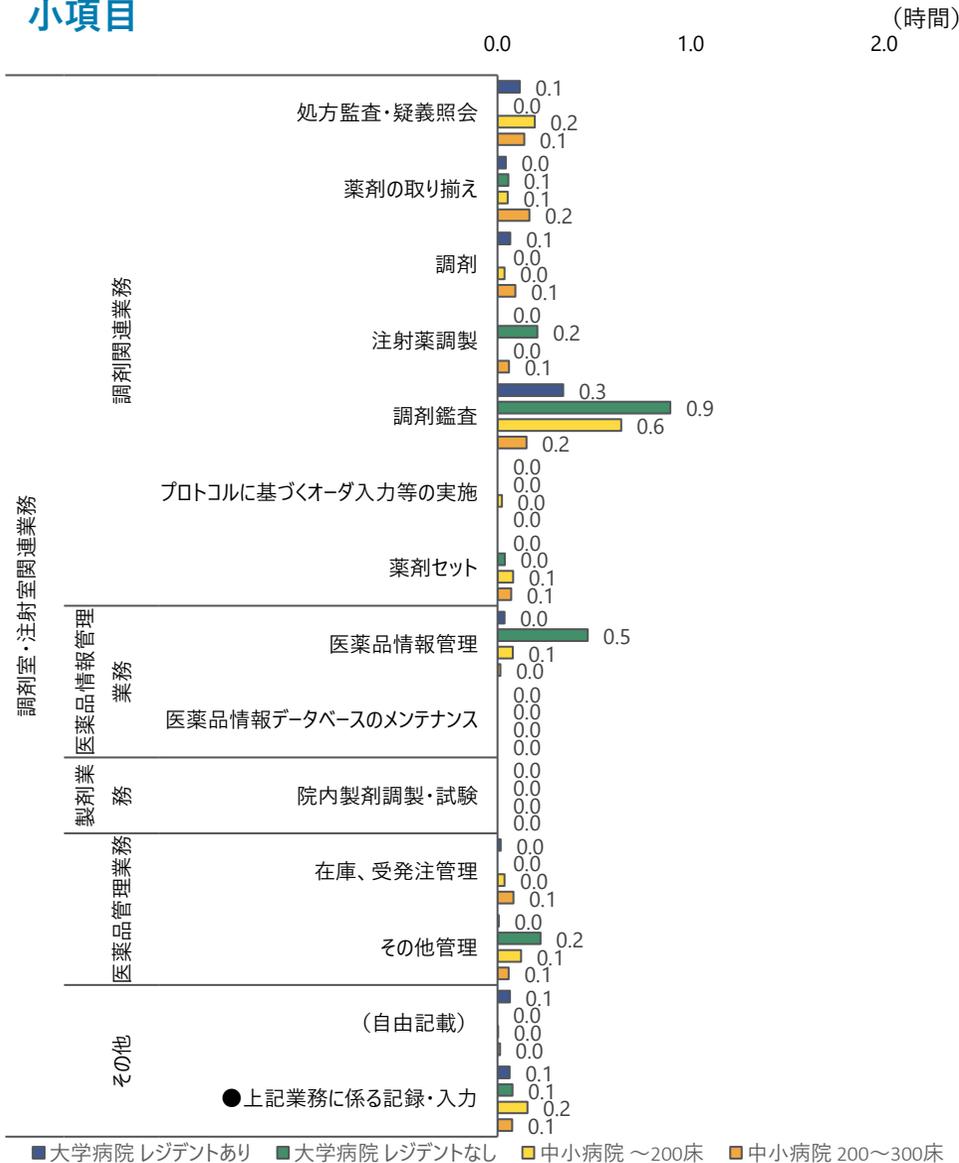
中項目



業務担当別の業務別従事時間

病棟担当

小項目



業務担当別の業務別従事時間

病棟担当

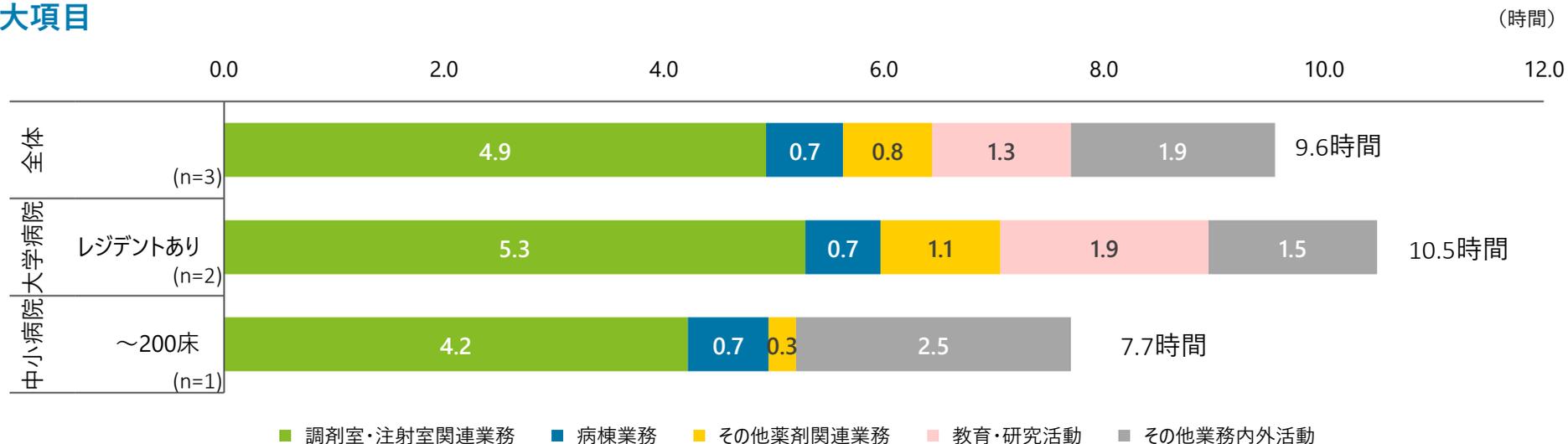


業務担当別の業務別従事時間

- “調剤関連業務”に半数以上程度を従事している。
- 大学病院では教育・研究活動も行うため、勤務時間が10時間を超えている。

調剤室・注射担当

大項目

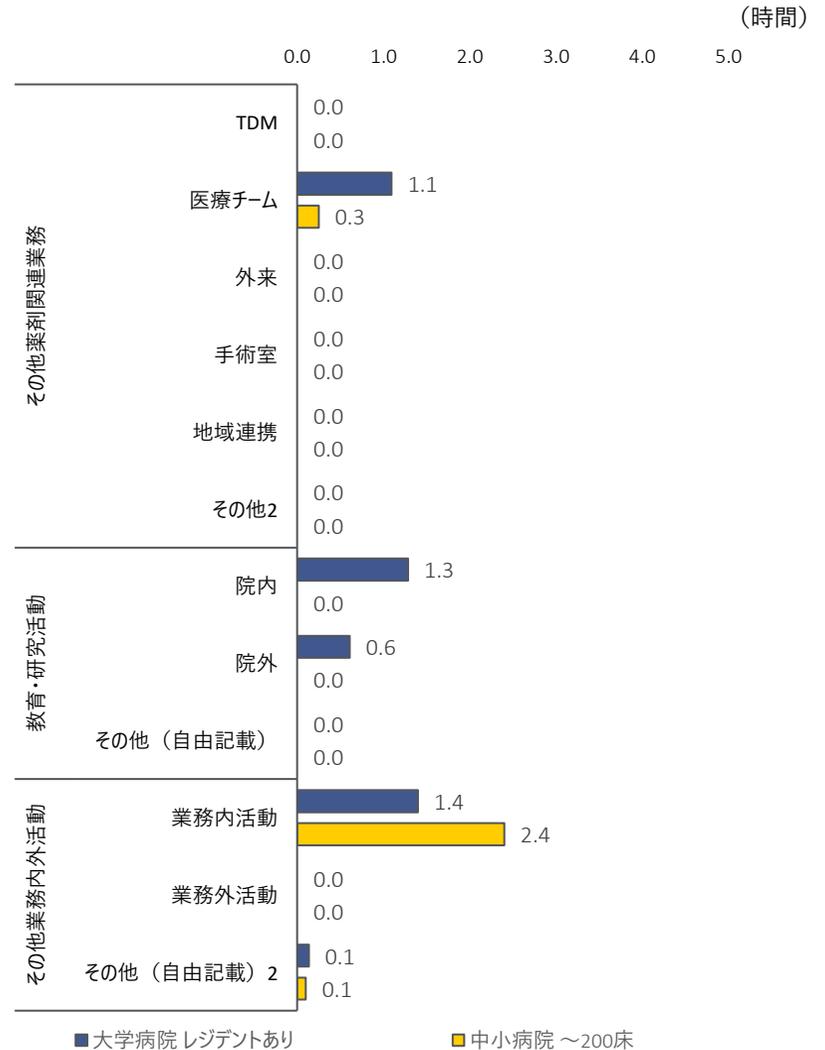
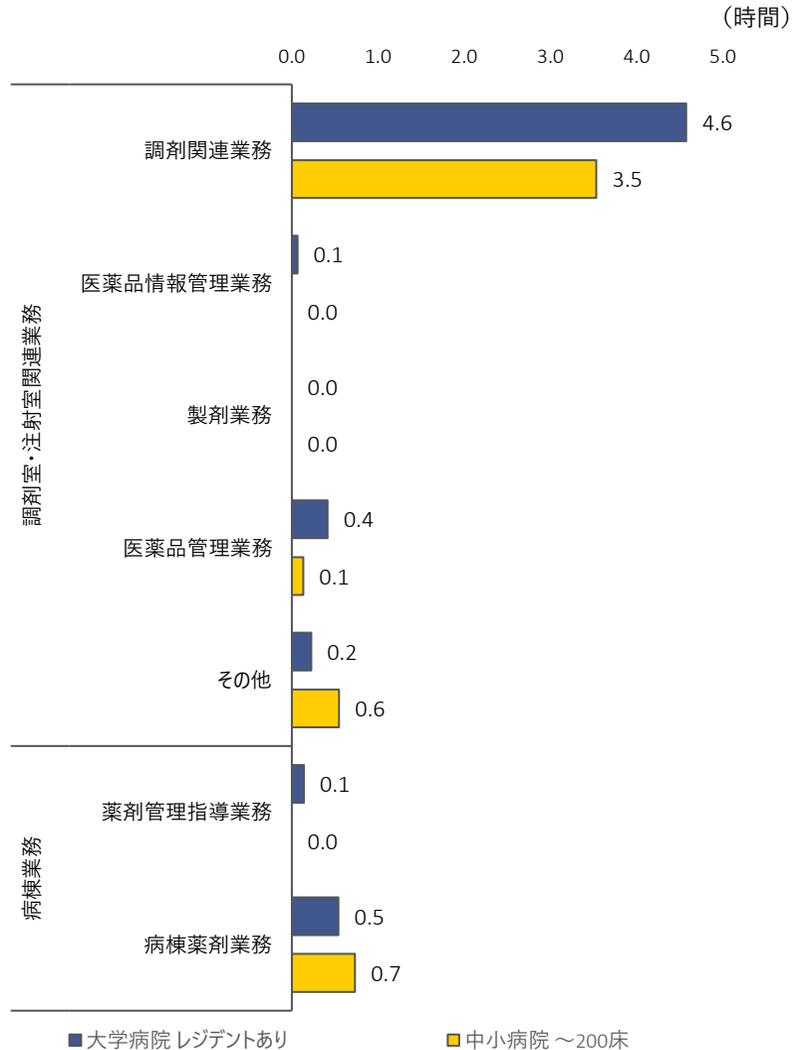


業務担当別の業務別従事時間

- “調剤関連業務”に50%程度を従事している。

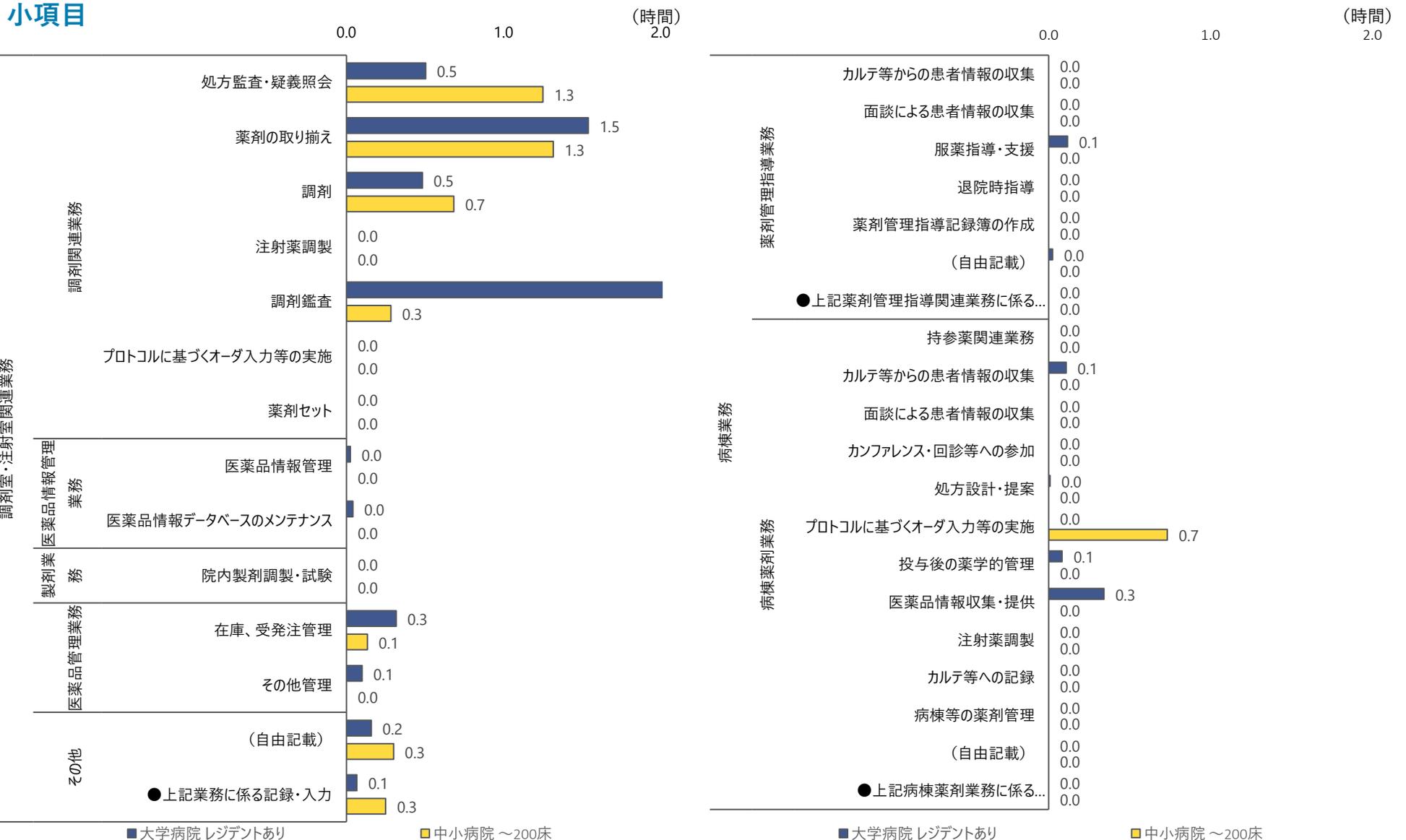
調剤室・注射担当

中項目



業務担当別の業務別従事時間

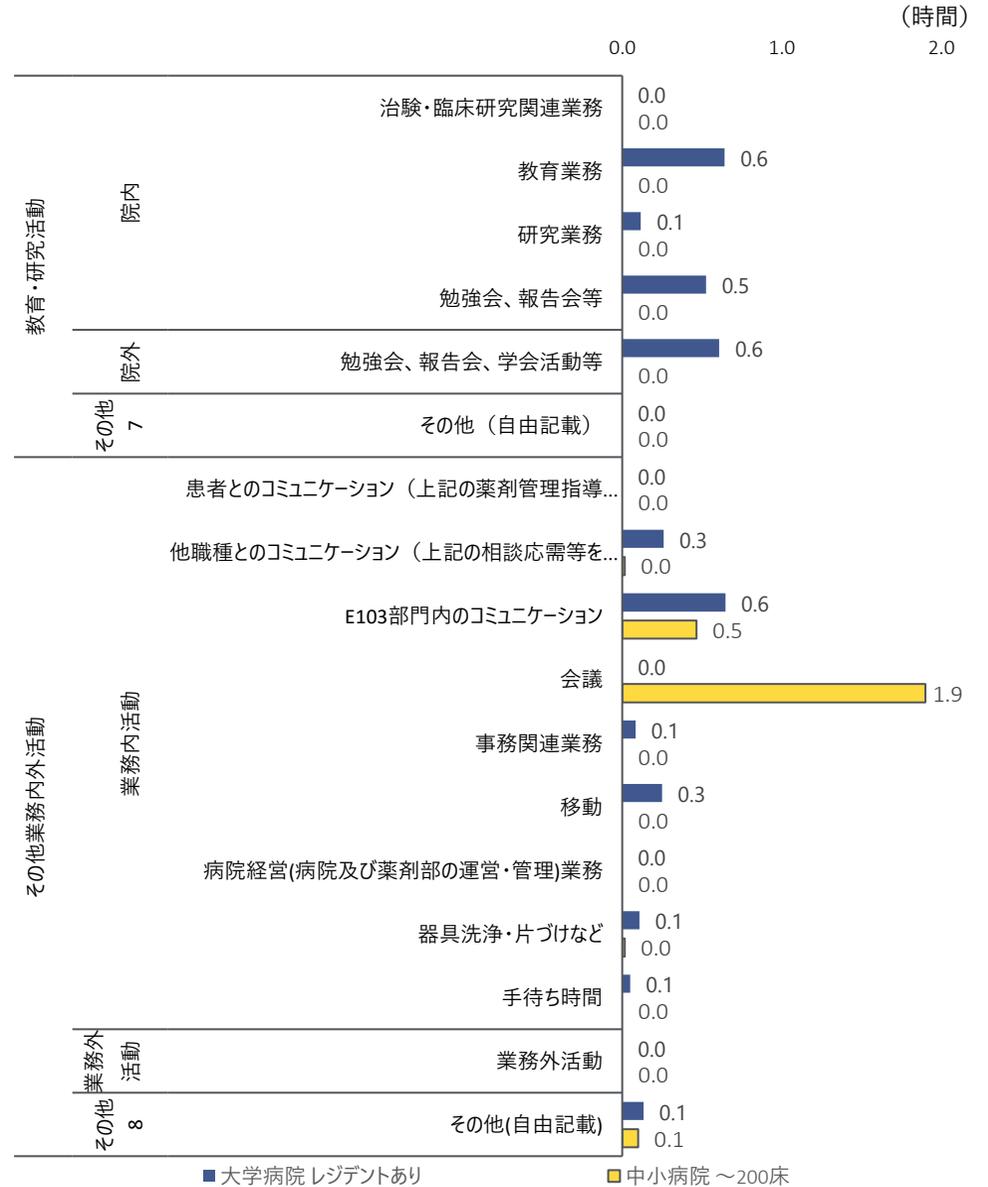
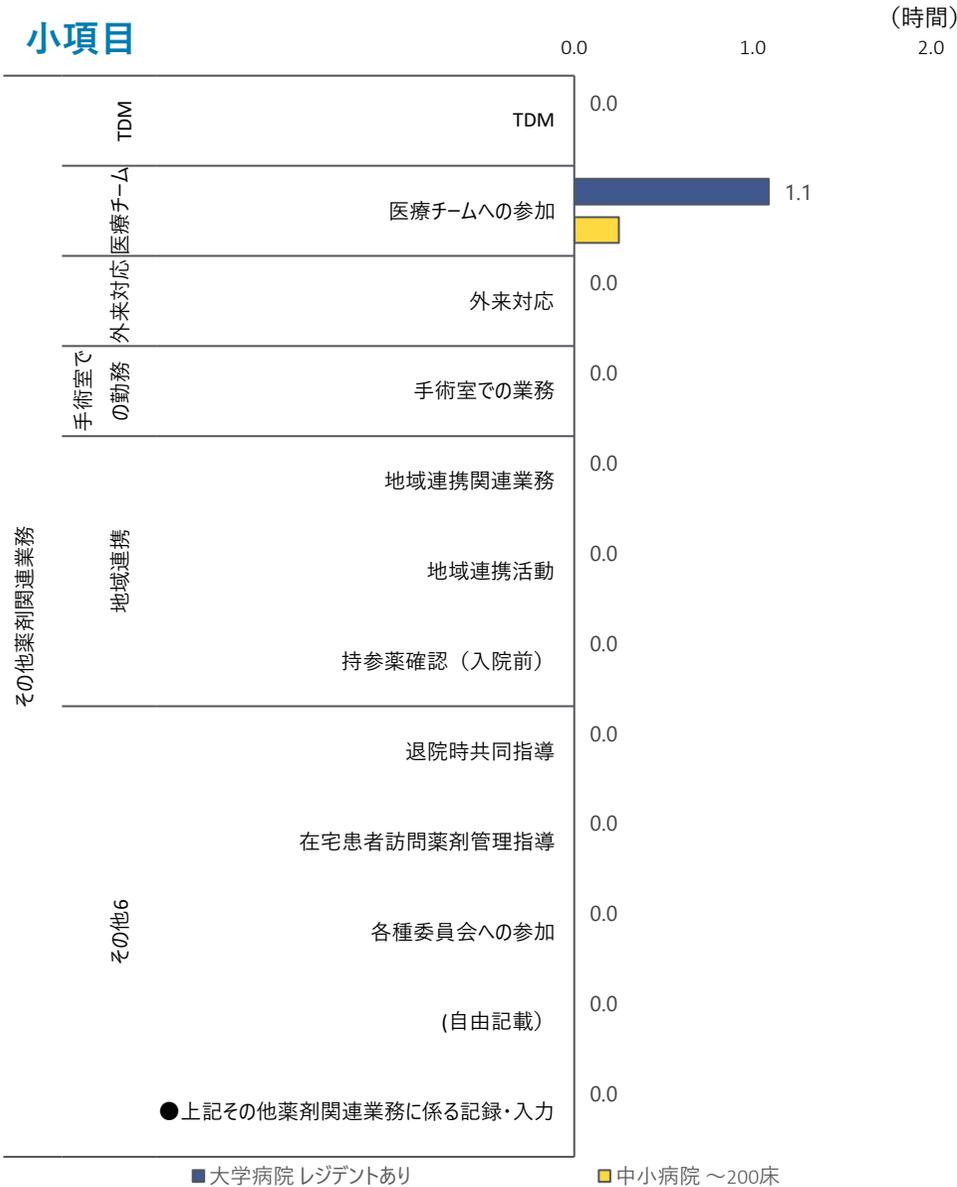
調剤室・注射担当



業務担当別の業務別従事時間

病棟担当

小項目

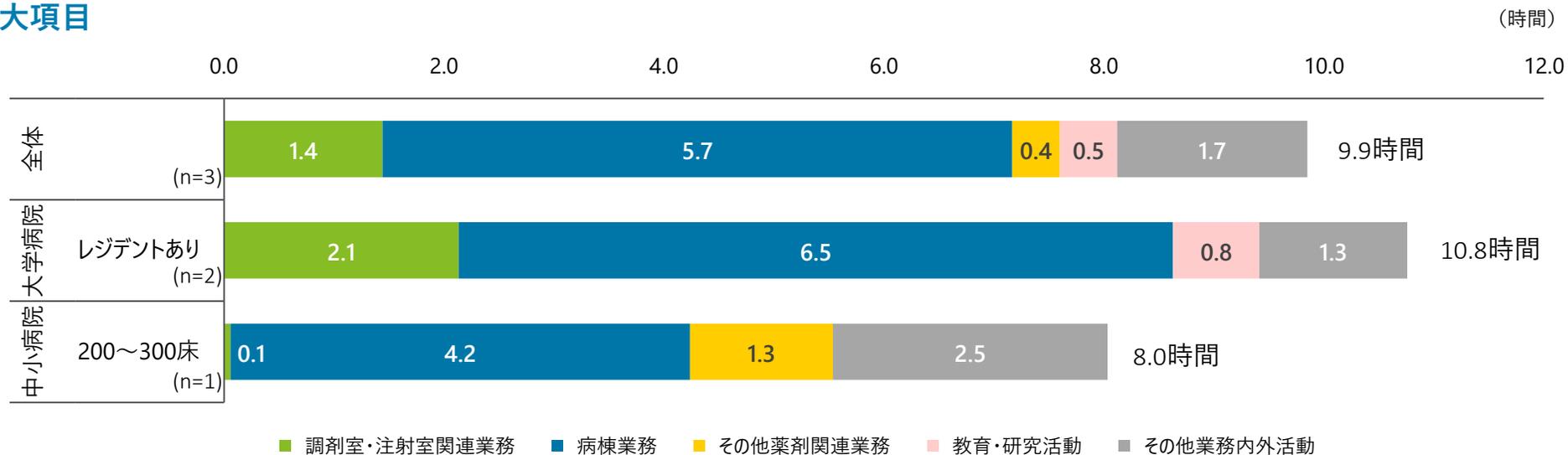


業務担当別の業務別従事時間

- 病棟専任者のサポートを行うために病棟フォロー担当を置いているケースがある。
- 病棟フォロー者も病棟専任者と同様に一日の多くを病棟で業務にあたっている。

病棟フォロー担当（担当病棟はなく全体のフォローを担う）

大項目

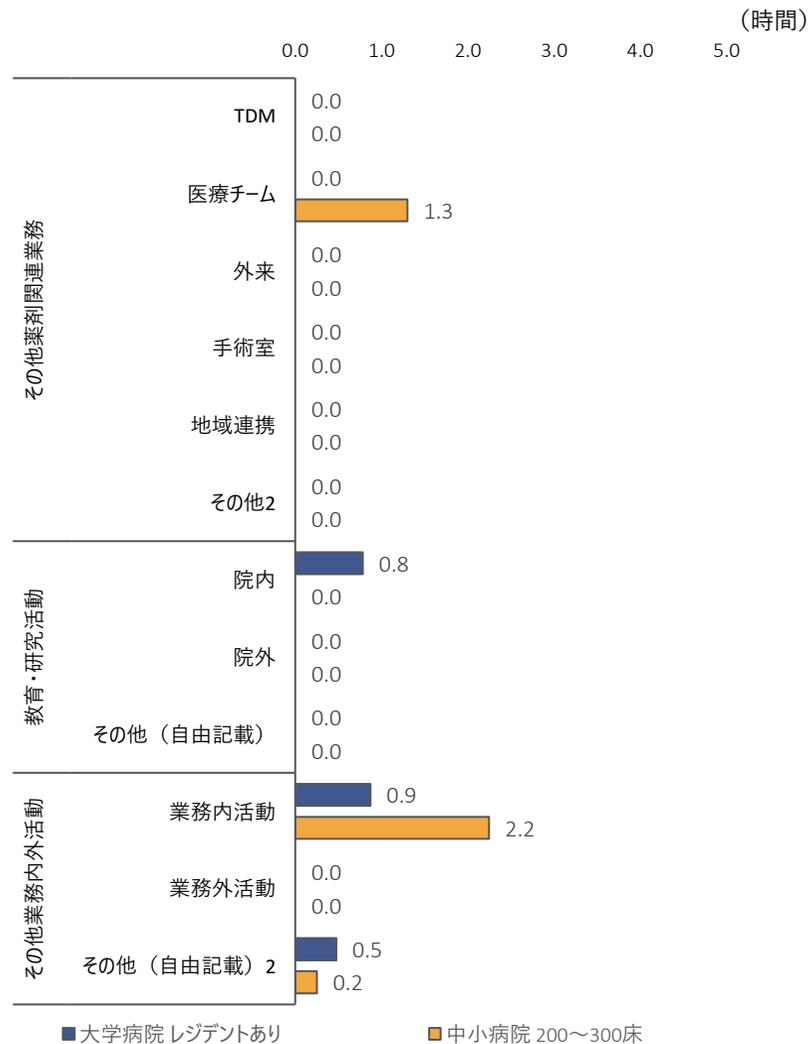
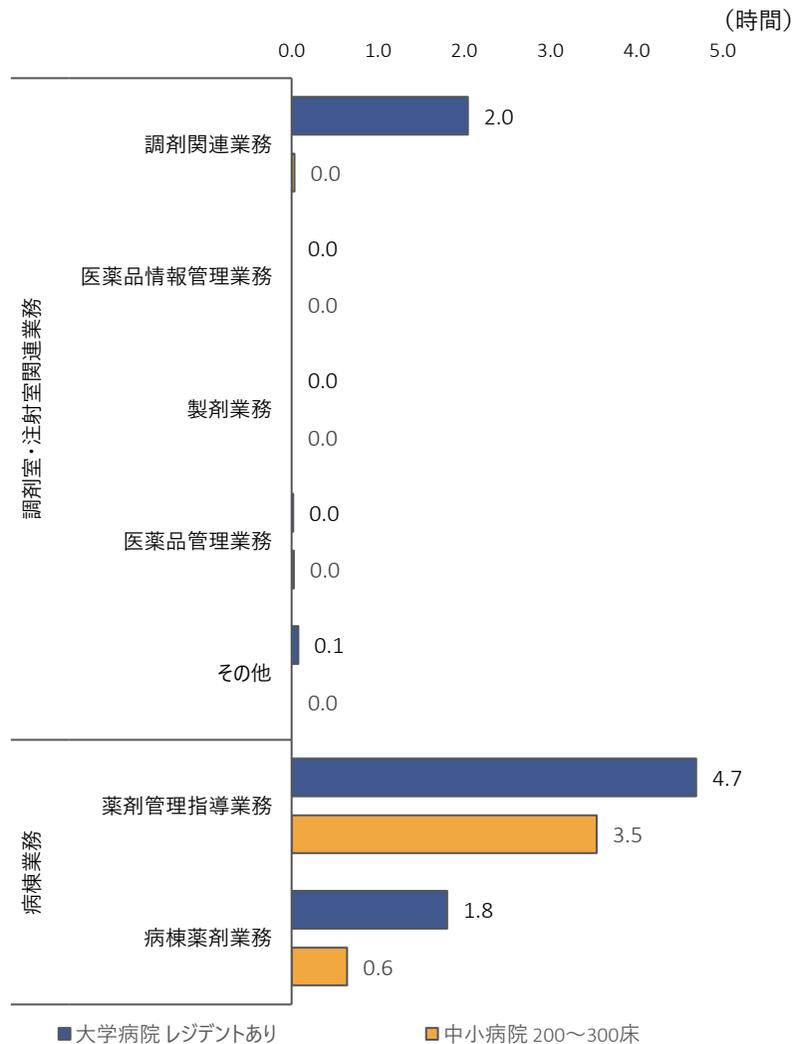


業務担当別の業務別従事時間

- 病棟専任者のサポートを行うために病棟フォロー担当を置いているケースがある。
- 病棟フォロー者も一日の多くを病棟で業務にあたっている。

病棟フォロー担当

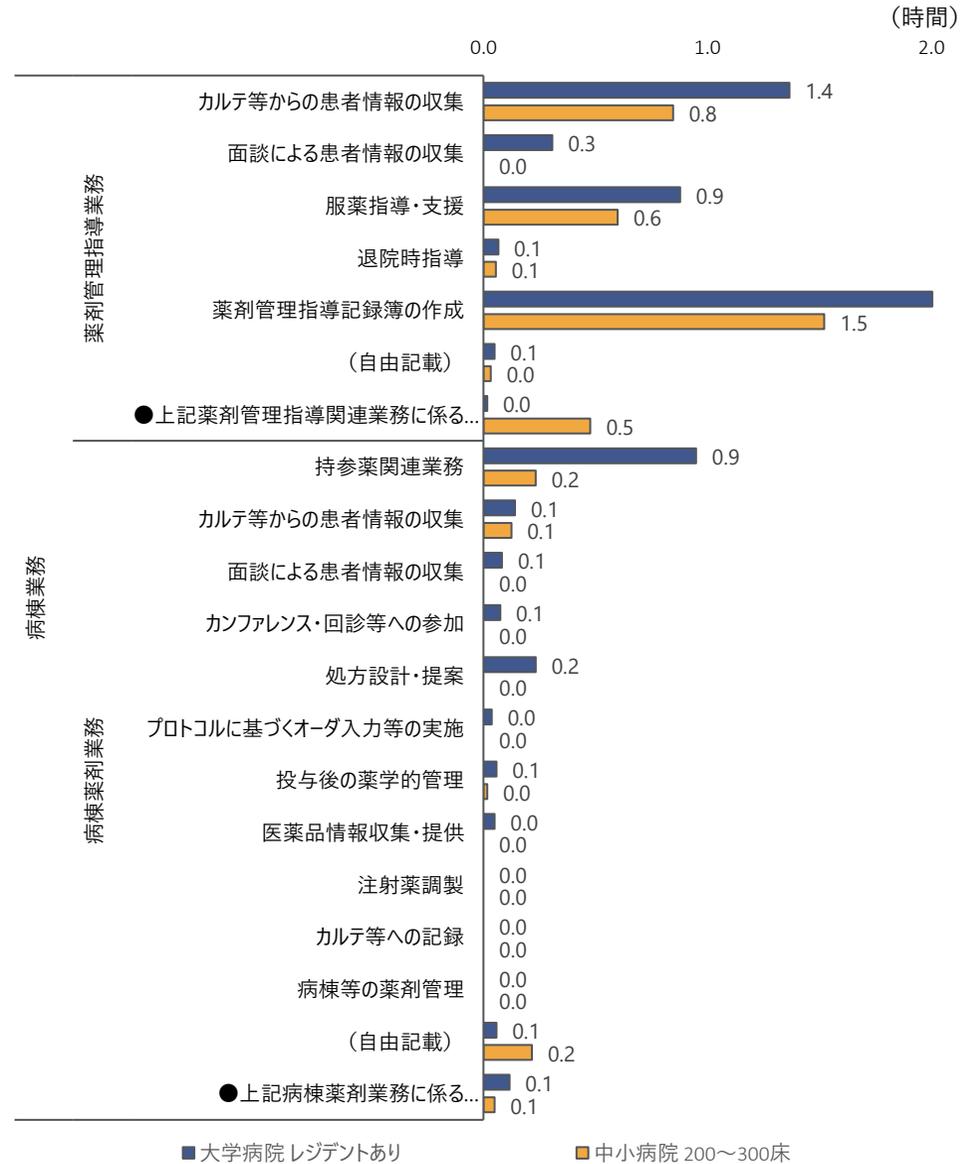
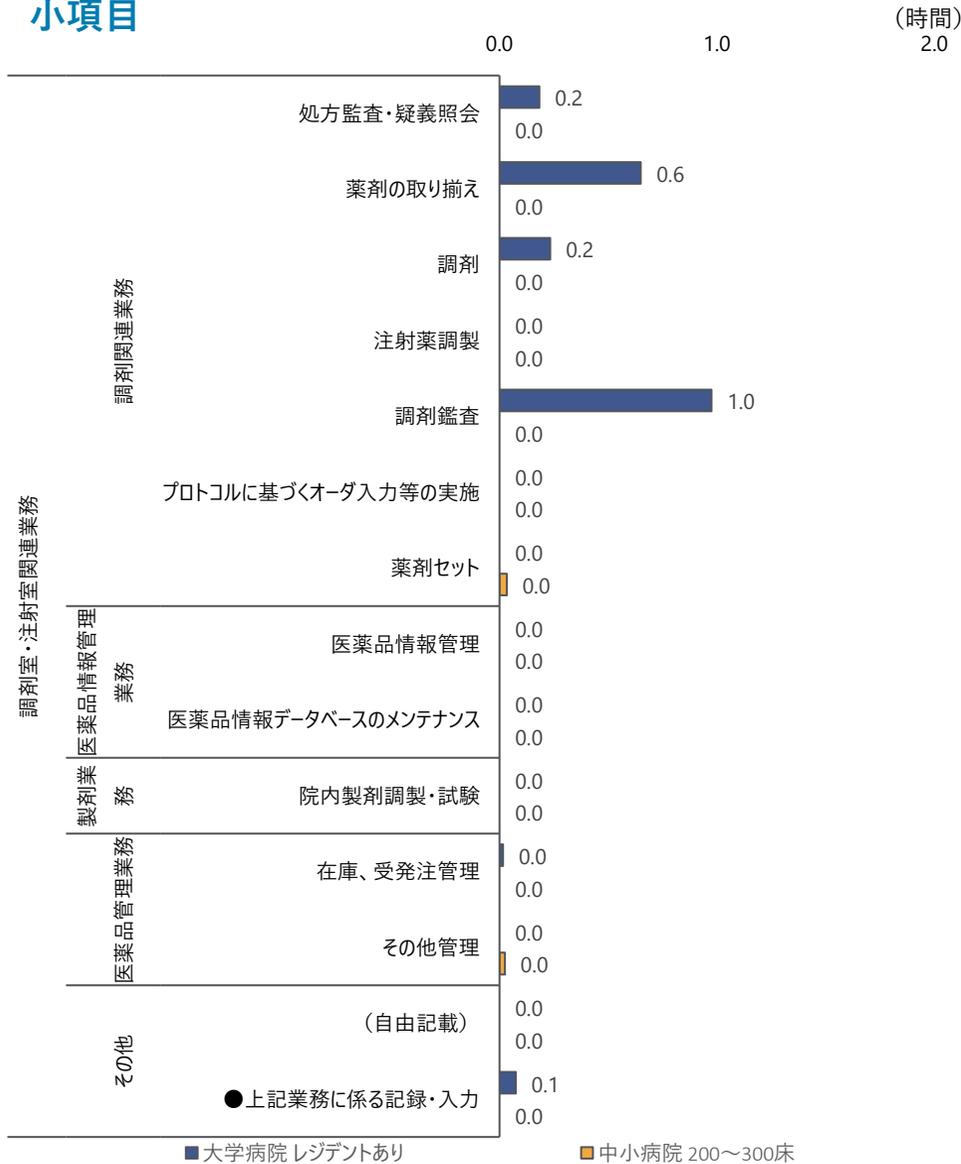
中項目



業務担当別の業務別従事時間

病棟フォロー担当

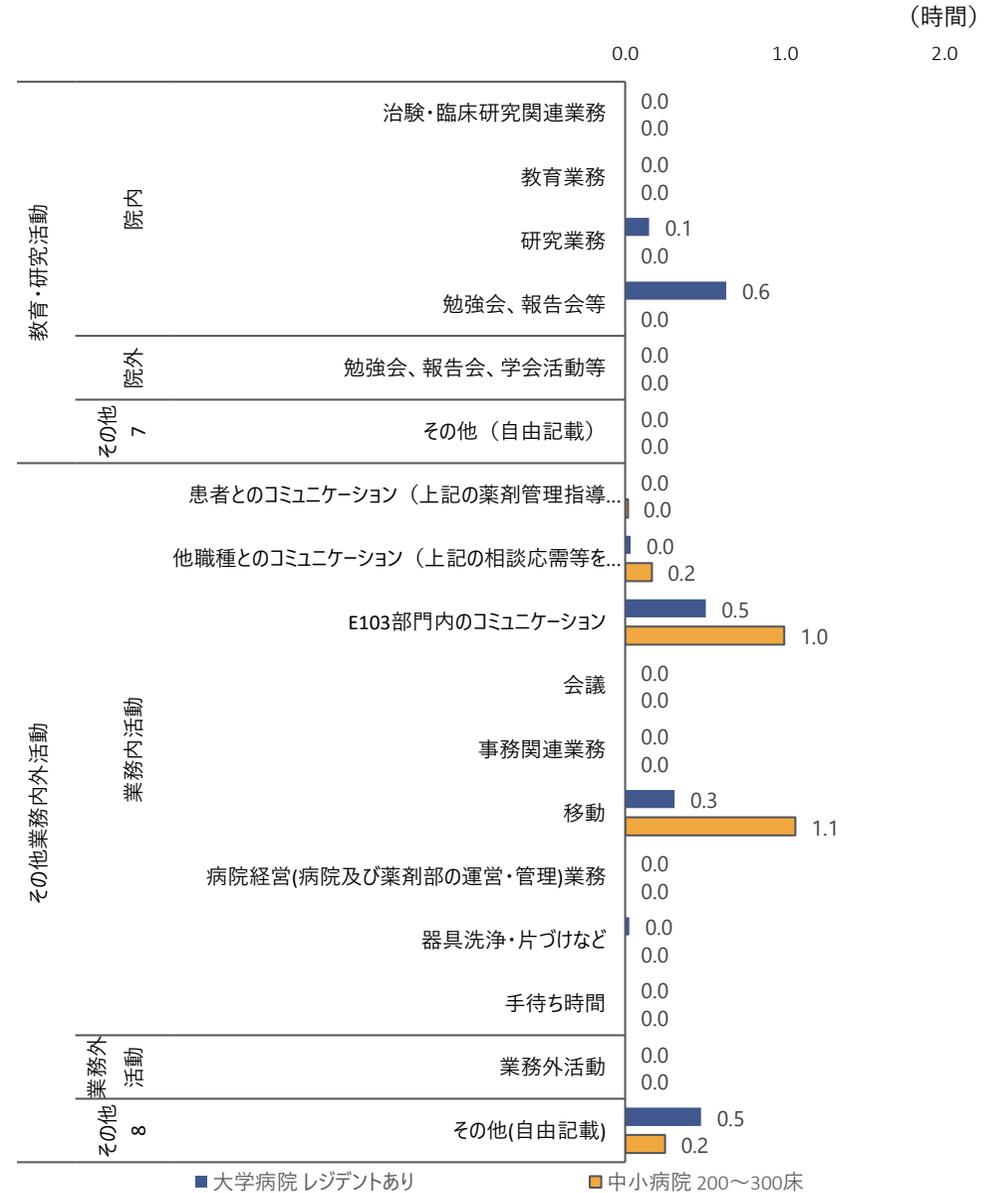
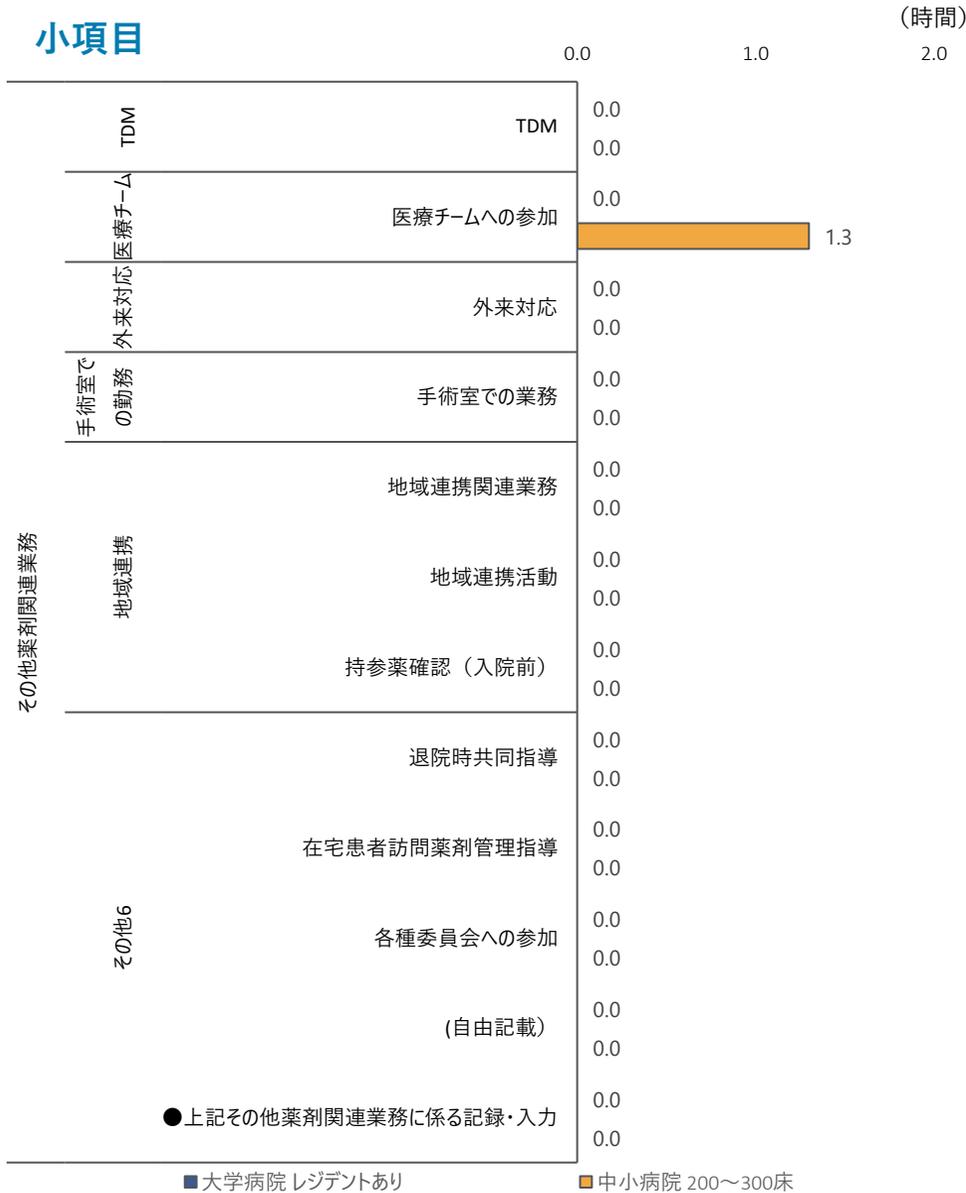
小項目



業務担当別の業務別従事時間

病棟担当

小項目

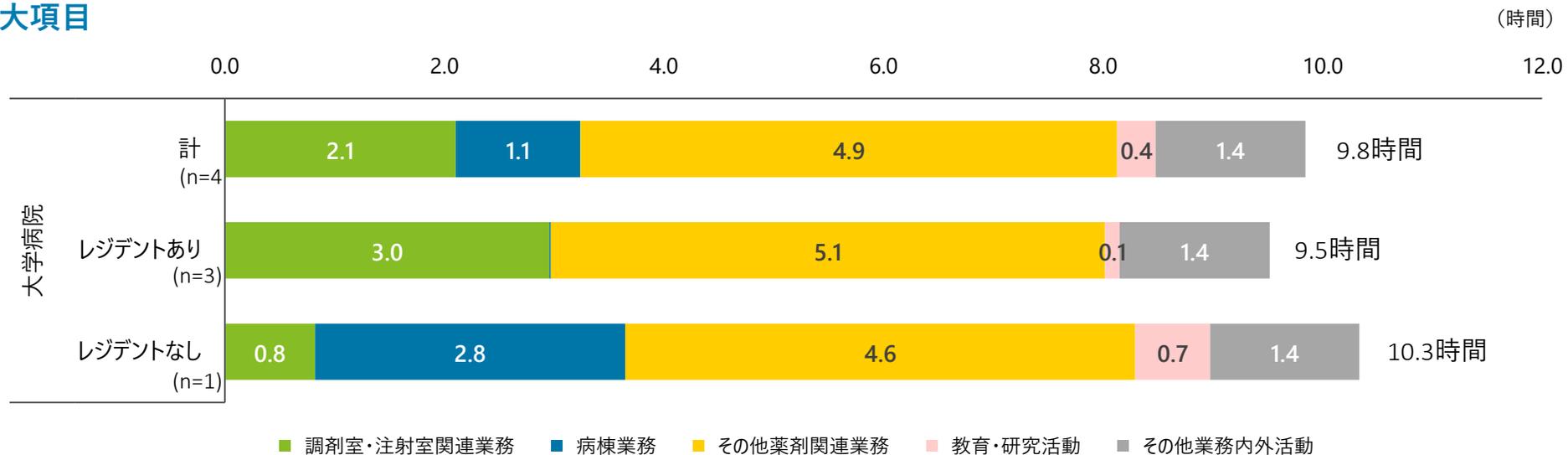


業務担当別の業務別従事時間

- 外来業務で多くの時間を従事しているが、病棟業務（主に薬剤管理指導業務）も一部担っている。

外来化学療法担当（兼務含む）

大項目

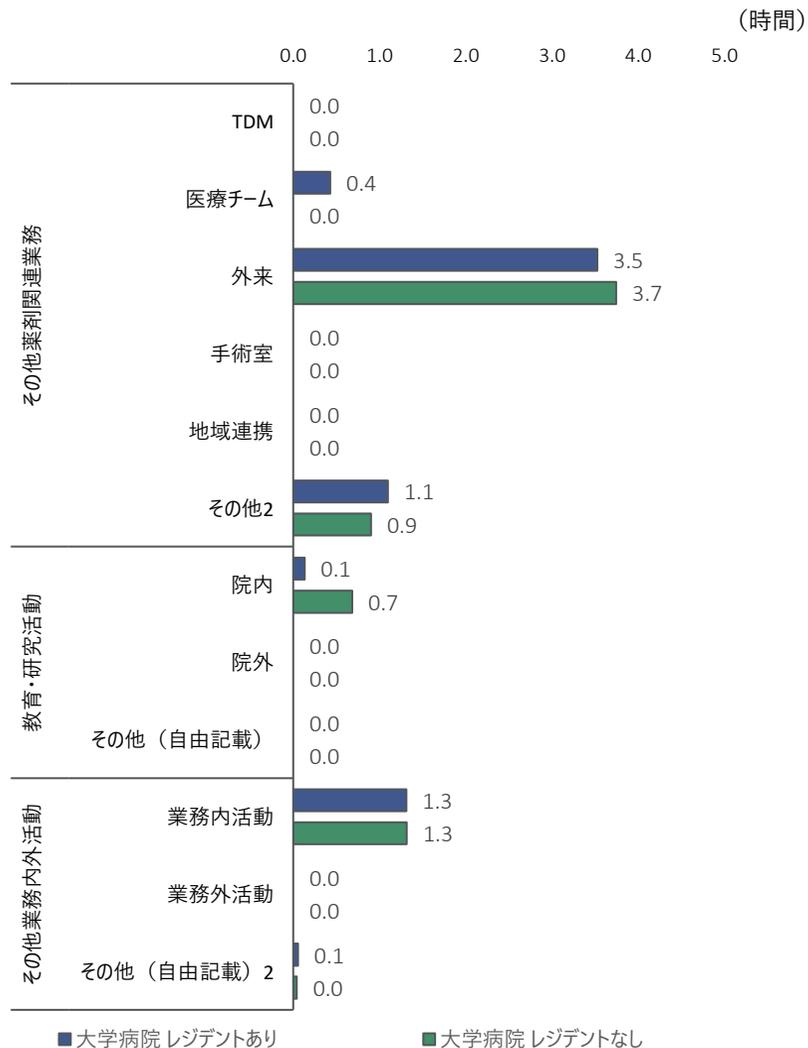
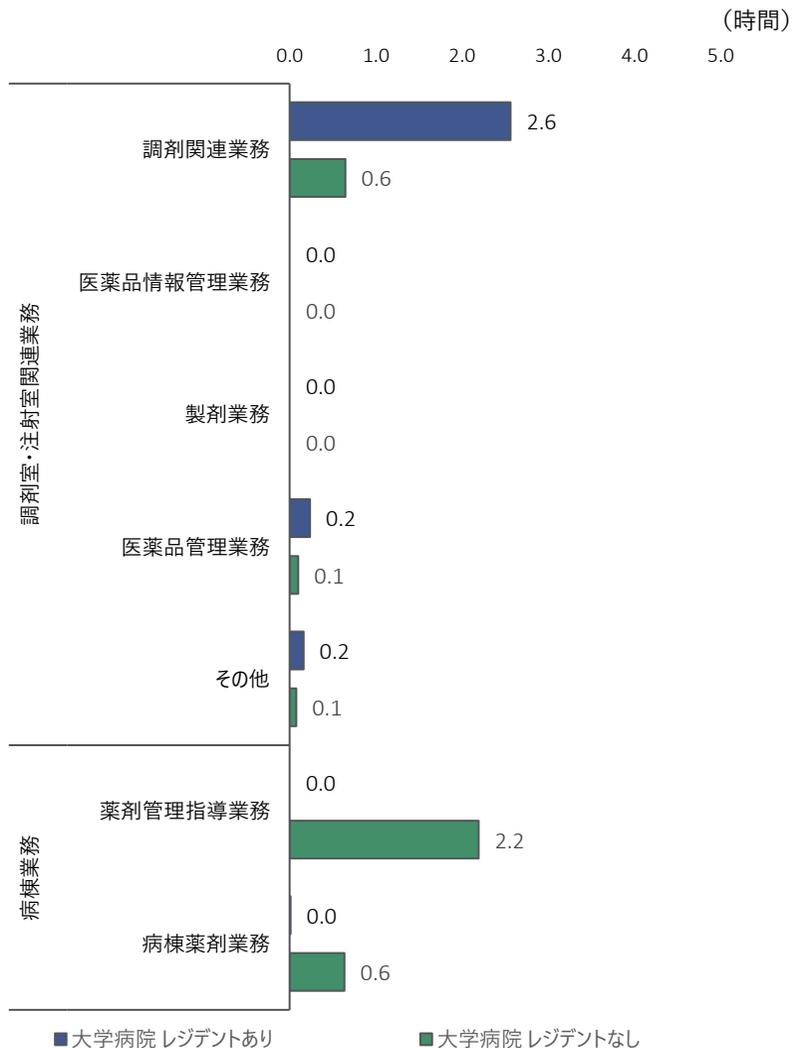


業務担当別の業務別従事時間

- 外来業務で多くの時間を従事しているが、病棟業務（主に薬剤管理指導業務）も一部担っている。

外来化学療法（兼務含む）

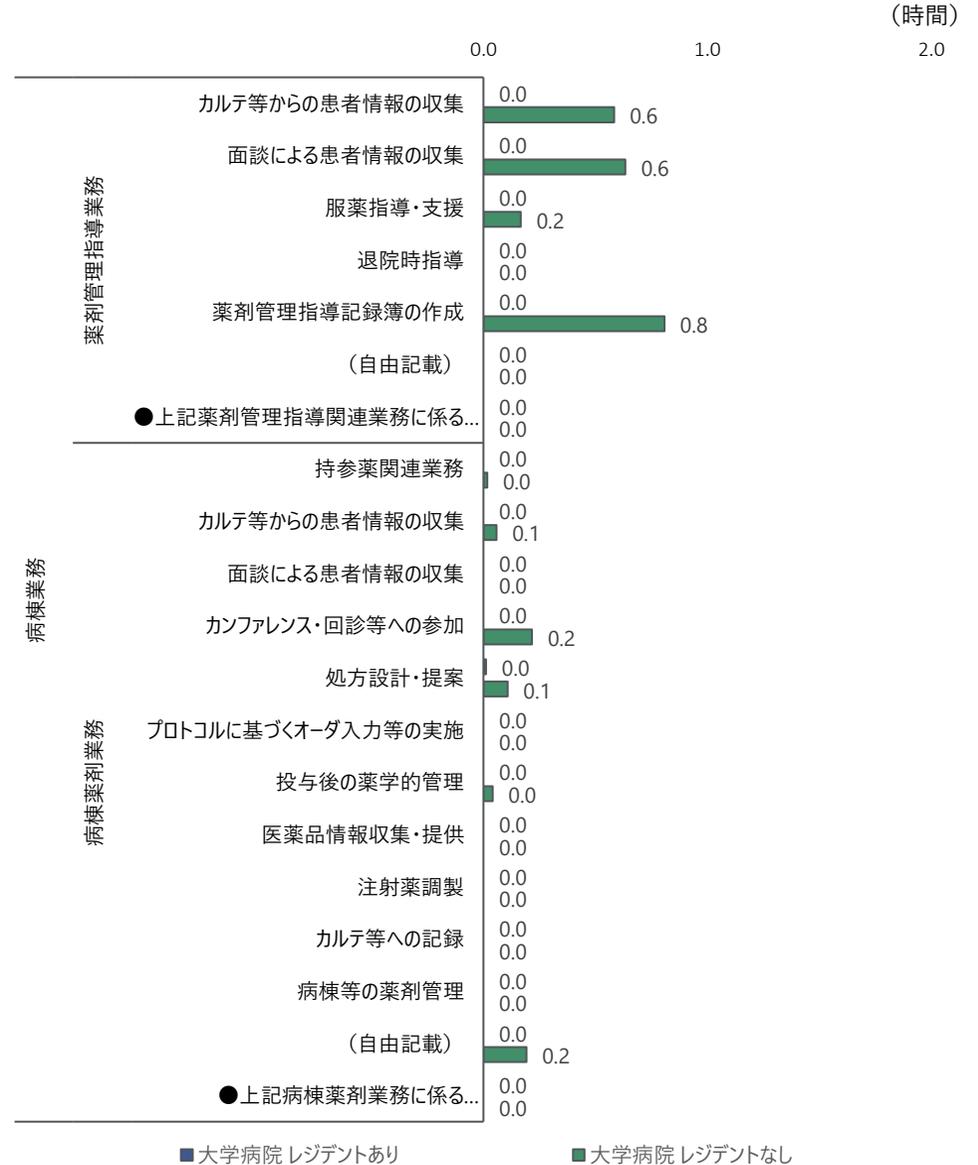
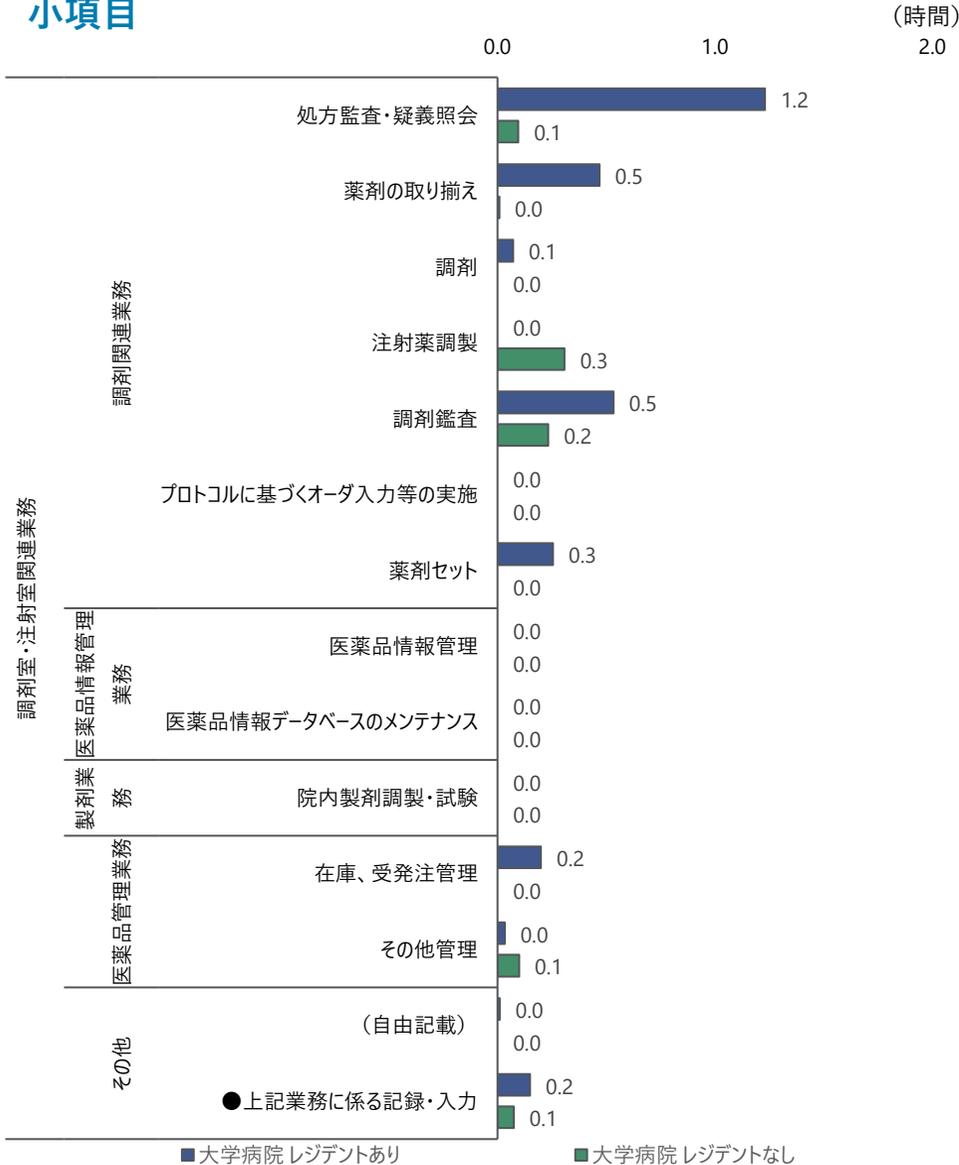
中項目



業務担当別の業務別従事時間

病棟フォロー担当

小項目



業務担当別の業務別従事時間

病棟担当

